

岩見文庫郷土資料目録

序

昭和26年、弘前図書館後援会によって寄贈された岩見文庫は、“郷土資料の宝庫”として、研究者は無論、一般市民の間にも極めて利用度の高い貴重な資料である。(下記を参照)

昭和36年に目録その1が刊行され、その2(同37年)その3(同39年)、そして昨年の補遺の刊行で一応の終了をみたのだが、都合4冊にわたるため、検索の上で多少の複雑さは免れなかった。このたび、これら4冊を集め分類毎に新たに編集し直したほか、巻末には書名索引も付し「岩見文庫郷土資料総目録」として刊行することになった。これによって、検索の面で一段と便利になったことを、利用者のひとりとして喜ぶたい。

約1年間をかけて鋭意編集の仕事にあたられた関係の方々に、あらためて感謝の意を表して序とする。

昭和57年12月

弘前図書館長 吉村和男

岩見文庫について

岩見文庫は、もと弘前市新町の質屋であった旧家、岩見常三郎氏(1867～1947)の蔵書であった。故人は、地方まれにみる愛書家で、青年時代からあらゆる分野にわたり、“書物と名のつくもの、文字の書いてあるもの”は尽くこれを収蔵し、最大時はその数数万点と称された。そのうち約2万点が、岩見文庫保存会にうつり、更に昭和26年に弘前図書館後援会によってこの館に寄贈された。

その集書は、古い書写本類から明治以降の官民刊行の雑多な印刷物など、極めて雑然としたものであるがそれだけに、地方資料として極めて貴重な資料を含んでいる。なお、他の一部は諸家に分蔵され、或は散逸し、或は虫食いで廃棄された。”岩見さんの倉の中は、耳をすますと、蚕が桑を食うているような音がしていた”と伝えられている。

凡例

1 この目録は、既刊岩見文庫郷土資料目録その1、その2、その3、補遺の部を新たに編集したもので5,527冊を収めている。(寄贈された岩見文庫21,010冊の内郷土資料の分である。)

1 資料の分類は、日本十進分類法を一部変更した本館郷土資料分類法によった。この分類法は巻末に附してある。

1 分類項目内の排列は、書名の五十音順によったが、利用上の便宜を考えて、類似主題のものを一括するよう、◇印によって区別して排列した場合もある。ただし、個人伝記資料の配列は、被伝記者氏名の五十音順とした。

1 記載事項は、標題(書名・編著者名)出版事項(書写年)対照事項(冊数・大きさ・装釘)註記事項(註記・内容細目)などの順になっている。ただし、個人伝記資料に限り標目(被伝記者名)をたてた。

1 筆写本は「写」と明記した。これは刊本に対する写本で手書きのものを意味する。したがって、原本であつても「写」とした。

1 各図書の右端の記号数字(例：GK215-5)は、その図書の請求記号である。

1 常用漢字表・人名漢字表にある漢字については、その字体に統一するようにつとめた。

1 巻末に書名索引をつけて検索の便をはかった。(※次段凡例参照・後註)

第2版(PDF版)凡例

1 漢字の旧字体については、検索の便を考えて新字体とした。

1 初版作成当時、注記としてつけられた現在市町村の所属は、その後の市町村合併により変更になっている地域もあるが、今回はそのままとした。

1 分類索引はページとしてつけず、本目録の使用に当たってはAdobe Readerの検索機能を利用されるほか、画面左側のしおり、マークをクリックして索引を表示されたい。

1 書名索引は割愛した。

平成25年10月

岩見文庫郷土資料総目録

K000 総記

K026 稽古館版

五経白文 GK026-12

弘前 稽古館 刊 6冊 半紙 和
内容：易经2巻 詩経2巻 礼記3巻

五経白文 GK026-13

弘前 稽古館 刊 6冊 半紙 和
内容：易经2巻 詩経2巻 礼記3巻

五経白文 GK026-13 イ

〔弘前〕〔稽古館〕刊 5冊 半紙 和
内容：易经2巻 詩経2巻 礼記中下

五経白文 GK026-13 ロ

弘前〔稽古館〕刊 3冊 半紙 和
内容：易经2巻 詩経2巻

五経白文 易经2巻 GK026-13 ハ

弘前〔稽古館〕〔刊〕1冊 半紙 和

五経白文 易经2巻 GK026-13 ニ

弘前〔稽古館〕〔刊〕1冊 半紙 和

五経白文 易经2巻 GK026-13 ホ

弘前〔稽古館〕刊 1冊 半紙 和

孝経（古文孝経）1巻 GK026-1

弘前 稽古館 寛政7（1795）1冊 美濃 和

孝経（古文孝経）1巻 GK026-2

弘前 稽古館 寛政7（1795）1冊 美濃 和

皇朝史略 12巻 続5巻 青山延于 GK026-18

〔弘前〕稽古館〔慶応元〕（1865）（木活）8冊 美濃 和

皇朝史略 巻7～12 続巻4、5 青山延于 GK026-17

弘前 稽古館〔慶応元〕（1865）（木活）4冊

三字経〔（宋）王応麟〕 GK026-14

弘前 稽古館 文政5（1822）1冊 半紙 和

三字経〔（宋）王応麟〕 GK026-15

弘前 稽古館 文政5（1822）1冊 半紙 和

三字経〔（宋）王応麟〕 GK026-15 イ

弘前 稽古館 文政5（1822）1冊 半紙 和

四書白文 GK026-10

弘前 稽古館 文政2（1819）5冊 半紙 和
内容：大学1巻 中庸1巻 論語2巻 孟子2巻

四書白文 GK026-11

弘前 稽古館 文政2（1819）4冊 半紙 和
内容：大学1巻 論語2巻 孟子2巻

四書白文 GK026-11 イ

弘前 稽古館 文政2（1819）3冊 半紙 和
内容：論語2巻 孟子2巻

四書白文 論語2言 GK026-11 ロ

〔刊〕1冊 半紙 和

尚書 2巻 GK026-3

弘前 稽古館 〔寛政9〕（1797）2冊 美濃 和

尚書 2巻 GK026-4

弘前 稽古館〔寛政9〕（1797）2冊 美濃 和

尚書 2巻 GK026-4 イ

弘前 稽古館 〔寛政9〕（1797）2冊 美濃 和

尚書 2巻 GK026-4 ロ

弘前 稽古館〔寛政9〕（1797）2冊 美濃 和

帝範・臣軌 各2巻（唐）太宗（唐）武后 GK026-9

弘前 稽古館 文化9（1812）（木活）2冊 美濃 和

唐詩選 7巻（明）李攀竜編 服部元喬点 GK026-16

弘前 稽古館 刊 2冊 半紙 和

唐詩選 7巻（明）李攀竜編 服部元喬点 GK026-16 イ

〔弘前〕稽古館 刊 2冊 半紙 和

唐詩選 巻5～7 GK026-16 ロ

（明）李攀竜編 服部元喬点
〔弘前〕稽古館 刊 1冊 半紙 和

毛詩（詩経）2巻 GK026-7

弘前 稽古館 文化6（1809）（木活）2冊 半紙 和

礼記 下 GK026-8

弘前 稽古館 文化8（1811）（木活）1冊 美濃 和

蘭州先生遺稿 5巻 山崎道冲 伴建尹等編 GK026-5

弘前 稽古館 文化2（1805）（木活）2冊 美濃 和
註：山崎道冲通称図書 字仲漠また敬夫 初めの名明
号蘭州 寛政11年（1799）歿 67歳

蘭州先生遺稿 巻3,4 山崎道冲 GK026-6

伴建尹等編

弘前 稽古館〔文化2〕(1805) (木活) 2冊 美濃 和

K029 蔵書目録

書物目録 GK029-1
写 1冊 美濃 仮和

書物目録 元治元年 川越家 (川越次泰) GK029-2
元治元 (1864) 写 1冊 美濃半 仮和

K041 論文集 講演集

東津軽郡教育会第一回講演集 GK041-1
東津軽郡教育会編
青森 私立東津軽郡教育会 大正5 (1916) 137頁 菊
仮洋 (東郡教育臨時増刊)

東津軽郡教育会第一回講演集 GK041-2
東津軽郡教育会編
青森 編者 大正5 (1916) 137頁 菊 仮洋 (東郡
教育臨時増刊)

K049 雑書

員数之覚 棟方実勝 GK049-2
天明6 (1786) 写 1冊 横小 仮和
註：諸物の員数称呼

遠聞諸見集 下 GK049-45
明治28 (1895) 写 1冊 半紙 和

覚書 甲 明治37年 GK049-18
明治37～40 (1904～07) 写 1冊 半紙半 仮和
註：諸書より抜書 和徳町石川氏の覚書

覚書 斎藤彦市 GK049-11
写 1冊 横小

覚書 元禄6年迄 GK049-50
写 (元禄) 1冊 横小 仮和

御次第書帳 下山兼吉 GK049-3
天保3 (1832) 写 1冊 横小 仮和
註：御役御次第 年中御行事 御郡中道法之事 檜杉
角丸太御定并値段之事 御用木御極印形之事 在方衣
類之事 熊胆并皮御定書之事 五口小役米之事 升法
諸軽重之事 黄金之事 衣類部附たり武道具之事
御切紙并諸願之事 数量之事 枘計寸法之事 秤目分
量之事 丈間分政之事 四時異名之事 十二ヶ月異名
之事 二十四節之事 十二時之名 津軽弘前之城下附
たり四浦之事 勢州太々神楽料之事 其他

御霊屋之覚 其他 GK049-37
写 1帖 折本 小
註：御霊屋之覚 御精進日 検見地方の方法 物価など

華壇の蝶々 (三戸町長正襟史) GK049-46
北村烏城 (芳太郎)
三戸 秀栄舎 大正8 (1919) 60頁 三五 仮洋
註：北村芳太郎の式辞文集

学問敏遠の巻 川越石太郎 (次泰) GK049-27
写 (慶応～) (自筆) 1冊 半紙半 仮和
註：御家老譜 王代一覽抄 その他諸覚書き

〔御一家覚書〕 GK049-36
写 1冊 横小 和
註：給禄の定 御国并江戸上方御家中并御出入被下方
大都調 (天保3) 神学家 兵学家 弓術 射術 剣術
居合 棒術 和術 鎗術 馬術 炮術家 その他

康哉集其他 GK049-19

写 1冊 半紙 和
内容：康哉集 播磨舟中歌 (山崎蘭州) 後藤子焉碑銘及
び追悼祭文 松月露譚序 帝都雅景一覽 国土分制 平
家物語評判 蕃椒之弁 俳諧歳時記
註：康哉集は津軽貞正・伴建尹・山崎道冲等の漢詩集

黒氏名文・団々珍聞・穎才新誌 GK049-42
下山周次郎編
明治12 (1879) 写 1冊 半紙 和

心得留帳 斎藤氏 GK049-24
慶応3 (1867) 写 1冊 横小 和
註：刃術方師匠 鎗術方師匠 射術方師匠 兵学方師匠
馬術方師匠面々 その他雑記

木葉籠 第2,3 傍鳥正心編 GK049-8
写 2冊 半紙 和
内容：
第2 武学拾碎序 赤穂四十七義士碑 (亀田長興) 逸楽
論 (加治光輔) 書翰囊 関東大地震御届書 御台場取建
御警衛持場并異国船渡来海岸防備一件 其他
第3 嘉永六年六月三日ヨリ十日マデ江戸日記 南部加
州珍事 記所聞 (嘉永3年異国船) 沿海防御之儀 亜墨
利加より贈候品々覚

〔雑記〕 桜庭久米五郎 GK049-9
文久元 (1861) 写 1冊 半紙 仮和
註：津軽故事等のほか江戸砂子 三省録からの抜書

雑記 GK049-47
写 (明治) 1冊 半紙 仮和

〔雑記〕 GK049-53

写 1冊 半紙 和	
雑誌	GK049-16
写 1冊 半紙 仮和	
註：明治30年代(1897～)の写本 雑記抜書	
〔雑記留〕	GK049-40
写 1冊 半紙 仮和	
〔雑記留〕〔斎藤佐左衛門〕(纂)	GK049-44
写(明治21(1888)頃)1冊 半紙	
雑誌 6,9	GK049-41
写(明治5(1872)頃)2冊 横小 仮和	
註：雑記留書き 杉山竜江の奉請北巡建言(明治5)	
広沢安任 太田広城の開拓に関する願など	
雑蒐日誌 雲山堂	GK049-14
写(明治)1冊 半紙半 仮和	
註：雑記帳である	
〔雑留記〕	GK049-29
写(明治36(1903)頃)1冊 半紙 和	
〔雑記留〕	GK049-32
写(弘化5～安政3(1848～56)1冊 半紙半	
註：菊つくりのこと 源氏物語大意 歌人才媛のこと	
美年等の俳句 和歌会式(安政3年於稽古館)其他	
柿園雑記 山形宇兵衛(長年)	GK049-4
写 21冊 半紙 仮和	
註：山形宇兵衛が諸書より抜書した自筆本である	
内容：	
第11 年山紀聞 閑田耕筆 孔雀楼筆記 武林隠頭録	
成形図説 等よりの抜書	

第12 痘疹戒草 成形図説 南嶺遺稿 微瘡秘録別記	
等より抜書	
第14 撈海一得 塵余 和学弁 東海談 老人雑話	
備前老人物語 新安手簡 雲根志 鎖国論 松蔭医談	
東江書話 桂館野乗 近世崎人伝 等よりの抜書	
第15 万物故事要決 日本山海名産図会 叢桂亭医事	
小言 集義外書 続近世崎人伝 管窺武鑑舎諺集 武器	
考証 等よりの抜書	
第16 武器考証 桂林漫録 四季草 本朝国語 都名	
所図会 名山蔵手簡 等よりの抜書 植崎九八郎存念書	
黄茸之評 工藤猶八事五山堂詩話ニ出ツ の項がある	
第19 塩尻 近代世事談 通鑑綱目後編 学山録 北	
窓瑣談 等の抜書	
第20 本草綱目啓蒙 和語本草 新佐手簡 等よりの	
抜書	
第22 新著聞集 東遊記後編 白石遺稿 北窓瑣談	
安斎漫筆 等よりの抜書	
第23 安斎漫筆よりの抜書?	
第24 安斎漫筆よりの抜書	
第25 礼記月令諺解附録 安斎漫筆 明良洪範 等よ	
りの抜書	
第27 鳩巢小説 明良洪範 国朝旧章録 等よりの抜書	
第28 蓑笠雨談初編 新編覆盞集 長崎夜話草 文会	
雑記 等よりの抜書 工藤元竜猶八事跡(五山堂詩話よ	
り)がある	
第29 橘窓茶話 文会雑記附録 近世奇跡考 安斎叢	
書(考説 姓氏弁 押字考)よりの抜書	
第30 安斎叢書(本朝軍器考標疑之巻,五ノ巻)近世名	
家書画談 豊臣秀吉家譜 輜軒小禄 閑散余録 五事略	
西山遺事 等よりの抜書	
第31 蘭学階梯 秋斎問語 明良洪範後篇 安斎叢書	
等よりの抜書及び瑞麴考(山崎清朴)	
第32 長崎聞見録 名臣言行録 柳斎筆記 叢桂偶記	
等よりの抜書及び南部より松前への海上里程 御国より	
松前への浦々渡海里数 三厩より松前の方角 三厩より	

松前順風 奇石会品目 其他	
第33 京都諸名士并諸工名前(寛政頃より文化頃ま	
で)東都儒書画家名簿(寛政頃ヨリ文政ニ至ル)洪水強	
弱之考(津軽之洪水)諸家万石以上陪臣録 三国人物早	
見大全 其他諸著書よりの抜書	
第34 駿台雑話 藩翰譜 其他より抜書	
第35 工藤猶八事 黒滝藤太手柄之事 日和見様大概	
其他著書よりの抜書	
第36 山海名産図会 故諺記 諸家深秘録 武門故実	
不問談 東海談 閑散余録 其他よりの抜書	

柿園雑記 〔山形宇兵衛〕(長年)	GK049-21
写(文政11(1828)頃)1冊 半紙 仮和	
註：大赦之例 田山館山見継山抱山之訳 御検見引高歩	
通り 勘定所納郡所納諸在方出銭 花盛之遅速考 其他	

柿園雑録 山形宇兵衛(長年)	GK049-6
写(自筆)1冊 半紙 和	
註：内題に「柿園雑記」ともあり 柿園雑記と内容の重	
複もある	

柿園漫録 山形宇兵衛(長年)	GK049-5
写(自筆)1冊 半紙 仮和	
註：諸著書より抜書きしたもの 山形氏の見聞のもの	
として黄茸のこと等がある	

柿園目録 山形宇兵衛(長年)	GK049-4
写 1冊 半紙 仮和	
註：柿園雑記の目録 前半1～24枚目までが欠けている	
「かへす」まで	

私写集写 元禄8年 書写役(黒石多門)	GK049-1
元禄8(1695)写 1冊 半紙半 仮和	
註：「諸事抜書」ともある	

七甲雑記 三谷唯心七甲翁（句仏） **GK049-23**
 文久4（1864）写（自筆）1冊 半紙半 和
 註：三大家集抜書 古言之内親昵之詞寄 其他諸著書
 よりの抜書

諸覚書 **GK049-28**
 写（万延～明治）1冊 横長 仮和 （川越旧蔵本）
 註：いろいろの秘法雑記

新板落書今川状 外 **GK049-35**
 写 1冊 半紙半 和
 内容：元祖大師御旧跡式十五拝御詠歌 新板落書今川
 状（藤原武利写 慶応3（1867）升づくし 上つくし
 鬼の口説

盛時新譚 第5 **GK049-15**
 明治7（1874）写 1冊 半紙 和
 註：明治7年当時新聞其他風聞新智識を書集めたもの

剪灯史談 第1巻 桜庭経緯 **GK049-51**
 東京 大倉書店 明治24（1891）102頁 四六

素星雑記 **GK049-34**
 万延元（1860）写 1冊 半紙

津軽諸事考 **GK049-54**
 写 1冊 半紙 和

津軽宝記集 **GK049-7**
 写 1冊 半紙 和
 内容：金井ヶ浦記 八拾三騎石高書（文久2（1862）
 写）御郭内弘前内御蔵図式（嘉永3（1850）諸加役諸在
 勤之族江御扶持方并御手当定
 註：金井ヶ浦紀は神官が西海岸金ヶ沢の風景を記したも
 の（福士蔵書印）

手鑑 **GK049-43**
 写（明治20～30（1887～97）頃）1冊 半紙半 和

手控 内藤 **GK049-48**
 写（明治）1冊 半紙半

手扣日記牒 **GK049-13**
 慶応4（1868）写 1冊 半紙半 仮和
 註：雑記留

日常心得 **GK019-39**
 写 1冊 半紙 和
 内容：卸樽代 御香奠 御扇子代 御布施 暦を知る事等

寝覚の拾ひ書 **GK049-17**
 写（明治30,31,35～38（1897,98,1902～05）3冊
 半紙 和
 註：新聞其他見聞を書き留めたもの

万宝秘事記 川越真養（次泰） **GK049-33**
 安政3（1856）写 1冊 半紙
 註：いろいろの秘方を書いたもの

秘書 桜庭桑五郎（利貞） **GK049-25**
 写（文久頃、慶応）2冊 半紙 和
 註：服忌令 御家中一列御次第 津軽の寺社の事 元禄
 8年（1695）の家中分限 文化元年より天保10年まで
 （1801～39）の記事など

**弘前町尽・弘前寺尽・釧之由来・諸器物大概日本官名尽・
 大名苗氏尽・八鳥状・景清状・童子教訓歌・其他**
 写 1冊 半紙 和 **GK019-12**

筆のあと 山形宇兵衛（長年）編 **GK049-52**

嘉永2（1849）写（自筆）1冊 半紙 和

文章 **GK049-56**
 写 1冊 美濃 和

見取草 **GK049-38**
 写 1冊 半紙半 仮和
 内容：公義御精進日 御軍役ノ次第 御本丸御座敷御廊
 下絵模様（江戸城）諸大名献上品珍物大略 殿中御番人
 之事 江戸御府内人数之事 大名参暇上使之事 鳥拝領
 之次第 国持ノ家来城持ノ事 御系図略記（津軽家）別
 伝（津軽）

耳触聞集 **GK049-22**
 写 1冊 半紙 仮和
 註：いろいろなことを書き留めたもの

深山雑話 森内繁富 **GK049-30**
 写 1冊 半紙 和

深山雑話 森内繁富 **GK049-31**
 写 1冊 半紙 和

むかし語老の繰言 斎藤覚兵衛（賢宣）述 **GK049-55**
 写 1冊 半紙 和

〔棟方実勝写本〕神方実勝編 **GK049-20**
 写 1冊 半紙
 註：棟方実勝幼時に雑記雑文を書き留めたもの 自作の
 漢詩もある

孟子教導の巻 其他 川越石太郎（次泰） **GK049-26**
 慶応3（1867）写（自筆）1冊 半紙半 仮和
 註：孟子教導の巻 詩経教導之巻 奥富士抄 御検見仕
 法 その他留帳

遊郊記 其他 GK049-49

写 (明治) 1 冊 半紙 仮和
 註：雑記雑文を書き留めたもの

万間書色々入込 松井勝将 GK049-10

写 1 冊 半紙半 仮和

K050 逐次刊行書 雑誌

青森県時報 創刊号 青森県特報社編 GK050-18,19

東京 編者 大正 12 (1923) 1 冊 (2 部) 菊 仮洋

青森県人 青森県人社編 GK050-29

青森 編者 昭和 9 ～ 14 10 冊 菊 仮洋
 内容：第 1 巻第 2,8 号 (昭和 9) 第 2 巻第 5 号 (昭和 10)
 第 3 巻第 6,8 ～ 11 号 (昭和 11) 第 4 巻第 11 号 (昭和 12)
 第 6 巻第 1 号 (昭和 14)
 註：郷土人連絡の機関誌 第 6 巻第 2 号より青森県評論
 と合併した

青森県評論 青森県評論社編 GK050-30

青森 編者 昭和 11 ～ 18 59 冊 菊 仮洋
 内容：第 1 巻第 4,6,7,9,10 号 (昭和 11) 第 2 巻第 2 ～ 9 号
 (昭和 12) 第 3 巻第 1 ～ 8,10 ～ 12 号 (昭和 13) 第 4 巻第 1
 ～ 7,9 ～ 11 号 (昭和 14) 第 5 巻第 2 ～ 4,6,8,10,11 号 (昭
 和 15) 第 6 巻第 1,5,7,9,11,12 号 (昭和 16) 第 7 巻第 2 ～
 7,11 号 (昭和 17) 第 8 巻第 2,4 ～ 6,9 号 (昭和 18)
 註：第 4 巻第 2 号より青森県人第 6 巻第 2 号と合併した

青森県評論 青森県評論社編 GK050-31

青森 編者 昭和 11 ～ 14 4 冊 菊 仮洋
 内容：第 1 巻第 6 号 第 3 巻第 5 号 第 4 巻第 2,3 号

あけぼの 工藤利吉編 GK050-12

弘前 編者 大正 5 (1916) 1 冊 四六 仮洋

あけぼの 工藤利吉編 GK050-12 イ

弘前 編者 大正 5 (1916) 1 冊 図版 四六 仮洋

田舎新誌 第 2 ～ 6 号 竹栖社編 GK050-1

弘前 編者 明治 21 (1888) 5 冊 (合 1 冊) 四六 仮洋
 註：衛生文学学芸等の会員月刊雑誌

うもれ木 第 2 号 筒井招志会 (徳差豊) 編 GK050-27

筒井 (東津軽郡) 編者 昭和 6 38 頁 菊 仮洋
 註：会員雑誌

巖鷺 第 1 号 巖鷺倶楽部編 GK050-22

岩崎 (西津軽郡) 編者 大正 13 (1924) 130 頁 菊 仮洋
 註：部員は岩崎村に關係ある者で中等学校以上の在学者
 及びその卒業者の有志からなっている

月刊北日本 第 1 巻第 1,2 号 GK050-9

北日本発行所 (下沢陳平) 編
 弘前 編者 大正 2 (1913) 2 冊 四六倍 仮洋
 註：陸奥史談会の機関誌的性格の雑誌

暁陽 (暁陽会誌) 第 8 輯 暁陽会 (朝陽) 編 GK050-25

弘前 編者 昭和 2 32 頁 菊 仮洋

月刊評論 月刊評論社編 GK050-32

八戸 編者 昭和 14 ～ 17 3 冊 菊倍
 内容：第 3 巻第 5 ～ 12 号 (昭和 14) 第 4 巻第 1 ～ 4,7 ～ 12
 号 (昭和 15) 第 5 巻第 1 ～ 5,7 ～ 10 号 (昭和 16) 第 6 巻第
 4 号 (昭和 17)

甲田の裾 甲田の裾社編 GK050-28

新城 (東津軽郡) 編者 昭和 6,14 10 冊 菊 仮洋
 内容：第 2 巻第 11,12 号 (昭和 6) 第 3 巻第 1 ～ 7 号 (昭和

6) 第 10 巻第 11 号 (昭和 14)
 註：癩療養所北部保養院内にある療友誌

蛟竜誌 第 1,2 号 蛟竜会編 GK050-10

柏木町 (南津軽郡) 編者 明治 41,42 (1908,09)
 2 冊 菊 仮洋
 註：蛟竜会は青年の風儀を矯正し研學を誘致し体育の奨
 励を計ることを目的とする会

行路 第 11 号 柳田謙十郎編 GK050-26

弘前 行路社 昭和 4 48 頁 三五 仮洋
 註：月刊同人雑誌

公論郷土 GK050-24

第 3 巻 6 月号 稲陵社 (柏幸次郎) 編
 弘前 編者 大正 15 (1926) 謄写 1 冊 菊 仮洋

こゝろ 第 1 巻第 1 号 青森郷土出版社編 GK050-8

弘前 編者 昭和 11 83 頁 菊 (綜合宗教学芸雑誌)

青藤 第 1 巻第 1 号 青藤倶楽部編 GK050-17

青森 編者 大正 10 (1921) 22 頁 四六 仮洋
 註：青森市藤田組所員よりなる団体の機関雑誌

東奥 第 1 ～ 3,5,6,7 号附録,8 号 GK050-2

東奥社 (小笠原精一) 編
 弘前 編者 明治 25,26 (1892,93) 7 冊 菊 仮洋
 註：論説通信叢録文芸彙報等の諸欄に分け學術技芸及び
 社会上の諸般の出来事の報道 月刊雑誌

東奥文学 第 2 号 GK050-3

東奥文学社 (平田孝次郎) 編
 弘前 編者 明治 26 (1893) 44 頁 菊 仮洋
 註：學術技芸及社会上諸般の出来事を報道し見聞を広
 くすることを目的とする月刊雑誌

東北健児 第1巻第1,3号 東北健児社編 **GK050-4**

蔵館(南津軽郡) 編者 明治30(1897)2冊 菊 仮洋
 註:東北少年義団の月刊機関誌 第1号は本部秋田県大館にあり第3号より東北健児社が本部と共に弘前に移る

東北之研究 東北研究会編 **GK050-13**

東京 編者 大正6~9(1917~20)16冊 菊 仮洋
 内容:第1巻第4~6号(大正6)第2巻第1,3~5号(大正7)第3巻第1,5号(大正7)第4巻第1号(大正8)第5巻第1号(大正8)第6巻第1,2,4,6号(大正9)第7巻第1号(大正9)
 註:東北地方を対象とした月刊誌

響 創元号 石川小学校響社編 **GK050-16**

石川(南津軽郡) 編者 大正9(1920)謄写 1冊
 半紙 仮和

弘前時報 第1巻第1号 弘前時報社編 **GK050-20**

弘前 編者 昭和7 43頁 菊 仮洋

弘前風俗画報 第2,6号 蒔苗三郎編 **GK050-5**

弘前 弘前風俗画報発行事務所 明治38,39(1905,06)
 2冊 菊 仮洋

弘前風俗画報 第6号 蒔苗三郎編 **GK050-6**

弘前 弘前風俗画報発行事務所 明治39(1906)
 44頁 写真1枚 菊 仮洋

弘前風俗画報 第1~3,5~7号 蒔苗三郎編 **GK050-7**

弘前 風俗画報発行事務所 明治38~40(1905~07)
 6冊 菊 仮洋
 註:第7号より弘前風俗時報と改題

陸奥之少年 第2号 八甲社編 **GK050-11**

青森 編者 大正2(1913)22頁 菊 仮洋
 註:月刊少年雑誌

陸奥の友 陸奥の友社編 **GK050-14**

東京 編者 大正7~昭和2(1918~27)14冊 菊 仮洋
 内容:第1巻第1,4,9号(大正7,8)第2巻第1,3,7号(大正9)第4巻第1,3号(大正11)第5巻第2号(大正12)復興第1号(大正13)第6巻第3号(大正14)更生第1,2号(大正15)更正第5号(昭和2)
 註:池田善左衛門主幹の青森県人雑誌

陸奥の友 陸奥の友社編 **GK050-15**

東京 編者 大正7~昭和2(1918~27)6冊 菊 仮洋
 内容:第1巻第1号 第4巻第1,3号 復興第1号 更生第2,5号

陽光 大正12年11月号 東門会養神部編 **GK050-21**

弘前 編者 大正12(1923)謄写 1冊 菊 仮洋

鷹揚 鷹城会編 **GK050-23**

青森 編者 大正14~昭和2(1925~27)3冊 四六 仮洋
 内容:第1巻第2号(大正14)第2巻第1号(大正15)第3巻第1号(昭和2)
 註:鉄道職員の会誌

K059 年鑑

東奥年鑑 昭和4~16,24~26年 **GK059-1**

東奥日報社編
 青森 編者 昭和3~26 16冊 四六 仮洋

東奥年鑑 昭和4,12,15,25年 **GK059-2**

東奥日報社編

青森 編者 昭和4~25 4冊 四六 仮洋

K060 学会 団体

国本社青森県支部会長名簿 **GK060-5**

大正15(1926)39頁 四六 仮洋

松陰先生記念会及び松陰室の由来 養正会編 **GK060-12**

弘前 編者 昭和7 10頁 四六

津軽協会総会記事 明治22年第1期 **GK060-1**

小笠原精一編
 弘前 学友通信会 明治22(1889)20頁 四六 仮洋
 (学友通信会第13号附録)

津軽仰徳会規約 附会員名簿 津軽仰徳会編 **GK060-6**

弘前 編者 昭和7 13頁 菊 仮洋
 註:旧津軽家臣及び在弘前の篤志者より成る会 昭和2年9月6日創立

津軽共保会々則 津軽共保会 **GK060-4**

[明治43](1910)13頁 四六 仮洋
 註:函館在住津軽出身者を以て組織する会

財団法人津軽厚志会寄附行為 津軽厚志会 **GK060-2**

弘前 明治37(1904)11頁 四六倍 仮洋
 註:津軽家代々祖先祭祀及び菩提所維持に必要な費用補助を目的とする会

〔津軽尚齡会〕会則 津軽尚齡会 **GK060-11**

明治45(1912)写 1冊 美濃 仮和

南郡郷友会会則 南郡郷友会 **GK060-7**

刊[昭和5]19頁 菊 仮和
 註:南津軽郡出身で弘前市及びその附近に在住する者を

もって組織する会	
〔函館青森県人会〕会則及び会員名簿 函館青森県人会 昭和5 11頁 四六 仮洋	GK060-8
〔函館青森県人会〕会則及び会員名簿 函館青森県人会 昭和5 11頁 四六 仮洋	GK060-9
〔明治会弘前支部〕会報 紀元2592年紀元節版 明治節版 明治会弘前支部編 弘前 編者 昭和7 2冊 菊 仮洋	GK060-10
財団法人養生会報告 養生会 弘前 明治39, 大正3 (1906,14) 2冊 四六 一枚物 仮洋 内容：明治38年度報告 明治39年度報告 幼稚園39年度報告 養生幼稚園寄附人名 会員名簿 第九回報告及び会員名簿 (自大正2年7月1日至大正3年6月30日)	GK060-3
K070 新聞 新聞学	
〔青森日報株式会社〕 青森日報株式会社創立事務所 大正9 (1920) 〔18頁〕 四六 仮洋 内容：青森日報株式会社設立趣意書 起業目論見書 収支予算書 定款	GK070-1
〔青森日报社〕営業報告書 第1回 自大正10年1月7日至大正10年6月末日 青森日报社 大正10 (1921) 31頁 四六 仮洋	GK070-2

K100 哲学	
K121 日本思想	
三重門図 山鹿素行 廷宝7 (1679) 写 (津軽玄蕃) 1枚 註：津軽玄蕃が山鹿素行の許諾によって写したもの	GK121-1
中朝事実 下 山鹿素行 (高祐) 刊 (延宝9 (1681)) 1冊 美濃 和 註：弘前藩で出版したもの	GK121-2
輔佐要論 間雲堂耕道子 (喜多村政方) 写 1冊 美濃 和	GK121-3
K123 経書	
書経講義 川越石太郎 (次泰) 写 2冊 半紙 仮和 内容：泰誓上・下 牧誓 武成 洪範 大禹謨 皋陶謨	GK123-1
K124 儒教 儒家	
积奠御儀式 寛政9 (1797) 1冊 半紙半 註：寛政9年2月藩学校において行われた	GK124-1
积奠御儀式 写 1冊 美濃	GK124-2
K148 相法 占い 運命判断	
氣之見様 (小笠原流秘卷) 享保13 (1728) 写 1帖 折本 註：勝本水右衛門より竹内亦市へ	GK148-5

諸用日記 写 1冊 半紙 仮和 註：諸事吉凶の日の撰び方	GK148-1
姓名新撰神秘術 天口堂主人 (鰐名又一郎) 青森 著者 明治37 (1904) 増補再版 (初版明治31) 128頁 菊	GK148-3
真精姓名判断術 鎌田晴山述 青森 著者 明治38 (1905) 114頁 菊	GK148-4
新説秘術法眼 海老名亦一郎 青森 著者 明治33 (1900) 143頁 四六	GK148-2
K150 倫理学 道德	
喜良市村道德団体規約書 喜良市村道德団体 明治39 (1906) 写 1冊 半紙	GK150-4
養生新論 伊東重 弘前 山崎峰二郎 明治27 (1894) 55頁 菊 仮洋	GK150-3
養生新論 伊東重 青森 山崎峰二郎 明治27 (1894) 55頁 菊	GK150-3 イ
養生哲学 伊東重 東京 南江堂 明治30 (1897) 139頁 菊 仮洋 註：伊東重は弘前の医者 東門会及養生幼稚園の設立者 (1857~1926) 人の競争力 (資力 体力 脳力) の余裕を生ずる道を (養財 養体 養神) 養生という	GK150-1
養生哲学 訂正増補 伊東重 東京 南江堂書店 明治40 (1907) 第2版	GK150-2

148頁 菊 仮洋			
K154 社会道德			
幌の窓から （路上公德と五官活用）鈴木三伯 GK154-1	楽斎家訓 楽斎 GK159-7	つたもの	
法奥沢村（青森県）小笠原耕一 大正14（1925）39頁 四六 仮洋	明治39（1906）写（敬斎）1帖 折本 大	無名郷 （俳諧問答）〔乳井貢〕 GK159-10	
		写 1冊 半紙半 和	
幌の窓から （路上公德と五官活用）鈴木三伯 GK154-2	窮居余論 森内繁富 GK159-6	K160 宗教	
法奥沢村（青森県）小笠原耕一 大正14（1925）39頁 四六 仮洋	写 1冊 半紙 仮和 註：森内繁富 文化3年（1806）に川原平蟄居中の著作		
K155 国体論 詔勅	窮居余論 森内繁富 GK159-12	黒石領御用留 GK160-12	
	文久2（1862）写 1冊 半紙 和	写（慶応頃）1冊 半紙 和 註：寺社関係御用留	
国精講習小輯 第1輯 GK155-1	諸大家々範 岩見常三郎編 GK159-9	公儀御条目写 GK160-1	
青森県国民精神文化講習所編 青森 青森県教育会 昭和10〔152頁〕 四六 仮洋 目次：古事記上巻並序附同直訳文 左右両思想と我が 国体（高橋幸太）教育学の改造（吉田熊沢）本居宣長 ・市川鶴鳴・沼田順義の学的論争に就いて（弥富破摩雄） 国学意識に於ける国性の意識（三浦圭三）	写 1冊 半紙 仮和	写 1冊 半紙 仮和 註：宗門旦那請合掟（慶長18年（1613）及諸寺院条目（貞 享4年（1687）の日本諸寺院への条目 宗門旦那請合掟は切支丹禁止宗門吟味の掟	
K156 武士道	新田閑暇晰 菊池寛司（正礼） GK159-5	御郡内寺社名前留帳 GK160-4	
	文久元（1861）写 1冊 半紙 和	文久2（1862）写 1冊 横小 仮和	
士之心得雑記 GK156-2	第一回善行録―善行者表彰記念― GK159-3	三章弁解 GK160-10	
万延2（1861）写（川越石太郎）1冊 半紙半 和	文武講習館編 木造（西津軽郡）編者 明治44（1911）21頁 菊 仮洋	写 1冊 半紙 仮和 註：明治5年（1872）に発布された三条教則即ち敬神愛 国之旨ヲ体スベキ事 天理人道ヲ明ラカニスベキ事皇上 奉戴シ朝旨ヲ遵守セシムベキ事の三章の小数院の教	
武教日用職書 貴田親豊 GK156-1	武田八代恒広履歴秘書 GK159-11	三条講録 GK160-11	
宝暦11（1761）写 1冊 美濃半 仮和	慶応元（1865）写（高山宗助（静））1冊 半紙 和 註：武田恒広は通称甚左衛門（初代） 武田八代とある が武田三代目である	明治8（1875）写 1冊 半紙 仮和 註：第三大区六小区（中津軽郡）高屋村愛宕神社田名部 貞陳の写本	
K159 教訓 人生訓	渡世肝要心得 岩見常三郎編 GK159-8	〔寺社一列御次第并禄高御扶持方惣禄并御目見以下寺社調 帳〕 GK160-5	
青森県善行録 青森県編 GK159-2	深山惣次 上,下 乳井貢 GK159-4	慶応4（1868）写 1冊 横小 仮和	
明治41（1908）42頁 菊 仮洋	文化5（1808）写 2冊 半紙 仮和		
	妙心院様ヨリ藤田衛門エ御教訓御書之写 GK159-1		
	〔津軽信政〕 写 1冊 美濃 仮和 註：津軽信政が親の恩 供養のことを藤田衛門に書き送		

〔寺社方御次第〕 GK160-2
写（文政頃）1冊 横小

寺社方御次第 GK160-6
明治2（1869）写 1冊 半紙半 仮和
註：御目見独礼之部と一統之御礼とに分けて順列したもの

寺社図式 GK160-9
写 1冊 横小 仮和
註：弘前町内の寺社所在略地図

寺社年中行事 GK160-8
写（慶応頃）1冊 横小 和
註：藩主忌日仏参三社参詣等

寺社分限帳 GK160-3
写（嘉永頃）1冊 横小 和
註：津軽諸寺社の分限帳 初めの部分虫喰いはなほだしい

津軽諸寺諸社留 GK160-7
写 1冊 横小 仮和
註：寺社の分限帳

K170 神道

青森県神職總會記録 第1回 GK170-3
青森県神職会編
大正6（1917）25頁 菊

神職執務便覧 青森県神職取締所編 GK170-2
明治43（1910）103頁 菊 仮和

神武天皇岩木山神社遙拝所豊国神社東照宮并津軽家祖先以来ノ靈ヲ合祀ニ付条約書（草稿） GK170-1
明治8（1875）写 1冊 半紙 仮和

K174 神異 神託

十三霊験 卷7下 GK174-1
写 1冊 半紙 仮和

K175 神社

愛宕神社縁起（高木村々社） GK175-38
写（明治）1冊 横長 仮和
註：青森県陸奥国南津軽郡尾上村大字高木村字原田鎮座

〔稲荷神社関係文書〕 GK175-19
写 6枚
内容：正一位稲荷大神璽授与之証稲荷仰社祭典係（明治21）金借用証長谷川清（明治25）旅行願斎藤徳右衛門・トヨ（明治21 京都伏見稲荷神社へ修行のため）証（永世読経祠堂料トシテ御寄附領取）常源寺 谷山了玄（明治29）弘前町大火の寄附褒状斎藤篤一（青森県明治13）書状1通相馬淑

岩木山縁記 土岐貞範 GK175-23
明治2（1869）写 1冊 半紙
註：文化8年（1811）土岐貞範の記述である

岩木山御室堂出来勘定調帳 川元忠吉 GK175-26
文久3（1863）写 1冊 半紙

岩木山考 GK175-28
写 1冊 半紙 仮和

奥州津軽岩木山古実記 GK175-24
弘化2（1845）写 1冊 半紙

国幣岩木山神社 岩木山神社社務所編 GK175-40

岩木村（青森県中津津郡）編者 大正13（1924）
36頁 9.4×16.8

岩木山神社案内 下沢陳平編 GK175-31
弘前 近松書店 明治36（1903）〔78頁〕四六 仮洋
附：県社高照神社縁起 下沢陳平編

岩木山神社案内 下沢陳平編 GK175-32
弘前 近松書店 明治36（1903）〔78頁〕四六 仮洋
附：県社高照神社縁起 下沢陳平編

岩木山神社案内 GK175-34
弘前 蒔苗三郎 昭和5 1枚

岩木山神社維持会規則 GK175-29
明治21（1888）1冊 美濃半

岩木山神社社格昇進の儀願書 GK175-30
佐藤政右衛門等
明治35（1902）写 1冊 半紙 仮和

岩木山神社修繕之儀ニ付願 明治14（1881） GK175-14
工藤清則等
写 1冊 半紙
附：岩木山神社修繕箇所大略仕訳書

氏神社宮修繕費協議割合帳 明治11年 GK175-5
新町駒越町総代（今泉蔵之助等）
明治11（1878）写 1冊 半紙 仮和
註：熊野宮の修繕

産神書付留 湯舟村庄屋 GK175-8
写（嘉永～安政）1冊 半紙 仮綴
註：湯舟村小屋敷村の産神についての書付留

覚（下居宮并遷座執行之儀断状） 百沢寺 写 1通	GK175-27	竹内安左衛門 写 1冊 横小 仮和 註：高岡御廟所御陳上之次第		文化3（1806）写 1冊 半紙 和	
御室堂切組諸事留帳（岩木山） 川元忠吉 文久3（1863）写 1冊 半紙半	GK175-25			東照神祖宝鏡記 戸沢惟顕 宝暦6（1756）写 1通 卷子	GK175-35
開運稲荷神社移転之儀願写 対馬源次郎等 明治20（1887）写 1冊 半紙 仮和 註：弘前塩分町佐藤又八邸内鎮座開運稲荷神社の移転願	GK175-20	高倉神社境内地 第四小区津軽郡湯舟村 木村志津摩 写（明治）1冊 半紙倍 仮和	GK175-12	日光山御参詣諸伺帳 文化6年 写 1冊 半紙 仮和（川越旧蔵本） 註：日光御参詣の際諸手順の伺 御用留から川越氏写す	GK175-1
県社八幡宮寄附帳 社務所 明治14（1881）1冊 美濃 和	GK175-41	高照神社 写 1冊 美濃 仮和 註：明治初年の書上	GK175-3	日光御参拝一件之書拔 寛政8年 御目付方 寛政8（1796）写 1冊 半紙 仮和	GK175-39
国幣岩木山神社境内全図 石田孝友写 東京 精行社（岩木山神社々務所蔵阪）明治40（1907） （銅板）1枚	GK175-33	高照神社報恩講社創設願 明治20年4月 山本松三郎等 明治20（1887）写 1冊 美濃 仮和 註：山本松三郎外2名の創設願及株金維持法概則条件	GK175-4	日光御参拝記 寛政8年 大道寺隼人 寛政8（1796）写 1冊 半紙 仮和 註：津軽寧親日光参拝の際御供家老大道寺隼人の記録	GK175-2
御藩内御崇敬神社調 社寺署 明治3（1870）写 1冊 半紙 仮和 註：明治3年朝廷へ届出のため	GK175-11	高山稲荷神社エ建築寄附名簿 斎藤徳右衛門等 明治20（1887）写 1冊 半紙 仮和 註：弘前上白銀町へ本社建築の寄附	GK175-17	八幡宮の図（弘前） 写 1枚	GK175-37
正八幡宮御縁記并諸旧記 玄乗房光明院 安政4（1857）写 1冊（合本）半紙 附：諸神社明細并社司修験由緒書上凡例 註：常盤組矢沢村所在	GK175-9	高山稲荷神社へ白狐様一向寄附名簿 尾崎寅蔵等 明治18（1885）写 1冊 半紙 仮和	GK175-16	〔平内神明宮の図面〕 写 1枚 48×64	GK175-22
堰神宮由来記（藤崎村鎮座） 藤崎堰神宮神主堰八豊後 安政5（1858）写 1冊 半紙 仮和	GK175-10	〔高山稲荷〕神社明細書 写（明治）1枚 24×33 註：弘前市上白銀町の高山稲荷神社のこと	GK175-18	弘前神明宮の図 宝暦9（1759）写 1枚 註：宝暦9年正月藩主社参の節役人詰図式	GK175-36
村社鹿島神社御由緒調査書 長利其江 明治36（1903）写 1冊（3部合綴）半紙 註：南津軽郡森山小金崎両村社	GK175-21	高山靈験記 写 1冊 半紙 仮和 註：高山稲荷神社の靈験記	GK175-15	奉獻物品録 明治10年12月 寄附係 写 1冊 半紙 仮和 註：高照神社へ献物品人名簿	GK175-13
高岡御棟上の事 正徳元年（1711）	GK175-6	鎮守稲荷宮略縁記 釈謙光（月峰院五世）	GK175-7	K176 祭祀	
				稲荷神社祭事費寄附帳 明治26年6月22日旧5月9日	GK176-18

写 1冊 横長 仮和		～66)まで		写 1帖 折本 中	
御行列帳 明治10年11月25日 写 1冊 横長 仮和 註：津軽為信高照神社へ合祀の際	GK176-16	最要中臣祓 其他 寛保元(1741)写 1冊 半紙 註：岩木山大権現への願文等	GK176-22	誕生引妻聞書 享保4(1719)写 1冊 半紙 和 註：竹内安親が勝本水右衛門から相伝した	GK176-28
御行列帳 明治10年 楠美晩翠(和民) 明治10(1877)写 1冊 半紙 仮和 註：津軽右百年陽神社へ合祀の際	GK176-9	白八幡宮御祭礼行列帳 明治23年(1890) 写 1冊 横小 仮和 註：鰯ヶ沢白八幡宮	GK176-17	〔東照宮貳百年御神忌御法会図式〕 文化12年 築館惣十郎 文化12(1815)写 1袋(3枚) 註：於東照宮ニ文化12乙亥年4月15日ヨリ貳夜三日貳百年御神忌御法会図式 御用懸 築館惣十郎	GK176-25
御祭事帳 明治10年11月 写 1冊 半紙 仮和 註：明治10年(1877)津軽為信高照神社へ御祭配についての祭事一件	GK176-12	神事御儀式帳 明治10年11月 写 1冊 半紙 仮和 註：津軽為信高照神社へ合祀祭礼儀式帳	GK176-14	〔日清戦争ニ付臨時祭典〕 〔高山稲荷神社〕祭典孫 明治27(1894)写 1冊 半紙 仮和 註：日清戦争ニ付皇軍全勝敵国降伏ノ臨時祭典御神楽修行祭式 於高山稲荷神社	GK176-19
御祭事帳 —為信公高照神社へ御配祀— 明治10年11月 写 1冊 半紙 仮和	GK176-13	神事御儀式帳 —鉄捧引人員調— 明治10年11月 写 1冊 半紙 仮和 註：津軽為信高照神社へ合祀の祭事	GK176-15		
御祭礼の節 天和2年 写 1冊 横小 仮和 註：弘前八幡宮御祭礼の御定書及び御作法	GK176-23	為信公御祭典調 明治11年 楠美晩翠 明治11(1878)写 1冊 半紙 仮和	GK176-10	八幡御祭礼之次第 宝暦10年8月15日 写(宝暦10(1760)1冊 横長	GK176-3
御神事諸件 明治10年 楠美晩翠 明治10(1877)写 1冊 半紙 仮和 註：高照神社に関する諸件	GK176-7	〔為信公高照神社合祀記録〕 明治10年 明治10(1877)写 1冊(合綴)半紙 仮和	GK176-11	八幡宮御祭礼御用留帳 宝暦10年 神力之助 写(宝暦10(1760)1冊 半紙 仮和	GK176-2
祈年祭及新嘗祭演義略 青森県神職会中津軽郡支部編 大正4(1915)115頁 菊 仮洋 註：藤井秀任の編さんしたもの	GK176-21	〔為信公高照神社合祀祭礼関係綴〕 〔楠美晩翠〕 明治10(1877)写 1冊(合綴) 内容：鉄捧持人員調 供奉可届出廉 亀甲町消防組行列帳 供奉ならび御警衛人員簿 外	GK176-8	八幡宮御祭礼帳 宝暦6年8月15日 写(宝暦6(1756)1冊 横小 和	GK176-1
熊野宮御神楽留帳 今泉伝八 写 1冊 半紙 仮和 註：新町名主今泉伝八の留帳 嘉永5～慶応2年(1852	GK176-6	誕生引妻一色用法 (雪荷流)竹内安貞編 享保14(1729)写(自筆)1冊 半紙 和	GK176-29	八幡御祭礼通筋并張番居所図 元文3年8月15日 元文3(1738)写 1枚	GK176-24
		誕生墓目射様之覚 (引目之覚)〔笹森〕建敬	GK176-31	引妻并鳴弦 写 1袋(2通) 註：勝本勝清からの聞書	GK176-30

秘術法余 **GK176-32**

明治 30 (1897) 写 1 冊 半紙 和

分課調 **GK176-26**

明治 10 (1877) 写 1 冊 半紙 仮綴
 註：津軽為信高照神社へ合祭の際の書類

鳴弦相伝 **GK176-27**

正徳 4 (1714) 写 1 軸 卷子 小
 註：木村典膳一中畑半右衛門（金満）から桜庭桑右衛門へ与えたもの

〔森岡金吾の祝詞〕 森岡金吾（元民） **GK176-5**

文化 2 (1805) 写 1 枚 32×45

〔森岡主膳の祝詞〕 森岡主膳 **GK176-4**

明和 8 (1771) 写 1 枚 40×48

和徳両社祭事費用寄附簿 **GK176-20**

甲 南側ヨリ東側 坂ノ上
 乙 北側ヨリ西側 坂ノ下
 明治 39 年旧 5 月 9 日 ,6 月 14 日
 写 2 冊 横長 仮和

K178 各教派

布留之詞并咫尺尋丈之口決 **GK178-1**

写 1 冊 20.9×14.3 和
 註：吉川源十郎（從興）一八木橋武右衛門一工藤勘左衛門一千葉縫殿右衛門一乳井孫之丞一楠美甚之助一諏訪喜太郎一諏訪勤宅

K180 仏教

御法義相続ニ付心得之十二ヶ条 **GK180-2**

写 1 冊 半紙 和

善光寺御用伺書 秋元金丸郎等 **GK180-4**

写 1 冊 半紙 和
 註：信州善光寺諸国巡国に汁巡行逗留中取扱方御用懸の伺

善光寺御用記 天明元 ,2 年 松井助右衛門 **GK180-3**

天明元 ,2 (1781,82) 写 3 冊 半紙 仮和
 註：天明元年善光寺巡行について御用懸仰付られた町年寄松井助右衛門の御用留

善光寺如来就巡行御用留書 **GK180-1**

延享 4 年自 2 月至 9 月 松井四郎兵衛
 延享 4 (1747) 写 3 冊 半紙 仮和
 註：町年寄松井四郎兵衛の御用留

千里眼 第 1 号 東奥仏教彰真会編 **GK180-7**

弘前 編者 明治 32 (1899) 1 冊 菊 仮洋
 註：東奥仏教彰真会の月刊機関雑誌

弘前貞昌寺飛脚仙台城下エ往反御用儀相勤候諸始末之覚

写 1 冊 半紙 仮和 **GK180-5**
 註：嘉永 2 年 (1849) 遊行上人巡行についての仙台行飛脚青森町俵屋久助武田屋定右衛門の覚

仏説抄 森内繁富 **GK180-8**

写 1 冊 半紙 和

御影様御座所修覆御手伝志帳 **GK180-6**

弘前十七日講中
 文久 3 (1863) 写 1 冊 半紙 仮和
 註：歓喜光院様御直影御座所の修復の寄附帳 歓喜光院は真宗大谷派本山第 19 世釈乗如（光遍）

K184 法話 説教集

法話栞 **GK184-1**

明治 15 (1882) 1 冊 半紙半 和

K185 寺院 僧職

阿闍羅山縁起 **GK185-49**

写 1 冊 半紙 和

油川岡町両村円明寺給地田畑毛切帳 **GK185-22**

天保 3 (1832) 写 1 冊 美濃 仮和

阿弥陀如来由来書（賀田村吉祥庵） **GK185-23**

大正 3 (1914) 写 1 冊 半紙 仮和

岩木山百沢寺光明院 釈朝祐編 **GK185-43**

写 1 冊 美濃
 註：百沢寺十世釈朝祐が元禄 14 年（1701）に編した縁起および岩木山境内附什物記

上野東叡山津梁院開基之来由（御屋敷江常福寺御由緒略覚）

写 1 冊 半紙 和 **GK185-12**
 外題：東都津梁院開闢之来由（津軽一統志副書）

宮繕施志名簿（革秀寺）小笠原定巖 **GK185-38**

明治 14 (1881) 写 1 冊 半紙倍 仮和
 註：革秀寺の奉加の趣意書

奥州津軽覚勝院由緒書 **GK185-17**

写 1 冊 半紙 仮和

奥州津軽惣法中草創寺別帳 文化 15 年 **GK185-2**

文化 15 (1818) 写 1 冊 横長 仮和
 註：津軽の浄土真宗の建立の年代

大根子村不動明王堂（田舎館大蔵院） **GK185-44**
写 1冊 半紙 和
註：元禄年間書上宮帳の控

覚 文久2年 覚勝院 **GK185-16**
文久2（1862）写 1冊 横長
註：大根子村覚勝院 不動尊堂開帳祈禱執行の辻札を建てるについての願書

覚（浪岡村玄德寺）玄德寺恵灯 **GK185-19**
万延2（1861）写 1冊 半紙 和

御屋舗江常福寺御由緒略覚 常福寺 **GK185-10**
写 1冊 美濃 和
註：享保15年（1730）常福寺寺格引直しの際同寺の内緒略覚

御屋舗江常福寺御由緒略覚 **GK185-11**
写 1冊 罫紙 仮和（楠美旧蔵本）

御留主中諸日鑑簿 **GK185-29**
明治2年5月5日～7月4日
明治2（1869）写 1冊 半紙
註：長勝寺俊応京都へ登り留守中日記

金沢山観世音縁起・普門庵正観世音縁起 **GK185-39**
昭和6写 1冊 半紙 仮和
註：茂森の観音堂の縁起 明治17年（1884）のもの

奥州南部宇曾利山釜臥山菩提寺地藏大士略縁記
吉祥山円通寺 **GK185-45**
文化7（1810）後摺 1冊 半紙

寄附名簿（有志輩）明治12年 長勝寺 **GK185-36**

明治12（1879）写 1冊（7冊合本）半紙

組内明細簿 **GK185-20**
明治12（1879）写 1冊 半紙 仮和
註：弘前及黒石の浄土真宗各寺院で差出した明細書綴

御一家諸御用留帳 明治5年正月 道源 **GK185-8**
写 1冊 半紙 仮和
註：報恩寺の津軽家との寺務書類

公用留帳 寛政4年正月 真教寺（浄国） **GK185-1**
寛政4（1792）写 1冊 半紙 仮和
註：寛政4年中の真教寺支配寺院の公用に関する留書

御在御用留（長勝寺） **GK185-27**
嘉永5年從正月元日到三月晦日 昌運
嘉永5（1852）写 1冊 半紙 仮和

五山由緒 **GK185-14**
写 1冊 半紙 仮和
註：真言宗五山関係寺領石高及藩主寄進物記（百沢寺最勝院等初の部分を欠く）

後住選定ニ付御届（法立寺）花田東秀等 **GK185-42**
明治33（1900）写 1枚 25×34 一枚物
註：弘前法立寺住職後任に山谷日心が決定の旨の届書

〔御本山御類焼につき諸書状の写〕 **GK185-47**
安政6（1859）写（岩見忠兵衛）1冊 半紙
註：東本願寺本殿安政5年類焼

御用留指南 貞享元年～享和3年 **GK185-24**
長勝寺三十六世代
嘉永6（1853）写 1冊 半紙 和
註：長勝寺の御用留を抜書し部類別に編纂したもの

猿賀山長命院神宮寺縁起及宝物調 **GK185-7**
写 1冊 美濃 和
註：縁起は元禄14年（1701）宝物調は元禄16年頃

証拠書類写 多田栄 **GK185-15**
大正4（1915）写 1冊 半紙 和
内容：知行目録（百沢寺）百沢村十腰内村松代村新法師村十面沢村当収納取ヶ帳（文政13（1830）太田源司）岩木山境内小沢分帳写（文化3（1806）陸奥国津軽郡鼻和庄百沢村御検地水帳（貞享4年（1687）大道寺隼人間宮求馬）〔弘前支庁よりの記〕証明願（明治43（1910）多田栄）註：百沢寺関係書類写 多田栄は旧百沢寺住職の相続者

常什物取調書 明治20年 花山東秀等 **GK185-41**
明治20（1887）写 1冊 半紙
註：本迹院の常什物取調書

大平山長勝精舎記 戸沢勝之亟（利貞） **GK185-33**
安政2（1855）写 1冊 半紙 仮和
註：稽古館用紙使用

太平山長勝禪寺山門上梁文 釈独翁（全宿） **GK185-34**
写 1冊

長雲山藤先寺縁起 **GK185-37**
写 1冊 半紙 仮和

長勝寺御手入子様控帳 嘉永6年 川元忠吉 **GK185-35**
写 1冊 横長 仮和
註：長勝寺修繕仕様控帳

〔長勝寺〕吉凶帳 安政4年～元治元年 **GK185-28**
安政4～元治元（1857～64）写 1冊 半紙 仮和

〔長勝寺記録〕 写（嘉永頃） 1冊 半紙	GK185-32	〔貞昌寺留帳〕安政5年 安政5（1858）写 1冊 半紙 和	GK185-52 注：報恩寺々務取扱の留帳 明治5年より8年まで K186 仏会（巡礼）
〔長勝寺日記〕 文政4年6月～9月〔副司孝順〕 文政4（1821）写 1冊 半紙	GK185-25	東奥戒壇 拓本 1枚 注：南津軽郡法嶺院額の拓本 白川楽翁書という	〔岩木山百沢寺御本尊札〕 刊 2枚 GK186-9
〔長勝寺〕日記 文政5年自正月元日到3月29日 孝順 文政5（1822）1冊 半紙 仮和	GK185-26	日鑑簿 明治13年従3月 悦禅 明治13（1880）写 1冊 半紙 仮和 注：長勝寺の日記	GK185-30 御国三拾三番納経帳 安政2年 安政2（1855）写 1冊 半紙 仮和 注：願主 和徳組百田村の勇助 GK186-7
長勝寺之御影拝見之覚 〔斎藤〕八郎左衛門（規方） 文政9（1826）写 1冊 半紙半 和	GK185-51	〔日鑑簿〕 明治14（1881）写 1冊 半紙 仮和 注：明治14年1月より9月までの長勝寺日記	GK185-31 御国札所順礼記 天保2（1831）写 1冊 半紙 和 GK186-2
〔智隆庵得聞奉加帳〕智隆庵得聞 文政8（1825）写 1冊 美濃 和 注：南津軽郡山形村温湯	GK185-21	弘前并所々寺記 遠山寛愛 文化8（1811）写 1冊 半紙 和	GK185-3 西国三拾三番御国三拾三番 観世音菩薩御讃歌 GK186-3 明治29（1896）写 1冊 半紙半 仮和
〔津軽浄土宗寺院〕 写 1冊 半紙 注：津軽の浄土宗寺々とその住職	GK185-18	報恩寺境内地図（弘前） 写（明治）1枚 注：陸奥国中津軽郡弘前新寺町報恩寺境内地図	GK185-48 西国三拾三所順礼記并御国三拾三番順礼神歌 GK186-8 写 1冊 半紙半 仮和
津軽禅家附真言五山天台四山 安政6（1859）写 1冊 半紙 仮和	GK185-4	陸奥国下北郡田名部恐山之絵図別当円通禅寺 熊谷全応 田名部町 著者 明治26（1893）1枚	GK185-46 西国三十三所納経記 嘉永2年 伊藤助治郎 GK186-6 嘉永2（1849）写 1冊 半紙 仮和 注：堀越村松木平の伊藤助治郎の西国三十三所に納経した記録
天台宗縁記 元禄14年 釈恕覚等 写 1冊 美濃 和 注：天台宗諸寺院縁起志の写本	GK185-5	明細帳（猿賀山東光院）小林道詢 明治23（1890）写 1冊 美濃 和 注：東光院住職 小林道詢書上帳	GK185-13 慈覚大師石像記 GK186-1 写 1枚 25×34 一枚物 注：むつ市恐山にある慈覚大師（釈円仁）作の石仏（漢文）
天台宗境内什物記 宝永元年 釈恕覚 宝永元（1704）写 1冊 美濃 和 注：津軽天台宗四山薬王院報恩寺神宮寺袋宮寺の什物記	GK185-6	目屋溪清水観音縁記 明治25（1892）写 1冊 半紙 和	GK185-50 奉納経帳 天保12年 与助 GK186-5 天保12（1841）写 1冊 半紙 仮和 注：願主奥州津軽白川庄和徳組百姓与助
		元記録署従支庁諸触留帳 道源 明治5～8（1872～75）写 1冊 半紙 仮和	GK185-9 奉納四国八十八ヶ所 天保12年 与助 GK186-4 天保12（1841）写 1冊 半紙 仮和

註：願主奥州和徳組百田村百姓与助

K188 各宗派

一二以呂波和讃〔釈無能〕 GK188-3

文政13(1830)写 1冊 半紙、仮和
註：黒森山浄仙寺寂導の写本

一宗日用掟規 嘉永7年 長勝寺役寮 GK188-23

嘉永7(1854)写 1冊 半紙 和

円満寺白銀并カニタ浦川廿二日講中江別御教示

文政9(1826)写 1冊 半紙 和 GK188-14
内容：易行院御演説 円満寺白銀并カニタ油川廿二日講
中江別御教示 道宗廿一ヶ条

御直命并ニ御演説・御納戸御書翰并御融通ニ付御趣意書

嘉永6年 GK188-25
写 1冊 半紙・和

開運 第1号(御経部)満行院開運講編 GK188-24

弘前 編者 昭和2 30頁 図版 8.8×12.8

家内法義示談 釈恵覚 GK188-22

写 1冊 半紙 仮和
註：賀田吉祥庵住恵覚 他力安心法義家内示談

〔願照寺説教〕 GK188-4

文政9(1826)写 3冊 半紙
註：願照寺は青森正覚寺境内にあり 明治30年五所川
原に移る 文政9丙戌年10月25日26日27日於惣会所御
書立拝読并演説

京都詰所書状(京都津軽詰処高屋嘉治郎より到来書状写)

十七日講中 GK188-13

文政9(1826)写 1冊 半紙 和

黒石御教示(9月29日前坐円覚寺一同御教示) GK188-21

写 1冊 半紙 仮和

黒石両寺御指向御教示 円満寺副講師 GK188-20

写 1冊 半紙 和
註：越中円満寺講師の感随寺円覚寺においての教示

玄題帳 高橋新蔵祖母 GK188-10

明治17(1884)写 1冊 半紙 仮和
註：津軽地区の日蓮宗9ヶ寺の御題目を書き集めたもの

孝行物語 GK188-11

写 1冊 半紙
註：文化14年(1817)弘前天徳寺に來た弁隨和尚の説
いたもの

御教示(於羽野木沢村於白銀村) GK188-7

安政7(1860)写 1冊 半紙 和

御教示(木造村西教寺に於て) GK188-9

安政7(1860)写 1冊 半紙 和

飯詰村於法林寺御教示 GK188-18

安政7(1860)写 1冊 半紙 和

僧俗一同御教示 一弘前一 円満寺副講師 GK188-19

写 1冊 半紙 和

月次御示談講 嘉永5年正月 GK188-17

親方町下土手町尼講中
嘉永5(1852)写 1冊 半紙

貞伝上人東城念仏利益伝 上 獅谷宝洲編 GK188-2

京都 元文2(1737)1冊 美濃 和

註：貞伝上人(釈良船)の伝記 東津軽郡今別町本覚寺
住職

羽之木沢御教示 GK188-8

写 1冊 美濃 仮和

東本願寺御講者円満寺御差向御教示之写 GK188-15

文政12(1829)写 1冊 半紙 和
註：戊子文政11年9月13日ヨリ21日迄感随寺ニ於テ同
24日ヨリ2?日迄円覚寺ニ於テ御教示被為成両寺相済同
2?日朝青森江御立

弘前講中別御教示 GK188-6

写 1冊 半紙 和
内題：弘前(9月)28日22日両講中御教示三席

弘前僧俗一同御教示 GK188-5

写 1冊 半紙 仮和
註：文政11年(1828)9月真教寺に於て 御差向講者
越中之平田円満寺詞〇〇於真教寺

福円録 GK188-16

天保15(1844)写(釈法岸)1冊 半紙 和
註：天保14癸卯年9月下旬越後福順寺老僧(65歳)黒石
感随寺ニテ法話

〔本山差向御教示〕文政11年 GK188-26

写 1冊 半紙 和

遊行上人扱向 嘉永2年4月 GK188-12

嘉永2(1849)写 1冊 半紙 仮和
註：嘉永2年遊行上人青森廻着ニ付伺之済口

遊行上人略縁記并宝物來由記 木立守貞 GK188-1

明和 9 (1772) 写 (自筆) 1 冊 半紙 和

K190 キリスト散

〔小泊村長松切支丹類族覚書〕 GK190-2
文化 9 (1812) 写 1 冊 横長

〔古切死丹類族土手町中田庄三郎子権太郎死骸見分之覚〕 GK190-1
元禄 9 年 松井四郎兵衛
元禄 9 (1696) 写 1 枚

封永生 山鹿旗之進編 GK190-3
東京 教文館 明治 32 (1899) 〔135 頁〕 四六

K 2 0 0 歴史

K200 歴史

覚書 川越石太郎 (次泰) GK200-1
明治 3 ~ 29 (1870 ~ 96) 写 1 冊 仮和 半紙半
註: 聞書及諸書の抜書 主として津軽藩史に関するもの

御精進日覚 其他 GK200-2
写 1 冊 横小 和
註: 藩主精進目 津軽城主 津軽三庄 弘前平山城
御城下広狭 御領分広狭 社堂 御領内寺数 等

K203 辞書 書目 年表 絵図

〔青森〕御仮屋の図 GK203-22
写 1 枚

戌亥御櫓台下夕地形御手入伺之図 GK203-19
写 1 枚

〔絵図〕宝暦 10 年 7 月 黒石勘左衛門 GK203-26
宝暦 10 (1760) 写 1 枚
註: 御下向の節御書院より御広間迄御住居并御役人中
御掃除御見分の節御掃除奉行下奉行詰席図式

見聞日記 GK203-1
天明 5 (1785) 写 1 冊 半紙 仮和
註: 大永 6 年 (1526) より天明 4 年までの簡単な年譜

公儀目付衆石川将監村上大学当所御仮屋見分被成候付飾付
の図 寛政 5 年 8 月 山中六左衛門 GK203-28
寛政 5 (1793) 写 1 枚
註: 青森御仮屋か

公務年譜 GK203-5

写 1 冊 半紙 和
註: 津軽為信天正 18 年 (1590) より津軽承昭文久元年 (1861) まで藩主の公務年譜

御祭礼の節縄張御持筒足輕居置候図 GK203-27
安永 5 年 9 月 15 日
安永 5 (1776) 写 1 枚
註: 八幡宮祭礼の節三の丸の警固配置図

御城内屋敷割 元禄年間 GK203-10
明治 32 (1899) 写 1 枚

御湯治先図 GK203-23
写 1 枚

諸事覚 GK203-29
寛政元 (1789) 写 1 冊 半紙 和
註: 正保元年 (1644) より延享元年 (1744) までの簡単な年譜

〔書類目録〕 GK203-8
写 (文久 2 (1862) 頃) 1 冊 半紙 仮和

大藩歴年図 棟方実勝 GK203-3
写 1 冊 横小 仮和
註: 永禄 10 ~ 文化 7 (1567 ~ 1810) 年間の年表

〔津軽年代記〕 GK203-9
写 1 帖 折本 小
註: 永禄元 ~ 貞享 4 (1558 ~ 1687) まで

二千年袖鏡 GK203-7
明治 3 (1870) 写 1 冊 半紙 仮和
註: 末尾に天明 3 年 (1783) 津軽郡内餓死者人数 田畑

損毛 明治3年十三町水戸口切り開きの記事あり			
年代記序 并附録 棟方実勝 写 半紙 仮和 註：主として藩主に関する事項別の年代記 寛政3年 (1791) まで	GK203-4	陸奥国弘前城絵図 延享5年4月 延享5(1748) 写 1枚 註：陸奥国弘前城損所の覚(津軽岩松(信寧))	GK203-11
箱館御固所之図 写 1枚	GK203-25	陸奥国弘前城絵図 延享5年4月 延享5(1748) 写 1枚 註：陸奥国弘前の城損所の覚(津軽岩松(信寧))	GK203-12
〔藩主巡行平館村御宿之図〕(津軽藩) 写 1束 仮綴	GK203-24	陸奥国弘前城絵図 延享5年4月 延享5(1748) 写 1枚 註：陸奥国弘前城損所の覚(津軽岩松(信寧))	GK203-13
百人小遣役所之図 元禄16年6月 元禄16(1703) 写 1枚 29×42	GK203-20	陸奥国弘前城絵図 明和3年7月 津軽出羽守 明和3(1766) 写 1枚 註：陸奥国弘前城櫓塀門柵立破損并押倒所々	GK203-14
〔弘前城郭之図〕 写 1枚	GK203-17	陸奥国弘前城絵図 明和3年 津軽出羽守 明和3(1766) 写 1枚 註：陸奥国弘前城櫓塀門柵立破損并押倒所々	GK203-15
本城裏土居崩之図(弘前城) 写 1枚	GK203-18	陸奥国弘前城絵図 写 1枚 註：陸奥国弘前城石垣破損并土居地切崩候付テ築直の絵図	GK203-16
本藩歴年亀鑑(津軽歴年備考) 写 1冊 半紙 和 註：大永6年～文化10年(1526～1813)間の年表	GK203-2		
万暦年代鑑 元治2(1865) 写 1冊 半紙半 仮和 註：宝暦10(1760)～元治2年間の暦及元和元年～安 政6年(1615～1859)の作柄値段及天変地異等を記す	GK203-6		
三厩陣々之図 写(安政)1袋 註：三馬屋台場構築図および陣屋の間取図	GK203-21		
		K205 雑誌 逐次刊行書	
		奥羽史料 第3回1巻 佐沢広胖編 仙台 香雪精舎 明治25(1892) 1冊 半紙 仮和	GK205-2
		史蹟名勝天然記念物調査報告 第1,2輯 青森県史蹟名勝天然記念物調査会編 青森 青森県庁 大正13,4(1924,25) 2冊 菊 仮洋 内容： 第1輯 史蹟之部(旧弘前藩学校稽古館 北津軽郡相内	GK205-1
		村ノ遺跡 唐馬ノ碑)天然記念物之部(椿山ノ山茶林 八甲田山高山植物 さくらそう自生地) 第2輯 史蹟之部(根城館址 寺下灯明台趾及五重塔址 妙野古牧場蹟 善知鳥前古蹟)	
		K208 叢書 全集	
		弘藩明治一統誌 内藤官八郎 写 2冊 半紙 和 内容：寺院縁記録 人名録 註：明治30年頃脱稿したと思われ ほかに月令雑報摘 要抄 神社縁起録等と共に叢書をなす	GK208-1
		K209 有識故実 儀式典例 行幸啓 御成	
		青森県行啓記念事業 青森県庁編 青森 編者 明治41(1908) 76頁 菊 仮洋	GK209-37
		青森県に於ける明治天皇の御遺蹟 青森県編 青森 編者 大正4(1915) 206頁 菊	GK209-40
		大納戸役取扱覚書 写 1冊 半紙半 仮和 註：献上并御召料被下方直段定 御召物御献上物仕進方	GK209-17
		御成帳 元禄14年3月12日 元禄14(1701) 写 1冊 美濃 仮和 註：津軽信政が津軽玄蕃宅へ御成の節の留帳	GK209-3
		覚書 写 1帖 折本 小 註：御目見及月並御礼の座敷等のこと	GK209-15
		行列書 写 1帖 折本 小	GK209-8

金姫様御出御略供御行列帳 GK209-27
写 1冊 横小 和

稽古知今 棟方実勝 GK209-19
写 1冊 横小 仮和
註：冠婚葬祭 吉凶 官職

公義御献上式 GK209-2
写 1冊 半紙 仮和
註：元禄2年文化2,6,8,12年（1689,1805,09,11,15）の公義への献上の際の規式覚

皇太子殿下下行啓献詠沓件及信政公御贈位沓件 GK209-38
明治41年
明治41（1908）写 1袋

御巡幸供奉人名 明治14年9月 GK209-23
写 1冊 半紙半

御巡幸ノ竜駕ヲ津軽地方ヘケ枉ラル、ヲ請ヒ奉ル哀願書
明治14年6月（1881）笹森儀助 GK209-21
写 1冊 半紙
註：青森県中津軽郡長笹森儀助の哀願書

御昇進御高直御規式帳（御台所） GK209-5
写 1冊 半紙半（微）和
註：文化6年（1809）十万石高 四品叙爵の御祝儀 御能見物仰付 御料理等御祝下された際の御台所の規式帳

御着城・御発駕・御下浜（御省略中） GK209-26
写 1冊 美濃 和

御通輦沓件 明治14年9月9日 GK209-24
明治14（1881）写 1冊 半紙 仮和

註：御巡幸道筋之義に付いての願その他 中津軽郡人民
惣代大道寺繁禎の一件留

御通輦宿泊割 明治14年9月 GK209-22
写 半紙 仮和
註：明治14年（1881）東北巡幸の際弘前に於ける宿泊
割り

御通輦諸記録 明治9年7月 明治14年8月
写 1冊 半紙 仮和 GK209-25
註：明治9,14年（1876,81）の青森県行幸の際

近衛家御移徙行列 GK209-9
寛政7（1795）1冊 横小 仮和
註：寛政7乙卯年11月14日卯半刻 川原御殿御出門（京都）

御入部御着城御規式 GK209-7
天保10（1839）写 1冊 半紙 仮和
註：天保10年入部の際の諸事取極

四季衣服定并色々留帳 GK209-16
写 1冊 半紙半 仮和

四品以上御大名様方御席附御人別御次第覚書 GK209-6
文政5年3月改 川越清吉
文政5（1822）写 1冊 横小 和
註：文政5年正月改メ御上様江差上候控

大嘗祭大意 青森県神職会（藤井秀任）編 GK209-39
〔大正4〕（1915）144頁 菊

著具之次第 GK209-33
天保6（1835）写 1通
註：横島理三郎（安平）から棟方勇八へ

着具次第 GK209-34
天保14（1843）写 1連
註：貴田十郎右衛門（惟良）から沢升作へ与えたもの

長慶天皇御陵関係古書之写 GK209-35
写（明治）1冊 半紙 仮和
註：中津軽郡相馬村にある御陵墓参考地関係古文書

朝廷ヨリ拝領物・旧幕府ヨリ被下物・幕府エ献上
写 1冊 横長 仮和 GK209-29

手鑑 GK209-20
写 1冊 横小 和
註：江戸詰の黒石藩士が書いたものか 諸規式等中央
のものが大部分

武家學要 GK209-4
写 1冊 半紙半 仮和
註：江戸城年中出仕衣服 西丸江出仕之覚 供連之覚
下馬より下乗迄 御席順等武家の諸次第 文政元年
（1818）の記事あり

服忌覚書 GK209-14
写 1冊 美濃半 和

〔服忌図式〕 GK209-18
写 1冊 横小 仮和
註：津軽信政より津軽寧親までの発駕着城の年譜が附記
されている

服忌令（元文御改）附服忌令図説 GK209-12
写 1冊 半紙半（横） 仮和

服忌令 GK209-13

写 1冊 半紙 和

服忌令惑問 平井憲章 GK209-28

文化 4,5 (1807,08) 写 1冊 半紙 和

〔明治天皇行幸関係文書〕 明治 14 年 GK209-36

明治 14 (1881) 写 8冊

内容：産馬天覧供度願 安門瀑布図天覧ニ供度願 御通輦ニ付橋名ヲ付スル件 弘前町御泊宿割絵図 道路橋梁費諮門 緑門入費各町江割賦調 御通輦之節奏楽仕度願 附奏楽履歴書 関係電報文 (4通)

要記秘鑑 GK209-1

写 14冊 半紙 和

内容：

3 御家 (高照霊仕御意書 (高照霊社三話記) 御自筆御書付立写)

7 公義 (御献上之部 不時御献上之部 御朱印御系譜之部 供奉之部 日之九回胎立部 長崎倭物方之部 若君様之部 御書付之部 御届之部 御顔御伺之部 於御国元鳴物停止普請作事日数御定 諸事之部 近衛醍醐様之部 武家諸法度 中田御関所之部 公方様御規式御参詣之部 同所々御成御行列之部 越後御検地之部)

8 御家 (御誕生之部 御子様方 御目見部 御月並部 御縁組部 御家督之部 御隠居部 不時御登城部 御官位御官名 御承祖部 御養子部 御上下諸事 御靈膳并御精進 御拝并御配膳部 日光御参詣記 高覧之部 御出之部 御名代御使者之部 善光寺廻著御取扱 他領ヨリ使者 御機嫌伺之部 御逢之部 御逝去之部)

10 御在国 (御煤取御規式 大晦日御規式 年頭御規式 御具足餅御祝儀御規式 御語初御規式 御講初御規式 但古来御本當之式江点羽付 儼名御規式 年頭御規式 但古来御本當之式江点羽付) 御留守 (御煤取御規式 大晦日御規式 年頭御規式 儼名御規式 御年始御祝儀料理事并御能御規式 御発駕御祝儀御料理事并御規式

御著城御規式 御発駕御規式 御著城御祝御料理料理事并御能御規式 御城中御郭廻諸番所御本當之式 御規式被仰出諸事)

11 頭方 (三組頭 諸物頭 御中小性頭御徒頭 御手弓頭御手筒頭御手道具頭 組引渡)

12 御家中 (御家中被仰出之部 御城中被仰出之部 御広敷中之口所々御門御定書并御留守中勤番之覚 所々御門御条目并御道具之覚 御目見之部 月並之部 御奉公見習同御免并里方江引取之部 御紋形之部 衣類之部 名改之部 苗字改之部 組替之部 次第之部 御書出御印之部)

13 御家中 (湯治之部 在御暇之部 駕籠之部 雪船之部 幕之部 月代執之部 産穢之部 附添之部 師役之部 誓詞之部 御業并御医者之部 供廻并諸往来之部 一統御触之部)

14 御家中 (養子養弟養女養妹之部附嫡孫承祖 縁組之部 年若ニ付里方江引取并養生等之部 袖留之部 前髪執之部 惣髪剃髪之部 摘髪之部 諸御礼之部 杖御免之部 足袋之部 御役御免之部 隠居之部 末期の部 忌中忌明之部 家督之部 申立之部 御飛脚之部 登下之部 御家中江戸上方上下道中渡金覚)

15 吉事差上物 (御役替之部 帰参之部 分知之部 御褒美被下物之部 差上物御定 差上物之部 御賄之部 他領者より差上物之部 他領者江被下物 御家中并寺仕方分限高調 御家中跡式定)

16 御側廻 (御側廻 奥通之部 御小納戸 大納戸 坊主方) 御広敷 (被仰出之部 御前様御子様方之部 瑤池院様御前様御行列 御産婦之部 御部屋様并御女中 満佐姫様御縁組一件 申立之部) 御台所 (被仰出之部 御台所頭之部 吟味役請払役 御料理方 漁師頭 御家具方) 茶之湯次第書

23上 町之部1 (被仰出之部 御奉行之部 御目見之部 御紋形之部 衣類之部 町年寄之部)

23下 町之部2 (御役銭御定 所々御役銭并御米納高 町医之部 八幡御祭礼之部 申立之部 牢屋之部 揚屋

之部 長吏彈左衛門由緒書 松倉伊賀守掟状 公義評定所法式并公事訴訟取捌之部)

24 勘定所 (被仰出之部 勘定奉行之部 御米方之部 御廻船之部 両替之部 金銀錢譜 御用達之部 御登セ物御下シ物 押物拾物 御払物之部 御荷物之部 所々御蔵方之部 四奉行 余米渡之部 知行俵子金給扶持方相当割)

35 変被仰出之部 両都御屋敷御類焼并弘前火事 在浦火事 山火事之部 地震之部 洪水之部 大風之部 出奔之部 (三項のみ以下欠)

義陸公御入部御行列帳 安政 2 年 5 月 11 日 GK209-11

慶応 2 (1866) 写 (源芳康) 1冊 横小 和

註：久保田 (秋田) 藩佐竹義陸御入部の際

義厚公御入部御発駕御着城御行列帳 GK209-10

文政 8 (1825) 写 1冊 横小

註：文政 8 年秋田藩主佐竹義厚御入部の節

鑑著之次第 GK209-30

文政 5 (182.2) 写 1通

註：今八郎次 (寛衆) から桑田八蔵へ

鑑著之次第 GK209-31

文政 9 (1826) 写 1通

註：今八郎次 (寛衆) から小野忠太へ

鑑著之次第 GK209-32

天保 6 (1835) 写 1通

註：牧野左次郎 (発暉) から棟方弥五兵衛へ与えたもの

K210 通史 文化史

〔葛西秘録〕 葛西清雄編 GK210-14

文化 13 (1816) 写 (自筆) 1冊 半紙 仮和

註：津軽の開祖より享和3年（1803）に至る編年史 巻頭に本藩濫觴実記を記載している 本書には書名を欠いているが、仮りに封内事実秘苑旧目記にある葛西秘録に当てた

津陽実録 **GK210-11**

写 1冊 半紙 和

註：津軽開闢之事に始まり御先祖代々考略まで 48 篇のうち第 24 篇油川奥瀬善九郎追討之事まで 以下欠 津軽大成記という

津陽実録 **GK210-12**

写 1冊 半紙 和

註：津軽大成記ともいう 48 篇のうち第 24 篇まで

津軽一統志 **GK210-1**

相坂兵右衛門（則武）伊東八右衛門（祐則）共編 桜庭半兵衛（正盈）校閲

安永 5（1776）写 4冊 半紙 仮和

内容：首巻 附巻 巻 1～4 巻 5～9 巻 10（上中下）（附巻は巻 10 に含まれる）

津軽一統志 **GK210-2**

相坂兵右衛門（則武）伊東八右衛門（祐則）共編 桜庭半兵衛（正盈）校閲

写 5冊 半紙 和（川越旧蔵本）

内容：首 1 巻 附 1 巻 巻 1～10 下

註：藩主の命により編し享保 16 年に成った藩史

津軽一統志 **GK210-3**

相坂兵右衛門（則銭）伊東八右衛門（祐則）共輯 桜庭半兵衛（正盈）校閲

写 5冊 半紙 和

内容：首巻 巻 5 巻 10 の上中下

津軽一統志 巻 1～5 **GK210-4**

相坂兵右衛門（則武）伊東八右衛門（祐則）共編 桜庭

半兵衛（正盈）校閲

写 4冊 半紙 和

津軽一統志 首巻 **GK210-5**

相坂兵右衛門 伊東八右衛門共輯 桜庭半兵衛校閲

安政 2（1855）写 1冊 半紙 仮和

津軽一統志 首巻附巻 **GK210-7**

相坂兵右衛門 伊東八右衛門共編

写 1冊 半紙 仮和

津軽一統志実録 首巻 **GK210-6**

相坂兵右衛門 伊東八右衛門共編

写 1冊 半紙 仮和

註：津軽一統志の首巻

津軽一統志 附巻 **GK210-8**

相坂兵右衛門 伊東八右衛門共編

写 1冊 半紙 仮和

津軽開蒼集盛記 **GK210-9**

写 2冊 半紙 和

註：津軽三庄のことより記し寛文元年（1661）津軽信政入部まで

津軽根本由来記 **GK210-10**

写 1冊 半紙 和

註：津軽根元由来に始まり元禄8年（1695）に終る 津軽旧記平嘉と題した写本も本書と同じものである

津軽実録 **GK210-13**

寛政 8（1796）写 1冊 半紙 和

註：東日流成記ともあり 津軽大成記また津陽実録と同

じもの 但し本書は48篇のうちより6篇のみ書写したもの

津軽屋形様御先祖ヨリ之覚 **GK210-18**

写 1冊 14.1×21.0（横）和

年代日月記 **GK210-15**

写 1冊 半紙 和

註：延暦12年～天明3年（793～1783）間の記事（相馬宇兵衛 四男木村十三郎へ遺したもの）明和3年（1766）以後御自筆御触御口達等の写が比較的多く、又、明和3年大地震の被害調もある 天明3年の記事が最も多い

本藩通観録 巻 1～9 **GK210-16**

写 3冊 半紙 和

内容：巻1～3本藩濫觴実記 同附録 永禄10年～慶長3年（1567～98）巻4～6慶長4年～明暦元年（1655）巻7～9明暦2年～享保16年（1731）

註：巻10～12は一般郷土資料目録その3 KK211/ホン

本藩通観録 巻 11 **GK210-17**

写 1冊 半紙 和

内容：延享元年～安永 9 年（1744～80）

K214 江戸時代以前

乾之巻 **GK214-5**

写 1冊 半紙 仮和

註：右京亮源則信（威信）より貞享4年（1687）までの津軽藩史

愚耳旧聴記（外題：津軽創業記） **GK214-8**

〔添田儀左衛門〕（貞俊）

宝永元（1704）写 1冊 半紙 和

註：津軽為信誕生より病死まで天文19年～慶長12年

(1550～1607)までの津軽藩史 本書は津軽創業記の他、津軽記 津陽開記 故籍見聴記 津軽合戦記 津軽日記等異名が多い

愚耳旧聴記 (外題：故籍見聴記) **GK214-15**
〔添田儀左衛門〕(貞俊)
文久3 (1863) 写 2冊 半紙 和

愚耳旧聴記〔添田儀左衛門〕(貞俊) **GK214-9**
写 1冊 半紙 和
註：津軽為信誕生より病死まで (1550～1607)

愚耳旧聴記〔添田儀左衛門〕(貞俊) **GK214-10**
写 1冊 半紙 仮和

愚耳旧聴記 巻下 **GK214-19**
写 1冊 半紙 和
註：油川の城聞落之事より津軽為信病死まで

愚耳旧聴記 下巻 **GK214-18**
天保4 (1833) 写 1冊 半紙 和

御遠祖旧記附録 **GK214-26**
写 (川越次泰) 1冊 半紙 和
註：本藩濫觴実記からの写本

近衛殿歌修行之事并久下岩松計略之事 **GK214-29**
写 1冊 半紙 和

上皇廟堂縁記及安濃恒生建白書 **GK214-27**
写 1冊 半紙 仮和
内容：上皇廟堂縁記 波丘縁記 修験皇諸記 皇緒系起
塔建立ニ付奉加帳 安濃恒生建白

津陽開記 **GK214-16**

写 1冊 半紙 和
註：愚耳旧聴記に同じ 津軽為信誕生より高坂蔵人逆心
まで天文19年～慶長18年 (1550～1613)

津陽開記 **GK214-12**
天保7 (1836) 写 1冊 半紙 仮和
註：愚耳旧聴記に同じ

津陽開記 **GK214-17**
写 2冊 半紙 和
註：愚耳旧聴記に同じ 寛永12年 (1635) 津軽信義入
部までの追記がある

津軽合戦記 **GK214-11**
写 1冊 半紙 仮和
註：愚耳旧聴記に同じ

東日流記 高屋豊前 **GK214-7**
写 1冊 半紙 和
註：寛文4年 (1664) 命によって書いたもの 津軽為信
の誕生より寛永10年 (1633) 津軽信義入部に終る

津軽記 **GK214-13**
嘉永6 (1853) 写 1冊 半紙 和
註：愚耳旧聴記に同じ

津軽記 (増補津軽記) 下巻 **GK214-21**
写 1冊 半紙 和
註：愚耳旧聴記に同じ 油川の城聞落之事より津軽為信
病死まで

津軽記 下巻 **GK214-20**
写 1冊 半紙 和
註：油川の城聞落之事より津軽為信病死まで

津軽郡古戦聞記 (津軽記) **GK214-14**
安故4 (1857) 写 2冊 半紙 仮和
註：愚耳旧聴記に同じ

津軽前史 **GK214-4**
写 1冊 半紙 和
註：津軽為信以前のことを記したもの

津軽日記 **GK214-22**
写 1冊 半紙 仮和
註：津陽開記下に同じ 寛永12年 (1635) 津軽信義入
部まで追記がある

東日流由来記 **GK214-1**
写 1冊 半紙 和
註：炭焚藤太近衛家の姫君と結婚のことより津軽為信の
津軽一統まで 津軽由来記又津軽故事誌ともある 本写
本は中間部に写本の脱落がある

東日流由来記 **GK214-2**
写 1冊 半紙 和
註：炭焚藤太近衛家の姫君と結婚のことより津軽為信の
津軽統一まで

対馬家古記 **GK214-6**
明治7 (1874) 写 (楠美太秦) 1冊 美濃 和
註：津軽威信 文安元年 (1444) に南部義政に襲われ
堀越城落城当時のことを書いたもの 原本は対馬綱雄所
蔵という 対馬家は津島正長家記の津島家である

南部由来并津軽聞書 **GK214-28**
写 1冊 半紙
註：南部根元記の抜書等 津軽聞書は石井三菴 (政満)
の書簡

北門古史 〔黒滝儀任〕 **GK214-3**

写 (明治) 2 冊 半紙 和

註：十三以前記十三後記と分け第一世記 (秀栄) より第十五世記 (津軽為信) まで 原文は漢文であるが本書は和文に書き下したもの

黒滝儀任:字穀卿 号水斎通弥彦助 明治 34 年 (1901) 歿 64 歳

本藩濫觴記 **GK214-23**

天保 2 (1831) 写 1 冊 半紙 仮和

註：本藩濫觴実記と同じ

本藩濫觴実記 **GK214-24**

弘化 2 (1845) 写 1 冊 半紙 仮和

本藩濫觴実記 **GK214-25**

文久元 (1861) 写 1 冊 半紙 和

註：本藩濫觴実記并本藩古今通観録の抜書

K215 江戸時代

青森県史 第 4 卷 青森県編 **GK215-88**

青森 編者 大正 15 (1926) 1087 頁+写真版 1 菊洋

内容：藩政時代 (南部篇) 南部信直～南部信真

青森町江御巡見 **GK215-47**

写 1 冊 半紙 仮和

註：藩主青森浅虫へ下浜の際の諸手順段取 年代不明

青森より上磯三厩迄御巡見并浅虫御湯治中御用留帳

寛政 10 年 8 月

GK215-46

寛政 10 (1798) 写 1 冊 半紙 仮和

註：藩主巡見好湯治の際の諸手配

亜墨利加書翰横文字和解 〔及異国船防禦書付〕 **GK215-116**

嘉永 6 (1853) 写 1 冊 半紙

註：異国船防禦の書付は津軽藩のもの

異国人物 **GK215-115**

写 (嘉永) 1 冊 半紙

註：嘉永元年 (1848) 渡米の異国船の図式及人物図
元宇鉄村吉松等の覚書

異国船漂流一件 **GK215-110**

天保 5 (1834) 写 1 冊 半紙 仮和

注：天保 5 年外国船三厩沖に米た時の注進書

上々様并方々様御書被進候扣 御近習小姓 **GK215-53**

写 1 冊 半紙 仮和

註：津軽寧親并に方々様への書状差上の扣帳

上野山門起立料物金返納方之義ニ付両執当より津梁院并寿昌院護国院応対之始末日記書留 **GK215-61**

弘化 4 年

弘化 4 (1847) 写 1 冊 半紙 仮和

永禄日記 **GK215-2**

弘化 4 (1847) 写 1 冊 半紙 仮和

註：永禄元年～宝永 7 年 (1558 ～ 1710) 流布本

永禄日記 **GK215-3**

写 1 冊 半紙 和

註：永禄元年～寛保 2 年 (1558 ～ 1742) 流布本

永禄日記 **GK215-5**

写 1 冊 半紙 仮和

註：永禄元年～文政 4 年 (1558 ～ 1821)

〔蝦夷地出兵記〕 **GK215-159**

写 (明治初) 1 冊 半紙

註：蝦夷地出兵の次第を簡単に記したもの

蝦夷地争乱之筆記 文化 4 年 **GK215-150**

写 1 冊 半紙半 仮和

〔江戸飛脚用状〕 元禄 5 年 10 月 21 日 **GK215-98**

元禄 5 (1692) 写 1 通

註：元禄5年11月6日到着 須藤五郎太夫 山川角右衛門 門宮求馬より一町田権之進等宛

エトロフ動乱之砌図式 上下蝦夷地異国船の事

文化 4 年

GK215-153

文化 4 (1807) 写 1 枚

エトロフ動乱之砌図式 上下蝦夷地異国船の事

文化 4 年

GK215-154

文化 7 (1810) 写 1 枚

御書付 **GK215-161**

写 1 冊 半紙

註：巡見使松前渡海および青森着船の際の諸心得

御書付写留帳 宝暦 5 年 鍋屋孫十郎 **GK215-32**

宝暦 5 (1755) 写 1 冊 半紙 仮和

奥富士物語 藤原 (今) 通麿 **GK215-18**

写 15 冊 半紙 和

註：目録 1 之巻～7 之巻

津軽信政の事蹟を詳記したもので職制 町割 風俗 行列次第 公の逸話等 又召抱の士族 職人 芸人等の各人の前歴等も記されている 明和2年 (1765) の著

奥富士物語 巻 1,4,5 藤原 (今) 通麿 **GK215-21**

写 3 冊 半紙 和

奥富士物語 巻1 藤原（今）通麿 GK215-19
写 1冊 半紙 仮和

奥富士物語 巻1 藤原（今）通麿 GK215-20
写 1冊 半紙 和

奥富士物語 巻9,10 藤原（今）通麿 GK215-22
写 2冊 半紙 和・仮和
註：7巻本の第5巻に当る（川越旧蔵本）

〔御達文〕寛政10年 GK215-148
寛政10（1798）写 1通
註：松前詰交代兵士への御座

〔織田虎五郎京都より用状写〕 GK215-134
〔慶応3〕（1867）写 1冊 半紙 仮和

〔御供登覚書〕 GK215-118
嘉永7（1854）写 1冊 横小 仮和
註：嘉永7年参府の節供登人別調 道中予定 所々進物調 出立前手当など

御触書 GK215-126
写 1冊 半紙
内容：御触書 文久3年～慶応2年（1863～66）長州一件 慶応2年 文久2年7月閏8月浪士共京都於四条川原 姦佞之徒梟首真写之図 京都東都風説書 文久3年～元治元年（1864）

御触状 慶応4年 GK215-167
慶応4（1868）写 1冊 半紙 和

御触出御用留 5編 GK215-121
安政4（1857）写 1冊 半紙 仮和

御触留 GK215-108
写 1冊 半紙
註：文政元年より天保7年鍋（1818～36）

覚 GK215-42
寛政10（1798）写 1冊 半紙 仮和
註：寛政10年の諸触書等の留

覚 GK215-67
写 14冊 半紙 仮和
註：郡奉行町奉行勘定奉行の差出した伺覚

覚 郡奉行，町奉行，勘定奉行 GK215-166
写 1冊 半紙 仮和
註：他領者取締方についての三奉行よりの伺

〔覚書〕 GK215-38
安永2～6（1773～77）写 1冊 横小 仮和
註：安永2年～6年間の日記 町人重立の書いたもの（御用達？）

覚書 GK215-107
文化7（1810）写 1冊 半紙 仮和
註：文化7年9月4日藩主黒石へ御出の節の覚書

〔覚書〕 GK215-71
写 1冊 半紙半 仮和
註：万延元年～文久2年（1860～62）間の江戸詰家中が御触等を記したもの

〔覚書〕 GK215-75
元治元（1864）写 1冊 半紙半 仮和
註：元治元年参府御共登及京都御守衛御上京ニ付御共登並に御人数割

覚帳 明和8年 黒石弥右衛門 GK215-36
明和8（1771）写 1冊 美濃半 仮和
註：近習小姓黒石弥右衛門江戸詰の際の日記

覚留 GK215-14
享保9（1724）写 1冊 横小 仮和
註：天正19年より享保17年まで（1591～1732）の主として津軽藩の歴史的事件等を簡単に書留めたもの

覚留書 享保16年同17年 GK215-26
享保16,17（1731,32）写 1冊 半紙 仮和

御召御用ニ而出府之節諸事日記 寛政11年 GK215-81
写 1冊 半紙 仮和
註：秋田藩大館給人古内蔵人の御召にて同人代り古内主典秋田へ出府一件

御留守御用伝帳 文久3年8月ヨリ GK215-74
御近習小性
文久3（1863）写 1冊 半紙 仮和
註：近習小性桜庭富蔵（太次馬）の留帳

御道書覚書 GK215-124
写 1冊 半紙 仮和
註：藩主東浜通り大筒台場巡見の際

〔海岸出張御用留〕嘉永元年 GK215-63
竹内彦太郎 木村奎之助
嘉永元（1848）写 1冊 半紙 仮和
註：異国船渡来により海岸警備出張の際木村奎之助（重矩）竹内彦太郎（軌行）の覚書

合衆国書翰附五所川原大工清九郎唐太ヨリ帰村聞書 GK215-117
嘉永6（1853）写 1冊 半紙 仮和

上方風説書 元治元年 **GK215-127**

写 (俊滝) 1冊 半紙 仮和

註：元治頃の上方風説を書いたもの

寛政九丁巳年十月松前箱館御固被仰付候節公儀より被仰出御書付之写随而御伺書之写 御当家ニテ被仰付向并士大將より諸伺之写輯録 **GK215-163**

寛政11 (1799) 写 (楠美藤徳 (則徳) 1冊 半紙 和

寛政年中御仕向被仰候写書 **GK215-41**

写 1冊 半紙 仮和

寛文年代記 **GK215-23**

写 (文化頃) 1冊 半紙半 仮和

註：寛文元年 (1661) ～天明頃まで

旧記 **GK215-7**

写 1冊 半紙 和 (楠美旧蔵本)

註：正徳元年～延享元年 (1711～44) まで 永禄日記に増補した写本

京都小宮山藤兵衛来状其他 **GK215-175**

写 1冊 半紙 和

〔京都詰弘前家中之上方風説〕 元治元年 **GK215-128**

高木字兵衛

写 1冊 半紙 仮和

註：高木字兵衛が親類へ宛てたものの写

京都風説并長州侯上書 **GK215-174**

文久2 (1862) 写 1冊 半紙 和

註：文久2年4月京都御留守居小見山藤兵衛よりの来状

〔京都留守居用状〕 下書 **GK215-131**

写 1東 (6点)

註：留守居家来強盗一件

禁裏守衛記事 (文久3年～元治元年) **GK215-177**

写 1冊 半紙 和

駒水物語 1～5〔珍田祐之丞〕(有敬) **GK215-55**

写 (明治) 5冊 半紙 和

註：津軽信順の代 (文政8～天保10 (1825～39) の事を記す 特に笠原八郎兵衛 笠原近江の執政を批判的に記述す 珍田祐之丞 初祐之助 信順代に郡奉行兼勘定奉行であったが御役召放蟄居仰付られる 蟄居中の著作と云う

駒水物語 3〔珍田祐之丞〕 **GK215-56**

写 1冊 半紙 仮和

註：5巻本の巻2の後半より巻3の前半にあたる

駒水物語 珍田祐之丞 (有敬) **GK215-90**

写 1冊 半紙 仮洋

註：後半が欠けている

熊石行御人数御武器共調 文化5年 **GK215-155**

文化5 (1808) 写 1冊 半紙 仮和

黒石藩史 松井健左衛門編 **GK215-139**

写 (宝暦頃) 1冊 半紙 仮和

註：黒石領関係資料 書名は後人がつけたもの

黒石領御日記 **GK215-140**

写 1冊 半紙半 和

内容：平内田畑調 (嘉永6 (1853) 平内御定用米調 (嘉永5 (1852) 諸渡物 黒石平内村々新古并亡所之記 諸役銭 諸定 平内惣檜山之調 (天明6 (1786) 御用金 (正徳4 (1714) 秋田六郡御高并村数 秋田家御引渡御本家様米銭御賦大数考量并御郡内出穀大略之考量御貯粉

并惣御備初調知行人別割 (文化10 (1813) 其他

慶安一乱拔書 **GK215-15**

写 1冊 半紙 和

註：慶安2年 (1649) 村上七左衛門 家老北村久左衛門を城中に殺害せる事件 封内事実秘苑等他書は慶安元年である。

京阪風説 安政5年 (1858) **GK215-176**

写 1冊 半紙 和

聞見録 **GK215-17**

写 1冊 半紙 和

註：松前出陣及海岸警備異国船渡来等諸記録を集めたもの 寛文9年～安政6年 (1669～1859) 間

公儀御書付之写 **GK215-72**

万延2 (1861) 写 1冊 半紙 仮和

註：万延2,3年の触

公儀御達留 **GK215-69**

写 1冊 美濃 仮和

註：安政2年 (1855) 公儀より仰渡の留書 他藩のものの海岸防備のため諸国寺院の梵鐘を以て大砲小銃鑄換の仰渡もあり

公儀御目付衆御扱向付タリ松前御奉行御向並松前公御使者

嘉永2年 (1849) **GK215-169**

写 1冊 半紙 和

公儀より之御書付其外被仰出候御書付廻状等之写覚

写 1冊 半紙 仮和 **GK215-31**

註：宝暦4年 (1754) より改写置申候とある

口達 御家老 **GK215-109**

- 写 1冊 半紙
 註：天保2年（1831）儉約に関する家老口達
- 〔口達・御用人演説〕御家老 御用人 GK215-112
 〔天保10〕（1839）写 1冊 半紙
 註：天保10年藩主相続に際し家老の口達及用人の演説
- 御家中江被仰渡書御取締書 文政5年 GK215-54
 写 1冊 半紙 仮和
- 〔御家中有志建白〕及口上之覚 慶応3年 GK215-133
 〔慶応3〕（1867）写 2通
 註：西館宇膳等を奸吏として弾劾したものおよび大道寺
 儒之進宛の添状
- 御下浜御用懸り被仰付候ニ付諸事覚 神直八 GK215-104
 〔享和2〕（1802）写 1冊 半紙
 註：享和2年に神直八が藩主青森浅虫御下浜御用懸とな
 ったときの下調覚
- 〔御下命書〕 寛文7年 GK215-97
 寛文7（1667）写 1冊 32×45 仮綴
 註：寛文7年諸国巡見についての公儀よりの御下命書
- 古今御用留日記 松井四郎兵衛編 GK215-16
 写 1冊 半紙 仮和
 註：町年寄松井四郎兵衛の編した町奉行関係の御用留
 寛文4年～享保17年・（1664～1732）
- 御参府御供登一件 安永4年 GK215-102
 安永4（1775）写 1冊 半紙 仮和
- 御自筆写并時ノ御触留 文化5年 GK215-106
 写 1冊 半紙

- 御自筆及被仰出覚 GK215-28
 写（寛政9（1797）頃）1冊 半紙 和
 註：津軽信寧、信明、寧親の各藩主の仰出を集めたもの
- 御自筆并御家老衆御口達其外御触出之写 GK215-66
 嘉永6年
 嘉永6（1853）写 1冊 半紙 仮和
 註：嘉永6年異国船防御の儀に付
- 御自筆并御口達留 当用方 GK215-111
 天保10（1839）写 1冊 仮和
 註：天保10年藩主相続に際しての御自筆家老口達及用
 人の演説
- 御自筆之写 安永2年 GK215-37
 安永2（1773）写 1冊 横長 仮和
 内容：御自筆之写（覚）御家老より覚 添書付御用人覚
- 御自筆之写・口達・演説 GK215-58
 写 1冊 半紙 仮和
 註：天保8年（1837）の御自筆写及家老・用人の口達
 用人の演説
- 御巡見使御郭之内御通被成候節固之覚 GK215-35
 宝暦11（1761）写 1冊 半紙 仮和
 註：宝暦11年巡見使来る
- 御上京御供并詰合人数調御下宿割 GK215-129
 元治2年正月
 写 1冊 半紙半 和
 註：元治元年（1864）12月23日江戸表発駕 同2年1月
 9日京都着
- 御所御書付之写 GK215-76
 写 1冊 半紙 仮和

- 内容：御所御書付之写（16通）公義御書付之写（2通）
 慶応3卯年正月御渡覚 公義御書付之写（2通）徳川家
 之儀ニ付江戸表より申来候写（3通）
 註：慶応3,4年頃
- 御条目を以被仰渡日記 GK215-82
 天保9（1838）写 1冊 半紙 仮和
 註：天保9年秋田藩に於いて飢饉の対策として質素儉約
 の告諭
- 御当家深秘録 GK215-96
 写 1冊 半紙 和
 附：東叡山秘録より
- 御当家関原御陣立書 GK215-95
 写 1冊 美濃 和
 註：関ヶ原の戦いにおいての津軽為信の戦略および国替之
 件など
- 御内意伺覚 楠美荘司（則徳） GK215-162
 写 1通
 註：幕府松前奉行荒尾但馬守が江差地方見分の際扱い方
 について
- 御用状書拔 下 寛政11年 GK215-48
 寛政11（1799）写 1冊 半紙 仮和
 註：蝦夷地御用ニ付従公儀江戸表ニテ御達御聞役より御
 用所より申来候御用状拔書 尤上巻同意異文とある
- 御用答（御用之覚） GK215-27
 写 1冊（合本）半紙 仮和
 註：寛保2年～宝暦2年（1742～52）頃 江戸家老より
 国家老への用向
- 御用留 GK215-113

- 写 1冊 横長 仮和
 註：天保10年～弘化4年（1839～47）
- 御用留** **GK215-62**
 写 1冊 半紙 仮和
 註：嘉永元年（1848）平館爰月警固出張の際の御用留
 竹内彦太郎（軌行）木村奎之助（重矩）
- 御用留** 安政6年 中畑忠三郎（新町名主） **GK215-122**
 安政6（1859）写 1冊 半紙 仮和
- 御用留** 文久2年 新町名主（中畑忠三郎） **GK215-125**
 文久2（1862）写 1冊 半紙 仮和
 註：弘前新町名主の御用留
- 御用留** 中畑忠三郎 **GK215-168**
 文久3（1863）写 1冊 半紙 和
 註：中畑忠三郎は新町名主
- 御用留** 弘化3年より同4年迄 **GK215-60**
 弘化3,4（1846,47）写 1冊 半紙 仮和
 註：庄屋が郡奉行 代官よりの用状を書留めたもの
- 御用留写** 文化3年 松井四郎兵衛 **GK215-50**
 文化3（1806）写 1冊 半紙 和
 註：文化3年高直御祝能見物及津軽為信200回忌法事及能見物一件留 町年寄松井四郎兵衛が法事御用懸の際の御用留
- 御用留編集** **GK215-25**
 写 1冊 半紙 和
 註：江戸に於ける御用留の抜書 正徳6申年（1716）
 享保5子年（1720）享保13申年（1728）元文3午年（1738）寛保2戌年（1742）延享4卯年（1747）寛延2巳年（1749）宝暦2年（1752）安永2年（1773）

- 御用日記** 前小屋小四郎 **GK215-79**
 明和9～安永2（1772～73）写 1冊 半紙 仮和
 註：秋田藩士前小屋小四郎の公用日記
- 御用人山鹿八郎左衛門殿海岸見分并御郡中廻郷先ニ而演説之写** 文化5年6月 **GK215-92**
 写 1冊 半紙 仮和
- 〔在宅之族弘前住居之触〕** **GK215-103**
 写 1通
- 〔地震の被害報知の手紙〕** 幸太郎 **GK215-119**
 〔安政2〕（1855）写 1通
 註：安政2年江戸大地震の際江戸よりの手紙
- 視聴記** 2巻 **GK215-6**
 写 2冊 半紙 仮和
 註：慶長9年～安永3年（1604～1774）北畠本系永禄日記の写本
- 信濃国大地震御届書** 弘化4年 **GK215-114**
 写 1冊 半紙 和
 註：弘化4年（1847）信濃大地震の御届書及び御神楽御用にて登道中の乳井弥吉が善光寺駅にて大地震に遭難始末一件
- 貞享雑記** **GK215-24**
 写 1冊 半紙半 和
 註：主として延宝～元禄頃の記事
- 〔常府之面々御国引越之儀草稿〕** **GK215-136**
 〔慶応3〕（1867）写 1軸 卷子 小
- 〔諸覚書〕** 文久3年～元治元年 **GK215-170**

- 写 1冊 半紙 和
- 諸事覚書** **GK215-34**
 宝暦10～12（1760～62）1冊 横長 仮和
 註：宝暦10年～12年間 目付鳴海蔵人の当番記事
- 〔諸役替目論覚〕** **GK215-87**
 写 1冊 横長 仮和
 註：享保6～嘉永2（1721～1849）間の諸役替組替等のもくろみ覚書
- 宸翰写其他** 文久4年 慶応4年 **GK215-179**
 写 1冊 半紙 和
 註：文久4年（1864）の詔勅と慶応4年（1868）5月津軽藩主親書及び家老口達あり
- 新聞誌** 文久2,3年 **GK215-171**
 写 1冊 半紙 和
 註：京都留守居小見山藤兵衛よりの来状
- 千箱の玉** **GK215-33**
 写 1冊 横小 仮和
 註：宝暦7年～文化9年（1757～1812）間の御自筆書付
- 騒動風説** 一京都・江戸・桜田一 **GK215-137**
 写 1冊 横長 仮和
 註：慶応3,4年（1867,68）の風説書
- 相馬大作口書** **GK215-93**
 写 1冊 半紙 仮和
 註：文政5年（1822）閏正月七日於江戸表公儀御詮儀相馬大作口書
- 中興日記留** **GK215-8**
 写 1冊 半紙 仮和

<p>註：享保16年～安永3年（1731～74）北畠本永禄日記の写本</p>	<p>〔造酒屋留帳〕 写 1冊 半紙 和</p>	<p>GK215-172 文化12（1815）写 1冊 半紙 仮和 註：松前藩の資料</p>
<p>珍事聞取日記（外題：秘日記）安政2年 安政2（1855）写 1冊 美濃半 仮和 註：安政2年江戸詰津軽藩士の日記</p>	<p>〔勤向留帳控〕寛政11年 神直八（盛重） 寛政11（1799）写 1冊 半紙 仮和 註：「公儀御役人当所江着被致候ニ付御固御人数向之儀ニ付御用聞役被仰付右勤向留帳控」とあり 函館御固御用の際</p>	<p>直之助被召出候より御礼迄之御次第御留及文久四年日記 写 1冊 美濃 和 GK215-85 註：北直之助（七戸隼人）寛延2年（1749）召出れの際の留 文久四年日記は七戸誠一郎関係の日記 以上盛岡藩の記録</p>
<p>津軽旧記類纂拾遺 下沢保躬編 明治24（1891）写 2冊 半紙 和 註：宮川善四郎の編した豊凶録 文化10年～明治8年（1813～75）間の記事に補註を加え明治9年より同24年まで増補したもの 米価 豊凶 藩政の得失 年々天候等</p>	<p>手鑑 慶応4（1868）写 1冊 横長 仮和 註：慶応4年公儀よりの達し 秋田表の風説 佐竹右京大夫及松平陸奥守使者弘前表到着家老応対 松前表風説等</p>	<p>南部伺書・佐竹伺書 写 1冊 半紙 仮和 GK215-158 註：安政3年蝦夷地警衛の際</p>
<p>津軽歴世録 2巻 木立守貞 写 2冊 半紙 和 内容：乾巻 大永年6より慶長12年（1526～1607）まで 坤巻 明暦2年より宝永7年（1656～1710）まで 註：序によれば大永6年より安永4年（1526～1775）までの編年史である もともと2巻に分かれていた表紙をそのまま使用しているので表紙と内容が一致せず完本でない 正徳以降安永4年までの坤巻が欠けていることになる</p>	<p>天保日記（秘書） 写 1冊 半紙 仮和 註：天保9年～嘉永元年（1838～48）</p>	<p>南部家俄ニ上京一件（同所御留守居加藤書面之写） 写 1通 GK215-132</p>
<p>津軽藩史 7巻 工藤主善 弘前 外崎覚 明治23,24（1890,91）2冊 半紙 和 註：津軽為信より安政6年（1859）まで 漢文</p>	<p>天宝日記・永禄日記 嘉永2（1849）写（成田栄太郎）1冊 半紙 仮和 註：永禄元年～宝暦8年（1558～1758）間の記事 始めは永禄日記より写本 天正年間より宝暦までを天宝日記と題したものと思われる</p>	<p>〔西館平馬書状・風説〕5月12日付 〔元治2〕（1865）写 1封（2通） GK215-130 註：元治2年在京都用人西館平馬よりの書簡 楠美荘司 相馬得司 釜泡多門宛 西館平馬は名建久 孤清と称す</p>
<p>津軽藩史 7巻 工藤主善 弘前 外崎覚 明治23,24（1890,91）2冊 半紙 和</p>	<p>天明日記 写 1冊 半紙 仮和 註：天明元年～文化元年（1781～1804）間の出来事を記す 小山内日記ともあり</p>	<p>日記 享保2～11（1717～26）写 1冊 半紙 和 GK215-77 註：秋田藩の日記 寄合日記とある部分あり</p>
<p>津軽藩史 7巻 工藤主善 弘前 外崎覚 明治23,24（1890,91）2冊 半紙 和</p>	<p>東国大平賢秘録 天保3（1832）写 1冊 半紙 註：文化5年（1808）南部大膳太夫（利敬）20万石高直の際の秘聞</p>	<p>日記 前小屋小四郎 宝暦3～8（1753～58）写 1冊 半紙 和 GK215-78 註：秋田藩士前小屋小四郎の公用日記</p>
<p>津軽藩史 巻1～4（7巻ノ内）工藩主善 弘前 外崎覚 明治23（1890）1冊 半紙 和 註：津軽為信より天明4年（1784）まで</p>	<p>東西村々御用留 文化12年 GK215-86</p>	<p>日記 寛政元年 前小屋市右衛門 前小屋小四郎 寛政元（1789）写 1冊 半紙 仮和 GK215-80 註：秋田藩士の日記</p>
	<p>東西村々御用留 文化12年 GK215-86</p>	<p>日記 嘉永2年 GK215-83</p>

嘉永2(1849)写 1冊 半紙 仮和 註：秋田県大館鷹巣附近村役人？の日記		註：安政元年～明治14年(1854～81)間の記事 東奥山人曲東と序にあり		工藤四郎右衛門(行一)編 写 1冊 半紙 仮和 註：工藤家記とも云う 瑞公(津軽為信)永禄10年～慶長12年(1567～1607)まで
日記 嘉永2年～同7年 写 1冊 半紙 仮和	GK215-64	復古萌乱 慶応3,4年 写 1冊 半紙 和	GK215-178	本町三国屋喜右衛門大坂四軒町油屋才助方より借金出入之儀ニ付喜右衛門江戸表江御呼出被仰付御取扱一件留牒 天,人 享和2,3年 GK215-49 享和2,3(1802,03)写 2冊 半紙 仮和
日記 安政2年～文久2年 写 1冊 半紙 仮和	GK215-65	〔文久三年留書〕 写 1冊 半紙 仮和 註：文久3年(1863)中央特に京都の風説を書き留めたもの	GK215-73	松平薩摩守様より御廻達御封書写 安政2年 GK215-120 安政2(1855)写 1冊 半紙
年中日記 嘉永5年 嘉永5(1852)写 1冊 半紙 仮和 註：秋田県大館鷹巣附近の村役人？の日記	GK215-84	封内事実秘苑 工藤四郎右衛門(行一)編 写 9冊 半紙 和(楠美旧蔵本) 内容： 卷之1(瑞祥公)瑞祥公(津軽為信)永禄10年～慶長12年(1567～1607)までの編年史 卷之6(妙心公3)妙心公(津軽信政)元禄6年～同9年(1693～96)まで 卷之7(妙心公4)妙心公 元禄10年～同15年(1697～1702) 卷之12(戒香公1)戒香公(津軽信寧)延享2年～宝暦5年(1745～55)まで 卷之13(戒香公2)戒香公 宝暦6年～同13年(1756～63)まで 附乳井貢書翰：宝暦8年津軽主水 堀五郎左衛門 棟方十左衛門宛のもの 卷之15(戒香公4)戒香公 明和7年～安永4年(1770～75)まで 卷之16(戒香公5)戒香公 安永5年～同9年(1776～80)まで 卷之19(体孝公中)体孝公(津軽信明)天明6年～寛政元年(1786～89)まで 卷之20(体孝公下)体孝公 寛政2年～同3年(1790～91)まで	GK215-9	松前一件記 桜庭正章 写 1冊 半紙 註：寛政4年より寛政9年まで(1792～1826)の主として松前三厩関係記事
信明公御入部御自筆の写 天明四年四月 写 1冊 半紙 和 註：津軽信明天明4年(1784)入部に付き御自筆書付の写	GK215-40			松前夷軍記 写 1冊 半紙 仮和 註：寛文9年(1669)の蝦夷乱
〔幕末諸記録〕 写 1冊 半紙	GK215-138			松前狄軍記 写 1冊 半紙 和
〔箱館表松前并蝦夷地警衛口達之覚〕 安政2年 安政2(1855)写 1冊 半紙 註：安政2年公儀箱館奉行よりの口達	GK215-157			松前夷蜂起物語 写 1冊 菊 和 註：寛文9年(1669)の蝦夷乱
〔藩公御出府意見書〕 写 1通 註：慶応3年か	GK215-135			松前夷乱記 宝暦12(1762)写 1冊 半紙 註：寛文9年(1669)の蝦夷の乱
比可衛帳 万延元(1860)写 1冊 半紙 仮和 註：平館湊目付の万延元年の御用留	GK215-123			松前御固所御人数場所替御願書之写并御家老中口達書之写 文化7年 GK215-165
広船日記 外川曲東(小右衛門) 写(自筆)2冊 半紙 和	GK215-68	封内事実秘苑 卷之1 瑞公	GK215-10	

- 〔文化7〕(1810) 写 1冊 半紙 和
- 松前御用留** 文化4年 桜庭太次馬(正章) **GK215-51**
文化4(1807) 写 1冊 半紙 仮和
註: 桜庭太次馬が松前詰の際の御用留
- 松前御用留記** 寛政10年11月至同12年2月
桜庭太次馬(雅章) **GK215-45**
寛政10~12(1798~1800) 1冊 半紙 仮和
- 松前下蝦夷地エトロフ見聞記** **GK215-152**
文化4(1807) 写 1冊 半紙 仮和
註: 文化4丁卯年6月10日箱館江渡海於同所記之とあり
佐々木玄端の書いたもの?
- 松前并浦々非常御自筆之写** 嘉永元年 **GK215-156**
嘉永元(1848) 写 1冊 半紙 仮和
- 松前箱館御固所御用留** 佐々木玄端(高能) **GK215-43**
寛政10,11(1798,99) 写 2冊 半紙 和
内容:
巻1 大将山田剛太郎殿勤中御用留書ともあり 佐々木玄端が交代する前任者の御用留を書写したもの
巻2 寛政10年7月9日御固所交代同11年4月18日交代棟方作右衛門殿勤中とあり 佐々木玄端の勤中自分留
- 松前箱館御固所惣留帳** 寛政10年 **GK215-147**
〔寛政10〕(1798) 写 1冊 半紙 仮和
- 〔**松前箱館表江御使者相勤候委細書**〕 **GK215-149**
〔小山次郎太夫〕
写 1冊 半紙
註: 寛政10年(1798) 使者小山次郎太夫の報告
- 松前箱館在勤交代人数** 寛政10年 **GK215-44**

- 寛政10(1798) 写 1冊 半紙 仮和
合綴: 松前箱館御国御人数割 従三馬屋松前江之海上往還順風書上之写(寛政12年3月日和見并総船頭江御尋之上)(文化5(1808) 写) 蝦夷奇談
- 松前箱館在番日記** 寛政10年 **GK215-146**
写 1冊 半紙 仮和
- 松前箱館并福山勤中御用留** 文化4年 **GK215-151**
佐々木玄端
文化4(1807) 写 1冊 半紙 仮和
註: 佐々木玄端の勤中御用留
- 松前風説記** **GK215-91**
写(文化頃) 1冊 半紙半 和
註: 文化4年(1807) 蝦夷地及北辺警備の覚書
- 松前役人江被遣候申合帳扣写** **GK215-164**
寛政11(1799) 写(楠美藤徳(則徳)) 1冊 半紙 和
- 松前若狭守様御下向ニ付三馬屋ニ而之御使者勤方之覚**
宝暦2年3月 白戸八郎左衛門 **GK215-30**
宝暦2(1752) 写 1冊 横長 仮和
- 三厩御用留覚** **GK215-173**
弘化2(1845) 写 1冊 半紙 和
- 〔**三厩陣屋諸物頭一隊**〕 **GK215-160**
写 1冊 半紙 仮綴
- 〔**明和地震御城中并御郭廻破損先達而御調之外段々破損書之覚**〕 **GK215-101**
明和3年3月
明和3(1766) 写 1冊 美濃 仮和

- 〔**明和大地震損亡之覚**〕 **GK215-99**
明和3(1766) 写 1冊 美濃半 仮和
内題: 陸奥国津軽郡ニ当正月廿八日酉ノ刻過大地震ニ而損亡之覚
- 〔**明和大地震弘前并在浦黒石損亡先達而御調之外段々破損調之覚**〕 明和3年3月 **GK215-100**
明和3(1766) 写 1冊 美濃 仮和
- 〔**毛内有右衛門筆記**〕 毛内有右衛門(茂巧) **GK215-29**
宝暦13(1763) 1冊 半紙 仮和
註: 宝暦初年御用人当時の事実を息宜応に命じて書かせたもの 最初の部分破損矢あり
- 〔**山形家記**〕 〔山形宇兵衛〕編 **GK215-98**
写(自筆) 5冊 半紙 和
内容:
第10 顕休院 自享保17年至延享元年(1732~44)
第11 自延享2年至宝暦5年(1755)
第12 戒香院 自宝暦6年至同13年(1756~1763)
第13 戒香院 自明和元年至同7年(1764~70)
第27 自文政10年至同12年(1827~29)
註: 山形宇兵衛自筆本であるが題名がない 山形家記と題した 山形日記ともいわれている
- K216 明治大正時代**
- 青森県四十五年誌** 東奥日報社編 **GK216-33**
青森 編者 昭和9 220頁 四六 洋
註: 明治21年(1888) 12月より昭和9年6月まで
- 青森浜町塩屋江之便船ニ而当地熊野宮神主昨朔日沢田周防方へ来状之写** 明治元年 **GK216-70**
写 1冊 半紙
註: 明治元年(1868) 箱館戦争見聞書

秋田戦争記 慶応4年 **GK216-40**

写 1冊 半紙 仮和

内容：秋田戦争記 慶応4戊辰年10月17日曉狩場沢関門前捨有之書付写（東奥新文史）覚（楠美荘司）営法 賞格

油川出張御用留 明治2年正月より3月迄 **GK216-19**

安道

明治2（1869）写 1冊 横長 仮和

註：油川駐在大隊長山田十郎兵衛の御用留

油川出陣規則諸御用留 明治元年 **GK216-15**

川越石太郎

明治元（1868）写 1冊 半紙半 仮和

附：駄賃帳 油川出張大斥候（明治2年）

〔維新書留綴〕 **GK216-61**

写（慶応～明治）1冊（合本）半紙

維新戦役出張表 **GK216-83**

写（明治）1冊 半紙 仮和

註：明治元年、2年（1868,69）の戦役出張転戦等の表及び墳墓明細表

〔維新東北騒擾〕 **GK216-126**

写 1冊（合本）半紙 仮和

合綴：〔津軽平八郎等取調一件書類〕

一新録 **GK216-36**

写（明治）1冊 半紙 和

註：明治元年より4年（1868～71）に至る詔書 布告 各藩の伺書建白など書き留めたもの 斗南藩より弘前藩への文書もあり

威海衛占領大祝宴会演舌草稿 佐々木潜 **GK216-32**

明治28（1895）写 1冊 半紙

註：明治28年2月11日紀元節大祝日之当日

〔演舌草稿〕 佐々木潜 **GK216-31**

明治27（1894）写 1冊 半紙

註：明治27年11月26日皇軍大勝利ニ付宴祝会演舌草稿

漆山行道中日記 慶応4年11月 一戸祐也 **GK216-47**

慶応4（1868）写 1冊 半紙 仮和

註：奥羽鎮撫総督滞在地秋田漆山へ名代使者の随行者の記事

奥羽人民告諭 明治4年 **GK216-118**

明治4（1871）写 1冊 半紙 仮和

〔奥羽戦争関係書状〕 慶応4年 **GK216-141**

写 1冊 半紙

大隈参議建白並風説耳触 **GK216-120**

明治4（1871）写 1冊 半紙 仮和

註：各県の風説記の内に斗南藩関係がある

御触状（三番）明治2年 **GK216-94**

明治2（1869）写 1冊 半紙

註：名主（駒越町 江戸町 新町 平岡町 大工町 誓願寺前）の触状留

御触状 明治3年 今泉万右衛門 **GK216-105**

明治3（1870）写 1冊 半紙

御触状 明治4年正月 今泉万右衛門 **GK216-106**

明治4（1871）写 1冊 半紙

註：庄屋今泉万右衛門の留帳

御触状 明治4年9月～5年2月 **GK216-108**

明治4（1871）写 1冊 半紙

註：庄屋（駒越町 江戸町 新町 平岡町 大工町 誓願寺前）の触状留

御船留 明治2年 **GK216-95**

明治2（1869）写 1冊 半紙

覚 **GK216-58**

写 1冊 半紙

註：慶応4年、明治2年（1868,69）の御自筆の写

おほえ（松前戦一件） **GK216-67**

明治2（1869）写 1冊 半紙 仮綴

註：明治2年4月13日～17日頃の戦況

覚書 **GK216-69**

写 1冊 半紙

註：明治2年（1869）函館戦争5月10日より16日頃の戦況覚

〔葛西亮蔵より青森県出張所及裁判所へ提出の願書〕

明治7年 葛西亮蔵

GK216-132

明治7（1874）写 1冊 半紙

かりお触留 明治3年5月より **GK216-96**

明治3（1870）写 1冊 横小 仮和

家録ニ就て記 其他 **GK216-24**

明治6（1873）写 1冊 半紙 仮和

註：家録操上渡願其他明治6年の請願控

官軍御援兵出張手順調 外 **GK216-38**

慶応4（1868）写 1冊 半紙（楠美旧蔵本）

内容：官軍御援兵出張手順調 官軍御援兵三十騎壺備御

人数調 官軍御援兵三十騎壹備御武器調 官軍御援兵法令（士卒法令 行軍法令 士大将より諸物奉行迄の法令 行軍法令）

〔願書〕各藩 GK216-44
慶応4（1868）写 1冊 半紙
註：奥羽及び越後の諸藩より徳川家及会津庄内二藩の処置に関する願書

起請 慶応4年 GK216-49
写 1冊 半紙
註：山中兵部 西館宇膳の起請文及び一統の密事

旧弘前藩情之顛末 GK216-8
楠美太素 兼松成言（誠）訂正
明治9（1876）写 1冊 美濃 和（楠美旧蔵本）
註：明治元年の旧藩の情態を略述して旧藩主に差出したものを兼松誠が訂正して正院歴史課へ提出した控

旧弘前戊辰之役藩情不審之顛末 山崎清良 GK216-9
明治9（1876）写（自筆本）1冊 半紙 仮和
註：旧弘前藩情之顛末に対して大隊長であった山崎所左衛門（清良）の不審八箇条 楠美太素へ送ったもの

工藤峰次郎見聞書之写その他 GK216-142
写 1冊 半紙 和
註：工藤峰次郎（行幹）慶応4年（1868）鳥羽伏見の戦の見聞記

工藤峰次郎見聞書申出候写 GK216-48
写 1冊 半紙
註：工藤峰次郎（行幹）は弘前藩士 慶応4年鳥羽伏見の戦の見聞記

慶応四年戊辰 GK216-43

写（慶応）1冊 半紙
内容：仙台侯奏聞之写 会津歎願之写 奥羽各藩歎願并盟約書 御自筆之写并口達書 御家老口達 外

慶応四年來状風説 その他 GK216-46
慶応4（1868）写 1冊 半紙
註：秋田藩 仙台藩使者口上書及青森入港の徳川脱藩海陸軍の書面 その他

〔御一家御永続之儀〕 GK216-117
明治4（1871）写 1冊 半紙 仮和
註：廃藩の時津軽家東京移住に関し少参事等の諸案

御意振 GK216-115
明治4（1871）写 1通
註：明治4年田地買上の際の賞詞

〔口達・藩庁規則・告諭書〕明治3年 GK216-98
写（明治）1冊 半紙

降伏人止宿寺御用留 明治2年 GK216-21
耕春院扱方
明治2（1869）写 1冊 半紙 仮和
註：箱館戦争降伏人の止宿寺の内耕春院扱方今泉万右衛門の御用留

御改革一件 明治3年 GK216-145
明治3（1870）写 1冊 半紙半 和

告諭 知藩事 GK216-99
写 1冊 半紙
註：弘前藩知事より明治3年（1870）に御一新について管内一般への告諭

告諭 明治3年6月〔弘前〕知藩事 GK216-10

明治3（1870）写 1冊 半紙 仮和

告諭 明治3年6月〔弘前〕知藩事 GK216-101
写（明治）1冊 美濃 仮和

告諭 明治3年6月 民事掛少参事 GK216-103
明治3（1870）写 1冊 半紙 仮和
註：民事局より市在への告諭

御告諭書 明治3年5月 GK216-102
明治3（1870）写 1冊 半紙 和
註：明治3年会議所開設に際し藩知事の告諭 大参事口達及会議規則

御自筆之写 明治2年6月12日 GK216-88
明治2（1869）写 1冊 半紙 仮和
註：御家中御目見以上惣与力共登城拝見被仰付御自筆之写

御朱印并御所御書付之写 明治2年 GK216-90
写 1冊 半紙 仮和
註：版籍奉還及び弘前藩知事辞令

御所御書付廿四通 慶応4年 GK216-5
慶応4（1868）写 1冊 半紙 仮和

御所御書付之写 明治2年 GK216-93
写（明治）1冊 半紙 仮和
註：公儀よりの布達

御条目并別紙共式通写 明治2年 GK216-60
写（明治）1冊 半紙 和

御所より御書付之写 明治元年 GK216-54
写 1冊 半紙 和

〔御所より御留守居御呼出仰渡〕 明治元 (1868) 写 1 冊 半紙	GK216-55	雑記録 慶応 4 ～明治 28 (1868 ～ 95) 写 1 冊 美濃 註：上書 願書 反訴状等諸文書の綴 国立第五十九銀行関係文書もある	GK216-37	註：明治 7 年頃か
〔近衛忠熙忠房両公書簡〕 弘前少将 (津軽昭承) 宛 慶応 4 年 6 月 写 1 冊 半紙 仮和	GK216-35	四月四日十字三十分出同五日十字達内状の写 (明治 2 年 松前戦争) 明治 2 (1869) 写 1 冊 半紙	GK216-66	松藩薬王院一件 明治元年同 2 年 明治 2 (1869) 写 1 冊 半紙 仮和 (楠美旧蔵本) 註：松前志摩守渡海に付き薬王院止宿一件
御扶助歎願 明治 10 年 5 月 17 日 旧弘前県廃士族惣代 明治 10 (1877) 写 1 冊 半紙 合綴：願書 (斎藤佐左衛門)	GK216-136	土族一統へ御渡し御直筆並口達書 明治 3 年 6 月 18 日 写 1 冊 半紙 仮和	GK216-97	詔書并版籍返上諸侯有功賞典書類 写 1 冊 半紙 仮和
御布令留 (明治 4 年) 明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙 仮和	GK216-109	土族卒市在浦々献田并御買入田畑等分調 明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙 和 註：明治 3 年 4 年献田並に田畑買上げの一件留	GK216-114	進軍諸緒 明治 2 年 楠美太素 楠美晩翠共編 明治 2 (1869) 写 6 冊 半紙 和 (楠美旧蔵本) 註：明治 2 年函館出兵の記録 内容：首 人員調 2 青森出帆より木古内口出張日記 5 松前江差出張御達面 松前報知 (明治 2 年 7 月以降) 御用覚
御用留 明治 4 年 今泉万右衛門 明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙 仮和 註：庄屋今泉万右衛門の御用留	GK216-107	自他新布告 写 1 冊 半紙 仮綴 註：明治元年函館出兵に関する藩主親書及び家老口達 其他	GK216-56	〔新政資料〕 明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙 註：明治新政を諷刺したもの
御用留 三厩出役 (大橋兵平) 写 (明治 2 頃) 1 冊 半紙 綴込 註：三厩出役の入港者取調 上陸者人名簿	GK216-75	出張中日記 鶴田喜市 写 1 冊 半紙半 仮和 註：明治 10 年 (1877) 西南之役従軍日記 鶴田は鹿児島人	GK216-25	振武隊日誌 3 自慶応 4 年 9 月 21 日至同 10 月 8 日 慶応 4 (1868) 写 1 冊 半紙 註：秋田藩振武隊の奥羽戦の記録
御用留 明治元年 小荷駄方 明治元 (1868) 写 1 冊 横長 促和	GK216-7	出張ニ付大概覚帳 慶応 4 年～明治 2 年 佐々木玄端 慶応 4 ～明治 2 (1868 ～ 69) 写 1 冊 半紙 註：佐々木玄端が碇ヶ関および青森表へ出張の覚	GK216-52	新聞 明治 5 (1872) 写 1 冊 半紙 仮和 註：SinBun 1 と題す
〔御用留〕 明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙 仮和 註：大鰐組大庄屋斎藤佐左衛門の明治 4 年 1 月より 4 月までの留帳	GK216-22	〔巡査 (兵) 募集に関する殿様の親書控〕 写 (明治) 1 枚	GK216-133	新聞誌 写 1 冊 半紙 註：明治 4 年頃の書留め
〔雑記〕 写 1 冊 半紙 仮綴 註：明治元年津軽承昭が民政取締仰付けられた沙汰書 その他	GK216-57			新聞拾集 2 GK216-84

自明治元年 10 月至同 2 年 4 月
 明治元,2 (1868,69) 写 1 冊 半紙 仮和
 註：明治元年10月より同2年4月に至る間の主として箱館戦争関係の文書を集めたもの

新聞報 7 月 11 日 **GK216-130**
 〔明治 6〕(1873) 写 1 冊 半紙
 註：明治 6 年旧弘前貫属給渡方についての一件

正記 **GK216-53**
 明治元,2 (1868,69) 写 1 冊 半紙 仮和
 註：明治元年2年の御自筆の写 御口達の写などの留書き

青湾日記 楠美泰太郎（晩翠）編 **GK216-13**
 明治元 (1868) 写 2 冊 半紙 和（楠美旧蔵本）
 註：明治元年戊辰の役青森出張参軍の御用留

族籍及復禄ノ儀歎願書 **GK216-137**
 明治 12 年 6 月 10 日 高屋則之
 明治 12 (1879) 写 1 冊 半紙 和

族籍并復禄の儀再願書 **GK216-138**
 明治 12 年 7 月 22 日 高屋則之
 明治 12 (1879) 写 1 冊 半紙 和

族禄復旧録 明治 5 年～同 12 年 **GK216-135**
 写 (明治) 1 冊 半紙 仮和
 註：弘前藩の廃止土族卒并廃禄者の代表高屋則之等が族禄復旧についての歎願書等の控綴

〔**大総督へ報告書付**〕大石鉄太郎 **GK216-87**
 明治 2 (1869) 写 1 冊 半紙 仮綴
 註：江戸屋敷数及人数を大石鉄太郎が報告したもの

〔**平館三厓港目付書留**〕明治 2 年 **GK216-74**

写 1 冊 半紙 仮綴

太政官日誌写（箱館賊艦一件） **GK216-50**
 明治元 (1868) 写 1 冊 半紙 和

只今入津之船より聞取之写 明治 2 年 **GK216-72**
 写 1 冊 半紙 仮綴

〔**伊達陸奥守より御廻達**〕慶応 4 年 4 月 **GK216-34**
 写 1 冊 半紙 仮和
 註：御宸翰之写 御誓文之写 京都御所よりの御渡書付

慶応示来治乱書籍 附御自筆口達留 慶応 4 年
 写 1 冊 美濃 和 **GK216-143**

〔**津軽平八郎等取調一件**〕 **GK216-127**
 明治 6 (1873) 写 1 冊 半紙
 註：青森県権令北代正臣より大隈重信参議への報告並に津軽承昭への申入れ及詰問書

丁役日記 明治 3 年 **GK216-28**
 明治 3 (1870) 写 1 冊 半紙 仮和
 註：秋田藩御用留

天朝御書付の写 明治 4 年 7 月 **GK216-116**
 明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙
 註：廃藩置県の書付の写

田畑御分賦一件 明治 4 年 6 月 **GK216-111**
 明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙 仮和
 註：土族帰農田畑分与一件

討北紀略 兼松誠（成言）編 **GK216-85**
 写 1 冊 半紙 仮和
 註：函館戦争の記 漢文

徳川家脱籍日誌 **GK216-51**
 従慶応 4 年 8 月 19 日 明治 2 年 7 月 21 日迄
 明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙

〔**斗南藩土族よりの頼書**〕 **GK216-122**
 明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙
 註：斗南藩より弘前藩へ開墾事業の資金援助について

斗南藩ヨリ送り書 明治 4 年 **GK216-123**
 明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙
 註：斗南藩より弘前藩へ開墾事業の資金援助について

南蝦乃夢物語 小杉直道 **GK216-82**
 明治 2 (1869) 写 1 冊 半紙 仮和
 註：明治2年函館戦争の際 徳川方に従軍した小杉直道が弘前に於いて戦争の見聞を記したもの

南藩野辺地江出張人数調 明治元年 **GK216-29**
 長尾民
 明治元 (1868) 写 1 冊 横小
 註：南部家野辺地出張人名調

日記 慶応 4 年 正清 **GK216-12**
 慶応 4 (1868) 写 1 冊 半紙半 仮和
 註：大間越 碇ヶ関出張に関する留書

日記 **GK216-26**
 慶応 4, 明治 2 (1868,69) 写 1 冊 半紙半 仮和
 註：慶応 4 年～明治 2 年間の秋田藩士の日記

日記 **GK216-23**
 明治 5 ～ 7 (1872 ～ 74) 写 1 冊 半紙半 仮和
 註：明治 5 年～同 7 年間の日記

信君様御下向一件 乾坤 明治2年 **GK216-92**
楠美太素

明治2(1869)写 2冊 半紙 和
註：近衛信君(尹子)津軽承昭と結婚のため京都より下向一件

野辺地戦争記聞 山崎有信 **GK216-42**
東京 著者 明治44(1911)322頁 菊 仮洋

〔野辺地戦争の記〕 明治元年 **GK216-41**
写 1冊 半紙

廃藩録資料 **GK216-140**
写(明治)1冊 半紙 仮和

内容：
1 御士族様方往々御活計御案事被遊永続之旨趣御尋ニ付左ニ奉申上候
2 裁判所師範学校県庁弘前へ移転請願 明治9年
3 神武天皇岩木山神社遥拝所豊国神社東照宮津軽家祖先以来之霊合祀に付条約書 明治8年
4 明治天皇より公卿へ御下文の写
5 天野鎮三郎英京ロンドンより多劫に送る書
6 赤坂村篠崎進減禄不当の請願 明治8年
7 西館良太夫へ忠言 佐野伊蔵 明治初年
8 佐々木高行儀官に上申 七戸仲行 成田邦彦
9 弘前城跡拝借の義歎願 佐野仲蔵 小山内鉄弥 明治17年1月

〔函館戦争記〕 中村直作 **GK216-78**
明治3(1870)写 1冊 半紙

〔箱館戦争陣中報告〕 大野藩 **GK216-65**
明治元(1868)写 1冊 半紙
註：明治元年越前大野藩家来中村雅之進の届

明治元年箱館戦争日記 **GK216-16**
写 1冊 半紙 和

藩士在宅に関する書付 **GK216-113**
写 1冊 半紙 仮和
註：明治4年

〔藩庁御用留〕 明治4年 **GK216-110**
明治4(1871)写 1冊 半紙

〔藩庁高官への詰問書〕 **GK216-104**
明治3(1870)写 1冊 半紙 仮和

〔弘前支庁へ届の写〕 **GK216-131**
明治7(1874)写 1冊 半紙
註：明治7年三橋玄溟 杉山竜江の集会及相談書の届

弘前藩記事 **GK216-3**
(草) 楠美太素(則敏) 楠美晚翠(和民) 共編
明治8,9(1875,76)写 61冊 半紙 和
内容：弘前藩記事編輯

1 自元治元年至慶応3年
2 明治元年正月,2月
3 明治元年3月
4 明治元年4月
5 明治元年閏4月
6 明治元年5月
7 明治元年6月
8 明治元年7月
9 明治元年8月
10,11 明治元年9月 上,下
12~15 明治元年10月 上,中,下,下々
16~18 明治元年11月 上,中,下
19,20 明治元年・12月 上,下
21 明治2年正月

22 明治2年2月
23 明治2年3月
24~26 明治2年4月 上,中,下
27~29 明治2年5月 上,中,下
30,31 明治2年6月 上,下
32 明治2年自7月至10月
33 明治2年11月,12月
34 明治3年自正月至3月
35 明治3年自4月至5月
36 明治3年6月
37 明治3年自7月至10月
38 明治3年自閏10月至12月
39 明治4年正月
40 明治4年2月
41 明治4年3月
42 明治4年4月
43 明治4年自5月至7月
44 明治4年自8月至11月
45~49 賞典調1~5 明治2年~3年
50~52 官藩出張調上,中,下 明治元年,2年
53 戦死履歴
54,55 招魂祭調上,下
56 自慶応3年至明治元年 明6調上
57 自明治2年至明治3年 明6調下
58~60 弘前藩政治革調上,中,下 自明治元年至3年

弘前藩記事 **GK216-4**
楠美太素(則敏) 楠美晚翠(和民) 共編
写(明治)38冊 半紙 和
内容：

1 明治元年自正月至2月
2 明治元年3月
3 明治元年4月
4 明治元年閏4月
5 明治元年5月

6 明治元年 6 月 7 明治元年 7 月 8,9 明治元年 8 月 上, 下 10,11 明治元年 9 月 上, 下 12～14 明治元年 10 月 上, 中, 下 15～17 明治元年 11 月 上, 中, 下 18,19 明治元年 12 月 上, 下 20,21 明治 2 年正月上, 下 22 明治 2 年 2 月 23 明治 2 年 3 月 24,25 明治 2 年 4 月 上, 下 26～28 明治 2 年 5 月 上, 中, 下 29 明治 2 年自 6 月至 12 月 30 明治 3 年自正月至 5 月 31 明治 3 年自 5 月至 12 月 32 明治 4 年自正月至 9 月 33 明治 4 年自 10 月至 12 月 34 明治 5 年自正月至 12 月 35～38 諸藩 1～4 明治 2 年, 3 年			
弘前藩記録拾遺 第1～7号 楠美太素（則敏）楠美晩翠（和民）共編 兼松成言（誠）関 写（外崎丈人）6 冊 半紙 和（楠美旧蔵本） 註：慶応3年12月～明治4年11月まで（1867～71）の藩の記録を編纂して修史局へ提出したものの控 楠美氏明治日記とも云う	GK216-2		
〔弘前藩知事より弁官へ上書〕 明治 2 年 弘前藩知事（津軽承昭） 明治 2（1869）写 1 通	GK216-91		
風説書 慶応 4 年 写 1 冊 半紙 和	GK216-144		
復籍禄歎願書 自明治 4 年至同 12 年 高屋則之 写（明治）1 冊 半紙 和	GK216-134		
復族請願議事録 従明治 28 年 12 月 17 日 〔川越石太郎〕 写（明治）1 冊 半紙 仮和 註：復族請願事務担任者川越石太郎の日記	GK216-139		
法令并触書之写 写（明治）1 冊 半紙 仮和 註：触書の写その他	GK216-124		
戊辰役藩情不審顛末 明治10（1877）写 1 冊（3冊合本）半紙 和（楠美旧蔵本） 註：旧弘前藩情の顛末に対して大隊長であった山崎所左衛門（清良）の反駁書及それへの回答弁駁七山崎清良が県令へ上申した書等よりなる	GK216-10		
戊辰記 写（明治）1 冊 半紙 仮和	GK216-45		
戊辰誌 写 1 冊 半紙 仮和 内容：旧弘前戊辰之役藩情顛末（楠美太素） 旧弘前戊辰之役藩情之顛末不審八箇条（山晦渋良） 秋田応援出張記抄（山崎清良） 脱藩日記 諸家様御使者名前控帳（慶応4年3月） 戊辰出兵人数調 戊辰戦死人名調 戊辰行賞人名調	GK216-11		
〔戊辰留書〕 明治元（1868）写 1 冊 半紙 註：書状風説等の留書き	GK216-62		
戊辰之年日誌 附明治 3 年 6 月御改革一件 新県取計心得 写 1 冊 半紙 仮和 註：明治元年～4 年（1868～71）間の記事	GK216-6		
松前表ニ而戦争御届書写 明治 2 年 〔杉山上総〕（成知） 明治 2（1869）写 1 冊 半紙 仮和 註：弘前藩総隊長杉山上総の届書	GK216-18		
〔松前城下合戦報知〕 写 1 冊 半紙	GK216-71		
〔松前戦役留〕 明治元年 明治元（1868）写 1 冊 半紙	GK216-64		
松前戦争一件 写 1 冊 半紙 仮和 註：明治 2 年函館戦争	GK216-77		
松前戦争之覚 明治 2（1869）写 1 冊 半紙 仮和 註：明治 2 年 4 月 29 日松前表茂辺地山中戦争之一件	GK216-68		
松前全島賊征伐ニ付官兵東海ニ対陣日記 写 1 冊 半紙半 仮和	GK216-80		
松前賊進撃軍事独日記 （松前征討軍事独日誌） 忠連 明治 2（1869）写 1 冊 半紙 仮和	GK216-17		
〔松前賊兵隊并夫々之隊大將役之名前〕 写 1 冊 横長 仮綴	GK216-79		
松前箱館表脱走賊徒戦争日誌 明治 2 年 8 月	GK216-76		

明治2 (1869) 写 1冊 半紙 仮和	
〔湊覚書〕	GK216-73
明治2 (1869) 写 1冊 横長 仮綴 註：松前函館の情報及び港取締の留書き 三厩港目付？	
〔明治新政士族へ田地分与の定書〕	GK216-112
写 (明治) 1冊 半紙 仮和	
〔明治新政覚書〕	GK216-86
写 (明治) 1冊 半紙 仮和 註：戊辰の役及び廃藩その他	
明治夢の世	GK216-81
写 1冊 半紙 仮和 註：明治2年函館戦争の徳川方従軍記事	
明治貳年大館戦争従軍抄録 川越氏	GK216-63
写 1冊 半紙 和	
明治二年之日記	GK216-27
明治2 (1869) 写 1冊 半紙 仮和 註：秋田県大館鷹巣附近の人？	
弘前藩記録拾遺 第1～7号	GK216-2
楠美太素 (則敏) 楠美晩翠 (和民) 共編 兼松成言 (誠) 関 写 (外崎丈人) 6冊 半紙 和 (楠美旧蔵本) 註：慶応3年12月～明治4年11月 (1867～71) までの 藩の記録を編纂して修史局へ提出したものの控 楠美氏 明治日記とも云う	
元弘前藩諸記録	GK216-1
写 2冊 半紙 仮和 註：明治元年～同4年 (1868～71) 間の公儀御達并に藩 の御届等津軽家にて取調べ修史局へ差出したものの草稿	

山田登建白之写	GK216-128
明治6 (1873) 写 1冊 半紙 合綴：東京司法省役員山田登出訴之義ニ付下向一件	

〔山田登関係史料〕	GK216-129
写 8冊 仮和	

油湾日誌 (御用留) 楠美泰太郎 (晩翠) 編	GK216-14
明治元 (1868) 写 1冊 半紙 和 (楠美旧蔵本) 註：明治元年戊辰の役油川出張参軍の御用留 11月7 日より晦日まで	

蓮心寺賊名前	GK216-30
明治2 (1869) 写 1冊 横小 註：明治2年5月青森蓮心寺の箱館戦争降伏人名前	

K217 昭和時代

銃後青森県を語る 東奥日報社編	GK217-1
青森 編者 昭和14 2冊 菊 仮洋 註：中弘号 南郡号 (黒石・柏木地方) (「月刊東奥」臨 時増刊)	

K220 青森市 東津軽郡

青森記	GK220-2
写 1冊 半紙半 和 註：文化8年人別調査上及当時町役人家業別人名ならび に青森町奉行所諸式年中行事 青森故実書抜	

〔青森港関係何書〕	GK220-4
〔明治3〕 (1870) 写 1通 註：明治3年青森港取締に関し公用人の伺	

青森市沿革史 上, 中, 下巻	GK220-5
青森市役所市史編纂係 青森 竹内寅太郎 (青森市役所蔵版) 明治42 (1909) 3冊 菊 洋	

青森市沿革史 上, 中, 下巻	GK220-6
青森市役所市史編纂係 青森 竹内寅太郎 (青森市役所蔵版) 明治42 (1909) 3冊 菊 洋	

青森安方大銃台場之図式	GK220-3
写 1枚 24.4×34	

御用留 壺 文久3年5月晦日より	GK220-1
文久3 (1863) 写 1冊 半紙 仮和 註：野内町奉行 (対馬官左衛門 (清行) 対馬仙蔵) の御 用留 敬蔵改め官左衛門	

K230 弘前市 中津軽郡

新町支配御役家業調 安政3年ヨリ	GK230-4
岩見忠兵衛 安政3～文久2 (1856～62) 写 1冊 半紙 仮和 註：名主岩見忠兵衛の調	

新町支配御用留 安政4年 岩見忠兵衛	GK230-5
安政4 (1857) 写 1冊 半紙 仮和 註：名主岩見忠兵衛の御用留	

新町支配無役家業取調帳 明治3年9月	GK230-21
今泉万右衛門 明治3 (1870) 写 1冊 半紙 仮和	

家屋敷売買願家業願差上帳	GK230-1
弘化2～4 (1845～47) 写 1冊 半紙 仮和	

<p>註：新町名主今泉万右衛門の帳面</p>		<p>慶応3(1867)写 1冊 半紙 仮和 註：新町名主の御用留 新町駒越町関係</p>		<p>合取立調 其他庄屋今泉万右衛門の扣</p>	
<p>旧君御二方千歳山迄御迎人員調 明治18年 GK230-18 明治18(1885)写 1冊 半紙 註：旧津軽藩主津軽承昭同英麿が弘前来訪の際の諸記録</p>		<p>御用留 明治元年 名主 GK230-10 慶応4(1868)写 1冊 半紙 和 註：新町名主の御用留</p>		<p>町内諸用留 荒関甚七 GK230-17 明治13～23(1880～90)写 1冊 半紙 仮和 註：明治13年～23年までの荒関甚七の留帳 弘前市東長町外聯合町会の雑書類弘前市第四学区明治廿三年度歳入出総計予算其他</p>	
<p>家業調 GK230-14 写 1冊 半紙 仮和 註：明治3年(1870)頃の新町名主支配の家業調</p>		<p>御用留 明治2年 名主 GK230-11 明治2(1869)写 1冊 半紙 和 註：新町名主今泉万右衛門の御用留</p>		<p>万於保恵 万延元年 土岐伊佐衛門(盛定) GK230-7 万延元(1860)写 1冊 半紙半 和 註：紺屋町名主土岐伊佐衛門の万覚書</p>	
<p>〔旧藩諸兄へ〕〔津軽英麿〕 GK230-22 明治18(1885)写 1冊 半紙 仮和 註：旧津軽藩主津軽承昭同英麿が弘前来訪の際 英麿の謝辞及び饗応の条件</p>		<p>御用留 明治3年 GK230-13 明治3(1870)写 1冊 半紙 和 註：新町名主の御用留</p>		<p>K240 黒石市 南津郡郡</p>	
<p>〔近衛公来弘関係文書〕 明治25年 GK230-23 明治25年(1892)写 1袋(6通)</p>		<p>諸願書付扣 今泉万右衛門 GK230-9 慶応3,4(1867,68)写 1冊 半紙 仮和 註：新町名主今泉万右衛門慶応3,4年間の留帳</p>		<p>覚書 GK240-1 写 1冊 横小 仮和 註：明和8年～安永6年(1771～77)間の猿賀組の村々の関係御用留</p>	
<p>近衛殿御招待之件 GK230-19 明治25(1892)写 1冊 半紙 註：明治25年公爵近衛篤麿弘前来訪の際の一件留</p>		<p>諸願書付控 明治3年 名主 GK230-12 明治3(1870)写 1冊 半紙 仮和 註：名主今泉万右衛門の扣</p>		<p>高木累世私記(尾上村)(草稿)岡本竜太郎編 GK240-2 明治40(1907)写 1冊 半紙 仮和</p>	
<p>近衛殿御招待費受払精算報告 小山内建麿等 GK230-20 弘前 明治25(1892)1冊 半紙 註：明治25年近衛篤麿弘前来訪の際の招待費決算報告</p>		<p>諸書付差上帳 弘化4年 今泉万右衛門 GK230-2 弘化4年～嘉永3(1847～50)写 1冊 半紙 仮和 註：弘化4～嘉永3年間の名主今泉万右衛門扱の諸願書差上帳</p>		<p>藤崎城誌 藤井秀世編 GK240-3 弘前 小野士格 大正4(1915)134頁 菊 仮洋</p>	
<p>御用留 嘉永2年 今泉万右衛門 GK230-3 嘉永2～4(1849～51)写 1冊 半紙 仮和 註：嘉永2弟～4年名主今泉万右衛門の御用留</p>		<p>町儀扱向心得 GK230-16 明治3～5(1870～72)写 1冊 横小 和 註：紺屋町庄屋の明治3～5年間の御用留</p>		<p>藤崎城誌 藤井秀世編 GK240-4 弘前 小野士格 大正4(1915)134頁 菊 仮洋</p>	
<p>御用留 安政7年 中畑忠三郎 GK230-6 安政7(1860)写 1冊 半紙 仮和 註：新町名主中畑忠三郎の御用留</p>		<p>町内規則扣 GK230-15 明治3(1870)1冊 半紙 仮和 註：御用柄相勤人数取調 町役 県庁廻章之写 五季茂</p>		<p>K250 五所川原市 北津軽郡 西津軽郡</p>	
<p>御用留 慶応3年 名主 GK230-8</p>				<p>覚(山崩家式軒突込人七人并牛壺疋死申候) GK250-4 元禄6年 写 1枚 18×23 註：元禄6年(1693)3月16日大雨にて深浦山崩の被害覚</p>	

御用留 寛政 13 年 **GK250-1**
寛政 13 (1801) 写 1 冊 半紙 仮和
註：飯詰組代官の御用留？

御用留帳 安政 5 年 10 月 **GK250-2**
安政 5 (1858) 写 1 冊 半紙 仮和
註：広田組真黒屋敷村代庄屋の御用留

〔広須木造新田両組代官御用留〕 **GK250-3**
文久 3 (1863) 写 1 冊 半紙 仮和
註：広須両組代官の文久3年間の主として郡奉行よりの達し用状の留

K270 むつ市 下北郡

大間御渡海場存付奉申上候事 **GK270-3**
写 1 冊 半紙 仮和
註：田名部町仮検断から箱館奉行へ申上げた控

書状控 文化 7 年 **GK270-2**
文化 7 (1810) 写 1 冊 半紙 仮和
註：南部藩田名部検断所の用状控

式番要用留 **GK270-1**
寛政 9 ～享和元 (1797 ～ 1801) 写 1 冊 半紙 仮和
註：南部藩田名部代官所の御用留？

K280 伝記

壬寅集 明治 35 年 1 月 **GK280-4**
明治 35 (1902) 写 1 冊 半紙半 仮和
註：明治35年の雑記帖であるが藩政時代の学者の伝記を調べた手控が大部分である、

津軽古今偉業記 1,2 下沢保躬編 **GK280-8**

写 2 冊 半紙 和

津軽名臣伝 乳井貢 **GK280-5**
天保 9 (1838) 写 1 冊 半紙 仮和

津軽名臣伝 乳井建福 (貢) **GK280-1**
慶応 4 (1868) 写 1 冊 半紙 仮和

津軽名臣伝 乳井建福 (貢) **GK280-2**
写 1 冊 半紙 和

津軽名臣伝 乳井建福 (貢) 編 **GK280-6**
写 1 冊 半紙

津軽名臣伝 乳井建福 (貢) **GK280-7**
写 1 冊 半紙 和

於津軽主水宅四人申渡之覚 寛政 9 年 **GK280-9**
〔寛政 9〕(1797) 写 1 通
註：松浦甚五左衛門 森岡金吾 (元民) 豊島勘左衛門
津軽大炊之助への申渡

一本萩 (草稿本) 鵜川盛矩編 **GK280-3**
明治元 (1868) 写 11 冊 半紙 和 (鵜川蔵書印)
註：津軽藩主代々より名臣士農工商に至る人材の言行を諸書より編したもの 一樹萩ともあり 又各巻に万寸鏡遠かゝみ 三のしほ 等の題名をつけている

K280.3 人名辞書 人名録 (分限帳 知行帳)

青森県官員録 (陸奥国) 明治 5 年改正 **GK280.3-18**
明治 5 (1872) 写 1 冊 半紙半 仮和

昭和更生青森県市町村大観 **GK280.3-70**
東奥日報社編

青森 編者 昭和 10 415 頁 四六

昭和更生青森県市町村大観 **GK280.3-70 イ**
東奥日報社編
青森 編者 昭和 10 415 頁 四六

青森県職員録 大正 11 年 5 月 1 日 青森県 **GK280.3-42**
大正 11 (1922) 199 頁 四六 仮洋

青森県職員録 大正 3 年 8 月 1 日 青森県 **GK280.3-40**
大正 3 (1914) 136 頁 四六半 仮洋

在京青森県人名簿 陸奥の友社編集部編 **GK280.3-41**
東京 編者 大正 9 (1920) 75 頁 三五 仮洋

青森県人名録 東奥日報社編 **GK280.3-44**
青森 編者 昭和 8 375 頁 四六 洋

青森県人名録 昭和 12 年版 東奥日報社編 **GK280.3-45**
青森 編者 昭和 12 383 頁 四六 洋

青森大人名録 昭和 15 年 東奥日報社編 **GK280.3-47**
青森 編者 昭和 15 [521 頁] B 6 仮洋
(紀元 2600 年記念)

屯番小隊人名 **GK280.3-62**
写 1 冊 横小

江戸勝手 天保 2 年正月 **GK280.3-4**
天保 2 (1831) 写 1 冊 半紙半 仮和
註：江戸勝手京大阪詰の役人名と給禄を記す

江戸勝手並京大阪役人 安政 6 年 3 月 **GK280.3-7**
安政 6 (1859) 写 1 冊 横小 仮和
註：江戸勝手及京大阪詰の役人名と石高給禄を記す

江戸常府御家中様方御引越ニ付御名札御勘定所より御廻し
被仰付表 慶応3年10月3日 GK280.3-12
慶応3(1867)写 1冊 横小 仮和
註：江戸引上げの土族の家数割別に分限を記す 又在方
の分限の族重立の名前あり

御馬廻格以上知行取之面々 GK280.3-52
写 1冊 横長 仮和
註：文政頃の人名録

御馬廻七組分限帳 天保4年 GK280.3-28
天保4(1833)写 1冊 横小

御書出被下置候面々 安政6年11月 GK280.3-31
安政6(1859)写 1冊 横帳 和

御徒目付印鑑控帳 天保6年正月 GK280.3-29
天保6(1835)写 1冊 横小

御勘定所名簿 文久3年10月 GK280.3-9
文久3(1863)写 1冊 横小 仮和

御中小姓分限 GK280.3-27
写 1冊 半紙半 和
註：寛政年間のもの

御手廻五組御次第 慶応4年9月 GK280.3-13
慶応4(1868)写 1冊 半紙半 仮和
註：御手廻五組の名簿

御長柄奉行以上右以下諸役人名前調 GK280.3-30
安政6年
安政6(1859)写 1枚 横小

御奉行以上名前 GK280.3-5
写 1冊 横小 仮和 (川越旧蔵本)
註：天保年中のもの

御役人名面帳 嘉永6年6月 GK280.3-6
嘉永6(1853)写 1冊 半紙半 和
註：松前藩の御役人名面帳

御役附覚帳 安政6年 GK280.3-32
安政6(1859)写 1冊 横小

御役人并諸役人名前并知行高調 外 GK280.3-51
安政5(1858)写 1冊 半紙半
合綴：御家中知行三拾石以上調帳 (天保11年調文久元
写 (川越次泰) 知行物成覚 (明和4年調) 御印表より譲
合留帳 (享和元年写 鉄吹小頭工藤吉太郎留帳)

御役留 GK280.3-11
写 1冊 横小 和
註：元治(1864)頃の藩役人名

御役〔分限帳〕 GK280.3-33
写 1帖 折本 (中)
註：天保頃より慶応に至る

御次第之覚並役職人名 GK280.3-50
写 1冊 横小 仮和
註：家中職制一列次第と寛政11年頃の役職人名簿

会計名簿 GK280.3-63
写 1冊 横小 和
註：弘前藩勘定奉行関係八名録 幕末

元日御規式 寛延2年正月元日 GK280.3-23
写 1冊 横小

註：元日登城御礼の人名録

寄附金名簿 GK280.3-21
明治25(1892)写 1冊 半紙 仮和
註：近衛篤磨弘前來訪に際し招待のため富田新町寄附金
名簿2冊の内竹内荘八郎委員関係分

旧家人員調 GK280.3-19
写 1冊 (合本) 半紙 仮和
内容：旧家人員調 (為信公高照神社江御配祀) 瑞祥院様
江御奉公申上候子孫調 (安政3) 瑞祥院様御代御奉公申
上候子孫調 (安政3) 旧家調 (明治39) 文化3年端祥院
様御代御奉公ノ子孫調 文化度旧家調
註：津軽為信公へ奉公した人の子孫調 明治39年の子
孫住所もあり

旧家人員調 GK280.3-20
写 1冊 半紙 仮和
註：明治10年津軽為信高照神社へ配祭の節為信へ奉公
した人の子孫の人名 安政3年の調と明治10年の調

旧藩士族人名帳 (御禄高御目見上 いろは付ニテ) GK280.3-15
写 (明治初) 1冊 横小 和

黒石家中一列次第及目見以上名員 GK280.3-64
明治23(1890)写 1冊 半紙半 仮和

慶応四戊辰年祝儀参人〔留〕 GK280.3-14
慶応4(1868)写 1冊 半紙半 仮和
註：正月の祝儀参人名簿

元禄年中御家中分限調 GK280.3-22
明治41(1908)写 (奈良潤蔵) 1冊 横小
註：元禄8乙亥年11月22日改候弘前御家中分限帳

弘藩風土士族給禄 GK280.3-57

大正 15 (1926) 写 1 冊 半紙 仮和

註：明治4年(1871)藩士在宅帰農の際分与の宅地田地村及禄高をイロハ順に記したもの 巻頭に寺社知行に関する明治一新の覚及田方御分賦并在着規則が合綴してある

在宅帳 GK280.3-35

写 1 冊 横小

註：明治の在宅者(藩士の村里に移住したもの)名簿

士族卒拾五俵以上田方御分賦村寄名前 坤 GK280.3-36

明治 5 (1872) 写 1 冊 横小

註：明治 4 年在宅者村別名前

いろは寄士族卒田畑御分賦帳 明治 4 年 GK280.3-58

明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙半 仮和

註：内題に士族竈帳ともあり 在宅村名と給禄を記している

庄屋帳 GK280.3-10

元治元(1864)写 1 冊 半紙半 仮和

註：各村の庄屋名前調

諸家中町附 GK280.3-68

写 1 冊 横小 和

註：秋田藩士の住所録

諸家百万石以上陪臣録 川越石太郎(次泰) GK280.3-53

写 1 冊 半紙半 仮和

内容：諸家百万石以上陪臣録(安政7年写)佐竹侯家中(慶応元年写)南部家類三千石以上 伊達家郡村大臣役名軍政申渡留

新青森県職員録 昭和 22 年上巻 GK280.3-49

東奥日報社編

青森 編者 昭和 22 165 頁 B 6 仮洋

〔人名帳〕 GK280.3-61

写 1 冊 横長(川越旧蔵本)

全青森県職員録 東奥日報社編 GK280.3-46

青森 編者 昭和 14 247 頁 四六 洋

附：警防団役員並に農会役職員名簿

全青森県職員録 東奥日報社編 GK280.3-46 イ

青森 編者 昭和 14 247 頁 四六

附：警防団役員並に農会役職員名簿

戦死墳墓明細調 自明治元年至同 2 年 GK280.3-54

写(明治)1 冊 半紙 仮和

合綴：戦争被害明細表

註：戊辰及箱館戦争における戦死者及負傷者名簿

戦死墳墓明細調 明治元年同 2 年 GK280.3-55

明治 7 (1874) 写 1 冊 半紙

註：明治元年 2 年の戦での被傷調も合綴してある

第四中隊奇数小隊分限帳 明治 4 年 GK280.3-17

明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙 仮和

註：中隊長佐藤友彦の配下半隊長成田捨蔵の隊中分限

大政翼賛青森県大人名簿 昭和 16 年版 GK280.3-48

東奥日報社編

青森 編者 昭和 16 366 頁 B 6 仮洋

弔慰会々員名簿一故釜范善作先生一 GK280.3-43

大正 11 (1922) 16 頁 四六 仮洋

改元記念東奥人名録 GK280.3-38

安西銓次郎 成田彦市共編

青森 青森交詢社出版部 大正2 (1913) 402頁 四六 仮洋

改元記念東奥人名録 GK280.3-39

安西如鵠 成田彦市共編

青森 青森交詢社出版部 大正2 (1913) 402頁 四六 仮洋

岩手青森秋田東北三県名士肖像録 GK280.3-69

遠藤永吉編

大子町(茨城)高橋要吉 明治 35 (1902) [395 頁] 菊 洋

御家中屋敷名前いろは寄 3 巻 GK280.3-2

写 3 冊 横小 仮和

註：享和 3 年(1803)頃の役及住居

南部家中調 GK280.3-37

写 1 冊 横長

註：南部家中惣人数知行高書

南部家中分限調 GK280.3-65

慶応 4 (1868) 写(川越次奏)1 冊 半紙半 和

註：南部家中惣人名知行録

南部家中〔分限調〕 GK280.3-66

写 1 冊 横小 仮和

註：慶応 4 年写の分限調にほぼ同じ

南部諸士知行高 GK280.3-67

写 1 冊 半紙 和

人夫割帳 GK280.3-16

明治 2 (1869) 写 1 冊 半紙半 和

註：明治 2 年の御掃除頭 御掃除小頭 小頭格 永代

小人 廻小人 御雇小人 等の人名簿					
信牧公信義公御奉公上上候面々 写 1冊 半紙 和	GK280.3-1	K283 系譜 家伝 紋章			
箱館御役人姓名帳 万延元年5月 万延元(1860)写 1冊 半紙半 和 註：幕府箱館奉行の役人名簿	GK280.3-8	相坂氏系譜 相坂諶之助(則義) 写(明治)1冊 半紙 仮和	GK288-11	御書出員数書 安政6年8月 楠美荘司(則敏) 安政6(1859)写 1通 註：楠美太素が代々頂戴御書出の枚数を書き出した控	GK288-36
〔藩士給禄帳及社寺給禄帳〕(減禄後) 明治3(1870)写 1冊 半紙半	GK280.3-56	〔青沼半助〕親類書 元禄15年 青沼半助 元禄15(1702)写 1冊 半紙 和	GK288-135	覚帳 享和元～明治3(1801～70)写 1冊 半紙半 仮和 註：棟方山次郎(実勝)～弥五兵衛～勇八三代の御尋 改 切支丹改 人別増減調書の下書并婚姻及小児出生	GK288-5
〔藩土の新役振当名簿〕 写(明治)1通	GK280.3-60	秋田県下貫属安濃恒生建白 教部省宛 明治6(1873)写 1冊 半紙 和 註：青森県浪岡の北畠家功劳追賞願	GK288-129	家系(系譜)(工藤佐兵衛先祖由緒委細) 工藤勝弥(直正) 写(明治)1冊 半紙 仮和	GK288-44
〔弘前藩庁〕職員調 明治 写(明治)1冊 半紙 和	GK280.3-59	御家記 明治3(1870)写(相馬市右衛門)1冊 半紙 和 註：安部系図より津軽承昭まで	GK288-113	過去帳(加藤与右衛門家)加藤与右衛門 文政9(1826)写 1帖 折本 中	GK288-128
二日御規式 寛延2年正月2日 写 1冊 横小 註：2日登城御礼の人名録	GK280.3-24	御家御系図 写 1冊 半紙半 仮洋 註：金沢家光より津軽信順まで	GK288-101	過去帳(木村四兵衛家) 写 1帖 折本 和	GK288-33
分限帳 明治3年2月 糺察方 明治3(1870)写 1冊 半紙 和	GK280.3-34	御家御系図 写(嘉永頃)1冊 半紙 仮和 註：東日流左衛門より津軽順承まで	GK288-108	可足権僧正筆記之写 釈慈天 写 1冊 美濃 和 註：可足権僧正釈慈天は津軽信政の弟 津軽家の先祖の 略記及系図で信政の御尋によって差出した記録	GK288-1
〔分限帳〕明和元年6月 写 1冊 横小	GK280.3-26	御家秘譜 写 1冊 横長 仮和 註：津軽家系図 東日流左衛門から津軽信明まで	GK288-105	〔川越石太郎家切支丹証文并人別調綴〕 1束(18枚) 註：川越茂兵衛 石太郎の人別調 切支丹証文の控綴	GK288-32
三日御規式 寛延2年正月3日 写 1冊 横小 註：3日登城御礼の人名録	GK280.3-25	御家秘譜 写 1冊 半紙 和 註：安部系図より津軽英鷹まで	GK288-114	楠美系図略 写 1冊 半紙 仮和 註：楠美晩翠の自筆か	GK288-34
山方分限帳 文政3年8月改 文政3(1820)写 1帖 折本(小)	GK280.3-3	〔御書出員数〕覚書 長谷川小四郎 写 1枚 12×34	GK288-83	楠美家記 楠美晩翠(和民)編 明治8,17(1875,84)写(楠美太素同晩翠)1冊 半紙	GK288-3

仮和（楠美旧蔵本） 内容：御系図ニ付近衛殿御書 御系図 御系図ニ付朝廷 御尋御答書写 先公御忌日 弘前城主 承昭公御履歴	
系譜 津軽土佐守	GK288-124
寛政2（1790）写 1冊 半紙 和 註：津軽信政より信明までの歴譜	
系譜	GK288-117
写（明治）1冊 半紙 和 註：南部則信より津軽承昭まで	
系譜之儀ニ付御尋之御書付十三ヶ条ニ対シ相調候趣之書	
写 1冊 美濃 和	GK288-98
註：文化9年津観家系図について幕府より御尋の儀に答 えたもの 附に系図（嘉永頃）がある	
御家系	GK288-110
写 1冊 半紙 和 註：藤原系図より津軽承烈（承昭）まで	
御系図 津軽家	GK288-116
写 1冊 半紙 仮和 註：南部則信より津軽寧信まで	
御系譜 古来伝説載 工藤行一	GK288-99
写 1冊 半紙 仮和 註：金沢右京亮家光より津軽為信まで	
御系譜	GK288-111
明治3（1870）写 1冊 半紙 和 註：津軽家系譜 藤原系図より津軽承昭まで	
御系譜	GK288-115
写 1冊 半紙 和	

註：南部則信より津軽信順まで	
津軽家御先祖御代々誌	GK288-104
写 1冊 半紙 仮和 註：津軽左衛門より信著まで	
御先祖書	GK288-121
写 1冊 半紙半 註：津軽為信より信明まで	
御当家御代々御戒名之覚（秘書）	GK288-2
写 1冊 横小 和 註：大浦光信より津軽信明まで	
御当家御伝系秘録	GK288-102
写（弘化3（1846）頃）1冊 半紙 仮和 註：金沢右京亮より津軽順承まで	
御当家草創記	GK288-118
写 1冊 半紙 仮和 註：光信より津軽信義まで	
御両敬之控 文化13年	GK288-4
文化13（1816）写 1冊 美濃半 和 註：津観家との続柄	
指物出之図	GK288-132
写 3枚 内容：川越茂兵衛 天保5（1834）同 寛政8（1796） 川越惣十部 宝暦2（1752）	
差物出之図 黒石弥右衛門家	GK288-133
天和2～天保15（1682～1844）写 1袋（13枚）	
差物出之図 成田喜助 成田勝郎	GK288-134

天保14（1843）写 6枚 註：青森町奉行成田喜助 御手廻四番組成田勝郎の差物 伺い	
諸家由来書	GK288-9
写 1冊 半紙 仮和 註：渡辺次太夫 添田儀左衛門 毛内有右衛門 新井晴 峰 斎藤長門 小倉 岡 板垣 等の諸家由来書	
白戸善之丞由緒 白戸幸作	GK288-60
写（明治初）1冊 半紙 仮和	
津家嫡流伝系	GK288-106
写 1冊 半紙半 仮和 註：東日流左衛門より津軽寧親まで	
親類書（相坂諶之助家）相坂諶之助（則義）	GK288-10
慶応4（1868）写 1冊 半紙 仮和	
親類書（生駒金益家）生駒金益	GK288-14
享保12（1727）写 1冊 半紙 仮和	
親類書（生駒金鉄家）生駒金鉄	GK288-15
宝暦4（1754）写 1冊 半紙 仮和	
親類書（生駒栄和家）生駒栄和（利和）	GK288-16
文政3（1820）写 1冊 半紙 仮和	
親類書（生駒金益家）生駒金益	GK288-17
写（嘉永頃）1冊 半紙 仮和	
親類書（猪俣理左衛門家）	GK288-22
猪俣理左衛門（垂護） 延享4（1747）写 1冊 美濃 仮和	

親類書（葛西兵左衛門家）葛西兵左衛門（武久） 享和3（1803）写 1冊 半紙 仮和 註：葛西吉兵衛（忠久）の加筆がある（文化6年）	GK288-24	親類書（佐藤平作家）佐藤平作（武久） 天保11（1840）写 1冊 半紙 仮和	GK288-55	註：長谷川三之助は8代目茂兵衛（利知）	
親類書（嘉藤新右衛門家）嘉藤新右衛門 延享4（1747）写 1冊 美濃 仮和	GK288-27	親類書（下沢弁右衛門家）下沢弁右衛門（保盈） 文化元（1804）写 1冊 半紙 仮和	GK288-57	親類書（長谷川小四郎家） 長谷川小四郎（利次） 天保12（1841）写 1冊 半紙 仮和	GK288-82
親類書（嘉藤新五左衛門家） 嘉藤新五左衛門（影和） 明和2（1765）写 1冊 美濃 仮和	GK288-28	親類書（下沢此吉家）下沢此吉（保就） 文化元（1804）写 1冊 半紙 仮和	GK288-59	親類書（花田幸太郎家）花田幸太郎（清雄） 安政5（1858）写 1冊 半紙 仮和	GK288-84
親類書（加藤家）加藤直司（次恭） 享和2（1802）写 1冊 半紙 仮和	GK288-30	親類書（高木清之丞家）高木清之丞 文化元（1804）写 1冊 半紙 仮和	GK288-61	親類書（毛内忠吉家）毛内忠吉（由民） 寛政8（1796）写 1冊 半紙 仮和	GK288-87
親類書（工藤九左衛門家）工藤九左衛門（祐臣） 寛延4（1751）写 1冊 半紙 仮和	GK288-38	親類書（館山勇次郎家）館山勇次郎（元良） 文政11（1828）写 1冊 半紙 和	GK288-63	親類書（八木橋清蔵家）八木橋清蔵（央直） 寛政2（1790）写 1冊 半紙 和	GK288-88
親類書（工藤万左衛門家）工藤万左衛門 宝暦5（1755）写 1冊 半紙 仮和	GK288-39	親類書（館山外吉家）館山外吉（照芳） 天保6（1835）写 1冊 半紙 仮和	GK288-64	親類書（八木橋平馬家）八木橋平馬（繁央） 天保5（1834）写 1冊 半紙 仮和	GK288-93
親類書（工藤嘉門家）工藤嘉門（祐年） 寛政5（1793）写 1冊 半紙 和	GK288-42	親類書上帳（中村の己之蒸家） 安政7（1860）写 1冊 半紙 仮和 附：人別書上帳（中村の己之蒸）安政7年	GK288-71	親類書（八木橋平馬家）八木橋平馬（繁央） 天保5（1834）写 1冊 半紙 仮和 註：後半が欠けている	GK288-94
親類書（工藤勝弥家）工藤勝弥 明治3（1870）写 1冊 半紙 仮和	GK288-45	親類書（成田浪吉家）成田浪吉（徳川） 安政2（1855）写 1冊 半紙 仮和	GK288-72	前代御系譜（津軽家） 写（山長孝）1冊 半紙 仮和 註：藤原秀郷より大浦盛信まで	GK288-100
親類書（工藤市蔵家）工藤市蔵（豊久） 文政元（1818）写 1冊 半紙 仮和	GK288-46	親類書（長谷川清兵衛家）天和2年（1682） 長谷川清兵衛（正利） 写 1冊 半紙 仮和	GK288-76	〔津軽系図〕 写 1冊 半紙 註：大浦盛信より津軽信順まで	GK288-120
親類書（工藤辰五郎家）工藤辰五郎（豊知） 天保6（1835）写 1冊 半紙 和	GK288-47	親類書（長谷川茂兵衛家）長谷川茂兵衛（経利） 寛延2（1749）写 1冊 半紙 仮和 註：明和4年（1767）の加筆あり	GK288-78	津軽系図並校正津軽前代系図 鈴木真年校 写 1冊（2冊合本）美濃 仮綴 註：明治17年（1884）旧藩主津軽承昭より修史館へ差出した扣 津軽系図は信政まで	GK288-96
親類書（近藤春哲家）近藤春哲（行自） 文政12（1829）写 1冊 半紙 仮和	GK288-52	親類書（長谷川三之助家）長谷川三之助 寛政元（1789）写 1冊 半紙 仮和	GK288-79		

津軽系図略 下沢保躬編 明治10(1877) 1冊 半紙 和 註：秀栄より承昭まで	GK288-95	〔津軽藩主家系〕 写 1帖 卷子 中 註：光信より津軽信政まで	GK288-119	註：兼平清太 兼平市弥の紋所と旗の伺
津軽家御代々御法号 写(宝暦頃) 1冊 美濃 仮和 註：津軽左衛門より信著まで	GK28103	〔津軽歴譜〕 写 1冊 横小 註：津軽信寧 信明 寧親 信順の歴譜	GK288-125	由緒書 GK288-7 写 1冊 半紙 仮和 内容：親類書(稲垣徳三郎家)稲垣隠三郎 嘉永2(1849) 親類書(清藤権之丞家)清藤権之丞 安政5(1858)(2部) 由緒書(工藤太七郎家)工藤太七郎(保定)天保14(1843)
津軽家系図 明治3(1870) 写 1冊 半紙半 仮和 註：津軽信健より承昭まで	GK288-123	〔那須家関係書〕 写 1冊 半紙 内容：津軽沼地拝鎖一件附藤堂大学頭閉口の事(略書) 那須様御居間廻り御取建仕様并積留帳 作事所 安政4(1857)	GK288-130	由緒書(鴨野治助・島野与助家) GK288-8 鴨野治助 島野与助 明治4(1871) 写 1冊(合本) 半紙 仮和 合綴：覚(先祖嘉右衛門由緒并代々御用被仰付候趣) 天保8年(1837) 竹内勘六
〔津軽家系譜〕 写 1冊 半紙 仮和 註：藤原系図より承昭まで	GK288-112	南部御家系御記録 写(明治) 半紙 仮和	GK288-73	由緒書(阿部勇藏家)阿部勇藏 GK288-12 文化3(1806) 写 1冊 半紙 和
津軽家嫡流伝系 文政4(1821) 写 1冊 半紙 仮和 註：東日流左衛門より津軽信順まで	GK288-107	南部諸士由緒記 写 1冊 半紙 和	GK288-131	由緒書(七戸兵部康治家)生駒金鉄 GK288-13 写 1冊 半紙 仮和 註：生駒金鉄の先祖七戸兵部康治
津軽御代々 写 1冊 半紙 和 註：津軽為信より信順まで	GK288-122	人別書(工藤岩次郎)工藤岩次郎 明治5(1872) 1冊 半紙 仮和	GK288-51	由緒書(生駒鉄郎家)生駒鉄郎(利清) GK288-18 明治5(1872) 写 1冊 半紙 仮和
津軽氏過去帳 写 1冊(合本) 横小 附：春雲楼遺稿(越知通恒) 註：藩主津軽氏の忌日	GK288-66	〔長谷川茂兵衛家督願〕正徳6年 長谷川茂兵衛 正徳6(1716) 写 1枚 29×38	GK288-77	由緒書(一戸多仲家)一戸多仲(忠喜) GK288-19 文化2(1805) 写 1冊 半紙 仮和
津軽嫡伝譜 写(明治) 1冊 半紙 和	GK288-109	〔英麿を後嗣と定める一件〕 写 1冊 半紙 仮綴	GK288-127	由緒書(一戸休助家)一戸休助(武治) GK288-20 天保12(1841) 写 1冊 半紙 和
〔津軽信寧統柄〕 写 1軸	GK288-126	苗氏つくし 慶応4(1868) 写 1冊 半紙 仮和	GK288-6	由緒書・親類書(御特鑓与五郎家) GK288-21 伊藤与五郎 天保10(1839) 写 1冊 半紙 仮和
		〔紋所と旗〕(兼平氏) 天保14,15(1843,44) 写 2枚	GK288-31	由緒書(今井平吉家)今井平吉(春房) GK288-23

天保 14 (1843) 写 1 冊 半紙 仮和		天保 6 (1835) 写 1 冊 半紙 和		註：「先祖由緒伝書日記」	
由緒書 (葛四半左衛門家) 葛西半左衛門 天保 14 (1843) 写 1 冊 半紙 仮和	GK288-25	由緒書附親類書 (工藤市蔵家) 工藤辰五郎 天保 10 (1839) 写 1 冊 半紙 仮和	GK288-49	由緒書 (東海吉兵衛家) 東海吉兵衛 寛政 4 (1792) 写 1 冊 横長 和	GK288-68
由緒書 (角田喜八家) 角田喜八 万延 2 (1861) 写 1 冊 半紙 仮和	GK288-26	由緒書 (工藤市蔵家) 工藤岩次郎 明治 5 (1872) 写 1 冊 半紙 仮和	GK288-50	由緒書 (東海吉兵衛家) 東海吉兵衛 天保 4 (1833) 写 1 冊 横長 仮和	GK288-69
由緒書 (加藤八左衛門家) 加藤八左衛門 享和 2 (1802) 写 1 冊 半紙 仮和	GK288-29	由緒書 (坂本伴右衛門家) 坂本伴右衛門 天保 10 (1839) 写 1 冊 半紙半 仮和	GK288-53	由緒書 (東海吉兵衛家) 東海 写 1 冊 横長 仮和	GK288-70
由緒書 (楠美家) 写 1 冊 (合本) 美濃・半紙 仮和 内容：由緒書 楠美荘司 (則徳) 享和2 (1802) 親類書 楠美仙内 (則正) 享和3 (1803) 由緒書 楠美悠作 (則悠) 天保4 (1833) 註：楠美家書上の控	GK288-35	由緒書 (桜田三之丞家) 桜田三之丞 寛政 8 (1796) 写 1 冊 半紙 仮和	GK288-54	由緒書 (野崎弥次右衛門家) 野崎弥三五郎 明治 3 (1870) 写 1 冊 半紙 仮和	GK288-74
由緒書ひかへ (黒石鉄五郎家) 黒石鉄五郎 (弘澄) 明和 4 (1767) 写 1 冊 美濃 仮和	GK288-37	由緒書・親類書 (下沢家) 下沢 写 1 冊 半紙 仮和 (合綴) 内容：由緒書 下沢弁右衛門 (保盈) 文化2 (1805) 親類書 下沢彦左衛門 (康次) 享保13 (1729) 親類書 下沢弁右衛門 (保盈) 安永2 (1773) 親類書 下沢弁右衛門 (保盈) 寛政9 (1797) 親類書 下沢門弥 (清維) 天保7 (1836)	GK288-56	由緒書 (芳賀豊太郎家) 芳賀豊太郎 天保 14 (1843) 写 1 冊 半紙 仮和	GK288-75
由緒書 (工藤惣右衛門家) 工藤九左衛門 (祐僞) 明和元 (1764) 写 1 冊 美濃 仮和	GK288-40	由緒書 (下沢弁右衛門家) 下沢弁右衛門 (保盈) 文化 2 (1805) 写 1 冊 半紙 仮和	GK288-58	由緒書 (長谷川茂兵衛家) 長谷川茂兵衛 (利知) 享和 2 (1802) 写 1 冊 半紙 和	GK288-80
由緒書 (工藤惣右衛門家) 工藤〔六弥〕 写 (寛政頃) 1 冊 半紙 仮和	GK288-41	由緒言 (武田勇吉家) 武田勇吉 写 (明治) 1 冊 美濃 仮和 註：武田 (櫛引) 家金木屋の由緒書	GK288-62	由緒書 (長谷川茂兵衛家) 長谷川茂兵衛 (利知) 天保 4 (1833) 写 1 冊 半紙 仮和	GK288-81
由緒書 (工藤伴次郎家) 工藤伴次郎 (遺直) 1 冊 (合本) 半紙 仮和 内容：由緒書 (工藤伴次郎) 享和2 (1802) 親類書 (工藤伴次郎) 享和元, 2	GK288-43	由緒書上 (田名部精一家) 田名部精一 (貞記) 明治 5 (1872) 写 1 冊 半紙 仮和	GK288-65	由緒書 (御持鍵弥右衛門家) 〔三上〕弥右衛門 (忠光) 文化 11 (1814) 写 1 冊 半紙 仮和	GK288-85
由緒書 (工藤市蔵家) 工藤辰五郎 (豊知)	GK288-48	由緒書 (東海吉兵衛家) 東海 宝玉 4 (1707) 写 1 冊 横長 仮和	GK288-67	由緒書 (三上亀太郎家) 三上亀太郎 (孟弘) 弘化 2 (1845) 写 1 冊 半紙 仮和	GK288-86
				由緒書 (八木橋清蔵家) 八木橋清蔵 (央直)	GK288-89

文化 4 (1807) 写 1 冊 半紙 仮和	
由緒書 (八木橋平馬家) 八木橋平馬 (繁史) 天保 4 (1833) 写 1 冊 半紙 仮和	GK288-90
由緒書 (八木橋平馬家) 八木橋平馬 (繁史) 天保 4 (1833) 写 1 冊 半紙 仮和	GK288-91
由緒書 (八木橋平馬家) 八木橋平馬 (繁史) 天保 4 (1833) 写 1 冊 半紙 和 註：朱書訂正がある	GK288-92
近衛殿御当家両統系譜附歴譜 写 1 冊 美濃 和 (楠美田蔵本) 註：津軽信政までの系譜	GK288-97
K289 個人伝記	
浅利伊兵衛 浅利伊兵衛先生百五十年遠忌追悼 川村直良 慶応 3 (1867) 写 1 冊 半紙 和 註：浅利伊兵衛 (均禄) 150 年忌追悼文並に浅利万之助 (均致) 門弟 102 人の人名	GK289-186
安藤友作 鯨ヶ沢御蔵加役勤書 万延元年 安藤友作 (正房) 万延元 (1860) 写 1 冊 半紙半 仮和 註：鯨ヶ沢御蔵加役仰付られ着任までの自分留	GK289-26
出町安兵衛 〔出町安兵衛願書〕 写 5 通 註：湯治願 山駕籠願 娘縁組願	GK289-165

一戸鴨右衛門 知行之目録 寛文元 (1661) 写 1 枚 34×50 一枚物 (信政黒印)	GK289-124
一戸八郎兵衛 〔知行〕目録 正徳 2 (1712) 写 1 枚 34×50	GK289-125
一戸弥源太 〔知行〕目録 元文元 (1736) 写 1 枚 31×88	GK289-126
岡兵一 岡兵一手簿 明治 9 (1876) 写 1 冊 半紙 仮和 註：岡兵一の手記	GK289-127
小山内定吉 御用留帳 小山内定吉 文化 10 ～天保 4 (1813 ～ 33) 写 1 冊 半紙 和 註：小山内定吉の履歴	GK289-27
小笠原明大 (彦一) 小笠原明大彦一の伝 写 1 冊 半紙 仮和	GK289-92
小野市五郎 (貞政) 覚 小野市五郎 (貞政) 寛政 8 (1796) 写 1 冊 横長 仮和 註：寛政 8 年学校武芸教授方御用懸仰けられた際の申立の下書き	GK289-94
由緒書の儀 小野市五郎 (貞政) 写 1 冊 半紙半 仮和	GK289-93

註：小野市五郎寛政 3 年より文化 3 年まで (1791 ～ 1806) の履歴	
葛西次郎兵衛 〔葛西次郎兵衛日記〕〔葛西次郎兵衛〕 慶応 3 ～明治 3 (1867 ～ 70) 写 1 冊 半紙 仮和 註：慶応 3 年～明治 3 年間の記事 とくに天候にくわしい 次郎兵衛は明治 3 年 70 歳 御使番	GK289-38
諸用日史 明治 4 年～ 10 年〔葛西次郎兵衛〕 明治 4 ～ 10 (1871 ～ 77) 写 1 冊 半紙 仮和 註：葛西次郎兵衛 明治 10 年 77 歳	GK289-39
葛西彦六 (清雄) 〔葛西彦六日記〕〔葛西彦六〕 文化元～文政 4 (1804 ～ 21) 写 1 冊 半紙 仮和 註：文化元年～文政 4 年間の日記 葛西彦六 諱は清雄 葛西清雄は〔葛西秘録〕の著者 彦六の伴は元作 (清通) である	GK289-37
嘉藤新右衛門 (定房) 〔嘉藤新右衛門〕 分限帳 元禄 11 年 元禄 11 (1698) 写 1 冊 半紙 和 註：履歴書上の控帳	GK289-95
兼平市弥 (直之) 末期願書付 兼平市弥 (直之) 嘉永 7 (1854) 写 1 通	GK289-129
兼平清太 末期願書付 (下書) 兼平清太 (直昌) 文政 9 (1826) 写 1 通	GK289-196
隠居願書付 兼平清太 (直昌) 弘化 3 (1846) 写 1 通	GK289-128

川越石太郎（次泰）

覚書 川越石太郎（次泰） **GK289-32**
写（自筆）1冊 半紙 仮和
註：安政6年～明治2年（1859～69）間の履歴

嘉永六年ヨリ之日記 川越石太郎（次泰） **GK289-30**
写 1冊 半紙半 仮和
註：著者の嘉永6年～安政5年（1853～58）万延2年（1681）明治6年（1873）7月～11月及諸品買調帳（文久2（1862）書籍借貸留帳（明治5）書類貸借之記（明治13）

〔留帳〕 川越石太郎（次泰） **GK289-31**
1冊 半紙 仮和
註：安政6年～元治元年まで（1859～64）川越石太郎勤番日付留

勤式帳 文久3年 川越石太郎（次泰） **GK289-96**
文久3（1863）写 1冊 半紙半 仮和
註：川越石太郎文久3年近衛家警衛のため上京仰付られた際の諸事御用向の覚

京都風談 附気考〔川越石太郎〕（次泰） **GK289-192**
文久3（1863）写 1冊 半紙半 和
註：文久3年より元治元年京都詰の日記

覚書 川越石太郎（次泰） **GK289-33**
文久3～元治元（1863～64）写 1冊 横小 仮和
註：京都警衛のため弘前より江戸それより京都へ 又弘前への道中日記

〔覚書〕 川越石太郎（次泰） **GK289-34**
写（自筆）1冊 半紙 仮和
註：文久3年～元治元年（1863～64）近衛家警衛のため京都詰の際の御用留

日記〔川越石太郎〕 **GK289-35**
明治元～6（1868～73）写 1冊 半紙半 仮和
註：著者の明治元年11月～同6年4月までの日記

二等銃隊勤要 川越石太郎 **GK289-135**
明治2,3（1869,70）写 1冊 半紙 仮和
註：川越石太郎二等銃隊勤務中の自分留 表紙の内に御用状並に諸通用が納めてある

出納帳〔川越次泰〕 **GK289-36**
写 1冊 横小 仮和
註：川越次泰（石太郎）の出納帳

〔川越石太郎辞職願その他〕 **GK289-136**
写（明治）3枚
内容：1 辞職願 川越石太郎 明治13（1880）2 証（清水余三郎援助一件）川越石太郎・大道寺繁禎 明治25（1892）3 保護願 川越石太郎 明治25

川越清吉（継久）（次久）

御右筆江御役替被仰付右勤方左之通 **GK289-28**
文化9年6月
文化9（1812）写 1冊 横長 仮和
註：川越清吉（継久）が右筆役仰付られた際の留書

〔川越清吉隠居願〕 下書 川越清吉（次久） **GK289-133**
文政8（1825）写 1通

〔川越清吉末期願書付下書〕 **GK289-134**
川越清吉（次久）
写（文政8（1825）頃）2通 一枚物

川越惣十郎

〔川越惣十郎隠居願〕 控 **GK289-130**

川越惣十郎（継貞）
宝暦3（1753）写 1通

川越茂兵衛（直次）

〔屋敷繰替願之下書〕 文化3年 **GK289-131**
川越茂兵衛（直次）
文化3（1806）写 1通 一枚物

御奉公要用留 川越茂兵衛 **GK289-29**
写 1冊 半紙 仮和
註：天保2年～文久2年（1831～62）間川越茂兵衛の履歴 川越鎌吉一茂兵衛（養子）一石太郎（倅）

〔川越茂兵衛御馬廻三番組被仰付覚〕 **GK289-195**
〔安政4〕（1857）写 1通

〔川越茂兵衛切支丹証文并人別調控綴〕 **GK289-132**
写 1冊 仮綴

菊池九郎

菊池九郎先生小伝 長谷川虎次郎編 **GK289-184**
弘前 菊池九郎先生建碑会 昭和10 264頁 菊 仮洋

菊池健左衛門

日記 **GK289-137**
自明治32年2月10日至同40年9月
〔菊池健左衛門〕
明治33～40（1900～07）写 1冊 半紙 仮和
該：菊池健左衛門は菊池巍の父

北原高雅

日誌〔北原高雅〕 **GK289-43**
明治14～29（1881～96）写 6冊 和
内容：明治14年 19年 23年1月1日～24年1月5日 25年4月15日～26年5月31日 26年6月1日～28年1月

1日 28年1月1日～29年1月17日

註：青森県庁職員

木村綱吉（惟長）

御用留帳 木村綱吉（惟長） **GK289-41**
写 1冊 半紙 仮和
註：文政3年～嘉永2年（1820～49）御奉公見習 御中小性勤中の自分留

御用留〔木村綱吉〕 **GK289-42**
写 1冊 半紙 仮和
註：木村綱吉の勤番割及自分留 安政6年～明治2年（1859～69）馬廻四番組勤中

木村東四郎

家禄奉還願之儀 明治7年 木村東四郎 **GK289-97**
明治7（1874）写 1枚 27×38
註：木村東四郎の家禄奉還願書

木村友蔵

御奉公勤中留帳 木村友蔵 **GK289-40**
写 1冊 半紙 仮和
註：木村友蔵の履歴 安永3年～寛政10年（1774～98）

楠美嘉兵衛

寄合事記 自享保15年至元文2年 **GK289-44**
楠美嘉兵衛（庸則）
写 1冊 半紙 和
註：楠美嘉兵衛の公私留書で忝甚之助が書写したものか（*K289/ヨリに複写物あり）

楠美甚之助

〔楠美甚之助日記〕〔楠美甚之助〕（則理） **GK289-45**
享保20～元文5（1735～40）写 6冊 半紙 和

楠美荘司（則徳）

漫雑記 文化7年〔楠美荘司〕（則徳） **GK289-191**
文化7（1810）写 1冊 半紙 和
註：文化午年海外江刺司営中とあるも弘前帰着後5月5日より9月14日までのもの（*K289/マンに複写物あり）

日記稿 楠美荘司 **GK289-46**
文化7（1810）写 2冊 半紙 仮和
註：文化7年楠美荘司のソウヤ詰日記（*K289/クスに複写物あり）

賀養子願書付 楠美荘司（則徳） **GK289-98**
文化11（1814）写 1枚 25×30 一枚物
註：楠美荘司伴仙内の嬢に館山類司を賀養子とする願書控 文化11年6月付

〔楠美荘司書簡〕 壬4月13日付 **GK289-138**
楠美仙内宛
写 1通

楠美太素（則敏）

家記 自文政9年至弘化5年 **GK289-99**
楠美悠作（則敏）
文政9～弘化5（1826～詣）写 1冊 半紙 仮和
註：楠美悠作 荘司と改め又太素と改める 則悠とも称す 明治15年（1882）歿 享年68 自分留

〔御祝御料理頂戴御能見物仰付之書付〕 **GK289-100**
嘉永5（1852）写 1通 19×54
註：喜多村監物より楠美荘司（則敏）宛のもの 嘉永5年3月25日付

天保十一年後知行之役書上 **GK289-139**
楠美荘司（則敏）
安政6（1859）写 1通

〔楠美太素書簡〕 楠美〔則敏〕 **GK289-140**
写 1通

〔楠美太素関係剪紙〕 **GK289-141**
写 37通

〔含英女小学教員辞令〕 **GK289-101**
写 3枚
内容：楠美太素含英女小学教員拝命辞令 明治9年（1876）楠美太素慰労金差遣され辞令 明治12年（1879）戸長よりの手紙（楠美太素へ）

知昔録〔楠美〕太素（則敏） **GK289-102**
明治14～15（1881～82）写 1冊 半紙 仮和
註：楠美太素の明治14年1月～同15年3月20日までの日記 明治15年3月26日歿

〔楠美太素伝記資料〕 **GK289-142**
写 9通

楠美晩翠（和民）

〔楠美晩翠関係剪紙〕 **GK289-143**
写 3通

〔楠美晩翠日記〕 明治6年 **GK289-47**
明治6（1873）写 1冊 半紙 仮和

工藤東三郎

町同心中村喜代吉工藤東三郎儀中村屋常蔵を召捕之節致手負東三郎相果候一条 **GK289-144**
天保15年9月
天保15（1844）写 1冊 半紙 仮和

黒石亀吉

覚書 黒石亀吉 **GK289-48**
文化12(1815)写 1冊 半紙半 仮和
註：文化元年～同12年までの自分の履歴

黒石九左衛門(弘治)
〔**黒石九左衛門御役御免願**〕 **GK289-194**
元禄13(1700)写 1通

黒石鉄五郎
勤書覚 嘉永2年 黒石鉄五郎 **GK289-49**
嘉永2～4(1849～51)写 1冊 半紙 仮和
註：黒石鉄五郎嘉永2～4年の履歴

黒石藤右衛門
家督覚書 **GK289-103**
写 1冊 半紙半 仮和
註：黒石藤右衛門の家督後の履歴 藤太夫の追記もある

小林忠之丞
〔**小林忠之丞弘前興業社よりの追賞状**〕 **GK289-104**
明治23(1890)写 1枚

近藤篤治
北海記事 明治12年1月～同14年7月 **GK289-193**
〔近藤篤治〕
写 1冊 半紙半 和

西郷隆盛
西郷南洲 桜庭経緯 **GK289-189**
東京 大倉書店 明治24(1891)116頁 四六

斎藤喜三右衛門
水帳 弘前藩庁 **GK289-145**
明治4(1871)写(原本)1冊 半紙 仮和

斎藤佐左衛門(繁誉)
〔**斎藤佐左衛門日記**〕 **GK289-50**
安政6～明治24(1859～91)写 13冊 半紙 仮和
内容：安政6年～文久3年 明治7年 明治9年 明治12年 明治13年 明治14年 明治15年 明治16年(4冊) 明治17年 明治23,24年
註：本書には晴雨考日記ともあるが書名を統一した
斎藤佐左衛門は岩館村代々郷土平川堂東寿と号し文化2年(1805)生れ 明治23年歿 86歳

諸道具控帳附書物扣 明治2年6月 **GK289-51**
斎藤佐左衛門(繁誉)
明治2(1869)写 1冊 半紙 仮和
註：岩館の斎藤佐左衛門家の控帳 3冊の内第1番第2番合冊

斎藤甚助(繁正)
〔**斎藤甚助日記**〕 **GK289-52**
明治28(1895)写 1冊(2冊合本) 半紙 仮和
註：明治28年1年間の日記 甚助は佐左衛門の長男

斎藤善兵衛
松雨書楼日録 〔斎藤善兵衛〕 **GK289-53**
明治3～8(1870～75)写 1冊(2冊合本) 半紙 和
註：斎藤善兵衛 勉斎 松雨軒と号す 斎藤璉一郎(璉)の父

桜庭太次馬(正章)
諸留帳 天明9年より寛政5年 **GK289-54**
藤原雅章(桜庭太次馬(正章))
天明9～寛政5(1789～93)写 1冊 半紙 仮和
註：桜庭太次馬自分留

〔**桜庭太次馬日記**〕〔桜庭太次馬(正章)〕 **GK289-55**
寛政6～文化15(1794～1818)写 1冊 半紙 仮和

註：寛政6年～文化15年間の日記 文化15年今別町奉行
正章：雅章ともあり

桜庭太次馬(正彝)
留帳 天保9年〔桜庭富蔵(正彝)〕 **GK289-56**
天保9～文久4(1838～64)写 1冊 半紙 仮和
註：天保9年～文久4年間の桜庭富蔵の自分留帳 富蔵のち太次馬

留帳〔桜庭富蔵(正彝)〕 **GK289-57**
元治元,2(1864,65)写 1冊 半紙 仮和
註：元治元年同2年 桜庭富蔵(太次馬)の自分留

元治二乙丑年閏五月二十八日京都御留守居兼役被仰付候ニ付覚書〔桜庭富蔵(正彝)〕 **GK289-58**
元治2(1865)写 1冊 半紙 仮和

〔**日記**〕慶応2年〔桜庭富蔵(正彝)〕 **GK289-59**
写 1冊 半紙 仮和
註：京都御宿守居兼詰合勤務中 慶応2年(1866)1月より9月まで

〔**桜庭富蔵関係剪纸**〕 **GK289-148**
写 22通

桜庭富蔵兼勤御免願之儀覚 **GK289-149**
桜庭富蔵(正彝)
写 2通

〔**桜庭太次馬関係剪纸**〕 **GK289-146**
写 4通

御賞書付 **GK289-197**
明治2(1869)写 1通(別紙共)
註：桜庭太次馬(正彝)へ与えたもの

〔日記〕自明治2年8月至同3年正月 **GK289-60**
〔桜庭太次馬（正彝）〕

明治2,3（1869,70）写 1冊 半紙半 仮和
註：江戸に於ける日記 明治2年8月より同3年正月まで

心おぼへ **GK289-105**

明治3年 〔桜庭太次馬〕（正彝）
明治3（1870）写 1冊 半紙半 仮和
註：江戸に於ける日記

心覚 **GK289-106**

明治3年3月より 〔桜庭太次馬〕（正彝）
明治3（1870）写 1冊 半紙半 仮和
註：江戸に於ける日記

〔桜庭権少参事免職願〕 **GK289-150**
〔桜庭太次馬〕（正彝）
写 1通

御家扶御免之願書及辞令 桜庭太次馬 **GK289-151**
明治15（1882）写 2通（1封）

〔日記〕〔桜庭太次馬〕（正彝） **GK289-61**
明治3,4（1870,71）写 2冊 半紙半 仮和
内容：明治3年, 明治3年12月～同4年5月
註：江戸に於ける日記

〔日記控〕明治4年 〔桜庭太次馬〕 **GK289-62**
明治4（1871）写 1冊 半紙半

記 明治4年記録 〔桜庭太次馬〕 **GK289-63**
明治4（1871）写 1冊 半紙半

記 明治8年 正彝（桜庭太次馬） **GK289-64**

明治8（1875）写 1冊 半紙半 仮和
註：津経家家扶桜庭太次馬（正彝）の明治8年10月より
12月までの日記

記事草案 明治12年 〔桜庭太次馬〕 **GK289-65**
明治12（1879）写 1冊 半紙半 仮和

記事 **GK289-66**
明治13～15（1880～82）写 3冊 半紙 仮和
内容：明治13年 明治14年ヨリ同15年4月17日ニ至ル
明治15年4月18日ヨリ12月25日マデ
註：津経家家扶（桜庭太次馬）の日記 桜庭太次馬同年
12月23日辞職

明治四十稔記事 〔桜庭太次馬〕（正彝） **GK289-67**
明治40（1907）写 1冊 半紙 仮和
註：著者明治40年1年間の日記

桜庭貞次郎
〔桜庭貞次郎関係剪紙〕 **GK289-152**
写 2通

桜庭平治郎
〔桜庭平治郎関係剪紙〕 **GK289-147**
写 6冊

佐々木栄作
医術開業免状 佐々木栄作 **GK289-107**
写 1枚 25×34
註：明治30年佐々木栄作の医術開業免状の写

佐々木嘉太郎
佐々木嘉太郎翁 浜館貞吉 **GK289-174**
五所川原 又古同勤会 昭和15 300頁 菊 洋

佐々木玄端（能宗）
御用諸記 佐々木玄端（能宗） **GK289-69**
写 1冊 半紙 仮和

註：誕生より佐々木家相続までの覚書につづいて天明2
年～同6年間の公私記事 土岐伝之助（道竹）中村宗碩
の養弟となり又佐々木宗珪の養弟となり養子となる

佐々木玄端（高能）
江刺詰公私諸用記（江刺詰勤中御用留） **GK289-70**
佐々木玄端（高能）
文化4,5（1807,08）写 1冊 半紙 和
註：佐々木玄端の自分留

佐々木宗寿（高通）
三厩御用留 文政5年 **GK289-71**
佐々木宗寿（高通）
文政5（1822）写 1冊 半紙 仮和
註：佐々木宗寿の三厩詰の際の自分留

佐々木宗端（能道）
公私書記 1,2 佐々木宗端（能道） **GK289-68**
写（自筆）2冊 半紙 仮和
註：元文元年（1736）自己の誕生より明和4年（1767）
まで及び明和5年～安永4年（1768～75）の記事

笹森栄吉
分家願 笹森栄吉 **GK289-108**
明治18（1885）写 1枚 25×33
註：養父儀助の分家願 明治18年4月付 笹森儀助は
中津軽郡長青森市長を勤めた

笹森儀助
笹森儀助分家願 明治18年4月 **GK289-153**
笹森栄吉
明治18（1885）写 1冊 半紙

佐藤幸之助

御賞与の儀に付上申（佐藤幸之助） **GK289-154**
写 1冊 半紙 仮和
註：佐藤幸之助を孝行のゆえ賞与すべく上申の草案

佐野吉郎兵衛（正盛）

〔**佐野吉郎兵衛書簡**〕楠美泰太郎宛 **GK289-198**
写 1通

下沢門弥

水帳（下沢門弥）弘前藩庁 **GK289-155**
明治4（1871）写（原本）1冊 半紙 仮和

下斗米将真

下斗米将真伝 **GK289-156**
写 1冊 半紙
註：相馬大作のこと

相馬大作武勇鑑 卷之3 **GK289-157**
写 1冊 半紙 和

白戸幾右衛門

切支丹証文并人別増減書共差出候表控帳 **GK289-158**
文化11年～天保4年 白戸幾右衛門 同徳弥
文化11～天保4（1814～33）写 1冊 半紙半

神源太夫

初御目見より所々勤所并御役替等之年号覚 **GK289-75**
〔神源太夫〕
写 1冊 半紙 仮和
註：神源次（源太夫）の履歴

御用留帳〔神源太夫〕 **GK289-76**
天明7（1787）写 1冊 半紙 仮和

註：神源太夫の天明7年より寛政3年正月までの公私留帳

神七郎左衛門（昌生）

万留書 神七郎左衛門（昌生） **GK289-74**
享保16～宝暦10（1731～60）写 1冊 横小 仮和
註：神七郎左衛門始め七五郎 享保16年～宝暦10年間の自分留

神直八（盛重）

〔**御用勤書**〕神直八（盛重） **GK289-109**
写（文化～）1冊 半紙 仮和
註：「初御目見より諸加役所相勤年号并諸御用相勤年号御書出被下置御継目御祝義頂戴御能見物被仰付候年号共」とあり安永9年より文化9年まで（1780～1812）の履歴

神直八（盛次）

諸御用覚留 天保14年〔神直八〕盛次 **GK289-159**
天保14（1843）写 1冊 半紙 仮和
註：神直八が寄合役を仰付られた際の覚え

神力之助（盛倫）

留書 享保5年より享保6年 **GK289-72**
〔神力之助〕（盛倫）
享保5,6（1720,21）写 1冊 半紙 仮和
註：神力之助が25歳より26歳までの自分留

覚留帳 享保7年正月より享保8年 **GK289-73**
〔神力之助〕（盛倫）
享保7,8（1722,23）写 1冊（2冊合本）半紙 仮和
註：神力之助が27歳より28歳までの自分留

関清六

関清六翁一商業家模範一 **GK289-160**
写 1冊 半紙 仮和
註：明治39年（1906）5月弘前新聞連載のもの

添田儀左衛門（貞俊）

〔**添田儀左衛門日記**〕 **GK289-77**
〔添田儀左衛門〕（貞俊）
写 1冊 横小 和（川越石太郎旧蔵）
註：延宝9年～天和3年（1681～83）の日記 天和2年4月までは江戸に於ける日記

大道寺族之助（繁正）

〔**大道寺族之助（繁正）書状**〕 **GK289-161**
須藤半兵衛宛 閏4月朔日
写 1通

台屋長兵衛

〔**台屋長兵衛書状**〕元禄16年 長兵衛 **GK289-110**
元禄16（1703）写 1枚 22.5×45 一枚物
註：鉄炮台屋長兵衛が新四郎に扶持切米下し置くよう願上の書付 松井四郎兵衛 松山善之丞宛

高瀬屋佐次兵衛

万日記帳 **GK289-78**
嘉永6（1853）写 1冊 半紙 仮和
註：天保5年（1834）～嘉永6年までの高瀬屋佐次衛養子某の子の年々の家業の大略

竹内衛士

〔**竹内衛士墓碑**〕山崎道沖 **GK289-162**
拓 1帖 折本 大

竹屋八十郎

〔**竹屋八十郎**〕**知行目録** 享保12年 **GK289-163**
享保12（1727）写 1枚 一枚物

玉田延太郎

従軍日誌 玉田延太郎 **GK289-188**

明治 30 (1897) 序刊 62 頁 菊

津軽校尉

御用之覚 津軽校尉 **GK289-164**
写 1 通
註：佐藤帯刀へ宛てた手紙

津軽為信

為信公 **GK289-115**
写 1 冊 半紙 仮和
註：津軽為信駕入より大光寺責めまで 残欠本

津軽藩祖略記 兼松成言 (誠) 編 **GK289-1**
東京 下沢保躬 明治 9 (1876) 写 1 冊 半紙 和
註：津軽為信伝記 漢文

藩祖略記 兼松誠編 **GK289-116**
慶応 4 (1868) 写 1 冊 半紙 和

津軽親足

〔津軽甲斐守親足宛書翰〕 **GK289-187**
写 1 軸 卷子 小

津軽承昭

旧藩侯履歴書抄録 **GK289-25**
写 1 冊 半紙 仮綴
註：津軽承昭の履歴

承昭公事績 **GK289-121**
写 5 冊 半紙 和
註：飯田異等編纂の承昭公史伝 巻 1 ～ 5
内容：1 安政 4 年～慶応 3 年 (1857～67) 2 慶応 4 年
明治と改元 3 慶応 4 年 4 明治 2 年 (1869)
5 附：維新後藩政顕著事件成績大要 明治 3 年～同 4 年
(1868)

津軽承昭公伝 津軽承昭公伝刊行会編 **GK289-122**
東京 編者 大正 6 (1917) 473 頁 菊 洋

津軽承昭公伝 津軽承昭公伝刊行会編 **GK289-123**
東京 編者 大正 6 (1917) 473 頁 菊 洋

津軽信著

顕休院殿御法名御染筆御改葬一件御位牌御国元江遣候一件
延享元年至同 2 年 **GK289-20**
写 1 冊 半紙 和
註：顕休院殿 (津軽信著) の法名改葬等の記録 津梁院
の記録による写本

津軽信明

御行実老譚 **GK289-21**
写 1 冊 美濃 和 (楠美旧蔵本)
註：第 8 代藩主津軽信明の伝記

御行実老譚 **GK289-22**
写 1 冊 半紙 和
註：第 8 代藩主信明公伝である

孝公真記 古田献可 **GK289-120**
写 1 冊 美濃 和

津軽孝公行実記 古田献可 **GK289-119**
文政 2 (1819) 写 1 冊 半紙 和
註：孝公は津軽信明

津軽信明公 外崎覚 **GK289-118**
東京 吉川半七 明治 30 (1897) 100 頁 菊 仮洋

無超記 **GK289-23**
嘉永 5 (1852) 写 1 冊 美濃 和 (川越旧蔵本)

註：第 8 代藩主津軽信明の伝記

無超記 **GK289-24**
写 1 冊 半紙 仮和
註：津軽信明の伝記

津軽信政

古往万徳集 上, 中, 下 **GK289-9**
写 1 冊 美濃 和
註：信政公言行録

古往万徳集 **GK289-11**
写 1 冊 半紙半 仮和
註：上巻の前半が欠けている

貞享規範録 2 巻 森内繁富 **GK289-12**
写 (明治) 2 冊 半紙 和
註：津軽信政の言行録 文化 3 年 (1806) の著

貞享規範録抄 上 **GK289-13**
写 1 冊 手足 仮和

神君吉往万徳集 巻 1 至巻 3 **GK289-10**
文政 3 (1820) 写 (斎藤規房) 1 目 半紙 和
註：今通磨の書写本により斎藤規房が写したもの

高照神君御脩学次第 吉川惟足 **GK289-14**
慶応 3 (1867) 写 1 冊 半紙 仮和
註：内題津軽越中守信政朝臣主江視吾堂御返答申上候
条々并御脩学次第とあり 信政公と吉川惟足との問答無
道修学の記録である 斎藤鉞右衛門 (規房) が吉川家記
録より抜書したもの写

高照宮御遺鑑 自巻 9 至巻 11 **GK289-2**
渡部利容 (后)

写 1冊 美濃 仮和
 註：津軽信政の徳行録

〔高照霊社御意書〕〔伊東祐明〕編 **GK289-3**

写 1冊 半紙 和
 註：伊東祐明通称衛門八 近習小姓後勘定奉行 津軽信政の言行録

高照霊社御意書〔伊東祐明〕編 **GK289-7**

文久3(1863)写(伊東祐明)1冊 半紙 仮和
 註：高照神社玉話記と同じもの 本書は巻頭及末尾の数枚を欠く

高照霊社玉話記〔伊東祐明〕編 **GK289-8**

写 1冊 半紙 仮和
 註：津軽信政の言行録 附御自筆之写(宝暦7年～天明4年(1759～84))

弘前城主越中守津軽信政公 外崎覚 **GK289-117**

東京 吉川半七 明治35(1902)362頁 菊 仮洋

弘前城主越中守津軽信政公 外崎覚 **GK289-18**

東京 吉川半七 明治35(1902)362頁 菊 仮洋

津軽信政公事績 菊池元衛 **GK289-16**

弘前 著者 明治31(1898)301頁 菊 洋

津軽信政公事績 菊池元衛 **GK289-17**

弘前 著者 明治31(1898)301頁 菊 洋

外乃浜風 贈従三位津軽信政公二百年祭記念

旦代石太郎編 **GK289-19**

東京 編者 明治42(1909)126頁 菊 仮洋

内容：玉話集抄 贈従三位津軽信政公事績(外崎覚)

津軽信政公と山鹿素行(外崎覚)

外の浜風 贈従三位津軽信政公二百年祭記念

旦代石太郎編 **GK289-111**

東京 編者 明治42(1909)126頁 菊

内容：玉話集抄 贈従三位津軽信政公事蹟(外崎覚)

津軽信政公と山鹿素行(外崎覚)

信政公年譜 **GK289-15**

写 1冊 美濃 仮和

信政公御意之筋聞伝集(尊聴録) **GK289-5**

〔伊東祐明〕編

写 1冊 半紙 和

信政公御意之筋聞伝集(高岡公明訓録) **GK289-6**

〔伊東祐明〕編

嘉永5(1852)写(山本有竜)1冊 美濃 和

註：伊東祐明編の高照霊社御意書と同じ

明君夜話近士口伝集〔伊東祐明〕編 **GK289-4**

写(伊東祐明)1冊 半紙 和

註：伊東祐明編の高照霊社御意書である 信政公御意筋ともいう

東海熊吉

〔東海熊吉忌明届〕小笠原常蔵 **GK289-112**

写 1枚 12×35

註：東海熊吉親三司の忌明の届

外崎嘉七

外崎嘉七 国産林檎の指導者 **GK289-113**

伊藤峻一郎

大阪 日本出版往 昭和18 236頁 B6 仮洋

(近世日本興業偉人伝5)

内藤吉郎太

身元引受証 明治15年 **GK289-80**

明治15(1892)写 1枚 25×39 一枚物

註：鳴海謙六、工藤主膳が内藤吉郎太の身元保証書 第五十九国立銀行宛のもの

中村福之丞

中村福之丞跡式相続之事 **GK289-166**

写 1冊 半紙 仮和

梨田左源司

屋敷地御割渡願 梨田左源司 **GK289-167**

写(明治)1冊 半紙 仮和

註：明治4年(1871)在宅の際

成田十太夫

〔成田十太夫関係文書〕 **GK289-168**

写 1束(8通)

註：足袋額 俵妻湯治願 妹離縁之儀 離縁状 等

成田茂左衛門

〔成田茂左衛門薬科頂戴願〕外1点 **GK289-169**

写 2通

成田良太郎(友久)

文政日記〔成田良太郎〕(友久) **GK289-79**

写 1冊 半紙 仮和

註：文政8年～天保5年(1825～34)の日記 御近習小性

西館伊勢(建哲)

〔西館伊勢書状〕楠美太素宛 **GK289-170**

明治2(1869)写 9通

註：近衛信君尹子弘前入興の際お供の楠美太素宛に同行の西館伊勢が先き下りしての道中の書簡

西館伊勢名は建哲 字膳と称し後字を融と改む 翫水と

号す	
西村勘兵衛	
〔西村勘兵衛知行目録〕 貞享2年	GK289-171
貞享2 (1685) 写 1冊 一枚物	
乳井貢	
高岡霊驗記 3巻〔後藤利卜〕 (兵司)	GK289-81
写 1冊 半紙 和	
註：高照神社祭司役後藤兵司が霊夢に託して乳井貢の宝暦年間の事績を批判的に書いたもの	
高岡霊驗記 4巻〔後藤利卜〕 (兵司)	GK289-82
写 4冊 半紙 仮和	
註：3巻本と同じ	
高岡霊驗記 上中〔後藤兵司〕	GK289-83
文化7 (1810) 写 1冊 半紙 仮和	
高岡霊驗記 天地〔後藤兵司〕	GK289-84
弘化3 (1846) 写 (木村和吉) 2冊 半紙 和	
高岡霊驗記 上中〔後藤兵司〕	GK289-85
写 1冊 半紙 和	
高岡霊驗記 上中〔後藤兵司〕	GK289-86
写 1冊 半紙 和	
高岡霊驗記 上中〔後藤兵司〕	GK289-87
写 1冊 半紙 和	
長谷川千之進 (利友)	
額上下書 明治3年	GK289-88
明治3 (1870) 写 1冊 横長 仮和	
註：長谷川千之進 (利友) の三周忌に掲げる炮技額の下書	

長谷川茂兵衛	
知行帳	GK289-172
写 1冊 美濃 仮和	
内容：知行帳 (長谷川茂兵衛) (寛政7) (1795) 知行所田畑反別之帳 (松井助右衛門) (正徳3巳年 (1713) 改之) 知行帳	
長谷部友太郎	
人別帳 明治3年・至同23年	GK289-173
長谷部友太郎	
明治3～23 (1870～90) 写 1冊 半紙 仮和	
註：長谷部友太郎の戸籍及履歴	
原田豊太郎	
原田豊太郎 原田彦一	GK289-175
森田 著者 大正5 (1916) 45頁 菊 仮洋	
平尾魯仙 (亮致)	
〔平尾魯仙安門瀑布図巻同紀行献上添書〕	GK289-176
明治28 (1895) 写 1通	
註：三上不可止,土岐やすが祖父魯仙 (亮致) の図書献上について宮内大臣土方久元から学習院長近衛篤磨宛のもの	
福士武正	
万覚帳 慶応4年9月 福士武正	GK289-89
慶応4 (1868) 写 1冊 横小 仮和	
註：福士武正の金銭の受払の覚	
本多庸一	
我が先生 岡田哲蔵	GK289-190
東京 阿部義宗 大正14 (1925) 96頁 四六	
松井四郎兵衛	

書付を以申上候 天和2年	GK289-177
松井四郎兵衛	
天和2 (1682) 写 1冊 一枚物	
註：御印焼失についての申上げ書	
松田孫太郎 (親常)	
深浦湊目付勤書 安永7年	GK289-178
安永7 (1778) 写 1冊 半紙 仮和	
註：松田孫太郎が深浦湊目付仰付られた際の留書き	
三上亀太郎	
〔三上亀太郎〕人別書上 明治3年	GK289-114
明治3 (1870) 写 1冊 半紙 仮和	
三上屯	
〔尾敷地割願〕 三上屯	GK289-179
明治4 (1871) 写 1通	
山中応之助	
於保恵〔山中応之助〕	GK289-185
天保7 (1836) 写 1冊 半紙半 仮和	
註：鯨沢青森別段締役勤務中留書及川柳抜句留	
和井内貞行	
十和田湖開拓之偉人和井内貞行翁	GK289-180
高橋強編	
毛馬内 立山文庫 昭和2 104頁 菊 仮洋	
渡辺佐助	
二代渡辺佐助伝 渡辺佐助 (貞吉) 編	GK289-181
写 1冊 半紙 仮和	
註：昭和4年刊本の写	

知行之目録（徳舞村本きも入弥介） **GK289-182**
寛永 11（1634）写 1 枚 33×16（信吉黒印）
註：信吉は津軽信義

日記 **GK289-183**
文化 12（1815）写 1 冊 半紙 仮和
註：文化12年9月～12月までの南部藩田名部の町人の日記

襟記 安政 4 年 11 月朔日 福隠 **GK289-90**
安政 4, 5（1857, 58）写 1 冊 横小 仮和
註：安政4年11月ヨリ同5年9月マデの日記控帳 福隠とある

尾上日記 藤静覚 **GK289-91**
明治 4,5（1871,72）写 1 冊 横小 仮和
註：明治 4 年 9 月～5 年正月

K290 地理学（地誌 紀行）

大湯温泉から十和田湖まで 高橋強編 **GK290-3**
大湯（秋田県）大湯温泉旅館組合 大正 14（1925）
38 頁 三六 仮洋

東北温泉案内記 東北温泉協会編 **GK290-7**
仙台 編者 昭和 17 78 頁 四六 仮洋

東北温泉風土記 石坂洋次郎編 **GK290-6**
東京 日本旅行協会 昭和15 再版 125頁 四六 仮洋

東北の温泉 仙台鉄道局編 **GK290-4**
仙台 編者 大正 15（1926）154 頁 四六 仮洋

東北風談 肝付兼武 **GK290-2**
文久 2（1862）写 1 冊 半紙 和
註：薩藩人肝付氏嘉永 6 年（1853）に遊歴した東北国々

の形勢兵の強弱富貧を記す

東北風談 肝付兼武 **GK290-1**
文久元（1861）写 1 冊 半紙 和

十和田湖と附近温泉めぐり 中野雪山 **GK290-5**
東京 白揚社 昭和 2 188 頁 三六 仮洋

K290.3 地図 絵図

青森上磯山沢図 **GK290.3-25**
写 1 枚

青森県管内全図 青森県編 **GK290.3-3**
青森 松森豊 明治 21（1888）1 舗 量物

青森県管内全図 青森県編 **GK290.3-4**
青森 松森豊 明治 21（1888）1 舗 量物

青森県管内全図 鎌田商店編 **GK290.3-5**
青森 編者 明治 25（1892）1 舗 量物

青森県管内全図 鎌田商店編 **GK290.3-6**
青森 編者 明治 25（1892）1 舗 量物

青森県管内全図 鎌田商店編 **GK290.3-7**
青森 編者 明治 25（1892）1 舗 量物

〔**青森県**〕**第四大区五小区小中野村図** **GK290.3-87**
写 1 枚

青森県第四大区五小区の図 **GK290.3-85**
明治 9（1876）写 1 袋（7 枚）
註：第 4 大区 5 小区（広野村 沖中野 小中野 栄田 広富 富岡 上相野村）の図

青森県第四大区五小区の図 **GK290.3-86**

写（明治）1 袋（18 枚）
内容：栄田打（字米橋字広船字道能下学小田表）上相野村（字緑川字緑字若緑字明石）富岡村（字柁木）小中野村（字種取）沖中野村（字福留字若鷺）広富村（字鶴見字松緑字千代倉字松風）広野村

青森県大地図 中央堂編纂所編 **GK290.3-8**
弘前 中央堂近松書店 明治 35（1902）1 舗

青森県地図―新撰詳密― 近松廉吉編 **GK290.3-9**
弘前 近松勇吉 大正 4（1915）増補 17 版 1 枚

青森市全図 近藤竹五郎編 **GK290.3-23**
青森 編者 明治 39（1906）1 枚

青森実地明細絵図―新製― 川瀬善一編 **GK290.3-21**
青森 神谷久三郎 明治 25（1892）1 舗 量物

青森実地明細絵図―新製― 川瀬善一編 **GK290.3-22**
青森 神谷久三郎 明治 25（1892）1 舗 量物

青森略図（9 千分 1） **GK290.3-24**
明治 41（1908）1 枚
註：明治 41 年 9 月皇太子殿下青森市行啓記念

〔**浅瀬石川上流測量図**〕5 千分 1 **GK290.3-80**
写 1 枚 50×87

浅瀬石流域測量図（津軽領） **GK290.3-79**
写 1 枚

石川村全図（南津軽郡石川村） **GK290.3-61**
写 9 枚

内容：石川村全図 大字石川 大字大沢 大字森山 大字 小金崎 大字鯖石 大字八幡館 大字乳井 大字薬師堂		元禄 4 (1691) 写 1 冊	写 1 冊	
瓜生館岡式ヶ村図	GK290.3-109	〔黒石警察管内の図〕 写 1 冊 内容：元町,大板町,上町,黒石,境松,甲大工町,后大工町, 乙徳兵衛町	〔黒石警察署〕第六管区全図 浅瀬石駐在所 写 1 冊	
宇和野御役屋舗の図 (弘前)	GK290.3-54	〔黒石警察署〕署在地管区全図 明治 30 年 7 月改 黒石警察署 明治 30 (1897) 写 1 枚	駒越町平岡町の図 (弘前)	GK290.3-52
写 (宝暦) 1 舗 量物 註：安政頃までの附図がある			写 1 枚	
〔蝦夷松前・津軽・南部沿岸之図〕	GK290.3-19	〔黒石警察署〕所在地第一管区絵図 写 1 冊 美濃 仮和	紺屋町・若党町・亀甲町地図 (弘前)	GK290.3-50
写 1 枚			写 1 枚	
御境 (相馬尻高より三ツ目領山迄)	GK290.3-59	黒石警察署々在地第壺管区絵図 写 1 冊 内容：横町,前町,袋井,市ノ町,内町,久米,追子ノ木	〔栄田村の図〕 写 1 枚	GK290.3-89
安政 4 (1857) 写 1 枚 註：安政 4 丁巳皐月山寓之上見分とある			三戸郡地図 (青森県) 写 1 舗 量物	GK290.3-93
鍛冶町支配御絵図 (弘前)	GK290.3-45	〔黒石警察署〕村落受持区内図面 写 1 冊	茂森町屋敷割の一部 (弘前)	GK290.3-43
写 1 舗			写 1 枚 23×34	
上相野村附近の図 (西津軽郡)	GK290.3-88	〔黒石警察署村落第七管区〕戸口調査絵図 第七管区林崎駐在所 明治 31 (1898) 写 1 冊 仮綴	茂森町割図 (弘前) 写 (享和) 1 枚	GK290.3-42
寛文十三年弘前全図	GK290.3-31	〔黒石警察署〕第五区全図 (黒石警察署堂野前駐在所) 黒石警察署 写 1 冊 仮綴 附：戸口調査簿附属絵図面 堂ノ前駐在所備付写	下北郡・上北郡・三戸郡絵図 (青森県) 写 1 枚	GK290.3-18
写 1 枚			下北郡正津川村字重兵衛沢の測量図 (青森県) 写 1 枚	GK290.3-94
北南横町屋敷割図 (南横町欠) 宝永 4 年 宝永 4 (1707) 写 1 舗	GK290.3-49	黒石警察第四管区図 写 1 冊	〔十三湯附近の図〕 写 1 枚	GK290.3-101
近県旅行地図―秋田・青森地方― 博愛館編 東京 編者 明治 44 (1911) 1 舗 註：秋田青森岩手山形宮城北海道各県編入	GK290.3-1	〔黒石警察署〕第拾五管区全図 大鰐駐在所	〔十三湯附近之図〕 文久元年	GK290.3-100
黒石絵図	GK290.3-64			

文久3(1863)写 1枚		鷹匠町北小路屋敷間数定書の図(弘前) (屋敷方御本帳之扣より写取) 写(文化9(1812)頃)1枚	GK290.3-53	写 1冊 28×40	GK290.3-75
〔十三潟附近之図〕 写 1枚	GK290.3-102			富田町絵図(弘前) 写(明治初)1枚	GK290.3-47
十三潟之図 写 1枚	GK290.3-103	〔館岡村近傍之図〕 安政6(1859)写 1舗 48×128	GK290.3-106	浪岡組五本松村絵図 安政3年 安政3(1856)写 2枚	GK290.3-76
〔十三湖附近之図〕 明治2(1869)写 1舗 量物 92×87 注:「嘉永3年(1850)公儀ヨリ被仰付海岸所々海ノ浅 深測量之上差出候図之写ヨリ」とある	GK290.3-96	〔津軽秋田〕御境之図 写 1枚 24×34	GK290.3-111	南部国絵図 天保15(1844)写 1舗 53×75	GK290.3-15
十三通り館岡附近之絵図(津軽領) 写 1枚 註:開拓のためのものか	GK290.3-90	津軽・秋田・南部三方境〔絵図〕 写 1枚	GK290.3-20	南部七戸野辺地小湊附近の図(南部領) 写 1枚	GK290.3-92
新寺町一部の図(弘前) 写 1枚 34×95	GK290.3-44	〔津軽秋田領境之図〕 写 1舗	GK290.3-104	〔南部領絵図〕 写 1舗 107×235	GK290.3-99
〔須郷崎より出来島まで海岸并海底浅深図〕 写 1舗 73×100	GK290.3-108	津軽新田之図 写 1舗 量物 178×270 【写真有】	GK290.3-98	南部領内絵図 写 1舗 量物	GK290.3-16
〔外ヶ浜沿岸之図〕 竜鼻より白根崎 写 1枚 32×46	GK290.3-14	津軽半島絵図 写 1枚	GK290.3-11	南部領之図 写 1枚	GK290.3-17
第三大区略図(二,三,五,六小区) 写(明治)1束(4枚) 内容:二小区略図,三小区略図,五小区略図,六小区略図	GK290.3-57	〔津軽半島沢之図〕 写 1枚	GK290.3-13	西津軽郡深谷村絵図面(山絵図) 写 2枚 28×40 内容:西津軽郡深谷村地内絵図面 西津軽郡深谷村宇沼 ノ尺	GK290.3-84
〔第四区三島村之図〕(第二大区一小区) 写(明治)1舗 註:元浪岡組三島村は明治6年(1873)には第二大区一 小区となる	GK290.3-77	津軽藩領内図 写 1舗 69×90	GK290.3-10	西浜略図(青森県西津軽郡岩崎村) 写(明治)10枚 内容:沢辺村 正道尻 岩崎村(甲・乙) 久田村 森山 村 松神 黒崎 大間越村	GK290.3-83
		〔津軽領山沢之図〕 写 1枚	GK290.3-12	野内・浅虫・小湊の絵図(津軽領) 写 1枚	GK290.3-27
		十面沢村下絵図 写 1枚	GK290.3-60		
		飛内村駐在区図面(南津軽郡中郷村大字飛内)			

〔野辺地の図〕 写 1 袋 (3 枚)	GK290.3-91	東京 編者 大正 12 (1923) 1 枚	本町屋敷割之一部 (弘前) 写 1 枚	GK290.3-41
浜名村より奥平部村迄山絵図 写 1 枚 註：東津軽郡今別	GK290.3-26	弘前市略図 (9 千分之 1) 大正 4 年 8 月製 青森県庁編 育森 編者 大正 4 (1915) 1 枚	松森町絵図 (弘前) 写 (明治初) 1 舗	GK290.3-46
〔東津軽郡〕浦田村 2 万分 1 図版 1 枚 39×51 一枚物	GK290.3-28	弘前大絵図一分間一 寛政 12 年 寛政 12 (1800) 写 1 冊 16 舗 (御日記方蔵印) 内容：目録 中央 東の1 東の2 東の3 南の1 南の2 南の3 南の4 南の5 西の1 西の2 西の3 西の4 北の1 北の2 北の3【奥付に内容明細あり (町名ごと)】	南溜池之図 写 1 枚	GK290.3-55
秘事町割 文久年間 (弘前町) 明治 45 (1912) 写 1 冊 半紙 仮和	GK290.3-34	弘前大絵図一分間一 寛政 12 年 寛政 12 (1800) 写 1 冊 舗 内容：目録 中央 東の1 東の3 西の1 西の2 南 の5 北の1 北の2 北の3	南津軽郡鯖石村字浅瀬淵絵図 写 (明治) 1 枚 27×38	GK290.3-62
〔平内領絵図〕 慶応 4 (1860) 写 1 枚 27×77	GK290.3-29	〔弘前町絵図〕 写 (寛永頃) 1 舗 73×95 量物	南津軽郡八幡館村地図 明治 19 (1886) 1 袋 内容：第2号字一本柳 第5字川原 第7号字泉田 第8 号字桜田 第17号字樺沢 第18号字池ノ沢 (2部) 第20号字長内 第22号字野走 (下絵図) 第23号字古堂 (下絵国共)	GK290.3-63
〔平内領山沢之図〕 写 1 枚	GK290.3-30	〔弘前市地図〕 (最新測量) 1 万分之 1 館山清三郎編 弘前 北辰社 明治 42 (1909) 1 枚	〔宮川村之図〕 (金木新田) 写 1 版 40×28	GK290.3-105
弘前市地図 (最新測量) 1 万分之 1 館山清三郎編 弘前 北辰社 明治 42 (1909) 1 枚	GK290.3-37	〔広須木造新田地図〕 写 1 枚 54×77	三馬屋領分中山絵図 写 1 冊 半紙 和	GK290.3-95
弘前市地図 大正 4 年測量 今泉道次郎編 弘前 編者 大正 4 (1915) 1 枚 裏面：弘前案内	GK290.3-39	〔広須木造新田之図〕 写 1 舗 99×144	陸奥国津軽郡第五大区絵図 写 (明治) 1 枚 34×48 註：北津軽郡	GK290.3-81
弘前市内新地図—最近実測— 近松書店編 弘前 編者 明治 38 (1905) 訂正増補 9 版 1 枚	GK290.3-35	深浦絵図〔元禄 6 年〕 〔元禄 6〕 (1693) 写 1 枚	陸奥国津軽郡第三大区五小区絵図 写 1 枚	GK290.3-58
弘前市内新地図 (最近実測) 近松書店編 弘前 編者 明治 38 (1905) 訂正増補 10 版 1 枚 38×45	GK290.3-36	袋町・亀甲・紺屋町屋敷の図 写 1 枚	山下町坂本町上田町屋敷の図 (弘前) 写 1 枚	GK290.3-48
弘前市パノラマ地図 東京図鑑社編	GK290.3-40	法嶺院図 写 1 袋 (8 枚)		

鷹揚園現況図 1200 分の 1
青写真（大正）1 枚

GK290.3-56

K291 青森県

〔青森県概表〕明治 7 年
明治 8（1875）写 1 冊 半紙半
註：青森県治一覧概表からの抜書

GK291-52

青森県管下陸奥国大小区別町名
（外題：町日記）
明治 11（1878）写 1 冊 美濃半 仮和

GK291-11

青森県管内町村名簿表 明治 8 年
明治 8（1875）写 1 冊 半紙 仮和

GK291-46

青森県治要覧 青森県庁編
青森 編者 明治 41（1908）162 頁 菊 仮洋

GK291-16

青森県治要覧 青森県編
青森 編者 大正 4（1915）207 頁 菊 洋

GK291-17

青森県治要覧 青森県編
青森 編者 大正 4（1915）207 頁 菊

GK291-17 イ

〔青森県〕村名留帳（村名尽）
明治 12（1879）写 1 冊 半紙 仮和

GK291-47

青森県名勝案内誌 坂本繁太郎編
青森 成田書店 大正 4（1915）150 頁 四六 仮洋

GK291-56

青森県名勝案内誌 坂本繁太郎編
青森 成田書店 大正 4（1915）150 頁 四六 仮洋

GK291-57

岩木山模様書
明治 16（1883）写 1 冊 半紙 和
註：弘前藩御日記方の蔵本による写本

GK291-64

岩木山由来記
写（明治）1 冊 美濃

GK291-63

御国郡諸村調
明治 7（1874）写 1 冊 横小 和
註：文化 14 年（1817）以前 いろは順村名

GK291-42

御国中村日記 源真次
天保 11（1840）写 1 冊 横小 仮和
註：組別

GK291-31

奥州津軽郡村記（組別）
写 1 冊 横小 仮和
附：道程記（青森ヨリ南部通道中 森岡ヨリ宮古鉾ヶ崎
マテ遠野越街道筋 森岡ヨリ築川通宮古鉾ヶ崎マテ 五
戸ヨリ宮古迄道法 森岡ヨリ秋田越道法 野辺地ヨリ佐
井浦迄道法 青森ヨリ南部釜石迄道法）

GK291-35

覚書
寛政 11（1799）写 1 冊 半紙半 仮和
註：陸奥国津軽郡の便覧 享保 10 年（1725）のもの

GK291-2

紀行
写 1 冊 半紙半 仮和
註：御国産方の領内見分 文政 10 年（1827）頃か

GK291-5

郡内行程記
写 1 冊 横小 和

GK291-51

郷村記 枝村并派附 盛忠吉

GK291-36

明治 26（1893）写 1 冊 半紙半 和
註：組別村位

郷村帳 GK291-22

安政 6（1859）写 1 冊 半紙半 和
附：御郡内名所記 御郡内行程記 宿継日割 御郡中村
名イロハ寄
註：郷村組別 村位斗代平均

〔郷村帳〕附御郡内行程記 GK291-23

天保 8（1837）写 1 冊 半紙半 和
註：郷村組別 村位斗代平均

〔郷村帳〕附御郡内行程記 GK291-24

写 1 冊 半紙半 和
註：郷村組別 村位斗代平均

郷村帳 GK291-25

写 1 冊 半紙半 仮和
註：郷村組別 村位斗代平均

郷村日記 GK291-27

享保 12（1727）写 1 冊 横小 仮和
註：組別村名

郷村府案 寛政 7 年 2 月改之 GK291-30

写 1 冊 横小 仮和
註：組別村名

郷村府案（イロハ順） GK291-40

写 1 冊 横小 仮和

御郡中海道諸番所川橋古跡覚帳 棟方実行 GK291-49

写 1 冊 半紙半 仮和
註：津軽郡中街道諸番所川橋里程等

御郡中村日記 GK291-67

慶応3(1867) 写 1冊 半紙半 和

御郡内海岸より城下迄里数ならひ浅深調 GK291-8

安政3(1856) 写 1冊 半紙半 仮和

註：海岸惣図勘定所より借りて抜書したものとある

御郡内郷村位 GK291-29

安永4(1775) 写 1冊 半紙半 仮和

註：組利件名

古新田郷村明鑑 安永5年増補 GK291-21

写 1冊 半紙半

註：組別村位 斗代平均

五能鉄道沿線案内 北辰日報社編 GK291-58

五所川原 編者 昭和11 139頁 菊 仮洋

御領分三庄道範 (高照御遺鑑抜書) GK291-1

明治15(1882) 1冊 半紙 仮和 (川越旧蔵本)

註：津軽領内の道筋里程 高照御遺鑑は津軽信政一代の事績を編纂したもの

自治ト産業 附人名宛 東奥産業通信社編 GK291-66

青森 編者 昭和10 518頁 菊

諸村日記帳 GK291-37

写 1冊 横小 仮和

註：組別村名及び万覚留帳

津藩遵法 GK291-50

写 (寛政) 1冊 横小 仮和

地名抜書 (津軽一統志附録の内) GK291-3

写 1冊 半紙 仮和

津加流 後篇 佐藤義輔編 GK291-55

弘前 編者 大正2(1913) [162頁] 菊 仮洋

津軽観光誌 津軽観光協会編 GK291-19

弘前 津軽商工聯合会 昭和15 141頁 四六 仮洋

津軽郡村日記 GK291-48

明治31(1898) 写 1冊 半紙半 仮和

註：郡別村名

津軽従五位江分割地名并村高調 GK291-43

明治2年8月 弘前藩知事

明治2(1869) 写 1冊 美濃 仮和

註：黒石領の地名村高調べ

津軽のしるべ 佐藤弥六編 GK291-12

弘前 今泉書店 明治33(1900) 118頁 菊 仮洋

津軽のしるべ 佐藤弥六編 GK291-13

弘前 今泉書店 明治33(1900) 再版 130頁 菊 仮洋

津軽村書 GK291-38

写 1冊 半紙半 和

註：組別村名

露之脛 GK291-9

安政5(1858) 写 1冊 半紙 和

註：津軽領内地誌

東宮行啓記念写真帖 青森県庁編 GK291-51

青森 編者 明治41(1908) 1冊 四六倍

註：青森県内の諸施設名勝旧蹟写真

登巖城山記 (草稿) 二草主人 GK291-65

明治29(1896) 写 1冊 半紙 仮和

十和田湖 大町桂月 (芳衛) 遺稿 GK291-59

生田一匡編

東京 竜星閣 昭和11 158頁 四六 仮洋

十和田湖 武田千代三郎 GK291-60

青森 十和田保勝会 大正11(1922) 120頁 菊 洋

八甲田山中酸湯・猿倉・蔦温泉案内 GK291-61

柿崎新編

青森 鹿内辰五郎 昭和5 120頁 三六 仮洋

八甲田山中酸湯・猿倉・蔦温泉案内 GK291-62

柿崎新編

青森 鹿内辰五郎 昭和5 120頁 三六 仮洋

鼻和庄・平賀庄・田舎館庄三郡合併覚書 GK291-14

天保5(1834) 写 1冊 半紙 仮和

註：津軽三郡の地誌

藩祖為信公三百年祭記念 三橋秀城 GK291-53

青森 著者 明治39(1906) 1枚 55×80 一枚物

註：津軽為信の略伝と津軽地方の名所旧跡

藩律 GK291-4

写 (慶応頃) 1冊 半紙半 仮和

註：藩律は弘藩名数考とも云われる地誌 巻頭に諸凡例として藩主代々御仏参并御名代 年牛出仕日 其他を附記

〔村帳〕 GK291-41

写 1冊 横小 和

註：イロハ順村名

村付覚帳 藤田権右衛門 **GK291-26**
享保 11 (1726) 写 1 冊 横小 和
註：組別

村名記 **GK291-33**
写 1 冊 横小 仮和
註：組別村名

〔村名帳〕 **GK291-39**
写 1 冊 横小
註：組別及いろは別村名

村名帳・御郡内行程記 **GK291-20**
写 1 冊 半紙 仮和
註：郷村 村位斗代平均 各組の田畑反別及び石高を記している

村日記 **GK291-6**
弘化 3 (1846) 写 1 冊 半紙 和
註：組別に村名を列記 上中下の格付を附記し領内の所々道程并駄賃を記したもの

村日誌 **GK291-7**
写 1 冊 美濃半 仮和
註：弘前藩内組別村寄

村日記 宝暦 7 年 11 月 **GK291-28**
宝暦 7 (1757) 写 1 冊 横小 仮和
註：組別村名

村日記 **GK291-32**
写 1 冊 半紙半
註：組別村名

村日記 **GK291-34**

写 1 冊 半紙半 仮和
註：組別村名

〔村寄〕 **GK291-15**
写 1 冊 半紙半 仮和

陸奥国北郡三戸郡二戸郡の内郷村高帳 **GK291-44**
(津軽越中守渡)
写 (明治) 1 冊 半紙

陸奥国津軽郡鰐村記 明治 8 年 **GK291-10**
明治 8 (1875) 写 1 冊 半紙半 仮和
註：明治 8 年の津軽郡の行政区別町村名

陸奥国村々区分 **GK291-45**
写 (明治) 1 冊 横小
註：明治 6 年改正行政区画

K292 青森市 東津軽郡

油川町案内誌 小野善二編 **GK292-4**
油川 (東津軽郡) 油川町役場 大正 8 (1919) 48 頁
四六 仮洋

合浦の灯 (一名青森案内) **GK292-1**
佐藤幸次郎 小島二三郎共編
青森 尚文堂書店 明治 31 (1898) 234 頁 四六 仮和
附：日用使覧及管内市町村一覧

上磯案内 小野善二編 **GK292-5**
油川 (東津軽郡) 油川町役場 大正 8 (1919) 101 頁
四六 仮洋
註：内題油川町案内誌とあり同誌の再刊にあたり上磯各村を増補して改題したもの

上磯案内 小野善二編 **GK292-5 イ**
青森 油川町役場 大正 8 (1919) 101 頁 四六

御下浜方に付浪岡組高陣場より青森通夫より浅虫迄御道書控 文久元年 8 月 **GK292-2**
文久元 (1861) 写 1 冊 半紙半 仮和
註：文久元年藩主巡見道道筋々の田畑戸数人別并寺社諸番所組村貯郷蔵名所旧跡等の書上控

陸奥浅虫温泉案内 小山内唐川 **GK292-3**
野内 (東津軽郡) 島津嘉七 明治 41 (1908) 32 頁
四六 仮洋

K293 弘前市 中津軽郡

鷹ヶ丘城 (一名弘前案内記) 成田果編 **GK293-4**
弘前 玉泉堂 明治 29 (1896) 再版 1 冊 菊 仮洋

鷹ヶ丘城 (一名弘前案内記) 成田果編 **GK293-5**
弘前 玉泉堂 明治 29 (1896) 再版 1 冊 菊 仮洋

鷹ヶ丘城 (弘前案内記) 第 5 版 成田果編 **GK293-6**
弘前 編者 明治 44 (1911) 5 版 53 頁 菊 仮洋

鷹ヶ丘城 (弘前案内記) 成田果編 **GK293-7**
弘前 編者 明治 44 (1911) 5 版 53 頁 菊 仮洋

鷹岡城 (弘前案内記) 成田果編 **GK293-8**
弘前 編者 大正 4 (1915) 6 版 111 頁 菊 仮洋

鷹岡城 (弘前案内記) 成田果編 **GK293-9**
弘前 編者 大正 4 (1915) 6 版 111 頁 菊 仮洋

弘前案内 蒔苗三郎編 **GK293-10**
弘前 編者 明治 37 (1904) 71 頁 四六 仮洋

弘前案内 蒔苗三郎編 **GK293-11**
弘前 編者 明治 37 (1904) 71 頁 四六 仮洋

弘前案内改訂増補 蒔苗三郎編 **GK293-12**
弘前 編者 明治 44 (1911) 98 頁 四六 仮洋

弘前案内改訂増補 蒔苗三郎編 **GK293-13**
弘前 編者 明治 44 (1911) 98 頁 四六 仮洋

弘前市案内 島田久蔵編 **GK293-16**
弘前 編者 大正元 (1912) 1 枚

弘前の栞 高坂如雲編 **GK293-14**
弘前 近松書店 明治 39 (1906) 78 頁 四六 仮洋

弘前の栞 高坂如雲編 **GK293-15**
弘前 近松書店 明治 39 (1906) 78 頁 四六 仮洋

弘前の市勢と産業 昭和 23 年 弘前市役所編 **GK293-2**
弘前 編者 昭和 24 51 頁 四六 仮洋

弘前名勝案内 一名旅客案内 一 **GK293-3**
佐藤良之助編
弘前 文栄舎 明治 27 (1894) 1 冊 菊半 仮洋

鷹揚園記 三島毅 **GK293-1**
写 1 冊 美濃
註：弘前公園本丸の碑文

K294 黒石市 南津軽郡

烏城志 一名黒石案内 **GK294-1**
安西如鳩（銓次郎）編
畑岡 編者 大正 2 (1913) 244 頁 菊 仮洋

烏城志 一名黒石案内 **GK294-2**
安西如鳩（銓次郎）編
畑岡 編者 大正 2 (1913) 244 頁 菊 仮洋

町制記念大鰐 小野善二編 **GK294-6**
大鰐 大鰐町役場 大正 12 (1923) 76 頁 四六 洋

町制記念大鰐 小野善二編 **GK294-7**
大鰐 大鰐町役場 大正 12 (1923) 76 頁 四六 洋

尾上村沿革私記（草稿） **GK294-3**
写（明治）3 冊 半紙
内容：大字尾上 大字追子野木 大字高木

平賀川の温泉一大鰐・蔵館・碇ヶ関三温泉 **GK294-5**
案内記一 弘東散史（成田果）編
大鰐 川崎忠七 明治 39 (1906) 42 頁 四六 仮洋

町制記念藤崎 大川万之助編 **GK294-4**
大鰐 編者 大正 12 (1923) 1 冊 四六 仮洋

K295 五所川原市 北津軽郡 西津軽郡

板柳町誌（町制施行記念）林柁次郎編 **GK295-6**
板柳（北津軽郡）板柳町役場 大正 9 (1920) 1 冊
三六 仮洋

板柳町誌（町制施行記念）林柁次郎編 **GK295-7**
板柳（北津軽郡）板柳町役場 大正 9 (1920) 1 冊
三六 仮洋

海の小泊 山の小泊案内 鈴木三郎編 **GK295-8**
小泊（北津軽郡）琴湾青年修養会 昭和 7 63 頁 菊
仮洋

金木町制記念 小野善二編 **GK295-4**
金木（北津軽郡）金木町役場 大正 9 (1920) 1 冊
四六 仮洋

金木町制記念 小野善二編 **GK295-5**
金木（北津軽郡）金木町役場 大正 9 (1920) 1 冊
四六 仮洋

金木しるべ 金木村役場編 **GK295-3**
金木（北津軽郡）編者 大正 5 (1916) 42 頁 三六 仮洋

五所川原案内 自親会編 **GK295-2**
五所川原 編者 大正 2 (1913) 1 帖 折本 小

西北大鑑 北辰日報社編 **GK295-1**
五所川原 編者 昭和 10 1 冊 四六倍 洋
註：西津軽郡北津軽郡両郡の政治経済産業教育等各方面的資料を集めたもの

陸奥津軽深浦沿革誌 海浦義観 **GK295-9**
深浦（西津軽郡）深浦保勝会 明治 31 (1898) 44 頁
四六 仮洋

陸奥津軽深浦沿革誌 海浦義観 **GK295-10**
深浦（西津軽郡）深浦保勝会 明治 31 (1898) 44 頁
四六 仮洋

K296 八戸市 十和田市 三沢市 上北郡 三戸郡

八戸生活 稲垣浩編 **GK296-4**
八戸 北国文芸社 大正 6 (1917) 〔126 頁〕 19×13

八戸便覧 笹沢魯羊 **GK296-2**

八戸 青霞堂 明治 44 (1911) 1 冊 四六 仮洋	
二日乃御旅路	GK296-3
明治 41 (1908) 40 頁 9.2×16.0	
註：明治 41 年東宮殿下（大正天皇）行啓の折上北郡沿道各地の事歴を略述したもの	
向鶴 中里忠香	GK296-1
八戸 青霞堂 明治 23 (1890) 228 頁 四六 仮洋	
註：主として八戸近傍の故事来歴名所旧跡	
K297 むつ市 下北郡	
恐山地獄廻先立口上	GK297-1
写 1 冊 半紙 仮和	
註：むつ市恐山の地獄めぐり案内口上	
K299 県外紀行	
〔上方旅日記〕	GK299-9
写 1 冊 20.7×14.0 和	
口書（漂流人儀兵衛口書）寛政 12 年	GK299-3
儀兵衛	
寛政 12 (1800) 写 1 冊 半紙 仮和	
註：寛政 7 年難破により同 11 年帰国までの口書	
西洋皮巡り 長尾健字	GK299-10
青森 著者 昭和 3 76 頁 四六	
従蒼谷松前迄駅路抵記	GK299-8
文化 6 (1809) 写 半紙半（横）和	
南島探験 一名琉球漫遊記 笹森儀助	GK299-1
弘前 著者 明治 27 (1894) 532 頁 菊 仮洋	

入唐記 宝暦 6 年 石崎村治右衛門外	GK299-2
写 1 冊 半紙 和	
註：外ヶ浜石崎村船頭水主四人難風ニ逢朝鮮国江漂着ニ付大坂迄被送届候始終口上書之写とある	
漂流人口書 儀兵衛	GK299-4
享和元 (1801) 写 1 冊 半紙 仮和	
漂流人口書 青森大町儀兵衛	GK299-5
安政 7 (1860) 写 1 冊 半紙 和	
訪欧余録 藤田謙一	GK299-7
東京 著者 昭和 4 213 頁 四六	
毛夷東環記	GK299-6
安政 6 (1859) 写（川越次泰）1 冊 半紙 和	
註：山崎某の東蝦夷地紀行と斎藤某の衛刀魯府志の 2 著を合せて柿園（山形宇兵衛）が毛夷東環記と題したもの	

K300 社会科学

K304 論文 随筆 雑記

意見書（川越石太郎認）	GK304-29
写 1 冊 半紙 仮和	
註：川越石太郎等の意見書草稿 明治 13 年，同 16 年，同 29 年	
覚	GK304-6
写 1 冊 半紙 和	
註：GK304-5 存寄書と同文	
覚〔毛内宜応〕（茂肅）	GK304-16
写 1 冊 半紙 和	
註：天明 4 年（1784）毛内有右衛門の藩士土着等の意見書	
我宝	GK304-13
明治 10 ～ 12 (1877 ～ 79) 写 1 冊 半紙半 仮和	
註：明治 10 ～ 12 年頃の雜留帳	
管見策〔手塚玄通〕（子徹）	GK304-19
写 1 冊 半紙 和	
註：寛政年中の意見書	
管見策	GK304-20
写 1 冊 半紙	
寛政之度仕向之内	GK304-18
写 1 冊 半紙	
寛政御仕向之覚	GK304-14
写 1 冊 半紙半 和	
寛政御仕向秘書	GK304-15

慶応3(1867)写(川越次泰)1冊 半紙半 仮和		御下問御答之儀 菊池幸八 写 1冊 半紙 仮和 註:明治初年民政に関する建議	GK304-12	註:東源左衛門の政道に関する存寄書	
寛政初年御仕向之覚(草稿) 写 1冊 半紙 仮和 註:寛政3,4年(1791,92)の政治諸方策	GK304-4	御旧式伝書(東源左衛門存寄書)東源左衛門 写 1冊 半紙 仮和 註:南部藩士東源左衛門の意見書	GK304-22	秘記 写 1冊 半紙 仮和 註:藩士土着勸農財政節約等の意見書	GK304-3
経済通考 1巻,続1巻 同々斎独有(手塚玄通) 写 2冊 半紙 和	GK304-7	志記 毛内有右衛門(茂肅) 天保8(1837)写 1冊 半紙 和 註:寛政2年(1790)の著述で官職考 関市考 戸籍考 田賦考 雑考等よりなる	GK304-2	秘書(毛内宜応行寄書)毛内宜応(茂肅) 写 1冊 半紙 仮和 註:天明4年(1784)毛内の藩士土着等の意見書	GK304-1
藩実経済話 福土忠知編 元治2(1865)写 1冊 半紙 和 註:毛内宜応の志記 手塚玄通の経済通考 菊池正陽の趣意書其他諸書よりの抜書	GK304-9	志記 [毛内有右衛門](茂肅) 写 1冊 半紙 和	GK304-31	秘録 人 手塚子徹 写 1冊 半紙 仮和 註:商家御取立の事并用捨可有之事 百姓御養育の事 農家并植芸産物御取立之事 大工職人御取立之事	GK304-8
建白書 奈良正則等 明治13(1880)写 1冊 美濃 註:宮内省議官佐々木高行東北巡廻の際にのぼせた建白書草稿	GK304-28	上書 天保8年 山形宇兵衛(長年) 天保8(1837)写(自筆)1冊 半紙 仮和 註:郡奉行山形宇兵衛の凶作に対する意見書	GK304-10	奉陳上事書 写(明治7(1874)頃)1冊 半紙 仮和 註:陳上書草稿	GK304-27
愚意 山崎忠之進 写(明治)1冊 半紙 仮和	GK304-30	存寄書 写 1冊 半紙 仮和 註:赤石安右衛門(行建)菊池寛司(正礼)が牧野左次郎(恒貞)に進めた藩士土着の意見書	GK304-5	老人独言 写 1冊 半紙 註:明治初年の一般政治に関する意見書	GK304-25
愚意陳上 写(明治)1冊 美濃半 仮綴 註:明治新政に対する意見書	GK304-24	謹奉建言事 明治4(1871)写 1冊 半紙 註:明治4年の建言書草稿	GK304-26	K305 逐次刊行書 雑誌	
見聞之儀ニ付存寄書 川越石太郎(次泰) 慶応2(1866)写 1冊 半紙 仮和 註:慶応2年川越石太郎の建策の下書	GK304-11	土着之事 [毛内宜応](茂肅) 写 1冊 半紙 註:毛内宜応存寄書の抜書	GK304-17	北辰 第1巻第3号(青森県政評論号) 青森 昭和5 56頁 菊 仮洋	GK305-1
御演説書 案書 佐藤貞助 写(明治)1冊 半紙 註:明治御一新の際の佐藤貞助の存意案文	GK304-23	南部家御旧式伝書 東源左衛門 写 1冊 半紙 和	GK304-21	北辰 第1巻第3号 青森 昭和5 56頁 菊 仮洋	GK305-2
				K310 政治	
				己巳均字解 明治3(1870)写 1冊 半紙 仮和	GK310-2

註：明治己巳（2年）の凶作に際し民政の時務を論じたもの		註：大正3年2月衆議院における演説		明治9（1876）1冊 四六	
〔県庁弘前移転の建議〕 葛西勘三郎	GK310-7	北海道会並東北六県県会役員聯合会会議録	GK310-4	〔青森県布達綴〕 明治11年, 同12年	GK310.9-16
明治8（1875）写 1冊		青森県主催		明治11,12（1878,79）2冊 四六	
国会開設允裁ヲ上願スル書 菊池九郎	GK310-13	大正13（1904）〔38頁〕 菊 仮洋		覚	GK310.9-5
写 1冊 美濃 和		附：既決及保留事項		写 1冊 半紙 仮和	
合綴：三条公ニ上ル書（菊池九郎 若生精一郎）		民政御取締御尋之義ニ付覚 明治2年	GK310-1	註：明治4年の秋田藩庁布達留	
東北有志会ノ旨趣		鳴海謙六		廻状留 慶応4年	GK310.9-1
四十余方同胞兄弟二告ク	GK310-8	明治2（1869）写 1冊 半紙 仮和		慶応4（1868）写 1冊 半紙 仮和	
明治13（1880）写 1冊 半紙		民政科目 福士平内	GK310-3	註：慶応4年格別省略のため諸事取扱方に関する触	
註：国会設立につき県民への檄文		写（自筆）1冊 半紙 仮和		御布告 明治5年～6年	GK310.9-7
衆議院議員選挙有権者名簿（中津軽郡） 青森県	GK310-5	註：福士平内は和徳三組郡政調方 明治維新の際の政治意見書か		写 3冊 半紙	
昭和3 176頁 四六 仮洋				御布告記録 明治8年	GK310.9-10
衆議院議員選挙有権者名簿（北津軽郡） 青森県	GK310-6	K310.9 県報 布達		写 1冊 半紙	
昭和3 208頁 四六 仮洋		〔青森県庁達〕 明治4年11月	GK310.9-6	御布告書記 明治7年	GK310.9-9
選挙の心得 青森県編	GK310-12	写（明治）1冊 半紙		写 1冊 半紙	
青森 編者 昭和3 25頁 四六		青森県布達綴 明治10年1月至12月	GK310.9-11	御用留 明治5年	GK310.9-4
帝国議会報告書 第58回 工藤十三雄	GK310-14	明治10（1877）1冊 四六		明治5年（1872）写 1冊 半紙 和（釜范文庫旧蔵）	
著者 昭和5 44頁 菊		青森県布達綴 明治9～19年	GK310.9-12	註：青森県庁并弘前支庁及太政官よりの布達留帳	
帝国議会報告書 第58回 工藤十三雄	GK310-10	明治9～19（1876～86）10冊		布告誌 1号 明治3年	GK310.9-2
〔昭和5〕44頁 菊		青森県達綴 明治11年4月, 5月	GK310.9-13	明治3（1870）写 1冊 半紙 和	
〔帝国議会〕報告書 第43,44,46 菊池良一	GK310-11	明治11（1878）1冊 美濃半 仮和		布告留 2号 明治4年	GK310.9-3
〔大正9,10,12〕（1920,21,23）1冊 菊		青森県布達綴（禄券, 紙幣, 金貨関係御達）	GK310.9-14	明治4（1871）写 1冊 半紙 和	
内相弾劾 菊池武徳演説	GK310-9	明治9年～13年		布告留 明治7年	GK310.9-8
〔大正3〕（1914）12頁 四六		刊 1冊 四六		写（明治）1冊 半紙 仮和	
		〔青森県布達綴〕 明治9年7月～12月	GK310.9-15		

K312 政治史 事情		明治 9 (1876) 1 冊 半紙 仮綴 註：明治 9 年県議会の議案の答議	
閑暇草稿 明治 8 年, 9 年 明治 8,9 (1875,76) 写 1 冊 半紙 註：県政に関する建議等の草稿	GK312-1		
K313 地方行政 (県)		K317 行政	
県治職制 青森県 明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙 仮和	GK313-1	青森県郡役所処務細則 明治 19 年 明治 19 (1886) 写 1 冊 美濃半	GK317-2
県浪官員并常備金規則其他 明治 4 年 明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙 仮和 合綴：青森県会規則 (明治 9 年?)	GK313-2	御下賜拜受奨励金伝達並表彰事績 昭和 16 年 2 月紀元節ノ日 青森県 昭和 16 1 冊 菊 仮洋	GK317-1
K314 地方議会 (県)		K317.7 警察 防犯	
〔青森県会への建議〕 明治 12 (1879) 写 1 冊 半紙 註：郡立中学校設立 議員増員 他 4 議	GK314-1	青森県警察類典 下巻 桜庭貞一編 弘前 編者 明治 34 (1901) 1 冊 四六 仮洋	GK317.7-1
青森県会規則 明治 9 年 2 月 明治 9 (1876) 写 1 冊 半紙 和 註：第一大区二小区用箋使用	GK314-3	警察規則及心得 明治 9 (1876) 写 1 冊 美濃半 仮和 註：明治 9 年行幸に際しての達などがある	GK317.7-4
青森県々会議々案 明治 12 年自 3 月 6 日至 3 月 25 日 松盛久右衛門 明治 12 (1879) 写 1 冊 半紙 仮和 附：県会議員名簿 (明治 32 年)	GK314-5	司法警察官吏訓練教材 青森地方裁判所検事局編 昭和 14 1 冊 菊 仮洋	GK317.7-6
青森県臨時県会決議書 青森県 明治 25 (1892) 17 頁 美濃 註：明治 25 年 11 月 7 日至 13 日	GK314-2	司法警察官吏訓練教材 青森地方裁判所検事局編 昭和 14 1 冊 菊 仮洋	GK317.7-7
答議 青森県	GK314-4	青森地方裁判所検事局管内森林司法警察官執務手続 明治刊 1 冊 四六 仮洋	GK317.7-5
		治安の輝 第 5,6 号 警察協会青森支部編 青森 編者 昭和 11 2 冊 菊 仮洋	GK317.7-3
		〔弘前警察署落成式演舌〕 (草稿) 佐々木澁 明治 26 (1893) 写 1 冊 半紙 註：明治 26 年 10 月 23 日弘前警察署落成式演舌	GK317.7-2
		K317.9 消防 防火	
		尾上村消防組役割人名 明治 38 年 3 月 明治 38 (1905) 写 1 冊 半紙	GK317.9-26
		御上屋舗火之見櫓江相図之鳴物被掛置度之儀御伺済御用向始末調之一式 文化 9 年 11 月 下沢此吉 (繁雄) 編 文化 12 (1815) 写 1 冊 半紙 和	GK317.9-1
		御用留 明治 21 年 5 月 〔弘前消防〕二番組 明治 21,22 (1888,89) 写 1 冊 半紙 和	GK317.9-11
		消防頭歎願協議割 (新町駒越町) 明治 16 (1883) 写 1 冊 半紙 仮綴	GK317.9-10
		消防方心得帳 和組頭取 明治 26 (1893) 写 1 冊 半紙 和	GK317.9-18
		〔消防〕技芸演習順席 写 1 冊 半紙 仮綴	GK317.9-28
		消防組長の心得 写 1 冊 半紙 仮綴	GK317.9-9
		消防心得 青森 謄写 (大正 4 (1915) 1 冊 半紙 和 註：青森県消防義会の編か	GK317.9-27
		第三部消防組規約書 明治 38 年 1 月	GK317.9-20

弘前第三部消防組 明治 38 (1905) 写 1 冊 半紙 仮和		写 (明治) 1 冊 半紙 註：弘前市消防組第一部長田村定吉の書上		和徳町消防人名 明治 22 年 9 月 明治 22 (1889) 写 1 冊 半紙 和 註：明治 22 年 9 月 16 日市役所へ書上御届下帳	GK317.9-13
〔第三部消防組名簿〕 明治 38 (1905) 写 1 冊 半紙 仮綴 註：明治38年6月24日演習式ニ付警察署帳簿實際名簿写)	GK317.9-21	弘前市纏組誓約書 明治 25 年 弘前市纏組 明治 25 (1892) 写 1 冊 美濃 註：弘前市大字 11 ヶ町消防纏組に於て懇親会の誓約	GK317.9-2	和徳町消防名簿 明治 24 年 3 月 明治 24 (1891) 写 1 冊 美濃 仮和	GK317.9-15
出初式行列帳 (和徳町組) 明治 25 年 5 月 11 日 和徳町組 明治 25 (1892) 写 1 冊 半紙 和	GK317.9-16	〔弘前消防組第三部名簿〕 写 (大正 2 頃) 1 冊 横長 仮和	GK317.9-3	K318 市町村自治	
火消御人数行列 写 1 冊 横長 仮綴	GK317.9-8	弘前消防組明治四拾四年度消防費予算 明治 44 (1911) 写 1 冊 半紙 仮綴 註：弘前消防組頭石戸谷末九郎とある	GK317.9-25	青森県自治 第 2 巻第 6 号 青森県町村長会編 青森 編者 昭和 14 68 頁 菊 仮洋	GK318-6
弘前市鍛冶町部内并戸調書 第二部小頭 明治 41 (1908) 写 1 冊 半紙 註：弘前市消防組第二部小頭三上常次郎の書上	GK317.9-24	松森町境弁天角より親方町境迄井戸調 明治 41 (1908) 写 1 冊 半紙 仮綴 註：弘前消防組第二部土手町組調	GK317.9-23	奥羽六県北海道各市区長会協議案 第 18 回 (弘前市主催) 大正 10 (1921) 1 冊 菊 仮洋	GK318-5
弘前市火防衛生聯合組合規約 弘前市火防衛生聯合組合編 大正 5 (1916) 29 頁 四六 仮洋	GK317.9-4	役割名簿 明治 24 年 3 月 明治 24 (1891) 1 冊 美濃 和 註：弘前和徳町消防組の名簿	GK317.9-14	戸長撰拳之儀 佐々本瀨等 明治 12 (1879) 写 1 冊 半紙 附：究民無謝料治療并種痘之義ニ付願 佐々木瀨 明治 18 年 (1885)	GK318-3
〔弘前市消防各組帳〕 写 (明治) 11 冊 半紙 仮綴 内容：1 土手町組 2 松森町組 3 東長町組 4 紺屋町組 5 鍛冶町組 6 新町組 7 親方町組 8 亀甲町組 9 本町組 10 茂森町組 11 徳町組 註：各組共名簿帳 器械調 纏看板雛形など	GK317.9-12	〔夜廻心得〕延宝 7 年 延宝 7 (1679) 写 1 枚 30×42 一枚物	GK317.9-5	雑類之事件 写 1 冊 半紙 註：中津軽郡役所用箋使用雑件留書き 明治11年～21 年 (1878～88)	GK318-8
弘前市消防組名簿帳 明治 34 年 7 月 明治 34 (1901) 写 1 冊 小 仮綴 註：弘前市消防組頭福井善蔵とある	GK317.9-19	夜廻り賃銭并諸事願之儀覚 慶応 4 (1868) 写 1 枚	GK317.9-7	市制町村制ニ関スル事項 明治 21 (1888) 写 1 冊 美濃半 仮和 註：内務大臣訓令書留	GK318-4
弘前市本町部内并戸調表	GK317.9-22	夜廻り之儀 写 1 通 註：月行事より木村屋富太郎 岩見屋善左衛門への申付	GK317.9-6	草案 明治 11 年 笹森〔儀助〕 明治 11 (1878) 写 1 冊 半紙 註：笹森儀助の控え帳か	GK318-7
		和組々割名簿 明治 25 年 8 月 23 日改正 明治 25 (1892) 写 1 冊 美濃 和 註：弘前和徳組の組割	GK317.9-17		

町村会規則 GK318-2

明治 12 (1879) 写 1 冊 半紙 和
 内容：町村会規則（青森県布達）（明治 12）町会規則
 并議決録（新町）（明治 12）数町村聯合会規則（明治
 12）両部協議録（新町 駒越町）議員中（明治 12）

提要 1～4 GK318-9

写（明治）4 冊 美濃半 和
 註：明治 22,23 (1889,90) 頃の市町村行政に関する条
 例等書き留めたもの 尾上村議員の選挙議会録もある

本庁より人民へ達留 明治 10 年 GK318-1

青森県第三大区区務所
 明治 10,12 (1877,79) 1 冊 半紙 和
 註：第三大区（中津軽郡）の用箋使用

K318.2 青森市 東津軽郡

青森市例規 青森市役所編 GK318.2-2

青森 編者 明治 41 (1908) 244 頁 菊 仮綴

陸奥国津軽郡第一大区七小区民費書上帳 GK318.2-1

明治 7 年
 明治 8 (1875) 写 1 冊 半紙 和
 註：第一大区七小区戸長よりの書上（東津軽郡小湊村他）

K318.3 弘前市 中津軽郡

青森県弘前市現行条規 弘前市 GK318.3-22

〔明治 37〕(1904) ? 頃 143 頁 菊 仮洋

青森県弘前市現行条規 弘前市 GK318.3-23

〔大正 2〕(1913)? 157 頁 菊 仮洋

青森県弘前市事務報告書 第 15,19,39 回 GK318.3-16

弘前市
 明治 37,40, 昭和 3 (1904,07,28) 3 冊 半紙 仮和

新町会議事規則 GK318.3-2

明治 13 (1880) 写（今泉万右衛門）1 冊 半紙 和
 註：弘前町町会議事規則とあるを新町と改めてある

廻章留 明治 6 年 1 月 GK318.3-31

明治 6 (1873) 写 1 冊 半紙
 註：青森県庁等よりの布達留 第三大区（中津軽郡）関係

議会細則・市条例・市規則・市制 弘前市 GK318.3-10

明治 22 (1889) 110 頁 美濃半 仮和

景況綴 GK318.3-1

明治 12～14 (1879～81) 写 2 冊 半紙 仮和
 註：1 明治 12,13 年中津軽郡各村の景況綴 郡政村政
 に関するもの 2 中津軽郡役所の綴簿 明治 13～14

御説諭願 高杉村人民惣代 GK318.3-34

明治 11 (1878) 写 1 冊 半紙
 註：明治 11 年高杉村惣代 4 名村用係 2 名より正副戸長定

紺屋町支配御蔵町東側人別増減書上帳 GK318.3-27

岩見忠兵衛
 明治 3 (1870) 写 1 冊 半紙 仮和
 註：紺屋町庄屋岩見忠兵衛の書上戸籍

紺屋町支配茶屋町人別戸数増減書上帳 GK318.3-26

慶応 4 年 8 月 岩見忠兵衛
 慶応 4 (1868) 写 1 冊 半紙 仮和

三組聯合会 明治 17 年度 山中泰一 GK318.3-7

明治 17 (1884) 写 1 冊 半紙 和

註：町費支出予算議案 三組聯合町会及各町会議事細則
 第三組会議費議案説明書など山中泰一の控

〔諸事願届〕 GK318.3-32

明治 7～9 (1874～76) 写 1 冊 半紙
 註：第三大区三小区一野渡村大和沢村組頭（村用係）の
 書類綴

第三大区六小区石渡村・烏町村・范中村人員生年月日調帳

明治 6 年 5 月 対馬五郎兵衛 GK318.3-30
 写 1 冊 半紙 仮和

高杉組坪貝村・高屋村・横町村面改人別表 GK318.3-29

慶応 4 年 8 月 代庄屋仁兵衛
 慶応 4 (1868) 写 1 冊 半紙 仮和
 註：戸数人別面改表並田畑持分越石出入諸職諸家業共

町会協議録 式拾一部町会式拾二部町会 GK318.3-3

今泉万右衛門
 明治 13,14 (1880,81) 写 1 枚 半紙 和
 註：新町駒越町両町聯合会議長今泉万右衛門の留書き

通常会議録 明治 14 年度 今泉万右衛門 GK318.3-4

明治 14 (1881) 写 1 冊 半紙 和
 註：新町駒越町町会関係

通達留 八幡村戸長役場 GK318.3-40

明治 16 (1883) 写 1 冊 半紙
 註：明治 16 年に戸長役場で書留めたもの

〔中津軽郡第五組聯合会規則〕 GK318.3-5

明治 16 (1883) 写 1 冊 半紙 和
 内容：中津軽郡第五組聯合会規則御裁定願 同議事規則
 弘前町五組各町聯合会規則

〔中津軽郡第五組聯合町会特立町会議事細則〕 GK318.3-6
 明治 17 (1884) 写 1 冊 半紙
 註：第五組は鷹匠町馬屋町西大工町新町駒越町平岡町紺
 屋町浜ノ町袋町五十石町

〔鼻和村明治十五年度議案〕 無号より第 2 号 GK318.3-39
 明治 15 (1882) 1 冊 半紙

引渡帳簿器械金銭目録 明治 14 年 11 月 GK318.3-38
 青森県中津軽郡役所
 明治 14 (1881) 写 1 冊 半紙 和
 註：部長館山漸之進と元郡長笹森儀助との引継目録

〔弘前〕市会開設用事記 宮川富三郎 GK318.3-11
 明治 22 ～ 27 (1889 ～ 94) 写 1 冊 美濃半 仮和
 註：弘前市会議員宮川富三郎の留書き

〔弘前市会関係書類綴〕 明治 40,41 年 GK318.3-17
 明治 40,41 (1907,08) 1 冊 (合綴) 半紙

〔弘前市会議案議決報告書綴〕 明治 23 年 GK318.3-12
 明治 23 (1890) 1 冊 (合綴)

〔弘前市会議案議決報告書綴〕 明治 27 年 GK318.3-14
 弘前市
 明治 27 (1894) 1 冊 (合綴) 半紙 仮和

〔弘前市会議決報告書綴〕 明治 42 年 GK318.3-18
 弘前市
 明治 42 (1909) 1 冊 (合綴) 半紙 仮和

〔弘前市会議案報告綴〕 明治 34 年 GK318.3-15
 弘前市
 明治 34 (1901) 1 冊 半紙 仮和
 内容：明治34年議案第39号,報告第8号,第9号 (明治33

年度歳入決算書)

〔弘前市会議案報告書綴〕 大正元,2 年 GK318.3-19
 弘前市
 大正元,2 年 (1912,13) 1 冊 半紙 仮和

弘前市会議員有権者名簿 大正 10 年執行 GK318.3-24
 弘前市
 大正 10 (1921) 60 頁 四六 仮洋

弘前市会議員有権者名簿 昭和 4 年執行 GK318.3-25
 弘前市
 昭和 4 135 頁 四六 仮洋

〔弘前市議案〕 昭和 5 年第 3 号～第 15 号 GK318.3-20
 弘前市
 昭和 5 謄写 1 冊 美濃 仮和

弘前市事務報告及歳入出予算及決算 GK318.3-13
 弘前市
 明治 22 ～ 27 (1889 ～ 94) 1 冊 (合綴) 半紙 仮和
 註：事務報告第1～5回 歳入出予算及決算書 明治24
 年度～27年度

〔弘前第二十四戸長役場予算〕 明治 13 年度 GK318.3-28
 明治 13 (1880) 写 1 冊 半紙

夫喰米并貯糶証書之義ニ付御請 GK318.3-33
 石田勘七等
 明治 8 (1875) 写 1 冊 半紙 仮和
 詐：明治8年青森県第三大区四小区鳥井野村倍長石田勘
 七等より同村役場への回答

兵営敷地買取代金寄附者調 弘前市 GK318.3-21
 明治 35 (1902) 47 頁 半紙 仮和

註：歩兵第三十一聯隊兵営敷地買取代金の内への寄附

〔臨時會議案〕 中津軽郡長 GK318.3-9
 明治 18 (1885) 写 1 冊 半紙
 註：公立弘前中学校委員 含英女学校事務掛共人員及給
 料支給臨時會議案及通達

〔聯合會議案〕 明治 18 年度 山中泰一 GK318.3-8
 明治 18 (1885) 写 1 冊 半紙 合綴
 内容：明治18度聯合會議案 明治18度学校會議案 明
 治18年度水火災消防費議案
 註：明治18年7月より同19年3月まで9ヶ月分の第三聯
 合組合会の支出予算案

〔和徳村書記簿〕 加藤忠三郎 GK318.3-41
 明治 21 (1888) 写 1 冊 仮和
 註：中津軽郡堅田村外八ヶ村戸長役場部内所有身元各村
 惣代議員諸務人別書記簿

K318.4 黒石市 南津軽郡

青森県南津軽郡本町村第三回村会議事筆記 GK318.4-1
 明治 14 年 芳賀昌就編
 明治 14 (1881) 写 1 冊 半紙 和

〔尾上村大字高木〕 本大字協議員職務規約 GK318.4-2
 明治 22 (1889) 写 1 冊 半紙

規約書 (尾上村大字高木) GK318.4-5
 (明治 22 年 9 月 14 日追加)
 明治 29 (1896) 写 1 冊 半紙 和

規約書 (尾上村大字高木) GK318.4-4
 (明治 22 年 9 月 14 日追加)
 明治 29 (1896) 写 1 冊 半紙 和

規約追加（尾上村大字高木）（明治 22 年 9 月締結規約に属す） **GK318.4-3**
明治 29（1896）写 1 冊 半紙

五橋修繕受払帳鎌田堰長田堰猿賀堰岩田川砂田堰
尾上村高木 **GK318.4-6**
明治 36（1903）写 1 冊 横長

南津軽郡所例規 **GK318.4-7**
明治 15（1882）写 1 冊 半紙半 仮和

K318.5 五所川原市 北津軽郡 西津軽郡

〔青森県〕第五大区各小区各村概表 明治 8 年 9 月
附青森県職員録 明治 8 年 8 月 31 日 **GK318.5-1**
明治 8（1875）写 1 冊 半紙半
註：北津軽郡

〔板屋野木村々会議案〕 **GK318.5-2**
附小区会議問（明治 9）
明治 16（1883）写 1 冊 半紙
註：北津軽郡板柳村の村会記録

K318.7 むつ市 下北郡

草案 明治 9 年 **GK318.7-1**
明治 9（1876）写 2 冊 半紙 仮和
註：青森県第六大区（下北郡）から県等への願書，伺書等の草案

K319 外交 国際問題

対露問題 菊池武徳述 **GK319-3**
東京 靱山書店 大正 12（1923）54 頁 菊

立候補に際し予の東亜政策を宣明す **GK319-1**
菊池良一
昭和 83 頁 四六 仮洋

立候補に際し予の東亜政策を宣明す **GK319-2**
菊池良一
昭和 83 頁 四六 仮洋

K322.5 武家法後期（藩政）

青森御目付代勤方覚（青森在番勤方） **GK322.5-108**
写 1 冊 半紙 仮和

〔家屋敷売買伺〕 **GK322.5-290**
享保 20（1735）写 1 通

石山喜兵衛検使相勤候留書 **GK322.5-71**
写 1 冊 半紙 仮和
註：文政 4 年御中小姓対馬文太切腹之節御手廻三番組
石山喜兵衛検使被仰付相勤候留書

一列御次第 **GK322.5-33**
写 1 巻 卷子 小

一列御次第 **GK322.5-34**
文化 8（1811）写 1 冊 半紙半 仮和

一列御次第 **GK322.5-35**
文政 5（1822）写 1 冊 横小 仮和

伺書其外留書写（三百六箇条） **GK322.5-10**
天保 13（1842）写 1 冊 半紙 仮和
註：江戸幕府御触書留

内真部別段勤中日記 **GK322.5-205**
安政 5 戊午 10 月朔日より翌未 9 月中
安政 5,6（1858,59）写 1 冊 横小 仮和
註：内真部において別段勤中の心得など

江戸御供方勤書 万延元年 9 月 **GK322.5-104**
万延元（1860）写 1 冊 横小 仮和
註：江戸に於ける諸規式勤方

江戸御店間公私当用集 藤原盛利 **GK322.5-106**
文久 2（1862）写 1 冊 半紙半 仮和
註：江戸詰勤務の諸心得

江戸表江召れ家来共給代并手当向共 **GK322.5-48**
写 1 冊 半紙 仮和

江戸表ニ而被仰渡書外御家老衆申渡大方覚 **GK322.5-123**
文化 8（1811）写 1 冊 横小 仮和
註：江戸表に於て仰渡及家老申渡の際の規式

江戸表勤方御定書 **GK322.5-218**
写 1 冊 半紙半 仮和

江戸御屋敷当番勤方之覚 **GK322.5-103**
写 1 帖 折本 小

縁組前髪取袖留御定書 **GK322.5-142**
延宝 5（1677）写 1 冊 美濃 仮和
註：寛文 5 年（1665）の縁組之覚に延宝 4 年,5 年分を追記したもの

遠慮御定式 **GK322.5-144**
写 1 冊 半紙半（横） 仮和

遠慮諸事 **GK322.5-143**

写 1冊 横長 仮和 註：諸遠慮の定及先例 文化の頃		註：御城附物頭の勤務方の覚		写（寛延頃）1冊 横小 仮和	
遠慮逼塞慎之内病死或ハ末期等之事 写 1冊 半紙 仮和	GK322.5-145	御城附物頭勤向 写 1冊 半紙半 和	GK322.5-213	御手廻勤書 棟方実勝編 文政4（1821）写（自筆）1冊 半紙半 仮和 内容：御番心得被仰出 御薬壺御香奠御使者 町廻り同心得 末期判元見届 切支丹類族病死見分 検使見分心得 変化見分書付認方 変化検使 切腹并介錯 妻手討 於御蔵同役手討 出家変化 於鯨ヶ沢火ノ廻役自害 首縊	GK322.5-72
御馬廻御番所格帳 安永8年 安永8（1779）写 1冊（合本）半紙 仮和 合綴：御馬廻御番格帳	GK322.5-78	御定覚書留 写 1冊 半紙 仮和 註：寛文より文政までの諸定書	GK322.5-116	御手廻勤方覚 写 1冊 横小 仮和	GK322.5-74
御馬廻勤書覚書 棟方実勝編 寛政11（1799）写（自筆）1冊 半紙半 仮和 内容：検使御用勤方心得 転切支丹類族死骸見分 追手番相勤候留書 御馬廻勤方書	GK322.5-77	御定書 上 写 1冊 半紙 和 註：江戸幕府の御定書	GK322.5-7	御手廻勤方并諸事心得覚書 明和3（1766）写 1冊 半紙半 仮和	GK322.5-182
大組足輕頭勤方覚書 写 1帖 折本 小	GK322.5-95	御定古格 写 1冊 半紙 和 註：延宝2年（1674）より文政年間までの申渡 御触 諸規式等を集めたもの 卷末に天保8年（1837）の人別戸数調あり	GK322.5-15	御手廻広間勤書 文久2（1862）写 1冊 横小 仮和 註：御広間取次役の心得	GK322.5-75
御小性組格抄覚 黒石藤太由 写 1冊 横小 仮和	GK322.5-209	〔御台所御定書〕元禄6年 元禄6（1693）写 1通	GK322.5-202	御供役勤方心得 天保13（1842）写 1冊 半紙 和 註：御供役の勤方心得書	GK322.5-189
御仕置古撰類集 第1～3 写 3冊 半紙 仮和（刑律方旧蔵） 内容：第1・2冊 法式を背候類 第3冊 賄賂之類似セ役之類 兩人別之類 註：江戸幕府天明8年～寛政10年間（1788～98）の判決集である	GK322.5-8	御尋者証文差出候控 文化6年6月 川越清吉 文化6（1809）写 1冊 半紙 註：お尋者証文の書き方	GK322.5-238	御長柄頭手控 乾 写 1冊 半紙半 和 註：長柄頭勤務心得 南部藩のもの	GK322.5-215
御城附御人数積 写 1冊 半紙 仮和 註：御城外御固場所御人数積及御城中并御郭中御郭外御固場所并御番所御人数配を含む	GK322.5-93	御手廻兼用番心得覚 須藤円司 文化4（1807）写 1冊 半紙 仮和 註：主として検使勤方心得	GK322.5-69	御長柄奉行勤方并組取扱覚 写 1冊 半紙半 仮和	GK322.5-181
御城附物頭古記 写 1冊 半紙半 和	GK322.5-85	御手廻勤学秘談 3巻 岩淵彦吉編 安政3（1856）写 1冊 半紙 和	GK322.5-284	御広間御取次之覚 写 1冊 半紙 仮和	GK322.5-76
		御手廻五組御定書	GK322.5-183	御触書 享和3年 享和3（1803）写 1冊 半紙 和	GK322.5-255

註：衣服に関する触		写 1冊 半紙 和 註：別段御用懸の覚 犯罪出火等の取調留書		註：定書 規夫 触書を集めたもの	
御触四通 寛政6年(1794) 写 1軸 卷子 小	GK322.5-253	覚 GK322.5-113 写 1冊 半紙 仮和 註：組代官に於ける月々並に臨時の郡所へ申達すべき事項	覚書 GK322.5-44 写 1冊 横小 和 註：家中知行高 小普請金定 御軍用銀定 茂合出銀渡 方定 路銀渡方定 駄賃銀渡方定 従御国江戸御屋敷迄 道中駄賃定 等		
御触状 西大工町月行事 写 1冊 半紙 註：米搗粉取締りに関する触	GK322.5-248	覚 文化8年 川越清吉 GK322.5-124 文化8(1811) 写 1冊 横小 和 註：公義御家に関する諸書式	覚書 GK322.5-81 写(明治2(1869)頃) 1冊 横小 和 註：目付役の勤務心得書		
御触状 嘉永3年 今泉万右衛門 嘉永3(1850) 写 1冊 半紙 仮和	GK322.5-261	覚(留守中御覚書) 延宝5年 GK322.5-199 延宝5(1677) 写 1軸 卷子 中 註：江戸出府のため藩主留守中勤仕の条目	覚書 GK322.5-88 嘉永7(1854) 写 1冊 横長 仮和 註：徒小頭の心得 徒当番の勤方		
御触状 文久2年 中畑忠三郎 文久2(1862) 写 1冊 半紙 仮和 註：名主中畑忠三郎の御触留(誓願寺前 駒越町 新町 江戸町 西大工町 平岡町)	GK322.5-263	覚(貞享元年被仰付候書付) GK322.5-200 貞享元(1684) 写 1通 一枚物 註：江戸より国元への御供下りについての心得	覚書 GK322.5-90 享保13(1728) 写 1冊 横小 仮和 註：享保13年正月中の城勤務の覚書		
御触状 慶応3(1867) 写 1冊 半紙 註：名主(駒越町 江戸町 新町 誓願寺前 大工町 平岡町) 留帳	GK322.5-264	覚 GK322.5-211 写(天保) 1冊 美濃 仮和 註：芙蓉之間御廊下詰の勤め向及び廊下詰御附人兼役并 附人次第	覚書 GK322.5-96 写 1冊 横小 仮和 註：小姓組勤方覚書		
御触状留 文久元年 中畑忠三郎 文久元(1861) 写 1冊 半紙 註：新町名主の御触留	GK322.5-262	覚(鯨ヶ沢町奉行への書付) GK322.5-219 写 1通 一枚物 註：鯨ヶ沢町奉行成田忠兵衛 山元半左衛門への勤め方 心得 寅7月とある	覚書 GK322.5-105 文久3(1863) 写 1冊 半紙半 和 註：覚書(文久3年写) 御手廻勤番秘書(安政7年(1860) 江戸に於ける勤番心得		
御触留(寛政7年御触書之覚) 写 1冊 半紙 仮和 註：寛政7年,8年(1795,96)の御触書	GK322.5-254	覚(御改革に付) GK322.5-282 写 1冊 横長 註：明治初年職制及び給禄の改正	覚書 GK322.5-117 延享5(1748) 写 1冊 棋小 仮和 註：諸定諸心得及先例		
覚 写 1冊 半紙半 仮和 註：江戸詰中用達仲間の給代及道中手当	GK322.5-49	〔覚書〕 GK322.5-18 写 1冊 半紙半 和	覚書 GK322.5-126 写 1冊 半紙 仮和		
覚 別段御用御中小性	GK322.5-99				

註：享和2年～文政8年（1802～25）間 御手廻番頭成
田茂左衛門の覚書 諸御礼諸願書式等及書類留

覚書 GK322.5-132

慶応3（1867）写 1冊 横小 和

註：諸願并諸請縦横御定之事 諸断御目付差出候文言

覚書（諸礼定格） GK322.5-162

写 1帖 折本 中

註：諸御礼の定

覚書 谷口糸之丞 長谷部惣助共編 GK322.5-210

嘉永3（1850）写 1冊 半紙 仮和

註：勤仕格式規式等

覚書 GK322.5-226

写（弘化頃）1冊 横小 仮和

註：諸規式諸定その他

御目付御用番勤方 GK322.5-80

写 1冊 横小 仮和

御目付触（文政9年正月9日） GK322.5-287

文政9（1826）写 1冊 半紙（横）和

註：着服についての触

御目見以下一列御次第 GK322.5-38

写 1冊 横小 和

註：天保6年（1835）頃の職制

御目見以下御次第・黒石御家中御次第 GK322.5-271

写 1冊 横小 和

御目見以下改正一列 GK322.5-175

写（明治初年）1冊 半紙半 和

註：明治初年職制改正

御目見以上御次第并寺社方次第 文化7年 GK322.5-166

天保4（1833）写 1冊 横小（川越旧蔵本）

御目見以上御給禄定 GK322.5-43

写 1冊 半紙 和

註：文化11年（1814）頃？

御留主中御条目書之写（古格牒之写也） GK322.5-63

寛政9（1797）写 1冊 半紙 仮和

註：藩主留守中の諸心得

御留主中御帳面写 宝暦9年 GK322.5-62

写 1冊 半紙 仮和

内容：御条目写 御発駕以後出火之節御定書 御留主中
勤番之覚 御留主中昼廻夜廻之覚

御留守当番之巻 GK322.5-195

写 1冊 半紙半 和

内題：当番勤方心得之巻

御留主年勤書 GK322.5-64

写 1帖 折本 小

御渡書付の写 明治3年 GK322.5-250

明治3（1870）写 1冊 半紙

内容：5月 議院 議員名簿 赦 御尋者証白案文 6
月 禁私謁 開言路 7月 弾例 6月 御告諭 減禄
件事等級 職掌 藩庁規則 案牘書法 御用召請書法

御家格秘書（旧事格）坤 GK322.5-14

写 1冊 半紙 和

註：寛文2年～天保13年（1662～1842）間の職制諸定
諸規式

〔御規式帳〕 GK322.5-59

写 1冊 半紙 仮和

註：年頭五節句月次歳暮 参府在着 知行黒印 昼夜町
廻 能 供立 等の定

御次第一列 外 GK322.5-36

写 1冊 横小 仮和

内容：御次第一列 御役順（江戸幕府）御手廻五組入順

御次第一列 GK322.5-168

写（文化頃）1冊 横小 和

御次第十三段 GK322.5-269

写 1冊 半紙 仮和

註：津軽藩の職制

**介錯之作法 御手廻急用番検使勤方御手廻町廻刻限并勤方
之事 GK322.5-70**

写 1冊 半紙 仮和

改正職一列 GK322.5-275

写（明治）1冊 美濃半 仮和

註：改正職一列 御廃止役々并格役準席定 役免并隠居
嫡子準席定 御規則

〔改正職制〕 GK322.5-39

写 1冊 横小 和

註：明治2年の藩治職制

〔改正職制〕 GK322.5-176

明治2（1869）写 1冊 半紙半

改正職制一列 GK322.5-273

明治2（1869）写 1冊 横小

内容：改正職制一列 御廃止役々并格役準席定 役免并
隠居嫡子準席定 御規則

改正職制一列 GK325.5-274

明治2 (1869) 写 1冊 横小 和

註：改正職制一列 御廃止役々并格役準席定 役免并隠
居嫡子準席定御規則

改正職制一列 GK322.5-276

写 (明治) 1冊 半紙半

改正職制一列 GK322.5-277

写 (明治) 1冊 横長

改正職制一列 GK322.5-174

写 1冊 半紙半

改正職制一列 GK322.5-40

写 1冊 半紙 (横) 仮和

註：明治2年 (1869) の改正

格帳 GK322.5-111

文政12 (1829) 写 1冊 半紙 仮和

註：郡奉行支配関係の格帳

格帳 GK322.5-114

写 1冊 半紙 仮和

註：庄屋の心得べき諸定

格帳之写并古役申伝 GK322.5-68

写 (天保) 1冊 半紙半 仮和

註：通用番勤務心得

隠商過料定 寛政5年 GK322.5-22

写 1冊 半紙 仮和

註：寛政律の附録にあるもの

〔家中覚書〕 GK322.5-220

写 (天保～慶応) 1冊 横小 和

註：年中御祝儀事 御寺拝礼定 湊支配・浦奉行支配・
所々勤番継所 御礼廻諸願御定 その他

〔家中覚書〕 GK322.5-221

写 1帖 折本 小

註：御参詣并御名代之覚 年中行事 諸願

願書下書控 文化7年 GK322.5-252

文化7 (1810) 写 1冊 半紙

註：金子借用の抵当家屋敷等の一件 南部藩田名部の資料

寛政記録 御馬廻 GK322.5-204

寛政9 (1797) 写 1冊 半紙 仮和

内容：御番所御締合之儀ニ付伺書差出候留諸并御申継候
儀共御手廻格帳之内抜書ハ末ニ記置 (寛政9丁巳年) 覚
(棟方十左衛門)

註：御番所の諸定めについての留書 棟方十左衛門の覚
は御書出写し差出しについての案文

寛政律 GK322.5-26

写 1冊 半紙 仮和

註：97項目の内前半60項まで 後欠

寛政律 GK322.5-27

天保4 (1833) 写 1冊 半紙 仮和

註：末尾25項目36ヶ条を欠く不完全写本

〔寛政律〕 GK322.5-285

写 1冊 半紙 和

規式定書 GK322.5-119

写 1冊 半紙 仮和

註：藩士の諸心得及諸定 宝暦年間に編したもの

〔起請文〕 GK322.5-231

写 3通 一枚物

規範 GK322.5-138

写 1冊 横小 仮和

註：諸願書付文例

規範集 (文通并称呼) GK322.5-147

写 1冊 半紙 和

註：文通并に称呼の定

旧新用録 (津軽藩御手廻旧新用録) GK322.5-73

安政2 (1855) 写 (直能) 1冊 半紙 仮和

註：御手廻の勤務心得

〔享保触書〕 GK322.5-3

写 1冊 横小 和

註：享保元～10年 (1716～25) 間幕府御触書の留帖

勤格帳 後編 GK322.5-109

三上喜左衛門 高屋幸司共編

嘉永6 (1853) 写 1冊 半紙半 和

註：町奉行勤務書の後編

勤番心得書 GK322.5-197

慶応2 (1866) 写 (藤原清一) 1冊 横小 和

〔勤番諸定〕 GK322.5-94

写 1冊 半紙 仮和

近例覚 横島安之 GK322.5-157

文政10 (1827) 写 1冊 横小 仮和

註：御礼廻 諸願 諸定		註：御家中一列および寺社分限		御家中一列御次第 文久3年6月改 文久3(1863)写 1冊 横小	GK322.5-171
〔組頭役への諭告〕亥3月 写 1通	GK322.5-206	御改革一件 明治2(1866)写 1冊 美濃半 和 註：改正職制	GK322.5-272	御家中一列御次第 写 1冊 横小 和	GK322.5-172
黒石役人書翰向留并他所より之書翰到来之例 写 1冊 半紙半 仮和	GK322.5-234	御改革訳書 写 1冊 横長 仮和 註：明治職制改革について	GK322.5-281	御家中一列御次第 写 1冊 横小 仮和	GK322.5-173
〔軍政改革之触〕慶応4年 写 1冊 半紙	GK322.5-270	御改正職制一列 写(明治)1冊 横小 仮和	GK322.5-278	御家中御次第 文政11(1828)改 1冊 横小 仮和	GK322.5-169
刑法 寛政9年 伴才助(建尹)吉沢庄太夫 参考 菊池寛司(正礼)赤石安右衛門(行建)関正 写 1冊 半紙 和 註：寛政律と云われているもの	GK322.5-23	古格例式 写 1冊 半紙 仮和 註：慮外者可打果心得一件 密夫一件之事 妻打捨之事 弓炮ニ而誤り人を討候事 家来成敗之事 切腹之事 介 錯之心得之事 その他検使の事など	GK322.5-241	御家中廻状宛所留 文化13年6月 文政2(1819)写 1冊 半紙 仮和 註：廻状の書き方	GK322.5-235
〔儉約御触書〕 写 1冊 半紙	GK322.5-260	御家訓御壁書之写 延宝2(1674)写 1冊 横小 仮和 註：諸定諸法度	GK322.5-150	御家老衆より御家中并他所江御文通 写 1冊 半紙 仮和	GK322.5-148
県令行事雑記 写 1冊 横小 仮和 註：県令年中行事ともある	GK322.5-266	御家中一列 写 1冊 横小 和	GK322.5-37	御給禄定〔其他〕 写 1冊 半紙半(横) 仮和 註：給禄定の他 知行俵子金給相当 御家中御給禄調 (享保頃)寺社高 上々様御合力(文政10(1827)年 頭御目見人数(天保2(1831)御郡内人数戸数調(寛政 5(1793)御用勤之格式(貞享5(1688)等	GK322.5-42
公儀江御間合済道中心得書并途中心得書(桑名家掟)御中 小性御勤方心得書 天保14(1843)写 1冊 横長 仮和(川越旧蔵本)	GK322.5-51	御家中一列 安政2(1855)写 1冊 半紙半	GK322.5-170	国制記(外題：国訓国法記) 写 1冊 半紙 和 内容：禁中并公家中諸法度(慶長20年)公家衆法度 (慶長18年)武家諸法度(慶長20年)武家諸法度(寛 文3年)評定所并奉行所諸法度(明暦3)諸旗本衆江法 度(寛文3年)御目付之面々ニ被仰付覚 上方関東御代 官中江被仰渡制法 土民之掟(寛永10年) 定 御上 洛并日光御社参之法令 御旗本簇旗之覚	GK322.5-1
公裁百ヶ条 写 1冊 美濃 和 註：江戸幕府の法典「公事方御定書」2巻の内の1巻で 「御定書百箇条」と呼ばれるもの	GK322.5-6	御家中一列 慶応3(1867)写 1冊 小 和	GK322.5-293		
御運中御師代 慶応元(1865)写 1冊 横小 仮和	GK322.5-268	御家中一列御次第 文化14(1817)写 1冊 横小	GK322.5-167		

告令誌 乾 自明治3年3月至12月 明治3 (1870) 写 1冊 半紙 和	GK322.5-265	御定法〔御書付〕并覚書 写 1冊 半紙 仮和	GK322.5-225	御道中取扱大概 (御参府諸事覚帳) 三浦良顕 天保8 (1837) 写 1冊 半紙半 仮和	GK322.5-50
御刑法御定 寛政9年 写 1冊 半紙 仮和 註：寛政律といわれるもの	GK322.5-24	御定法書 安政6 (1859) 写 1冊 半紙半 仮和 註：御定法書は文政13年頃の弘前藩の諸定 御定法書之写は江戸幕府の御定書百箇条と呼ばれるものの写 合綴：御定法書之写	GK322.5-17	御到来奉行勤書大部 文政6 (1823) 写 1冊 半紙 仮和 註：御到来奉行の勤務心得 文政6年棟方弥五兵衛御到来奉行常加勢仰付られ先例を記したもの	GK322.5-101
御刑法書之写 写 1冊 半紙 和 註：前半は寛政律 後半に御刑法牒附として45項目の附記がある	GK322.5-25	御定書諸種 其他 写 1冊 半紙 仮和 内容：御当家様御統及御忌日御拝礼 御定書諸種 津軽一統志抜書 限部一件并心得之事	GK322.5-228	言葉の搔寄 4巻 写 4冊 半紙 仮和 註：諸規式諸定及心得等を編したもの 4巻よりなり 名巻に別々の書名をつけてある 春 言葉の搔寄 夏 塵芥の山 秋・冬 葎の雫	GK322.5-115
御刑法帳 写 1冊 半紙 註：文化の刑律の抄か	GK322.5-240	〔御定法編年録〕〔葛西清雄〕編 写 1冊 半紙 仮和 註：寛永元年～享保20年 (1624～1735) 間の諸規則 御触等を編年体に集めたもの「葛西秘録」の著者葛西清雄の自筆本と思われる 葛西清雄通称彦六	GK322.5-13	御廃止役々并格役准席定役免并改正職制一列 明治2 (1869) 写 1冊 横小	GK322.5-177
御刑法牒 写 3冊 半紙 仮和 註：文化の改正の下書か	GK322.5-28	御条目并町中江申渡控 貞享元年より元禄17年まで 貞享元～元禄17 (1684～1704) 写 1冊 美濃 仮和	GK322.5-16	御用記 写 (文化頃) 1冊 横長 仮和 註：諸勤務方の先例	GK322.5-57
心得草秘事 安政6 (1859) 写 1冊 半紙 和 註：七ヶ条口伝之事 貳拾三ヶ条之事 五形十体之事 御徒目付足軽目付勤方之事 自害見分之事 その池諸心得	GK322.5-216	御中小性勤格抜書 下坐定之部 写 1冊 半紙半 (横) 仮和	GK322.5-98	御用聞書 寛延元 (1748) 写 1冊 横小 仮和 註：諸定諸心得及先例	GK322.5-118
心得書 (秘書) 写 1冊 横小 和 内容：遠慮一件 家来手討并変死之事 変死跡并家名 御定被下候事 妻出奔并密通二付手討之事 服忌令 御紋形之事 其他	GK322.5-242	御中小性勤式 写 1冊 横小 仮和	GK322.5-188	御用所着服調 写 1冊 半紙 和	GK322.5-288
古御用留帳抜書覚帳之写 写 1冊 半紙 仮和 註：勤務上諸心得等	GK322.5-53	御中小性勤方 (御中小性勤格) 安政6 (1859) 写 (川越石太郎 (次泰) 1冊 半紙 和 (川越旧蔵本) 註：安政2年 (1855) 増補したもの	GK322.5-97	〔御用勤方覚書〕 写 1冊 横小 和 註：家中藩士勤務心得	GK322.5-55
				〔御用留〕後藤門之丞 1冊 半紙 仮和	GK322.5-61

註：寄場御定 両御寺被仰渡書 出火之節御定書 出火之節相図定 御組頭より物頭迄御申渡書 御本城火消道具 寄場諸心得品々 昼町廻之事 誓詞之事 高岡御大祭之節御番人并御共之事 駒越川渡場御船奉行勤方之事 追手番心得之事（以上心得書）黒石表江御使勤書 同臨時懸合之書（後藤門之丞 天保13（1842）の留書）

御用留（御蔵諸色伺書并手形認方其外諸断認方共ニ）

GK322.5-125

文化 13（1816）写 1 冊 半紙 仮和

御用初二於御役所御渡書御制服一件

GK322.5-259

安政 4 年

安政 4（1857）写（岩見忠兵衛）1 冊 半紙 仮和

註：町人への服装等に関する達

御用番勤方

GK322.5-194

写 1 冊 半紙半 和

在方御締向 嘉永 5 年

GK322.5-256

写 1 冊 半紙 仮和

註：嘉永 5 年（1852）在方への触

在方御締向 赤田組御代官

GK322.5-258

嘉永 7（1854）写 1 冊 半紙

註：嘉永 7 年風儀取り締り触

在々御通筋村々并就御用罷出候者エ申渡之覚

GK322.5-223

写 1 冊 半紙 仮和

註：巡見使通りの際の諸心得

在住勤方起請文前書

GK322.5-232

写 1 冊 半紙

定（留守中御定）延宝 3 年

GK322.5-198

延宝 3（1675）写 1 通

註：参勤のため藩主留守中の定め

雑要集

GK322.5-102

文久 2（1862）写（宮本道久）1 冊 半紙 和

註：江戸に於ける諸規式先例等 弘前家中の書いたもの（文政13年（1830）頃）

〔座当戸田一仕置伺書〕下書

GK322.5-247

惣御検校三島宛 宮村検校（城秀）

写 1 通

侍共勤方之覚控

GK322.5-54

寛政 10（1798）写 1 冊 半紙 仮和

〔参勤留守中心得〕貞享 2 年 津軽信政

GK322.5-201

貞享 2（1685）写 1 通

斬罪検使勤書

GK322.5-191

嘉永 4（1851）写（成田善三）1 冊 半紙半 和

註：竹内多吉検使相済覚書の写本に附録をつけたもの

式例

GK322.5-130

写 1 冊 横小 仮和

註：家中藩士の諸式心得 弘化頃

寺社御仕置御定書

GK322.5-156

文政元（1818）写（長谷川建中）1 冊 半紙 仮和

〔借用申銭年賦手形〕

GK322.5-291

文化 14（1817）写 1 通

〔上下道中覚書〕

GK322.5-47

写 1 冊 半紙 仮和

註：江戸上り道中路用銀及江戸詰中給代手当の定

諸御定書

GK322.5-139

写 1 冊 半紙半 仮和

註：御礼廻 遠慮 紋形 御目見 月並 袖留 前髪執等諸定書

〔諸御礼諸願諸断諸御定〕

GK322.5-140

写 1 冊 半紙 和

諸書付留 藤田行道編

GK322.5-236

慶応 4（1868）写 1 冊 半紙半 和

註：掃除方の諸書付諸願の文例

〔諸規則諸定〕（御分限帳）

GK322.5-227

慶応 2（1866）写 1 冊 半紙半

註：諸識諸家業御役定 在町浦々貯糶御備 御刑法 御家系図 御家中一列 御郡中行程駄賃定 及び組別田畑高など

〔職員令〕

GK322.5-280

写（明治）1 冊 半紙 仮綴

註：明治 3 年（1870）改正職制

諸御用書認方覚帳

GK322.5-146

写 1 冊 半紙半 仮和

註：御用書類の書方

諸書付正文并諸事御定格秘記

GK322.5-121

寛政 8（1796）写 1 冊 半紙半 仮和

諸家例鑑 臣庶門

GK322.5-11

嘉永 3（1850）写 1 冊 半紙 和

註：江戸幕府へ諸家よりの御届 問合 伺 帳付 等の留書

諸断格帳 慶応3(1867)写 1冊 半紙半 仮和	GK322.5-133	諸手物頭勤方諸事覚 宝暦10(1760)写 1冊 半紙 仮和	GK322.5-86	従外門内召連候人数之覚 写 1通 註：門内に召し連れ人数の定め	GK322.5-222
諸事覚帳 寛政元年 寛政元(1789)写 1冊 半紙半 仮和 註：天明8年(1788)相勤候覚(目付代)	GK322.5-84	諸取引御触出之写 万延元(1860)写 1冊 半紙半 註：文政8年(1825)の定め及び安政7(1860)田畑譲渡一件 嘉永6年(1853)祠堂田畑之事	GK322.5-244	諸式勤方覚帳 写 1冊 半紙 仮和 註：御中小性の勤め方覚え帳	GK322.5-208
諸事心得記 天保5(1834)写 1冊 半紙半 仮和 註：夜廻心得の事 投文目安状の事 出火之節心得の事 立合所の事 検使の心得之事 等	GK322.5-190	諸取引御定法書 万延元(1860)写 1冊 半紙 仮和 註：文政8年(1825)定めのもの	GK322.5-31	諸願伺届文案 明治4(1871)写 1冊 半紙半 仮和	GK322.5-165
諸事取扱控 杉山成美著 平井憲章編 文化3(1806)写 2冊 半紙 和 註：杉山成美の記録を平井憲章が編纂した先例集	GK322.5-122	〔諸用格覧〕 写 1冊 半紙半 仮和 註：諸規式諸定め	GK322.5-229	諸願伺文案 明治4年 監正署 明治4(1871)写 1冊 横小 仮和 註：諸願書伺の文例	GK322.5-135
諸々勤番并油川別段 文政12年 文政12(1829)写 1冊 半紙半 和 註：諸々勤番并油川別段締役の勤方の覚	GK322.5-107	諸用書 写 1冊 美濃 和 註：手形 証文 願書の文例	GK322.5-286	諸願書付 写 1冊 半紙 仮和	GK322.5-136
諸席文通式 写 1冊 横小 和	GK322.5-149	諸渡調 弘化3(1846)写 1冊 櫛小 仮和 註：諸給金及諸品の渡方の定	GK322.5-45	諸願格帳 写 1冊 半紙 仮和	GK322.5-137
掌中覚万手鑑控 写(天保頃)1冊 半紙半 仮和 註：御家中席録調 諸職人之部 武家師範家 御近習医者 知行俵子金給相当 その他諸願諸文例	GK322.5-158	始立奉幣格賛例 写 1帖 折本 中 註：諸御礼の格帳	GK322.5-163	諸願格帳 上中下 棟方実勝 写 3冊 半紙半 仮和	GK322.5-230
掌中秘鑑 写(山形字兵衛)1冊 半紙 和 註：諸定諸規式及び先例	GK322.5-154	新職制 写(明治)1枚 34×24.6	GK322.5-283	諸願諸窺格帳 寛政年中改之 嘉永4(1851)写 1冊 横小 仮和	GK322.5-152
諸手足輕頭勤書之覚 写(文政頃)1冊 横小 和	GK322.5-87	先勤従用録(御手廻御番士趣意) 篠森彦弥太撰 天保9(1838)写(手塚源三郎)1冊 半紙 和	GK322.5-185	諸願諸伺諸断留 文政2(1819)写 1冊 半紙半 和	GK322.5-128
				諸願諸窺諸届文案 写(明治)1冊 半紙半 仮和	GK322.5-237
				諸願諸断諸窺諸書付格帳 上下 写 2冊 半紙 和(川越石太郎(次泰)書入本)	GK322.5-127

諸願認方覚 附別段秘用覚書 GK322.5-151
 明和5(1768)写 1冊 横小 仮和

〔諸願諸定〕 GK322.5-141
 写 1冊 横小 仮和

諸願届 GK322.5-131
 嘉永3(1850)写 1冊 半紙 仮和
 註：諸願の案文 諸願の書方

大藩御〔触〕色々勤向心得 GK322.5-56
 写 1冊 横小 仮和
 附：寛広院様御位牌御下之節御行列帳 文久3年11月19日
 註：寛政～天保間の勤向の触

高岡百沢并四社御参詣御先詰 GK322.5-186
 写 1冊 半紙半 仮和

高屋村先庄屋太治右衛門并百性と母一統詮儀口書村控写書
 元治元年8月 GK322.5-246
 元治元(1864)写 1冊 半紙 仮和

他領者御締固条 文政9年 GK322.5-110
 写 1冊(合本)半紙 仮和
 合綴：覚(諸家業之事)御用留(天保13,14)覚(旅人宿之事借屋吟味之事)借屋他町江送願帳(天保14)済口帳(弘化2新町)諸上納銭御定被仰付書(弘化2)覚(弘化3)

知行俵子金給俵子知行金給金給知行俵子相当調帳
 写 1冊 半紙半 和 GK322.5-178
 註：安永3年(1774)知行取御蔵入四ツ成渡被仰付御切米段取割合御定帳之写

〔知行俵子金給相当書〕 文政7年 GK322.5-179
 慶応3(1867)写 1冊 半紙半 和
 附：江戸上方用達町人分限

中扨従勤要 GK322.5-217
 写(川越石太郎)1冊 横小 和(川越旧蔵本)
 註：弘前御城下より江戸迄被露人留ともあり 参観道中各地での披露人先払等

中扨従勤要并万事通覧 GK322.5-187
 写 1冊 半紙半 和(川越旧蔵本)

通俗儀論全書 GK322.5-243
 安政5(1858)写(川越真養)1冊 半紙
 註：城中喧嘩其外騒動のこと 番所の変の心得 その他狼籍乱心口論喧嘩駈落敵討等の際の心得

通用番諸式覚帳 GK322.5-214
 写 1冊 半紙

辻番御条目并御張紙 附辻番所修履心得并勤方
 写 1冊 半紙 仮和 GK322.5-2
 註：貞享元年～享保20年(1684～1735)間江戸幕府辻番関係の触

勤式 GK322.5-83
 写(宝暦)1冊 横小 和
 註：足軽目付役の勤務心得

手鑑 GK322.5-112
 写(慶応3(1867)頃)1冊 横小 仮和
 註：郷蔵御用勤方の諸心得諸手続等の覚

手鑑 GK322.5-160
 写 1冊 横小 仮和

註：諸御礼廻諸願

手鑑 GK322.5-161
 写 1冊 横小 仮和
 註：諸御礼廻諸願

手帳 GK322.5-184
 文化9(1812)写 1冊 横小 仮和
 註：諸説の覚書

手控 明治2年 GK322.5-134
 明治2(1869)写 1冊 半紙半 仮和
 註：請方書式

道中諸法度江戸屋敷諸法度書付 GK322.5-203
 宝暦9(1759)写 1冊 半紙半

当用心得留 GK322.5-267
 写(明治4(1871)頃)1冊 横小 仮和
 註：明治3年4年頃の留書

所々御門御条目并御道具留帳之写 GK322.5-91
 文化5(1808)写 1冊 半紙 和
 註：厚紙仕立ニ而本帳有之候処何頃粉失致候哉相見得不申候間日記方詮義之上写置とある

留帳 GK322.5-120
 写(天明頃)1帖 折本 小
 註：諸規式先例の留帳

取引御定書 文政8年 GK322.5-30
 写 1冊 美濃 仮和

取引御定法書 文政8年 GK322.5-29
 文政8(1825)写 1冊 半紙倍 仮和

年中勤式	GK322.5-58	秘事雑書古格式 写（慶応頃）1冊 半紙 和 註：諸定諸心得	GK322.5-164	第3 民政 城邑 第? 官制 兵制 第6 刑律 第9 文章 官職 秩禄 雑
年中勤式 郡奉行 写（天保）1冊 半紙 和	GK322.5-212	秘書 写（嘉永頃）1冊 横小 仮和 註：役替昇進の年限を記したもの	GK322.5-32	弘前藩政事典刑拾遺 明治8（1875）写 3冊 半紙
年賦証文之事 安政4（1857）写 1通	GK322.5-292	秘書 文久2（1862）写 1冊 半紙半 内容：疵見分之事 死体見分之事 首縊死体見分 其他 変死の見分	GK322.5-245	不意問訊応対 写 1冊 半紙半 仮和 註：巡見使等公儀役人の問いに対する応答
抜萃手鑑 写（文化）1冊 半紙半 和 註：諸定諸規式及諸文例	GK322.5-153	俵子金給段取引御定并知行俵子金給相当 弘化3年 安政6（1859）写 1冊 横小 仮和	GK322.5-46	武家諸法度 附勤向申合令条 写 1冊 半紙 仮和 註：天保9年（1838）大名に係るもの 附の勤向申合令条も江戸幕府のもの
番頭勤書指書 写（天保）1冊 半紙 仮洋	GK322.5-89	秘録 写 1冊 横小 仮和 註：末期判元見届の事 洪水の事 古懸不動尊御出汗の事 火事御定 変死検使の事 其他心得及文例	GK322.5-192	武家諸法度 写 1冊 半紙 仮和 註：嘉永7年（1854）大名に係るもの
〔番所定書〕 写 1冊 半紙 仮和 註：城御門番并所々辻番の定	GK322.5-92	秘録〔勤〕書 写 1冊 半紙半 和 註：目付役の心得書？	GK322.5-196	不時御用勤方之巻 写（宝暦～寛政）1冊 半紙半 和 内容：御新初之事 御吉兆之事 御神事之事 御施餓鬼并御法事御茶湯之事 駒寄之事 出火并山火事之一件 洪水附御湯治先大鰐洪水之事 賀田塩消蔵之事 屋舗引渡之事 常小屋之一件 御徒召抱之事 地方割付之事 武者屯御帳場之事 評定所誓詞之事 御石碑開眼之事 御立駒御見分之事 御検見人対談出座之事 御小姓組見分之事 高岡御大祭之事 高岡御金之事
秘鑑 写 1冊 横長 仮和 註：諸願諸心得等	GK322.5-159	弘前藩政事典刑誌 第1,6（刑律） 写（楠美晩翠）2冊 半紙・美濃 仮和（楠美旧蔵本） 註：刑律は寛政律の写本	GK322.5-19	不時変死之一件（外題：御役秘事） 写 1冊 半紙半 和 註：変死人の見分のしかた
秘事記 文政12（1829）1冊 横小 仮和 註：諸規式諸願諸定の覚帖	GK322.5-129	弘前藩政事典刑誌草稿 写 6冊 半紙 仮和（楠美旧蔵本） 内容： 第1 神社 城邑 法制 民政 第2 民政 会計	GK322.5-20	
秘事記 写 1冊 横小 和 註：飛脚路用定 京都大阪御家中并御館入町人 知行俵子金給御扶持方之定 其他	GK322.5-180			

懐鑑 写 (山形宇兵衛) 1 冊 半紙半 和 註：諸規式諸定	GK322.5-155
別段御用并御秘事御用勤方御趣意伝 附勤中留書 (川越石太郎) 慶応2～4 (1866～68) 写 1 冊 半紙半 仮和 註：川越谷太郎が別段御用懸仰付られた時佐々木武右衛門の勤中心得を写したもの 附は川越石太郎の御用留	GK322.5-100
変死及臨時扱向一件留帳 写 1 冊 横小 仮和	GK322.5-82
奉公人請状之事 文政8 (1825) 写 1 通 註：江戸に於ける奉公人の身元保証	GK322.5-233
町会所取調記録 (弘前) 慶応3,4 (1867,68) 写 1 冊 半紙 註：弘前新町関係の二つの事件の記録	GK322.5-249
町在九浦へ御達・在方御省略向 郡奉行・赤田組御代官 写 1 冊 半紙 仮和 註：町在九浦へ御達は子年とあり 在方御省略向は嘉永6年 (1629) 衣服家作飲食に関する触	GK322.5-257
申渡・口達・藩治職制 写 (明治) 1 冊 半紙 和	GK322.5-279
役筋可心得一件 外 写 1 冊 横小 仮和	GK322.5-207
役免并隠居嫡子准席定 御廃止役々并格役準席定 写 1 冊 横長 仮和	GK322.5-41

註：明治初年職制改正	
屋敷証文之事 文化15 (1818) 写 1 通	GK322.5-289
要用秘記 写 1 冊 半紙 仮和 註：御用勤方之格式 (貞享5年 (1688) 諸式要集 (貞享5年) 御用之帳 等 宝永3年 (1706) まで諸役の勤務心得	GK322.5-52
〔与右衛門口上書〕文化5年 文化5 (1808) 写 1 冊 半紙 仮和 註：田名部町与右衛門貸借一件	GK322.5-251
万覚書 享保15年～元文3年 元文6 (1741) 写 1 冊 横小 仮和 註：御目付役の覚書	GK322.5-79
〔両御組勤格〕工藤行一編 文政8 (1825) 写 1 冊 半紙半 仮和 註：御手廻高岡御番人同御規式御供之事 駒越川渡揚御船奉行之事 御手廻御茶壺御使者之事 同検使御用之事 御馬廻追手御用御仕置物検使之事 両御番頭同組末期取扱之事 同御定御用等有之節取扱之事	GK322.5-65
両御組勤格抄 工藤行一撰 文久2 (1862) 写 (川越石太郎) 1 冊 半紙半 和	GK322.5-66
両御組勤格抄 工藤行一編 慶応2 (1866) 写 (相馬将三郎) 1 冊 半紙半 仮和 註：五組并七組通用番頭の勤務先例	GK322.5-67
和律 2 卷 写 2 冊 美濃 仮和 (形律方旧蔵)	GK322.5-4

註：寛保2年 (1742) に松平左近将監 (乗邑) が命を受けて編纂した江戸幕府の法典 公事方御定書である	
和律 2 卷 弘化3 (1846) 写 2 冊 半紙 和	GK322.5-5
和律 写 1 冊 半紙 註：寛政律と言われるもの	GK322.5-239
K322.9 他藩 (近県)	
〔諸願書届〕 写 1 冊 半紙半 仮和 註：秋田 (久保田) 藩のもの	GK322.9-1
御令条 (重立儉約) 享保5年～文政11年 嘉永5 (1852) 写 1 冊 半紙 和 註：米沢藩の儉約に関する定	GK322.9-2
K323 憲法 行政法	
憲法大意 附田尻法学博士の経済財政談 田中法学博士の欧洲大戦の教訓談 清水澄講演 青森 青森県教育会 大正6 (1917) [72 頁] 菊	GK323-1
K324 民法 私法	
青森県管轄陸奥国津軽郡第二十四区戸籍之願 (八幡村) 明治5年 明治5 (1872) 写 1 冊 半紙	GK324-2
利息制限法 附貸下金拝借証書々式 明治10～12 (1877～79) 写 1 冊 四六 仮綴 註：利息制限法は明治10年太政大臣の布告 附は青森	GK324-1

県令の布達		判決謄本 明治 24 年 明治 24 (1891) 写 1 冊 半紙	GK327-5	青森県農事要報 第 8 号 (産業組合一覧表) 明治 41 (1908) 25 頁 四六倍 仮洋	GK335-9
K326 刑法		K328 諸法		青森県之産業組合 第 1,4 号 産業組合中央会青森支会編 青森 編者 大正 6,8 (1917,9) 2 冊 菊 仮洋	GK335-5
青森監獄報 第 1～94 号 (第 91 号欠) 青森監獄編 青森 編者 大正 3～11 (1914～22) 1 冊 (合綴) 菊	GK326-2	価格等統制令 外 青森県編 青森 編者 昭和 14 71 頁 四六 内容：価格統制令 地代家賃統制令 賃金臨時措置令 会社職員給与臨時措置令 軍需品工場事業場検査令並ニ 関係総動員法	GK328-1	〔岩木温泉株式会社〕日誌 大正 2,3 (1913,14) 写 1 冊 四六 仮洋	GK335-1
青森刑務月報 第 156,159 号 青森刑務所 青森 編者 昭和 2 1 冊 (合綴) 菊	GK326-3	K330 経済		〔岩木温泉株式会社〕発送書類扣 大正 2 年 岩木温泉株式会社編 大正 2 (1913) 写 1 冊	GK335-12
青森県監獄官必携 明治 20 (1887) 317 頁 四六 仮洋	GK326-1	経済秘書 写 1 冊 半紙 仮和	GK330-2	大湊興業株式会社設立趣意書・起業目論書・定款案 大正刊 1 冊 菊	GK335-13
K327 司法制度 訴訟手続法		通考録 写 1 冊 半紙 和	GK330-1	耕耘社規則 明治 8 年 写 1 冊 半紙 仮和 註：三陸中青森岩手水沢宮城県人民所有地券を資本とする 社業設立に関する草案	GK335-2
殴打創傷之告訴状 宮本三郎 明治 25 (1892) 写 1 冊 半紙	GK327-6	K334 人口 移植民		産業組合中央会青森支会報 第 7 号 産業組合中央会青森支会編 青森 編者 大正 14 (1925) 21 頁 菊 註：産業組合長協議会要録	GK335-6
口供書写 (西谷伊兵衛 田辺正受) 明治 16 (1883) 写 1 冊 半紙	GK327-2	満州開拓民関係事務必携 青森県 昭和 14 45 頁 菊 仮洋	GK334-1	増訂再版産業組合ニ関スル法規 産業組合中央会青森県支会編 青森 編者 大正 2 (1913) 再版 (初版明治 44) 〔214 頁〕 10.7×17	GK335-11
公判言渡書 明治 16 年 12 月 24 日 明治 16 (1883) 写 1 冊 半紙	GK327-3	満州開拓民関係事務必携 青森県 昭和 14 45 頁 菊 仮洋	GK334-2	産業組合登記申請書添付書類様式 (青森県告示第 153 号) 大正 4 (1915) 19 頁 菊	GK335-10
公判始末書之写 明治 16,17 (1883,84) 写 1 冊 半紙	GK327-4	K335 経営学 (会社誌)			
上申書 杉森武五郎 明治 16 (1883) 写 1 冊 半紙	GK327-1	青森県産業組合要覧 青森県内務部編 青森 編者 大正 5～11 (1916～22) 6 冊 菊 仮洋 内容：大正 3 年度 (大正 5) 大正 6 年度 (大正 8) 大正 7 年度 (大正 9) 大正 8 年度 (大正 10) 大正 9 年度 (大正 11) 大正 10 年度 (大正 11)	GK335-4		
判決正本写 明治 26 年 (青森県地方裁判所弘前支部) 明治 26 (1893) 写 1 冊 半紙	GK327-7				

産業組合とはどんなものか GK335-7
産業組合中央会青森支会編
青森 編者 昭和4 40頁 菊 仮洋
註：産業組合中央会青森支会報第12号（産業組合趣旨
宣伝懸賞論文発表号）

進新社定則 弘前進新社 GK335-3
明治15（1882）25頁 四六 仮洋

有限責任弘前購買販売組合定款 GK335-8
弘前購買販売組合編
昭和 1冊 菊

K337 貨幣 通貨

材木材割釘鉄物あら物直段定 GK337-1
天保9（1838）写 1冊 横小 仮和
註：安政年間まで追記あり

春農豊楽亭 坤 GK337-4
写 1冊 半紙 和
註：御家中段取引 諸職工諸家業御役定 諸所荷揚荷積
御役 荒物類御本当 桃灯屋鍋屋檜物師桶屋織座八百屋
合羽屋御肴屋等の御本当 諸材木直段定等 文化頃か

諸事正金銭并通札直段相場御定之写 GK337-5
元治元年9月
元治元（1864）写 1冊 半紙半 仮和
註：秋田藩のもの

新貨幣 GK337-3
写 1冊 半紙 和
註：新貨幣例目 新貨幣品位量目表 新貨幣通用制限
造幣規則等 明治4年（1871）太政官布告及大蔵省規則

米価並金銭酒油砂糖烟草相庭算当 GK337-2
文久3（1863）写 1冊 小 仮和

K338 金融 銀行

青森県農工銀行沿革史 GK338-31
青森県農工銀行編
青森 編者 大正7（1918）132頁 菊

芦頼母子帳 安政5年 GK338-2
安政5～文久4（1858～64）写 1冊 半紙 和

板柳銀行弘前支店図譜 GK338-30
昭和3 1冊 四六倍 仮洋

一丁目様無尽一件 GK338-4
写 1冊 横長 仮和

開拓講掛銭留 GK338-28
明治3年13月 十ヶ寺世話方
明治3（1870）写 1冊 横長

銀行一件 GK338-29
明治10～12（1877～79）写 1冊 半紙 仮和
合綴：期月而已可（乳井貢）
註：弘前五十九国立銀行創設一件

質座家法書 GK338-27
弘化4（1847）写 1冊 美濃 和

質屋貸付帳 GK338-8
明治44（1911）写 1枚 38×48 一枚物

実際考課状 第五十九国立銀行編 GK338-9

弘前 編者 明治13～29（1880～96）22冊 四六
仮洋
内容：第3～9回半季（明治13～16） 第11～16回半季
（明治17～19）第24～26回半季（明治23,24）第30～
33回半季（明治26～28）第35,36回半季（明治29）

借用申銭之事 万延元年 GK338-3
万延元（1860）写 1枚 34×49 一枚物

〔昭和信用組合〕事業報告書 第9回 GK338-25
昭和信用組合編
弘前 編者 昭和10 24頁 菊 仮洋

〔第五十九銀行〕営業報告書 GK338-10
第五十九銀行編
弘前 編者 明治30～昭和17（1897～1942）27冊
四六 仮洋
内容：第1期（明治30）第6期（明治33）第8,9期（明
治34）第11～18期（明治35～39）第21期（明治40）
第25期（明治42）第43期（大正7）第45期（大正8）第
53, 54期（大正12,13）第61,62期（昭和2,3）第66期
（昭和5）第68,69期（昭和6）第72期（昭和8）第85期
（昭和14）第89期（昭和16）第91期（昭和17）

株式会第五十九銀行事務取扱手続 GK338-15
第五十九銀行編
弘前 編者 大正12（1923）63頁 菊 仮洋

株式会第五十九銀行諸規程 GK338-16
第五十九銀行編
弘前 編者 大正12（1923）63頁 菊 仮洋

株式会第五十九銀行職員録 GK338-14
第五十九銀行編
弘前 編者 大正10（1921）18頁 菊半 仮洋

株式会社第五十九銀行定款
第五十九銀行編
弘前 編者 刊 19 頁 四六 仮洋

GK338-11

株式会社第五十九銀行定款
第五十九銀行編
弘前 編者 明治 32 (1899) 11 頁 四六 仮洋

GK338-12

株式会社第五十九銀行定款
第五十九銀行編
弘前 編者 刊 11 頁 四六 仮洋
註：明治 33 年 10 月 29 日青森銀行合併認可

GK338-13

〔津軽銀行〕営業報告書 第 48,50,60 期
津軽銀行編
弘前 編者 大正 11,12, 昭和 3 (192,23,28) 3 冊 菊 仮洋

GK338-23

取質受質調査帳 明治 39 年
明治 39 (1906) 写 1 冊 半紙 仮和
註：質屋岩見常三郎の明治 39 年月々の調

GK338-7

〔名主会所手形〕慶応 3 年～明治 5 年
慶応 3 ～明治 5 (1867 ～ 72) 写 1 束 (75 枚)

GK338-5

年賦手形 在方町方 外
写 1 束 (11 通
註：金銭初借用証文 松森町松木屋三次郎宛のもの
文政天保年間

GK338-1

〔弘前銀行〕営業報告書 第 27,69 期
弘前銀行編
明治 37, 昭和 5 (1904,30) 2 冊 四六・菊 仮洋

GK338-18

株式会社弘前商業銀行
弘前 明治 29 (1896) 22 頁 四六 仮洋
内容：発起認可書 設立目論見書 仮定款

GK338-20

株式会社弘前商業銀行営業報告書 第 1,53 期
弘前商業銀行編
弘前 編者 明治 29, 大正 11 (1896, 1922) 2 冊 四六・菊 仮洋

GK338-22

株式会社弘前商業銀行定款 明治 29 年
弘前商業銀行編
弘前 編者 明治 29 (1896) 22 頁 四六 仮洋

GK338-21

〔弘前進新銀行〕勘定報告第 4 回半期・實際考課状第 5 回
半季 弘前進新銀行編
弘前 編者 明治 25, 26 (1892, 93) 2 冊 半紙 和

GK338-17

〔弘前信用組合〕事業報告書 第 4, 5 回
弘前信用組合編
弘前 編者 昭和 5, 6 2 冊 菊 仮洋

GK338-26

〔弘前宮川銀行〕営業報告書 第 4 期
弘前宮川銀行編
弘前 編者 大正 11 (1922) 29 頁 四六 仮洋
註：自大正 11 年 1 月 1 日至大正 11 年 6 月 30 日

GK338-24

〔弘前両益銀行〕営業報告書 第 57 期
弘前両益銀行編
弘前 編者 大正 11 (1922) 23 頁 四六 仮洋
註：大正 11 年上半期

GK338-19

無尽帳
明治 31 (1898) 写 1 冊 半紙 和
註：企主南津軽郡尾上村西谷彪逸

GK338-6

K340 財政

応分誌
写 1 冊 美濃 和

GK340-2

東北財務 東北財務協会編
仙台 編者 昭和 2 ～ 5 16 冊 菊 仮洋
内容：第 164 号 (昭和 2) 第 167 ～ 169, 171, 176 ～ 178 号 (昭和 3) 第 179 ～ 183, 185, 188 号 (昭和 4) 第 189 号 (昭和 5)

GK340-1

分制
写 1 冊 半紙 和

GK340-3

K342 財政史 事情

青森新県工差出候調手控
明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙半 仮和
内容：従前製造通札出来調 租税先納仕払之儀 有金調 貸付米金調 貯粉 藩債調 官禄調 金配大都米賦概略 士族卒家禄并市在社寺禄扶持給分調
註：元弘前県より新青森県へ差出した調

GK342-71

曙草紙
写 1 冊 半紙 和
註：大谷津七郎所存交趣 江戸御国御払米之大略 銀納 産物之大略 樋口弥三郎所存之趣等を掲げた 三橋勘之丞の覚書

GK342-59

一月御定式御払
嘉永 4 (1851) 写 1 冊 半紙 仮和
註：嘉永 5 年 10 月 27 日より翌 11 月 26 日まで 1 月の御定式 御払高予算

GK342-20

江戸御定用

GK342-42

写 1冊 横小 仮和 註：江戸に於ける諸入費月割の定		覚 嘉永3(1850) 写 1冊 半紙 仮和 註：嘉永3年に於ける江戸大阪北国の借財并に御献上遺物作事方諸普請一式入用費の見積取調 佐野(茂助?)へ差出した控	GK342-18	出した控	
演説 租税署 明治3(1870) 写 1冊 半紙 和 註：隠津出并抜米等取締り方の訓示	GK342-70			〔家中知行御切米三步一引渡り方御触〕 写 1通	GK342-68
大坂御屋舗一件手鑑之覚 安永9年12月 安永9(1780) 写 1冊 半紙半 仮和 註：安永9年12月大阪諸入用の一件	GK342-47	覚 写 1冊 半紙 仮和 註：家中へ給禄本渡するについての勘定奉行の予算見積調書 本文共嘉永6年のもの(共に下書)	GK342-22	廉分調 弘化元年10月より4年9月まで 大納戸方等 嘉永元(1848) 写 1冊 半紙 仮和(御勝手方蔵印) 註：弘化元辰10月より巳9月中 巳10月より午9月迄午10月より未9月迄 3ヶ年分合冊	GK342-51
御勝手向〔調〕嘉永7年 嘉永7(1854) 写 1束(9通)	GK342-66	覚 写 1冊 半紙 仮和 註：家中へ給禄本渡諸向本渡にての予算見積 佐野(茂助)へ差出した控	GK342-23	廉分調三ヶ年平均帳 弘化元年10月より同4年9月まで 御勝手方 嘉永元(1848) 写 1冊 半紙 仮和	GK342-15
御備金調 写 1冊 半紙 仮和 註：天保15,弘化3,4,嘉永元年(1843,46,47,48)の調	GK342-14	覚 写 1冊 半紙 和 註：藩財政上の意見書 文政13年(1830)の財政逼迫の際と思われる	GK342-63	廉分調之内御相当御減向御評儀可被仰付儀之調帳 弘化2年10月 弘化2(1845) 写 1冊 半紙 仮和	GK342-17
御備粉并御備金調 写 1通 巻紙	GK342-39			廉分寄 御相当調之儀ニ付宝暦以来当時迄 弘化2年9月 三上喜左衛門編 弘化2(1845) 写 8冊 半紙 和 内容： 1 御発駕并御下向 御用所差上金 寺社 2 御小納戸差上金 大納戸 御台所 御馬屋 御茶道方 3 高岡 御献上 御進物 御坊主方 公儀松前 御書方 御鷹方 蠟燭御蔵并古物御蔵買物方共 御賞御手当 御書物預 御右筆 表右筆御家老附御用所文庫持共 4 御武具蔵 御楽屋 作事方 5 諸湊并長浜 紙御蔵 上納方御金蔵 御弘方御金蔵 炭御蔵并炭御買上 流木方流木御買入代川流御入用共 諸役折諸番所 郡所并諸組御代官 勘定所并御検見御検地御入用共 町奉行町年寄町目付共	GK342-50
御手当定帳 文化6(1809) 写 1冊 半紙(楠美旧蔵本) 註：文化6年蝦夷地派兵の諸手当金額見積	GK342-60	覚(御用懸)三奉行 写 1冊 半紙 註：非常警固にて出張の際の勤料手当等の段取の伺	GK342-69		
御登事件 元治元年10月 元治元(1864) 写 1冊 横小 仮和 註：御附人路用銀其他手当土産物の覚	GK342-53	覚書 戊7月28日 写 1冊 半紙 註：野宮理右衛門 対馬万右衛門 長尾戸右衛門 武田源左衛門 外6名連名の藩財政上の意見書 元禄7年(1694)?	GK342-46		
覚 弘化2(1845) 写 2冊 半紙 仮和 内容：1 御相当調ニ付御国并江戸上方本渡之調 但御借財無之積ニ而 2 当時御借財毎ニ付御国并江戸上方歩引渡之調	GK342-16	御借財無御米賦大都調并同御金賦大都調 嘉永6年 嘉永6(1853) 写 1冊(2冊合本) 半紙 仮和 註：御家中給禄本渡にするについての調 山田登へ差	GK342-24		

寺社奉行 山奉行 評定所
 7 拾歩一役 諸御門并御松飾 御到来方 時太鼓時
 鐘所 御牧方 宿繼所 御雇人馬代 在割物代水油
 附木灯真 御手山方 掃除方 諸組足輕
 8 御目付 御徒目付 足輕目付 早道 伊勢太々料
 御葉調合方 御家中金銭給 御葉園并所々御茶屋芦
 御買上 馬大豆御買上 熊狩之者被下銭 御家中渡
 米御買上 不時御入用類 勤仕交代長屋 御小納戸
 御買入米 化粧料 黒石渡并拝借 湯之沢銀山尾太
 銅鉛山 御家中御手当 御囲金拝借年賦上納鉛御払
 御有余分 御貯初代金 諸拝借 秤 窓障子張替
 御馬場 御側御用人 御錠口役
 9 日記方 御印紙方 学問所 大目付 江戸勝手御
 手道具頭御仲間御陸尺 御廻船上乗下乗 人別方并
 奉公人取扱 樹芸方 松前様御上下并他領人江被下
 方年賦渡 京大坂御常用 御囲塩硝并塩硝蔵 西ノ
 郭竹囲 諸土場 御膳番 中ノ口人使 両組勤番帳
 人馬割所 諸導場 柳島御登品 諸拝借 牢屋揚屋
 雑用代 隔年御入用ノ部

上方江戸御反物代并諸色代 GK342-40

写 1冊 横小 和
 内容：上方江戸御反物代并諸色代 上方御召御定直段御
 丈尺 古金目形

家禄調覚 其他 GK342-44

写 1冊 半紙 仮和
 内容：家禄調 公廨用度調 藩士兵卒員数 藩借財調
 藩庁入費調
 註：明治初年の調

規定諸上納平均調 GK342-12

天保 11 年 10 月より同 15 年 9 月まで
 弘化 2 (1845) 写 1冊 半紙 仮和

従京都御下向御入用惣調 慶応元年 GK342-31

京都詰勘定方
 慶応元 (1865) 写 1冊 半紙 仮和

金銭上納并渡廉分調 GK342-33

天保 6 年 10 月より同 7 年 12 月まで
 天保 7,8 (1836,37) 写 1冊 (15冊合本) 半紙 仮和

金銭上納并渡廉分調 GK342-35

元治元年 10 月～慶応元年 9 月
 元治元, 慶応元 (1864,65) 写 1冊 (13冊合本) 半紙
 仮和

金銭上納并渡廉分調惣括帳 GK342-34

(文久 3 年 10 月より元治元年 9 月中) 慶応 2 年
 写 1冊 半紙 仮和
 附：領知租税録 (津軽少将) 明治 2 年 (1869)

黒石様御逗留中御宿御賄方入用勘定帳 GK342-28

安政 3 年 岩見忠兵衛 竹内半左衛門
 安政 3 (1856) 写 1冊 半紙 仮和
 註：竹内半左衛門 岩見忠兵衛の勘定書上

〔郡所惣勘表記〕安政 5,6 年 GK342-52

安政 5,6 (1858,59) 1冊 横長 仮和

京坂御常用調 GK342-25

写 1冊 半紙 仮和
 註：大阪及京都の入用米金の調 山田登へ差出した控
 嘉永 6 年 (1853)

**弘化二巳十月より嘉永五子九月迄七ヶ年御入用金高之内不
 時臨時之御入用大凡仕分調 GK342-19**

嘉永 6 (1853) 写 1冊 半紙 仮和

御家中御賃渡炭手形見届帳 万延 2 年 GK342-29

万延 2 (1861) 写 1冊 横長 仮和
 註：炭御蔵懸合三上美津司 山中通之助 成田彦四郎

御家中本渡之处ニ而御米金大都調 嘉永 6 年 GK342-21

嘉永 6 (1853) 写 1冊 半紙 仮和
 註：家中へ給禄本渡するについての勘定奉行の予算見積調

御規数外臨時諸器物出来勘定調帳 慶応 2 年 GK342-37

御大工小頭
 慶応 2 (1866) 写 1冊 半紙 仮和

御給禄・御貯粉 GK342-3

嘉永 4 (1851) 写 1冊 半紙 仮和
 註：元禄年中より天保年までの給禄高及増減 嘉永4年
 の御貯粉の覚書

御給禄調 寛政 10 年, 文政 11 年, 嘉永 5 年 GK342-7

写 1枚 24×33 一枚物
 註：各年度の知行高 俵子 金給 扶持 別に合計を記す

御在府年壹ヶ年調 天保 15 年 御勝手方 GK342-13

嘉永 6 (1853) 写 1冊 半紙 仮和 (御勝手方旧蔵本)
 註：天保15年 (1844) に於ける在府の入用米金の略調

御上京御跡登御入用調 GK342-41

写 1冊 半紙 仮和
 註：京都へ登せる費用

御上京御入用廉分調 慶応元年閏五月 GK342-56

慶応元 (1865) 写 1冊 半紙 仮和
 註：慶応元年京都守衛のため上京諸費用調

御上京ニ付大坂表ニ而之御入用調 GK342-57

慶応元年 5 月 萩原喜蔵

<p>慶応元 (1865) 写 1 冊 半紙 和 註：慶応元年藩主上京につき費用調</p>	<p>掌鑑 元治元年 一戸影照 GK312-54 元治元 (1864) 写 1 冊 半紙半 仮和 註：米金納払積 御渡并御払 免定并御買上米 津出御 印 御備金粉 御登せ金 御渡米 御用達并船手先納 相場 両都御廻船 等に分けて記帳したもの</p>	<p>記事もある</p>
<p>御相当調之儀ニ付覚 勘定奉行 GK342-30 写 1 冊 半紙 作 註：御高御相当御統方之儀取調の覚</p>	<p>浄心院様御病中より御死去後迄御入用金調 GK342-5 宝暦 4 年 勘定奉行 宝暦 4 (1754) 写 1 通 卷子 中 註：浄心院は津軫信著の室 (美知姫)</p>	<p>高辻御言出ニ付見合書付留 天保 6 年 GK342-11 天保 6 (1835) 写 1 冊 半紙 仮和 註：高辻帳書出について参照にすべき留書</p>
<p>御相当之儀ニ付大要拔書 弘化 2 年 GK342-49 弘化 2 (1845) 写 1 冊 半紙 和 註：宝暦より天保 15 年までの藩財政の調</p>	<p>諸器物勘定調帳 慶応 2 年 御大工小頭 GK342-38 慶応 2 (1866) 写 1 冊 半紙 仮和</p>	<p>貯蓄粉連借之証 明治 43 年 GK342-45 明治 43 (1910) 写 1 冊 (9 通) 半紙 仮和 註：郷蔵よりの借用証</p>
<p>今度戸田七郎兵衛ニ被仰付候条々 寛文 10 年 GK342-1 寛文 10 (1670) 写 1 帖 卷子 小 註：金銀米銭其外御蔵方諸役所吟味戸田七郎兵衛ニ被仰 付候御定書</p>	<p>諸産業改仕方書 其他 [宝暦 6 年] GK342-58 写 1 冊 美濃半 仮和 註：宝暦 6 年 (1756) の諸産業改仕方書その他御用達町 人を御運送役と改める等の覚及び御運送関係の覚</p>	<p>通財議考 乾 GK342-10 慶応 2 (1866) 写 (川越石太郎) 1 冊 半紙 和 (川越 旧蔵本) 註：地払并閑湊御締等の儀について文政 13 年 (1830) の意見書</p>
<p>御米金調 慶応元年 10 月より同 2 年 9 月中 GK342-32 御勝手方 慶応 3 (1867) 写 1 冊 半紙 仮和</p>	<p>諸色請払証文 貞享 2 年 GK342-2 貞享 2 (1685) 写 註：延宝 5 年 12 月より同 6 年 12 月まで (1677,78) 勘定 相済の証</p>	<p>津軽藩財政控 竹内清承 GK342-9 写 1 冊 半紙 仮和 註：文化 13,14 年 (1816,17) の財政調及財政論</p>
<p>御用金申渡之写 GK342-27 安政 4 (1857) 写 1 冊 半紙 仮和 合綴：栄枯盛衰 (明治 45 写) 於詰座舗御縁津軽金蔵申 渡才覚 (天保 10 年) 註：三都の御用金番付及文政 7 年同 10 年 (1824,27) の 弘前御郡内御用金割高 栄枯盛衰は文政 10 年天保 3 年 (1827,32) の御用金割高</p>	<p>政要宝典 第 4 GK342-26 写 1 冊 (合本) 半紙 仮和 内容：貞享年中新検後小役取立定書 覚 (田畑取調方 伺) 津軽藩根米廩入録 田畑仕付高 (安政 3) 当暮御金 賦四ヶ一渡之調 知行并御切米御扶持方段取書 註：津軽古図書保存会本に本書と合すべきものあり</p>	<p>敦賀陸揚御廻米積返一件 慶応 2 年 GK342-36 慶応 2 (1866) 写 1 冊 半紙半 仮和 註：斎藤寛兵衛の覚書</p>
<p>古来当時御給禄并三都御合力増減調帳 GK342-48 天保 4 年 天保 4 (1833) 写 1 冊 美濃 和 註：正徳 4 年 (1714) 宝暦元年 (1751) 天明 4 年 (1784) 文化 12 年 (1815) 天保 4 年 (1833) の分限帳 之表及び増減之表</p>	<p>高木村諸取御役銭払方控帳 天保 6 年 GK342-64 庄屋万吉 天保 6 (1835) 写 1 冊 横長 註：元治元年より明治 7 年まで (1864~74) の天候の</p>	<p>手控帳 元治元年 定由 GK342-35 元治元 (1864) 写 1 冊 半紙半 和</p> <p>人夫勘定帳 巳 10 月より午 6 月中 GK342-43 明治 3 年, 9 月 市中惣庄屋 明治 3 (1870) 写 1 冊 半紙 仮和</p> <p>年穀多寡節用 乳井貢 GK342-6 慶応 2 (1866) 写 (川越石太郎) 1 冊 半紙 仮和 註：乳井貢安永 7 年 (1778) に前年の米金収蔵を基にし てたてた財政政策</p>

〔拝借御銀証文〕 嘉永 6 年 **GK342-55**
 嘉永 6 (1853) 写 1 冊 半紙
 註：尾州様大坂御貨付御役所宛のもの

秘書 笹森百郎 **GK342-67**
 安政 4 (1857) 写 1 冊 半紙 仮和
 註：文政13年 (1830) 勘定奉行笹森百郎の存念書の写とあるが天保7年 (1836) の記事あり 疑わしい

文化五年御上様より備人夫代銭町方御用達より中家迄名主中御目眼ヲ以分限割合之写并同年御上様御高直被為蒙仰候ニ付御能拝見被仰付候間御能拝見被仰付度旨書出候名前
 慶応 3 (1867) 写 1 冊 横長 仮和 **GK342-8**

宝暦四甲戌歳御改帳之写 **GK342-4**
 写 1 冊 美濃半 仮和
 内容：上方御借方金銀員数調之表 江戸御借方新古金銀員数調之表 上方御常用金員数調之表 江戸御仕送金御定調高并御払廉別
 註：釜菴兵左衛門 竹中勘次郎改之 乳井市郎左衛門承之 とある

町々出人夫之義ニ付 **GK342-61**
 写 (明治) 1 冊 半紙 仮和
 註：文化 6 年及文政 9 年 (1809,26) の覚書

〔陸奥国津軽郡郡村略〕 **GK342-73**
 写 1 冊 横小
 註：庄別及組別高 一ヶ年諸廉入用一式不時臨時入用積り大都 上納方江一ヶ年諸上納大都 諸職諸家業御役定御刑法 御家中一列

〔明治七年相当家禄并賞典〕 外 (青森県) **GK342-72**
 写 (明治) 1 冊 半紙 仮和

内容：明治七年相当家禄并賞典 旧県知事禄高 旧藩士人員 (明治9,10年 (1876,77) 御巡行ノ節調) 旧県知事金禄高

両御領家数人別帳 其他 **GK342-62**
 文政 10 (1827) 写 1 冊 半紙 和
 註：文政9年調べの黒石平内領内の人別帳 打出米割付 黒石平内村々新古并亡所 海辺道法 平内往還并海辺里数 黒石田畑取箇算用覚 夫錢本夫当失 屋舗本石役米

K345 租税

青森県新旧税額比較表 明治 10 年 **GK345-46**
 写 1 冊 美濃 仮和
 註：青森県用紙使用

〔**青森県税務研究会**〕 **沿革事業ノ概要** **GK345-49**
 会員 特別会員 役員 自大正5年9月至大正8年6月
 青森県税務研究会編
 編者 刊 54 頁 菊

青森県多額納税名鑑 東奥日報社編 **GK345-34**
 青森 編者 昭和 13 [369 頁] 四六 洋
 附：全青森県職員録

青森県多額納税名鑑 附全青森県職員録 **GK345-34 イ**
 東奥年鑑創刊 10 周年記念 東奥日報社編
 青森 編者 昭和 13 203 頁 四六

青森県納税覧 青森実業協会編 **GK345-32**
 青森 編者 大正 3 (1914) 49 頁 四六倍 仮洋

青森県納税覧 大正 3 年度 青森実業協会編 **GK345-33**
 青森 編者 大正 3 (1914) 50 頁 四六倍 仮洋

新町支配家数帳 文久 2 年 10 月 **GK345-39**
 中畑忠三郎
 文久 2 (1862) 写 1 冊 半紙 仮和
 註：名主中畑忠三郎の地子銀出人夫等の留帳

碓関人物御役定 天和 3 年 **GK345-5**
 天和 3 (1683) 写 1 枚 30×70 一枚物
 註：輸入税額の定

丑十二月茂合割出帳 慶応元年 **GK345-18**
 慶応元 (1865) 写 1 冊 横長 仮和
 註：紺屋町名主岩見忠兵衛の帳

覚 (免定) **GK345-7**
 享保 12 (1727) 写 1 枚 31×27 一枚物
 註：川辺郡松淵村 (秋田県) 小野崎才三郎分免定

覚 (御代官勘定伺) 貞享元年 **GK345-6**
 貞享元 (1684) 写 1 通 卷子 中
 註：御物成納方之勘定の仕方についての伺 乳井儀兵衛 清野甚左衛門 戸田孫太夫 松浦次左衛門より木村奎之助 唐牛甚右衛門 等宛

覚 寛文 10 年 **GK345-3**
 寛文 10 (1670) 写 1 通
 註：輸出入税に関し渡辺次太夫 傍島九郎左衛門 北村弥右衛門より深浦沖横目に発した令

〔**親方町元大工町月行事**〕 **GK345-41**
 写 1 冊 美濃
 註：親方町元大工町の屋敷台帳

〔**御山七ヶ山并海道諸湊間尺袖役**〕 **GK345-42**
 (田名部野辺地)
 写 1 冊 半紙

願書控 寛政 12 年 GK345-37

寛政 12 (1800) 写 1 冊 半紙
 註：南部藩田名部野辺地代官所関係役銭取立等の願

願書控 享和 3 年～文化 4 年 GK345-38

享和 3～文化 4 (1803～07) 写 1 冊 半紙
 註：南部藩田名部野辺地兩代官所関係役銭取立等の願

木造新田村々田畑当御収納米免目録 (山通) GK345-14

天保 11 年
 天保 11 (1840) 写 1 冊 半紙 仮和
 註：成田源助 千田勝五郎の書上

貢米并諸上納金差引通 明治 7 年 GK345-26

明治 7 (1874) 写 1 冊 半紙半 仮和
 註：久左衛門の通帳

御用銭差引帳 安政 4 年 10 月 GK345-17

岩見忠兵衛
 安政 4 (1857) 写 1 冊 半紙 仮和
 註：名主岩見忠兵衛の諸役銭等の勘定帳

酒造税受検査簿 梅津文四郎 GK345-48

明治 23,24 (1890,91) 写 1 冊 美濃

出入御役帳 (御役御条目并庭口銭) GK345-30

慶応 2 年
 慶応 2 (1866) 写 1 冊 小 仮和

諸職工諸家業御役定 其他 GK345-11

写 1 冊 半紙 和
 註：諸湊荷揚荷積出入役定 杣取物炭釜御役水下出人夫
 出銭沖出御役共 荒物類挑灯屋鍋屋檜物師桶屋織座八百
 屋物合羽屋御菓子屋御肴屋等の値段及諸賃金運賃の定

文政以後のもの

壬申五月茂合取建帳 明治 4 年 GK345-20

斎藤屋仁太郎
 明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙半 仮和
 註：五人組斎藤屋仁太郎の帳面 庄屋岩見忠兵衛の検印
 あり

地券税金上納通 明治 12 年 増田宇太郎 GK345-47

明治 12 (1879) 写 1 冊 半紙半
 註：三和村増田宇太郎

地租改正雛形 (大森邨) 明治 8 年 4 月 GK345-44

明治 8 (1875) 写 1 冊 半紙 和
 註：地租改正について取調べ方

地方税関係法規 弘前市編 GK345-51

弘前 編者〔大正 15〕(1926) 34 頁 24.6×16,6

地方税金上納通 明治 10 年 GK345-27

明治 10 (1877) 写 1 冊 半紙半 仮和
 註：三和村増田宇太郎の通帳

地元覚帳 寛政 9 年 GK345-9

寛政 9 (1797) 写 1 冊 半紙 仮和
 註：芹川甚二郎の覚帳にて田畑の分米小役米高懸銀高調
 自分給他関係か

手鑑 GK345-29

写 1 冊 横小 仮和
 註：湊出入物御役定之覚 未ノ年ヨリ鰯ヶ沢青森油川湊
 役高之覚

田賦考 GK345-1

写 1 冊 半紙半 仮和

田賦考 GK345-2

写 1 冊 半紙半 仮和

当貢米并県用銭差引通 明治 6 年 小野貢 GK345-43

明治 6 (1873) 写 1 冊 (3 冊合綴) 12×16.4

当御収納米諸上納銭之通 慶応 4 年 GK345-23

慶応 4 (1868) 写 1 冊 半紙半 仮和
 註：藤代組笹館村久左衛門の通帳

当御収納米并諸上納銭之通 GK345-21

慶応元年～明治 10 年
 慶応元～明治 10 (1865～77) 写 1 冊 (9 冊合本) 半紙
 半 仮和
 註：笹館村増田久左衛門の通帳

当御収納米并諸上納銭之通 慶応 2 年 GK345-22

慶応 2 (1866) 写 1 冊 半紙半 仮和
 註：藤代組久左衛門の通帳

当御収納米并諸上納銭之通 明治 3 年 GK345-24

久左衛門
 明治 3 (1870) 写 1 冊 半紙半 仮和
 註：笹館村久左衛門の通帳

当貢米并県用銭差引通 明治 6 年 GK345-25

附貢米并諸上納金差引通 明治 7 年
 明治 6,7 (1873,74) 写 1 冊 (合本) 半紙半 仮和
 註：笹館村久左衛門の通帳

中津軽郡和徳村戸長役場部内各村字八等級収穫地価税金書

写載簿 明治 8～10 年 加藤忠三郎 GK345-31

写 1 冊 美濃半 仮和

人夫銭差引帳 嘉永4年～安政4年 **GK345～16**
 嘉永4～安政4(1851～57)写 1冊 半紙 仮和
 註：名主岩見忠兵衛の帳

丙寅三月茂合割出帳 慶応2年 **GK345-19**
 慶応2(1866)写 1冊 横長 仮和
 註：紺屋町名主岩見忠兵衛の帳

檜木雑木出役之目録 延宝2年 **GK345-4**
 延宝2(1674)写 1帖 折本 小
 註：進藤庄兵衛 北村弥右衛門より金井ヶ沢(金ヶ沢)
 御横目衆宛の投銀の定

増館組村々別免田畑当御収納米免目録 **GK345-13**
 天保3年
 天保3(1832)写 1冊 半紙 仮和

増館組村々本免田畑当御収納米免目録 **GK345-12**
 天保3年
 天保3(1832)写 1冊 半紙 仮和

町中出人足役ニ付御書付写 元禄8年 **GK345-36**
 元禄8(1695)写 1冊 美濃

町役人足出帳 **GK345-28**
 写 1冊(合本)半紙倍 仮和
 内容：石渡御蔵町支配出人足并人足定引当分引根帳(元禄10丁丑年)町中出人足役ニ付御書付写(元禄8乙亥年)
 諸職人派町御役人足出帳(延宝7年) 陸奥国津軽郡伊達郡之内人数帳(元文3年)

湊方出入物御役帳 嘉永3年 勘定奉行 **GK345-15**
 嘉永5(1852)写 1冊 半紙 仮和
 註：湊方出入物につき三厩湊目付へあてたもの

湊口入物御役・出物御役 天和3年 **GK345-35**
 天和3(1683)写 1通

〔港出入人役銀之覚〕 **GK345-50**
 寛文7(1667)写(原本)1通
 註：北村弥右衛門 渡辺次太夫より金井ヶ沢冲横目衆宛

已年収納米取ヶ帳 安永2年 **GK345-8**
 安永2(1773)写 1冊(2丁)横長 仮和
 註：馬場尻村新山村中島村原子村の内

陸奥国某郡第何区何小区何村合計帳寄(雛形) **GK345-45**
 明治8(1875)写 1冊 半紙
 註：地租改正について取調帳雛形

山出米・野出米・夫米・津出米・明米・高懸 銭・卯時銭
 写 1帖 折本 小 **GK345-40**

和徳組原ヶ平村田畑諸品減帳 **GK345-10**
 文政4年より文政9(1826)写 1冊 半紙 仮和
 註：庄屋半三郎の帳面

K347 公債 県債

県債三拾万円の儀に付請願(青森県) **GK347-1**
 明治27(1894)写 1冊 半紙 仮和

K348 官業 専売

仙台地方専売局青森出張所事業要覧 **GK348-2**
 昭和3年度 仙台地方専売局青森出張所
 26頁 菊 仮洋

煙草製造官業反対意見書 **GK348-1**
 煙草製造官業反対奥羽六県聯合大会

明治36(1903)1冊 菊
 註：起稿者は宮城県代表員熊谷伝三

K349 市町村財政

青森県中津軽郡歳入歳出予算書 **GK349.3-1**
 明治34年度 青森県中津軽郡長
 明治34(1901)1冊 美濃 仮和
 附：郡費納付期限案 郡有財産表

青森県弘前市歳入歳出決算書 **GK349.3-10**
 昭和3年度 弘前市
 昭和4 1冊 美濃 仮和

青森県弘前市予算書 弘前市 **GK349.3-9**
 明治35～昭和8(1902～33)
 7冊 半紙・美濃 仮和
 内容：明治35年度 同追加予算書 明治36,41年度
 昭和4,5,8年度

青森県弘前市有財産調 弘前市 **GK349.3-12**
 大正2(1913)42頁 半紙 仮和

青森県弘前市有財産調書 弘前市 **GK349.3-11**
 明治41(1908)39頁 半紙 仮和

青森県弘前市有財産表 弘前市 **GK349.3-13**
 昭和5 24頁 美濃 仮和

弘前市立小学校及幼稚園図書館基本財産歳入歳出予算
 昭和5年度 弘前市 **GK319.3-14**
 昭和5 1冊 美濃 仮和

新町駒越町平岡町合併割賦決議帳 外 **GK349.3-2**
 今泉蔵之助等

明治12,13 (1879～80) 写 1冊 (3冊合本) 半紙 仮和 内容：新町駒越町平岡町合併割賦決議帳 今泉蔵之助等 (明治12) 両部諸入費協議割 議員中 (明治12) 両町 議員協議割試名簿 議員中 (明治13)		明治 24 年度 弘前市 明治 24 (1891) 1 冊 美濃半 仮和		写 1 枚	
宅地等級調査会報告 宅地等級調査会 明治 43 (1910) 1 冊 菊 仮洋	GK349.3-3	南津軽郡財政一斑 南津軽郡々役所編 明治 38 (1905) 謄写 1 冊 菊 仮洋	GK349.4-1	青森県治一斑 大正元,2 年 青森県編 青森 編者 大正 2,3 (1913,4) 2 冊 三六・菊半 洋	GK351-10
宅地等級調査会報告 宅地等級調査会 明治 43 (1910) 1 冊 菊 仮洋	GK349.3-4	K350 統計		青森県治一覽概表 明治 7 年 (官准) 明治 7 (1874) 1 舗 量物	GK351-4
陳情書 (弘前市宅地価異議申立) 一戸寅之助 竹内兼七 明治 44 (1911) 9 頁 菊 仮洋 註：異議申立人代表者 一戸寅之助 竹内兼七	GK349.3-15	青森県統計協会報 創刊号 青森県統計協会編 青森 編者 昭和 11 213 頁 菊 仮洋	GK350-3	青森県治一覽概表 明治 7 年 (官准) 明治 7 (1874) 1 舗 量物	GK351-5
〔当市中居下税納付勘定方についての願〕 明治 6 年 明治 6 (1873) 写 1 冊 半紙	GK349.3-16	〔青森県統計報告規程〕外 青森県編 大正 14 (1925) 236 頁 菊 仮洋 内容： 農林省統計報告規則 農林省令第 25 号 商工省統計報告規則 商工省令第 11 号 青森県統計報告規程 青森県訓令甲第 32 号	GK350-2	青森県治一覽表 明治 13 年 青森県記録掛 明治 14 (1881) 168 頁 半紙 和	GK351-7
中津軽郡総町村費残余金処分議案 明治 22 年 2 月 中津軽郡役所 明治 22 (1889) 写 1 冊 半紙 仮和	GK349.3-7	天保十五辰年人別面改被仰付候写 嘉永 6 (1853) 写 1 冊 半紙 仮和 合綴：変之節諸廉諸人夫調帳 覚 (衣服等の取締)	GK350-4	青森県勢概要 青森県編 青森 編者 大正 4 (1915) 166 頁 四六 洋	GK351-11
弘前市内宅地時価対照表 私立宅地等級調査会 明治 43 (1910) 1 冊 菊 仮洋 註：私立宅地等級調査会と公立賃貸価格調査会と対照してある	GK349.3-5	統計講話 花房直三郎述 青森 青森県 明治 35 (1902) 48 頁 菊	GK350-5	青森県勢概要 青森県編 青森 編者 大正 4 (1915) 166 頁 四六 洋	GK351-12
弘前市内宅地時価対照表 私立宅地等級調査会 明治 43 (1910) 1 冊 菊 仮洋	GK349.3-6	東北県勢一斑 山形県編 山形 大正 5 (1916) 82 頁 四六 仮洋	GK350-1	青森県統計書 明治 40 年 青森県庁編 青森 編者 明治 42 (1909) 499 頁 四六倍 仮洋	GK351-9
弘前市地方税営業税雑種税賦課法議案	GK349.3-8	K351 青森県		青森県統計要覧 明治 40 年 青森県内務部 明治 41 (1908) 1 冊 四六倍 洋	GK351-8
		青森県一覽概表 明治 10 年 青森県編 青森 青森県蔵版 明治 11 (1878) 1 帖 折本	GK351-6	寛政調記 慶応 2 (1866) 写 (川越次泰) 1 冊 半紙 和 註：寛政 8 年 (1796) の津軽藩内調査	GK351-14
		〔青森県管轄弘前支庁管轄戸数調〕 明治 5 年	GK351-19	〔給禄惣括帳〕 明治 5 年 川越次泰 明治 18 (1885) 写 1 冊 半紙半 註：明治 5 年弘前藩の給禄高調及明治 2 年人口租税調	GK351-18
				御郡中諸調 (弘前在方九浦人別戸数仕分之覚)	GK351-13

写 1冊 半紙半 和 註：安永10年（1781）寛政5年（1793）寛政10年 寛政12年（1800）文化3年（1806）の調	
御郡内人別戸数調総括牒 慶応3年8月改 写 1冊 横小 和	GK351-17
在方総組中人別戸数諸工諸家業総括 文化2年8月改 文化2（1805）写 1冊 美濃 和	GK351-15
寺社門前人別戸数調牒 文化2年 文化2（1805）写 1冊 美濃 和	GK351-2
修験社家座当人別戸数調牒 坤 文化2年8月改 写 1冊 美濃 和 註：修験 社家 座当の人数戸数等の調	GK351-3
弘前在方九浦人別戸数仕分之覚 文化4年 文化4（1807）写 1冊 半紙 仮和	GK351-16
領内人別及高帳 写 1冊 半紙 仮和 註：各組の田畑高同銀納高 職諸家業役銭高人別等の調 万延元年（1860）の調	GK351-1
K352 青森市 東津軽郡	
青森県東津軽郡統計一班 大正4年 東津軽郡役所編 青森 編者 大正5（1916）119頁 四六 仮洋	GK352-4
青森県東津軽郡統計一班 東津軽郡役所編 青森 編者 大正6（1917）137頁 四六	GK352-6

青森市統計一班 附青森市全図 青森市役所編 青森 編者 明治39（1906）1枚 49×69（青森開港 及開市280年祝賀会記念）	GK352-1
青森市統計一班 青森市役所編 青森 編者 明治41,大正4,11（1908,15,22）3冊 四六 洋	GK352-2
青森市統計一班 明治40年 青森市役所編 青森 編者 明治41（1908）98頁 四六 洋	GK352-3
青森市商勢概要 青森商業会議所編 青森 編者 明治41（1908）32頁 四六	GK352-7
東津軽郡統計書 大正10年 青森県東津軽郡役所編 青森 編者 大正12（1923）107頁 四六 仮洋	GK352-5

K353 弘前市 中津軽郡

青森県中津軽郡統計書 青森県中津軽郡役所編 弘前 編者 大正元～12（1912～23）10冊 四六 洋 内容：明治43年,44年,大正元年,3年,4年,6年,7年,8年9 年,10年 附：名勝旧蹟神社仏閣	GK353-6
青森県中津軽郡統計書 青森中津軽郡役所編 弘前 編者 大正5～10（1916～21）3冊 四六 洋 内容：大正3年,6年,8年 附：名勝旧蹟神社仏閣	GK353-7

青森県中津軽郡統計書 青森県中津軽郡役所編 弘前 編者 大正8,10（1919,21）2冊 四六 仮洋 内容：大正6年,8年 附：名勝旧蹟神社仏閣（大正8年分のみ）	GK353-8
青森県弘前市統計一班 弘前市役所編 弘前 編者 明治41,44（1908,11）2冊 四六 仮洋 内容：第7回（明治41）,10回（明治44）	GK353-5
新町支配戸数并諸工諸家業惣括帳 明治2年8月 今泉万右衛門 明治2（1869）写 1冊 半紙 仮和 註：表紙に慶応5年とある	GK353-12
紺屋町支配戸数人別諸工諸家業惣括書上帳下書 慶応3年8月 岩見忠兵衛 慶応3（1867）写 1冊 半紙 仮和	GK353-11
紺屋町支配惣括書上帳 慶応2年8月 岩見忠兵衛 慶応2（1866）写 1冊 半紙 和	GK353-10
弘前市勢要覧 弘前市役所編 弘前 編者 昭和17 48頁 四六 仮洋	GK353-14
弘前市統計一班 弘前市役所編 弘前 編者 明治37～大正10（1904～21）9冊 四六 仮洋 内容：第3回（明治37）第5回（明治39）第6回（明治 40）第7回（明治41）第8回（明治42）第9回（明治 44）第10回（明治44）大正7年（大正8）大正8年（大 正10）	GK353-4
弘前市統計概表 明治34年 弘前市役所編	GK353-2

弘前 編者 明治 35 (1902) 1 冊 41×69 豊物	
弘前市統計概表 明治 34 年 弘前市役所編 弘前 編者 明治 35 (1902) 1 冊 41×69 豊物	GK353-3
弘前中社寺門前座当町共戸口惣括帳 小宮山万左衛門 明治 3 (1870) 写 1 冊 半紙 和	GK353-1
弘前町中人別戸数諸工諸家業総括 文化 2 年 8 月改 文化 2 (1805) 写 1 冊 美濃 和	GK353-9
〔和徳村土地人別調〕 明治 18 (1885) 写 1 冊 半紙 註：明治 18 年頃の調 高崎村堅田村撫牛子村大久保村 津賀野村百田村清野袋村向外瀬村	GK353-13
K354 黒石市 南津軽郡	
〔尾崎組大鰐組大光寺組田畑戸数人員馬調〕 写 1 冊 横小 仮和	GK354-3
第二大区三小区田畑宅地夫喰貯穀戸数人員馬調 明治 9 年 10 月 征森勇太郎 明治 9 (1876) 写 1 冊 半紙 仮和 註：第 2 大区 3 小区戸長笹森勇太郎の調	GK354-1
南津軽郡是 青森県南津軽郡役所編 黒石 編者 大正元 (1912) 788 頁 四六倍 洋	GK354-2
K355 五所川原市 北津軽郡 西津軽郡	
青森県北津軽郡治一覧 青森県北津軽郡役所編 五所川原 編者 大正 2 (1913) 192 頁 菊 仮洋	GK355-3

五所川原 編者 大正 2 (1913) 192 頁 菊 仮洋	
青森県北津軽郡治一覧 青森県北津軽郡役所編 五所川原 編者 大正 2 (1913) 192 頁 菊 仮洋	GK355-4
青森県北津軽郡統計一班 明治 43 年 青森県北津軽郡農会編 五所川原 編者 明治 44 (1911) 121 頁 四六 仮洋	GK355-1
青森県北津軽郡統計一班 明治 43 年 青森県北津軽郡農会編 五所川原 編者 明治 44 (1911) 121 頁 四六 仮洋	GK355-2
青森県西津軽郡統計一班 大正 4 年 青森県西津軽郡役所編 鰺ヶ沢 編者 大正 4 (1915) 1 冊 31×37 豊物	GK355-5
西津軽郡統計書 大正 4 年 青森県西津軽郡役所編 鰺ヶ沢 編者 大正 6 (1917) 177 頁 菊 仮洋	GK355-6
K366 労働問題	
勤労奉仕施設並に其の活動概要 青森県編 青森 編者 昭和 14 102 頁 菊 (経済更生資料第 14 輯)	GK366-3
職業紹介の過去現在及将来 一名弘前市の職業紹介事業 弘前市職業紹介所編 弘前 編者 昭和 5 37 頁 四六 仮洋	GK366-1
職業紹介の過去現在及将来 一名弘前市の職業紹介事業 弘前市職業紹介所編 弘前 編者 昭和 5 37 頁 四六 仮洋	GK366-2

K369 社会病理 社会事業	
〔青森県共済会〕会報 第 1 号 青森県共済会編 青森 編者 大正 15 (1926) 170 頁 菊 仮洋 註：共助濟世を旨とし個人並びに社会の健全なる発達を 図るを目的とする会	GK369-4
青森県社会事業月報 青森県社会事業協会編 青森 編者 昭和 12～15 13 冊 菊 仮洋 内容：第 2 巻第 11,12 号 (昭和 12) 第 3 巻 1,2,11,12 号 (昭和 13) 第 4 巻 2～4,9,11 号 (昭和 14) 第 5 巻第 2,3 号 (昭和 15) 註：第 4 巻第 4 号より題名青森県社会事業となる	GK369-6
青森県水害実記 昭和 10 年 東奥日報社編 青森 編者 昭和 10 1 冊 四六倍 仮洋	GK369-7
青森県労務報国会共済規定 青森県労務報国会編 青森 編者 昭和 18 4 頁 B 6	GK369-9
遺族之友 軍人援護会青森県支部編 青森 編者 昭和 14～16 1 冊 (11 冊合綴) 菊 内容：創刊号,第 2,4,7,8 号 (昭和 14) 第 2 巻第 2,11 号 (昭和 15) 第 3 巻 5,8,10,11 号 (昭和 16)	GK369-8
出征軍人家族弘前救護義会設立趣意書 弘前 明治 37 (1904) 9 頁 半紙 仮和	GK369-3
善隣 青森県社会事業協会編 青森 編者 昭和 8,10 3 冊 菊 仮洋 内容：第 3 巻第 5,6 号 (昭和 8) 第 6 巻第 2 号 (昭和 10)	GK369-5
臨時米方報告書 弘前市臨時米方委員	GK369-1

弘前市平民貯金穀担当委員
明治 23 (1890) 1 冊 美濃半 仮和

臨時米方報告書 弘前市臨時米方委員 **GK369-2**
〔明治 31〕(1898) 1 冊 美濃半 仮和

K370 教育

青森県学事関係職員録 明治 37 年 1 月調 **GK370-28**
青森県教育会編
青森 編者 明治 37 (1904) 147 頁 四六 仮洋

青森県学事関係職員録 明治 40 年 9 月現在 **GK370-29**
青森県教育会編
青森 編者 明治 40 (1907) 141 頁 四六 仮洋

青森県学事関係職員録 **GK370-32**
昭和 5 年 5 月 1 日現在
青森県教育会編
青森 編者 昭和 5 158 頁 四六 仮洋

青森県学事関係職員録 **GK370-33**
昭和 5 年 5 月 1 日現在
青森県教育会編
青森 編者 昭和 5 158 頁 四六 仮洋

青森県学事関係職員録 昭和 9 年 4 月現在 **GK370-34**
青森県教育会編
青森 編者 昭和 9 206 頁 四六 仮洋

青森県教育 青森県教育会編 **GK370-6**
青森 編者 明治 41～昭和 16 (1908～41) 73 冊
四六 倍 仮洋
内容：第 88 号 (行啓記念号明治 41) 第 105 号 (明治 43) 第 112 号 (明治 44) 第 109～111 号 (大正

12) 第 112～114, 117～124 号 (大正 13) 第 125～128, 130, 132 号 (大正 14) 第 147 号 (大正 15) 第 155, 156 号 (昭和 2) 第 171 号 (昭和 3) 第 173～182, 184 号 (昭和 4) 第 185, 187～196 号 (昭和 5) 第 197～200 号 (昭和 6) 第 212, 218 号 (昭和 7) 第 221～223, 226 (昭和 8) 第 263～266 号 (昭和 11) 第 291 号 (昭和 13) 第 303 号 (昭和 14) 第 308, 311, 315, 316 号 (昭和 15) 第 317, 322, 325, 326, 328 号 (昭和 16)

青森県教育 青森県教育会編 **GK370-7**
青森 編者 大正 12～昭和 14 (1923～39) 15 冊 菊 仮洋

内容：第 109 号 (大正 12) 第 112, 118, 119, 122, 123 号 (大正 13) 第 126, 128 号 (大正 14) 第 178, 180, 181 号 (昭和 4) 第 195 号 (昭和 5) 第 197, 198 号 (昭和 6) 第 303 号 (昭和 14)

青森県教育効績者名鑑 青森県編 **GK370-30**
青森 編者 大正 7 (1918) 〔97 頁〕 菊 仮洋
附：其当時ニ於ケル中央及本県ノ規程

青森県教育効績者名鑑 青森県編 **GK370-31**
青森 編者 大正 7 (1918) 1 冊 菊 仮洋

青森県教育会時報 青森県教育会編 **GK370-5**
青森 編者 明治 32～大正 11 (1899～1922) 12 冊
四六倍・菊 仮洋
内容：第 1 巻第 1 号 (明治 32) 第 63 号 (職員録号) (大正 8) 第 69 号 (職員録号) (大正 9) 第 72, 74, 75 号 (大正 9) 第 76～80 号 (大正 10) 第 95 号 (大正 11)

青森市教育会報 昭和 5 年度 **GK370-11**
青森市教育会編
青森 編者 昭和 6 76 頁 菊 仮洋

奥羽五県及東京市学事視察録 **GK370-4**
能登谷甚五郎 成田義江
明治 41 (1908) 104 頁 菊 仮洋

奥羽六県北海道教育大会報告 清岡等編 **GK370-2**
盛岡 編者 明治 30 (1897) 161 頁 菊 仮洋

東北六県北海道聯合教育大会記事 第 1 回 **GK370-3**
工藤卓爾編
青森 青森県教育会 明治 33 (1900) 136 頁 菊 仮洋

学事視察報告書 大正 7 年度 **GK370-27**
南津軽郡役所編
大正 7 (1918) 54 頁 四六 仮洋

北津軽郡教育会報 北津軽郡教育会編 **GK370-22**
五所川原 編者 大正 5～昭和 5 (1916～30) 5 冊 菊 仮洋
内容：第 23 号 (大正 5) 第 29 号 (大正 10) 第 45 号 (大正 12) 第 51 号 (昭和 3) 第 52 号 (昭和 5)
註：第 51 号以降 題名が北郡教育となっている

北郡教育 第 52 号 北津軽郡教育会編 **GK370-23**
五所川原 編者 昭和 5 120 頁 菊 仮洋

研究録 第 1～5 号 青森県教育会編 **GK370-8**
青森 編者 大正 3～8 (1914～19) 5 冊 菊 仮洋

研究録 第 1～5 号 青森県教育会編 **GK370-9**
青森 編者 大正 3～8 (1914～19) 5 冊 菊 仮洋

三戸郡教育 第 12 号 三戸郡教育会編 **GK370-26**
八戸 編者 昭和 14 162 頁 菊 仮洋

指標 青森県小学校女教員会編 **GK370-10**

青森 編者 昭和 5,8 2 冊 四六・菊 仮洋 内容：第 1 号 第 3 巻第 7 号（遊戯号）	弘前教育会編 弘前 編者 昭和 11 ～ 15 4 冊 菊 仮洋	写 1 冊 半紙 和 註：津軽村名つくし 往来物
東郡教育 青森県東津軽郡教育会編 GK370-12 青森 編者 大正9～14（1920～25）4冊 菊 仮洋 内容：第42号（大正9）第44号（大正13）第45,46号（大正14）	弘前教育会誌 創刊号～第 4 号 GK370-17 弘前教育会編 弘前 編者 昭和 11 ～ 15 4 冊 菊 仮洋	K371 教育学
東郡教育 第 42 号 青森県東津軽郡教育会編 GK370-13 青森 編者 大正 9（1920）76 頁 菊 仮洋	弘前教育研究会誌 第 1 輯 GK370-15 弘前教育研究会編 弘前 編者 大正 3（1914）55 頁 菊 仮洋	徳育論 （教育之真髓）尾崎熊太郎 GK371-1 弘前 著者 明治 42（1909）24 頁 菊 仮洋
中津軽郡教育会五十周年記念号 GK370-19 中津軽郡教育会編 弘前 編者 昭和 13 140 頁 菊 仮洋	弘前市学事一覧 明治 45 年 弘前市役所 GK370-14 明治 45（1912）17 頁 菊 仮洋	徳育論 （教育之真髓）尾崎熊太郎 GK371-1 イ 弘前 著者 明治 42（1909）24 頁 菊 仮洋
青森県南津軽郡教育会報 南津軽郡教育会編 GK370-20 黒石 編者 明治42～大正11（1909～22）7冊 半紙 菊 仮洋 内容：第1号（明治42）第2号（明治43）第4号（大正5）第5号（大正6）第6号（大正8）第7号（大正10）第8号（大正11） 註：第 4 号より南郡教育会報となる	北海道庁奥羽六県聯合学事会議事録 GK370-1 青森県編 青森 編者 〔明治 24〕（1891）161 頁 四六 仮洋	K372 教育史 事情
南郡教育会報 第 6 ～ 8 号 GK370-21 〔青森県〕南津軽郡教育会編 黒石 編者 大正 8 ～ 11（1919 ～ 22）3 冊 菊 仮洋	K370.9 往来物	〔学開所覚書〕 GK372-1 写 1 冊 横小 仮和 註：学問所（稽古館）の諸例諸定 弘化3年（1846）頃までの記事
〔 西郡教育 〕 会報 大正 5 年度 GK370-24 青森県教育会西津軽郡部会編 鰯ヶ沢 編者 大正 6（1917）39 頁 菊 仮洋	平賀六ヶ組外ヶ浜四ヶ組在々村名 GK370.9-4 写 1 冊 半紙 仮和	〔学開所覚書〕 GK372-2 写 1 冊 横小 仮和 註：学開所の諸例諸定 嘉永頃までの記事
八戸市教育 第 3 巻 八戸市教育会編 GK370-25 八戸 編者 昭和 7 140 頁 菊 仮洋	〔 津軽郡町村名姓氏尽 〕 GK370.9-5 写（明治）1 冊 美濃	学問所規則 GK372-4 慶応 3（1867）写 1 冊 半紙 註：藩学校の規則
弘前教育会誌 創刊号～第 4 号 GK370-16	津軽郡名字尽 GK370.9-3 明治 14（1881）写 1 冊 半紙 和 註：津軽郡苗氏つくし 往来物	〔 学校医道教授方御触 〕〔寛政 8 年〕 GK372-7 寛政 8（1796）写 1 通
	中野詣写書 GK370.9-1 写 1 冊 半紙 仮和 註：中野詣は黒石地方の寺小屋で用いられた往来物	三戸郡学事沿革史 三戸郡教育会編 GK372-6 八戸 編者 大正 11（1922）132 頁 菊 仮洋 （学制頒布満 50 単記念編纂）
	村名帳 GK370.9-2	典句教授規・学規・考課規・祝文 GK372-3 写 1 冊 半紙半

註：稽古館の教授規 学規 考課規である

福山藩学制 GK372-8

明治4 (1871) 写 1冊 半紙

註：福山藩は北海道渡島の館県のこと 弘前藩と合併になる

寮中規繩 明治3年 藩学校 GK372-5

写 1冊 半紙

註：藩学校の寮規則

K373 教育政策 教育制度 (育英事業)

青森県達 青森県 GK373-1

明治9～20 (1876～87) 2冊 美濃半・四六 仮和

内容：青森県達 (明治9,10 単) (学事関係)

青森県布達 (明治13～20) (学校教育関係)

御指令集 (蓬萊小学校) GK373-3

明治10,11 (1877,78) 1冊 半紙 仮和

註：明治10年11年青森県布達の内教育関係綴

〔学校諸規則〕 青森県 GK373-2

1冊 (合綴)

内容：小学校試業之節賞与規則 師範学校規則第3編 学校係処務規則 各小学備書籍並器械等取調心得書 (明治9) 学区取締職制章程 学区取締及教員給料規則 公立学校仮教員試験規則 (明治10) 小学生徒心得 村落小学教則 (明治10) 教督規則 青森県公立小学校則 (明治10) 小学教師心得并規則 青森県師範学校予科教則 (明治9)

北津軽郡学生後援会趣意書 GK373-7

在弘北津軽郡郷友会

大正14 (1925) 21頁 菊 仮洋

〔教員講習所通達〕 明治12年 GK373-4

中津軽郡々長代理

明治12 (1879) 1冊 半紙

註：仮講習所開設について教員へ出席すべき通達

藤園 創刊号 藤田育英社編 GK373-5

東京 編者 大正14 (1925) 149頁 菊 仮洋

註：藤田育英社の社誌 年2回以上

藤園 創刊号 藤田育英社編 GK373-6

東京 編者 大正14 (1925) 149頁 菊 仮洋

K374 学校経営 学校衛生

青森県学校衛生 (学校衛生講習会講演集) GK374-1

青森県学校衛生会編

青森 編者 大正13 (1924) 120頁 菊 仮洋

内容：教育衛生の刷新 (武井群嗣) 体育運動に就て (鈴木三伯) 学童の口腔保健 (戸辺亮三郎) 鼻疾患の頭脳に及ぼす影響に就て (小関勉) 児童のX状脚 (村上不二) 恐怖観念に就て (高橋済二) 学校近視に就て (久保木保寿) 就学前児童身体検査に関する卑見 (小野寺健太郎)

学校衛生要論 白幡兼 GK374-3

大正刊 64頁 菊

学校経営 八戸高等小学校編 GK374-2

八戸 編者 刊 10頁 菊

K375 学習指導 教科課程 (教科書)

青森県師範学校附属小学校教授訓練要領 GK375-32

青森県師範学校附属小学校編

青森 編者 明治32 (1899) 1冊 菊

附録：第1 附属小学校細則 第2 博物示教具及準備法 第3 理科教授ノ設備及注意

青森県尋常師範学校附属小学校教授細目 GK375-27

青森県師範学校卒業生同窓会編

東京 編者 明治28 (1895) 195頁 菊 仮洋

青森県青年読本 巻1～8 GK375-21

青森県教育会編

東京 同文館 大正7 (1918) 8冊 半紙 和

青森県青年読本 巻1,3～8 GK375-22

青森県教育会編

東京 同文館 大正7 (1918) 7冊 半紙 和

青森県青年読本詳解 第1～4巻 GK375-23

村田攢雄編

東京 精禾堂 大正7 (1918) 117頁 四六 仮洋

青森県青年訓練教科書 巻1～3 GK375-24

青森県青年訓練研究会編

青森 編者 昭和6～12 3冊 菊 洋

青森県地理書 成田三千郎編 GK375-11

東京 鎌田書店 明治27 (1894) 1冊 半紙 和

青森県地理書 成田三千郎編 GK375-12

東京 鎌田書店 明治29 (1896) 1冊 半紙 和

青森県農業教科書 巻2 GK375-13

青森県教育会編

東京 六盟館 大正6 (1917) 126頁 菊

註：高等小学校児童用

青森県農業教科書 巻2 GK375-14

青森県教育会編 東京 六盟館 大正 6 (1917) 126 頁 菊 註：高等小学校児童用		青森 編者 明治 41 (1908) 27 頁 菊 仮洋		(青森県蔵版)
青森県農業教科書 巻 1 青森県教育会編 東京 六盟館 大正 11 (1922) 120 頁 菊 註：高等小学校児童用	GK375-15	小学習字帖 中等科第 6 級第 7 青森県学務課編 (巻菱潭筆) 明治 15 (1882) 1 帖 大	GK375-19	改正陸奥地誌略 中島健三編 弘前 秋元源吾 明治 14 (1881) 1 冊 半紙 和
新訂青森県農業教科書 巻 2 青森県教育会編 東京 六盟館 昭和 4 128 頁 菊 仮洋 註：高等小学校児童用	GK375-16	第三回青森県初等教育研究会発表要項 青森県師範学校附属小学校編 東京 編者 大正 12 (1923) 108 頁 菊 仮洋	GK375-29	改正陸奥地誌略 中島健三編 弘前 秋元源吾 明治 14 (1881) 1 冊 半紙 和
青森市民読本 青森市編 青森 編者 昭和 9 108 頁 菊 仮洋 註：尋常科 5,6 年用	GK375-25	第二回青森県下小学校女教員会記録 大正 10 年 主催青森県女子師範学校 118 頁 菊 仮洋	GK375-28	陸奥地誌略養生抄言捷徑字引 一戸清方 弘前 秋元源吾 明治 13 (1880) 1 冊 美濃半 和
〔青森手工協会〕紀要 第 4 号 青森県手工協会編 青森 編者 昭和 7 76 頁 菊 仮洋 註：手工教育の研究を進め 青森県に於ける手工教育の 普及発達を図る目的の協会	GK375-1	本校の武道教育 黒石尋常高等小学校編 昭和 15 18 頁 菊 仮洋	GK375-26	K376 初等・中等教育 (旧制高等学校)
本県の実状を基礎とせる家事教育資料 青森県聯合女教員会編 青森 編者 昭和 15 188 頁 菊 仮洋 (指標特輯号)	GK375-2	陸奥地誌略 青森県師範学校編 弘前 秋元源吾 明治 12 (1879) 1 冊 半紙 和	GK375-3	青森県立工業学校一覽 青森県立工業学校 弘前 編者 大正 2 ～ 6 (1913 ～ 17) 1 冊 (合綴) 菊 内容：従大正 2 年至同 3 年 (大正 2) 従大正 3 年至同 4 年 (大正 3) 従大正 4 年至同 5 年 (大正 4) 従大正 6 至同 7 年 (大正 6)
東北教科用かなづかひ 松尾捨次郎 弘前 文港堂書店 明治 30 (1897) 1 冊 半紙 和	GK375-20	陸奥地誌略 青森県師範学校編 弘前 秋元源吾 明治 12 (1879) 1 冊 半紙 和	GK375-4	〔青森県立工業学校〕校友会誌 青森県立工業学校々友会編 弘前 編者 大正 2 ～ 昭和 4 (1913 ～ 29) 11 冊 菊 仮洋 内容：第 2 ～ 5 号 (大正 2 ～ 6) 第 7 巻 (紀念号) (大正 12) 第 9 ～ 14 号 (大正 13 ～ 昭和 4)
図案教授参考図集 足立啓編 青森 編者 明治 41 (1908) 27 頁 菊 仮和	GK375-17	改正陸奥地誌略 青森県師範学校編 弘前 武田荘七 明治 12 (1879) 1 冊 半紙 和	GK375-5	青森県立商業学校沿革及現況 大正 15 年 9 月 青森県立商業学校同窓会編 青森 編者 大正 15 (1926) 79 頁 四六 仮洋 (創立 20 週年記念)
図案教授参考図集 足立啓編	GK375-18	改正陸奥地誌略 青森県師範学校編 弘前 武田荘七 明治 12 (1879) 1 冊 半紙 和	GK375-6	
		陸奥地誌略 中島健三編 弘前 秋元源吾 明治 14 (1881) 1 冊 美濃半 和 (青森県蔵版)	GK375-7	
		陸奥地誌略 中島健三編 弘前 秋元源吾 明治 14 (1881) 1 冊 美濃半 和	GK375-8	

〔青森県立水産学校〕校友会誌 創刊号～3,5号 青森県立水産学校々友会編 八戸 編者 大正15～昭和6 (1926～31) 4冊 菊 仮洋	GK376-108
青森県立第一高等女学校一覧 青森県立第一高等女学校編 弘前 編者 明治40 (1907) 95頁 菊 仮洋	GK376-91
青森県第一尋常中学校年報 第1～3年報 青森県第一尋常中学校 弘前 編者 明治28～34 (1895～1901) 3冊 菊 仮洋	GK376-78
青森県立農学校校友会報告 青森県立農学校々友会編 五所川原 編者 大正5 (1916) 27頁 菊 仮洋	GK376-105
青森県立弘前高等女学校沿革及統計 青森県立弘前高等女学校 明治44 (1911) 66頁 菊 仮洋	GK376-92
青森県立弘前中学校創立第四十五週年祝賀会収支決算書 青森県立弘前中学校編 1枚	GK376-80
青森県立弘前中学校要覧 青森県立弘前中学校 弘前 大正6 (1917) 32頁 菊 仮洋	GK376-79
青森高等小学校細則 青森高等小学校編 明治43 (1910) 65頁 菊 仮洋	GK376-1
〔青森市立青森実科高等女学校〕校友会誌 創刊号 青森実科高等女学校々友会編 青森 編者 昭和6 128頁 菊 仮洋 註：昭和9年市立高等女学校と改称 昭和27年市立中央	GK376-109

高等学校となる	
〔青森中学校〕校友会誌 青森県立第三中学校々友会編 青森 編者 明治39～大正4 (1906～15) 7冊 菊 仮洋 内容：第2号 (明治39) 第4,5号 (明治41,42) 第10～12号 (大正2,3) 第14号 (大正4)	GK376-85
油川尋常高等小学校教育沿革要覧 油川尋常高等小学校編 東郡 編者 明治40 (1907) 73頁 菊 仮洋	GK376-2
板柳尋常高等小学校一覧 附村治概要 〔大正4〕 (1915) 38頁 菊 仮洋	GK376-60
板柳尋常高等小学校創立滿五拾年記念号 板柳尋常高等小学校編 大正13 (1924) 156頁 菊 仮和	GK376-61
いはき 第3号 弘前実科高等女学校々友会編 弘前 編者 昭和15 152頁 菊 仮洋	GK376-111
岩木颯 第2,6,7号 弘前高等学校柔道部編 弘前 弘高柔道部鵬志会 昭和7～12 3冊 菊 仮洋	GK376-117
嬰城 創刊号 弘前高等学校嬰城社編 弘前 編者 大正15 (1926) 77頁 菊 仮洋	GK376-119
永孚小学後期試験 明治14年 高谷直作 明治14 (1881) 写 1冊 半紙	GK376-44

堅田村永孚小学試験表 明治15年 高谷直作 明治15 (1882) 写 1冊 半紙	GK376-47
堅田村永孚小学試験表 明治15年 高谷直作 山中章一 明治15 (1882) 写 1冊 半紙 和	GK376-48
永孚小学前期試験 明治15年 高谷直作 明治15 (1882) 写 1冊 半紙 和	GK376-46
永孚小学前定期試験点表 明治14年 高谷直作 野呂久一郎 明治14 (1881) 写 1冊 半紙 和	K376-43
永孚小学臨時試験表 明治14年 高谷直作 明治14 (1881) 写 2冊 半紙 和	GK376-45
おひたち 第15号 致遠尋常小学校編 編者 昭和13 106頁 菊 仮洋 (創立50周年記念号)	GK376-53
青森市沖館尋常小学校記念誌 創立60周年記念 青森市沖館尋常小学校記念誌編纂部編 青森 編者 昭和11 176頁 菊 洋	GK376-3
学友会誌 東奥義塾学友会編 弘前 編者 昭和2～12 8冊 菊 仮洋 内容：創刊～第5号 (昭和2～6) 第7号 (昭和8) 第9号 (昭和9) 第11号 (昭和12)	GK376-76
学友会誌 創刊号 第3号 東奥義塾学友会編 弘前 編者 昭和2,4 2冊 菊 仮洋	GK376-77

学友通信 学友通信会（東奥義塾）編 **GK376-72**

弘前 編者 明治21～25（1888～92）2冊（合本）
四六・菊 仮洋
内容：第1～8号（明治21）第12～14,20,21,23,24,26,
30～32,34～40号（明治22～25）
註：東奥義塾同窓会の機関紙 月刊

学友通信 学友通信会（東奥義塾）編 **GK376-73**

弘前 編者 明治 21 ～ 25（1888 ～ 92）3冊（合本）
四六・菊 仮洋
内容：第 4,6,7,8 号（明治 21）第 13,26,27,35,36,37,
39 号（明治 21 ～ 25）

堅田小学定期試験表 明治 16 年後期 **GK376-49**

高谷直作 山中泰一
明治 16（1883）写 1冊 半紙

堅田小学定期試験表 明治 17 年 山中泰一 **GK376-50**

明治 17（1884）写 1冊 半紙 和

学校建築受払帳 今泉万右衛門等 **GK376-5**

明治 9（1876）写 1冊 横長

学校建築二就テハ諸取合帳 **GK376-10**

第拾番聯区 担当方
明治 9（1876）写 1冊 半紙
註：第 3 大区第 10 番聯区

学校建築割賦取立調（新町馬屋町鷹匠町駒越町平岡町）
今泉万右衛門 **GK376-12**

明治 10（1877）写 1冊 半紙

学校落成迄一斉調 第拾番聯区 担当方 **GK376-11**

明治 9（1876）写 1冊 半紙

註：第 3 大区第 11 番聯区

合浦商誌 第 9 号 **GK376-102**

青森市立商業学校々友会編
青森 編者 六正 7（1918）186頁 菊 仮洋（創立 10
周年記念号）
註：六正 15 年県へ移管

〔木造中学校〕校友会誌 第 5 号 **GK376-86**

青森県立木造中学校々友会編
木造 編者 昭和 11〔173 頁〕菊 仮洋

玉成校友会誌 創刊号, 第 2, 第 5 号 **GK376-41**

玉成校友会 編
弘前 編者 昭和 11 ～ 15 3冊 菊 仮洋

屑籠集 **GK376-67**

明治 36（1903）頃写 1冊 半紙
註：東奥義塾創設当時の功績者の略歴 歴代塾長 外人
教師名 等

〔黒石実科高等女学校〕会誌 **GK376-110**

第 2,4,8,12 号
黒石町立黒石実科高等女学校々友会編
黒石 編者 昭和 6 ～ 16 4冊 菊 仮洋

黒石尋常小学校校友会設立主旨及規則 **GK376-54**

黒石尋常小学校校友会
明治 35（1902）1冊 菊半 仮和

くろつち 第 12,13,17,19 号 **GK376-55**

青森県南郡黒石尋常高等小学校編
黒石 編者 昭和 10 ～ 12 4冊 菊 仮洋

剣潮 第 10,12 号 弘高剣道部鷹揚会編 **GK376-118**

弘前 編者 昭和 15,16 2冊 菊 仮洋

〔献納学校移築入費〕 高坂春吉 対馬貞太郎 **GK376-7**

明治 9（1876）写 1冊 半紙
註：馬屋町地内に献納学校

弘工 第 4 号 青森県立工業学校々友会編 **GK376-101**

弘前 編者 昭和 9 68 頁 四六倍 仮洋

弘高北溟寮十年史 弘前高等学校北溟寮編 **GK376-115**

弘前 編者 昭和 6 108 頁 菊 仮洋（開寮十周年記念）

弘高校友会雑誌 弘前高等学校校友会編 **GK376-114**

弘前 編者 六正 13～昭和 15（1924～40）16冊 菊
仮洋
内容：第 4～8 号（大正 13～15）第 14～17 号（昭和 4～
6）第 19～21 号（昭和 7,8）第 23（昭和 9）第 25 号（昭
和 10）第 27 号（昭和 11）第 32 号（昭和 15）

校友 青森県尋常中学校々友会編 **GK376-82**

弘前 編者 明治 25 ～ 31（1892 ～ 98）6冊 菊 仮洋
内容：第 1 号（明治 25）第 8 号（明治 27）第 12 号（明治
28）第 13 号（明治 28）第 17 号（明治 29）第 19 号（明
治 31）

校友会誌 **GK376-39**

弘前高等小学校弘前商業補習学校校友会編
弘前 編者 大正 14～昭和 14（1925～39）10冊 菊 仮洋
内容：〔第 1～3,5 卷〕（大正 14～昭和 2,4）第 6,7 卷
（昭和 5,6）第 11,12 号（昭和 10,11）第 14,15（昭和
13,14 弘前高等小学校々友会編）

校友会誌〔第 5 卷〕, 第 6 卷 **GK376-40**

弘前高等小学校 弘前商業専修学校校友会編
弘前 編者 昭和 4,5 2冊 菊 仮洋

校友会報 青森県立第一尋常中学校々友会編 GK376-83

弘前 編者 明治 32 ～昭和 14 (1899 ～ 1939) 35 冊
菊 仮洋

内容：第 1 号～第 41 号 (第 4 ～ 6,12,23,37 号欠)
註：明治 17 年青森県中学校創立 明治 19 年青森県尋常
中学校 明治 28 年青森県立第一尋常中学校 明治 32 年
青森県第一中学校 明治 34 年青森県立第一中学校 明
治 42 年青森県立弘前中学校と改称

校友会報 青森県第一中学校々友会編 GK376-84

弘前 編者 明治 34 ～昭和 9 年 (1901 ～ 34) 22 冊
菊 仮洋

内容：第 3,8 ～ 11,13,14,16 ～ 22,24,26 ～ 28,30,
31,34,36 号

〔公立城西小学校設立に関する協議会〕 GK376-19

明治 15 ～ 16 (1882 ～ 83) 写 1 冊 半紙

〔五所川原高等女学校校友会〕会誌 創刊号 GK376-97

青森県立五所川原高等女学校々友会編
五所川原 編者 昭和 6 1 冊 菊 仮洋

〔五所川原高等女学校校友会〕会誌 GK376-98

青森県立五所川原高等女学校々友会編
五所川原 編者 昭和 6 108 頁 菊 仮洋

〔五所川原農学校同窓会〕会員名簿 GK376-106

青森県立五所川原農学校同窓会編
五所川原 編者 昭和 3 106 頁 (80 頁まで欠) 四六
仮洋

〔五所川原農学校〕校友 第 1,4,5 号 GK376-104

青森県立農学校々友会編
五所川原 編者 大正 5 ～ 11 (1916 ～ 22) 3 冊 菊

仮洋

〔三本木農学校〕学友会誌 GK376-107

青森県立畜産学校学芸部編
編者 大正 3 ～ 10 (1914 ～ 21) 3 冊 菊 仮洋
註：青森県立畜産学校大正 8 年より県立三本木農学校

児童心得 弘前高等小学校 GK376-34

4 頁 四六

時敏尋常小学校訓練細目 時敏尋常小学校編 GK376-29

弘前 編者 謄写 1 冊 半紙 仮和

塾友 第 1 ～ 8, 終刊記念号 GK376-75

東奥義塾々友会編
弘前 編者 明治 35 ～ 44 (1902 ～ 11) 9 冊 菊 仮洋

塾友 第 1 ～ 8, 終刊記念号 GK376-74

東奥義塾々友会編
弘前 編者 明治 35 ～ 44 (1902 ～ 11) 9 冊 菊 仮洋

松友 青森県立八戸高等女学校校友会編 GK376-96

八戸 編者 大正 9,12 (1920,23) 菊 仮洋
内容：第 14 号, 校外部第 2 号

私立青森幼稚園創立満十年記念帳 GK376-122

私立青森幼稚園編
大正 8 (1919) 1 冊 菊 仮洋

新築落成記念誌 大鰐尋常高等小学校編 GK376-57

昭和 2 48 頁 四六 仮洋

〔生徒保護者及生徒心得〕 GK376-27

1 冊 (合綴) 四六
内容：生徒保護者及生徒心得 (朝陽尋常小学校) 児童心

得 (弘前高等小学校) 保護者及児童心得 (弘前市立朝陽
尋常小学校)

〔卒業及修業証書〕大浦尋常小学校 GK376-51

明治 21 ～ 24 (1888 ～ 91) 写 4 枚
註：菊池四郎の修業及卒業証書

卒業記念帖 弘前市第一大成尋常小学校編 GK376-24

大正 11 (1922) 1 冊 菊

卒業記念帳 弘前第二大成尋常小学校 GK376-25

昭和 6,8,10 1 冊 (合本) 菊 洋
内容：昭和 6 年 3 月, 昭和 8 年 3 月, 昭和 10 年 3 月

〔第一弘前高等小学校同窓会〕記録 GK376-38

第一弘前高等小学校同窓会編
明治 39 (1906) 写 1 冊 半紙 仮和

〔大成小学校卒業証書〕明治 18 年 GK376-23

大成小学校
明治 18 (1885) 写 1 枚
註：小林大次郎初等科第 6 級卒業

鷹がをか 時敏尋常高等小学校校友会編 GK376-30

弘前 編者 昭和 14 1 冊 菊 仮洋 (校友会誌第 3 号)

鷹がをか 時敏尋常高等小学校校友会編 GK376-31

弘前 編者 昭和 14 1 冊 菊 仮洋 (校友会誌第 3 号)

鷹匠町小学校建設入費仮割帳 GK376-8

十聯区 (駒越町)
明治 9 (1876) 写 1 冊 半紙
附：聯区小学建築入費割賦平岡町分取立帳 (今泉蔵之助)

鷹匠町小学校建築入費仮割帳 GK376-9

十聯区（新町上下） 明治 9（1876）写 1 冊 半紙		富栄尋常高等小学校編 謄写（大正 13（1924）頃）1 冊 菊 仮洋 内容：学習の基礎的原理に就して（高木太吉）人種に就いて（前田金次郎）話方指導に就て（前田源吾）算術科に於ける概算教養（神市男） 児童の生んだ学習（五十嵐喜市）理科教材に就いて（石戸谷清作）図画私観（対馬得一）家庭生活と家事教授（成田つゑ）蔬菜栽培の研究（神富雄）裁縫教授に關して（葛西ひで）競技に就いて（斎藤俊夫）		〔野辺地町立実科高等女学校〕校友会誌 GK376-112 第 5 号 青森県野辺地町立実科高等女学校編 野辺地（青森県）編者 昭和 16 55 頁 菊 仮洋
朝陽尋常小学校内規 大正 3 年 4 月 30 日改定 GK376-26 朝陽尋常小学校編 弘前 編者 大正 3（1914）56 頁 菊 仮洋				博習学校〔関係資料〕明治 9 年 GK376-4 写 1 袋（18 点） 註：馬屋町地内に献納学校
弘前市立弘前中学東奥義塾沿革誌 GK376-68 弘前市立弘前中学東奥義塾編 弘前 編者 明治 41（1908）〔71 頁〕 菊 仮洋				〔博習小学自疆小学〕両小学開校後諸入費調 GK376-13 今泉万右衛門 明治 10（1877）写 1 冊 半紙 和
弘前市立弘前中学東奥義塾沿革誌 GK376-69 弘前市立弘前中学東奥義塾編 弘前 編者 明治 41（1908）〔71 頁〕 菊 仮洋		〔富田小学校試験表〕 GK376-32 写（明治 20（1887）頃）1 冊 半紙 註：受持教員山中泰一 桜田副一		博習自疆両学校建築費調（下控） GK376-15 今泉万右衛門 明治 10（1877）写 1 冊 半紙 和
〔東奥義塾〕学則及細則頒付控 東奥義塾編 GK376-66 明治 34（1901）写 1 冊 半紙 註：東奥義塾の事務書類		〔富田尋常小学校〕研究録 第 2 号 GK376-33 富田尋常小学校編 大正 13（1924）138 頁 菊 仮洋 内容：改造教育思潮より見たる私の教育観（館山東五郎）交響楽の研究（斎藤武治）芸術鑑賞教育の序説（葛西守郷）低学年と理科（清藤健作）体育の芸術的方面（佐藤徳男）私の観たる国史の諸問題（金子喜蔵）創作的手工教授の実際（小沼カウ）		博習自疆両学校建築費学費払下調 GK376-17 今泉万右衛門 明治 10（1877）写 1 冊 横長 和
東奥義塾規則 明治 24 年 9 月改正 GK376-65 東奥義塾編 20 頁 四六 仮洋				〔博習小学校自疆小学校〕両学校建築費学費割賦取立調 GK376-16 今泉万右衛門 明治 10（1877）写 1 冊 半紙 和
〔東奥義塾経営上の手紙〕明治 9 年 GK376-64 明治 9（1876）写 1 通		中津軽郡公立中学校在籍生徒学齡調及東奥義塾学齡生徒名簿 GK376-62 明治 18（1885）写 1 冊 半紙 仮和 内容：故栗田富太郎海軍少将略歴 森教論稿（昭和 8）		博習自疆両学校落成迄一斉調 GK376-14 今泉万右衛門 明治 10（1877）写 1 冊 半紙 和
東奥義塾再興十年史 笹森順造編 GK376-71 弘前 東奥義塾学友会 昭和 6〔338 頁〕 菊 仮洋 （再興十週年記念刊行）		〔中津軽郡公立中学校〕仮校舍移転寄附金願 GK376-63 小島貞雄等 明治 19（1886）写 1 冊 半紙 註：明治 19 年中津軽郡長宛の願書草稿		〔博習小学聯合会議事規則及議案〕 GK376-18 明治 13（1880）写 1 冊 半紙
東奥義塾再興十年史 笹森順造編 GK376-70 弘前 東奥義塾学友会 昭和 6〔338 頁〕 菊 仮洋 （再興十週年記念刊行）				弘前高等学校一覧 弘前高等学校 GK376-113 大正 13～昭和 15（1924～40）12 冊 菊 仮洋 内容：大正13～15年度，昭和 2,3,5,7,10,12～15年度
〔富栄尋常高等小学校〕研究録 GK376-52		行丘 第 13 号 浪岡小学実務校編 GK376-58 浪岡（南津軽郡）編者 昭和 12 48 頁 菊 仮洋		

〔弘前高等小学校〕日誌 **GK376-36**

自明治 20 年至同 22 年 8 月 弘前高等小学校事務掛
明治 20～22 (1887～89) 写 1 冊 半紙 仮和

〔弘前高等小学校〕日誌 **GK376-37**

明治 32 年～1 月～5 月
弘前高等小学校長
明治 32 (1899) 写 1 冊 半紙 仮和

〔弘前高等小学校の賞状〕明治 24 年 **GK376-35**

弘前高等小学校
明治 24 (1891) 写 1 枚 19.2×26

弘前高等女学校後援会経過報告 **GK376-93**

青森県立弘前高等女学校後援会編
昭和 5 26 頁 四六 仮洋

〔弘前高等女学校〕校友会誌 **GK376-94**

青森県立第一高等女学校々友会編
弘前 編者 明治37～昭和15 (1904～40) 26冊 菊 仮洋
内容：第1～19号 (明治37～昭和5) 第21,22回 (昭和7,8) 第24～28号 (昭和10～15)

〔弘前高等女学校〕校友会誌 **GK376-95**

青森県立第一高等女学校々友会編
弘前 編者 明治37～昭和11 (1904～36) 19冊 菊 仮洋
内容：第1～13号 (明治37～大正9) 第15～17号 (大正14～昭和3) 第19,24,25号 (昭和5,10,11)

〔弘前女学校校友会〕会報 **GK376-90**

弘前女学校々友会編
弘前 編者 昭和 3,11 2 冊 菊 仮洋
内容：第7号 (昭和3) 第14号 (昭和11 故中川先生記

念号)

〔弘前女学校校友会〕会報 **GK376-89**

弘前女学校々友会編
弘前 編者 大正6～昭和13 (1917～38) 12冊 菊 仮洋
内容：第1～3号 (大正6～11 同窓会) 第4,6,7,9,10号 (大正13,15昭和3,6,7) 第13号 (昭和10 故ラッセル先生追悼号) 第14号 (昭和11 故中川先生記念号) 第15号 (昭和12 五十週年記念号) 第16号 (昭和13)

弘前女学校五十周年記念 弘前女学校 **GK376-88**

昭和 11 1 袋
註：五十周年記念会目次 記念式次第 弘前新聞 (昭和 11 年 10 月 24,25 日) 私たちの作ったしをり 等

〔弘前女学校五十周年記念写真帖〕 **GK376-87**

弘前女学校編
弘前 編者 昭和 11 1 冊 四六倍 仮洋

〔弘前中学校校友会〕会員名簿 **GK376-81**

昭和 3 年 10 月現在 弘前中学校校友会編
弘前 編者 昭和 3 [224 頁] 小 仮洋

ひとみ 第 5 号 柏木町高等小学校校友会編 **GK376-56**

柏木町 (南津軽郡) 編者 大正14 (1925) 謄写
52頁 菊 仮洋

ふた葉 第 57 号 **GK376-59**

五所川原女子尋常小学校編
五所川原 編者 昭和 16 76 頁 菊 仮洋

褒詞 (和徳小学校新築費寄附に) 中津軽郡長 **GK376-22**

明治 22 (1889) 写 1 帋
註：明治22年和徳小学校新築費として寄附につき 佐藤シケ宛

北溟寮十八年略史 **GK376-116**

弘前高等学校北溟寮史編纂部編
弘前 編者 昭和 15 96 頁 菊 仮洋

保護者及児童心得 **GK376-28**

弘前市立時敏尋常小学校編
弘前 編者 刊 6 頁 四六 仮洋

ほたるのひかり 青森女師附属小学校編 **GK376-121**

青森 編者 昭和 8 50 頁 菊 仮洋

〔磨光小学〕御用留 明治 9 年 磨光小学 **GK376-42**

明治 9～11 (1876～78) 写 1 冊 半紙
註：第 3 大区 3 小区松木平村小栗山村両聯区小学校

実生 青森県師範学校附属小学校学芸部編 **GK376-120**

青森 編者 昭 11,13 2 冊 菊 仮洋

聯区学校諸入費調 今泉万右衛門等 **GK376-6**

明治 9 (1876) 写 1 冊 横長

和徳小学区聯合会議案説明 **GK376-21**

明治 17 (1884) 写 1 冊 半紙

和徳小学経費予算 明治 17 年 **GK376-20**

明治 17 (1884) 写 1 冊 半紙

K377 大学 専門教育 (師範教育)

青森県師範学校一覧 青森県師範学校編 **GK377-4**

明治 42 (1909) [238 頁] 菊 仮洋 (2 部)

〔青森県師範学校〕校友会誌 第 12,20 号 **GK377-7**

青森県師範学校校友会編

青森 編者 大正 13, 昭和 4 (1924, 29) 2 冊 菊 仮洋

青森県師範学校創立満三十年記念帖 G K377-1

成田貢編

青森 明治 40 (1907) 69 頁 菊 仮洋

〔青森県師範学校〕創立四十周年記念帳 GK377-2

青森県師範学校同窓会編

青森 編者 大正 4 (1915) 106 頁 菊 仮洋

青森県師範学校同窓恩師を迎える会会員名簿 GK377-10

青森県師範学校同窓恩師を迎える会編

昭和 8 15 頁 菊 仮洋

青森県師範学校六十周年記念誌 GK377-3

青森県師範学校校友会編

青森 同校同窓会 昭和 12 427 頁 菊 仮洋

青森県女子師範学校青森県立青森高等女学校施設実況 GK377-11

青森県女子師範学校 青森県立青森高等女学校 共編

青森 編者 大正 7 (1918) 99 頁 菊 仮洋

青森県女子師範学校青森県立青森高等女学校同窓会々報 第 4, 5 回 GK377-12

青森県女子師範学校青森県立青森高等女学校同窓会編

青森 編者 大正 12, 13 (1923, 24) 2 冊 菊 仮洋

京阪旅行誌 青森県師範学校四年級旅行団編 GK377-8

青森 編者 明治 44 (1911) 147 頁 菊 仮洋 (2 部)

台湾寮誌 第 1 号 青森県師範学校々友会編 GK377-6

青森 編者 明治 41 (1908) 83 頁 菊 仮洋

むつの華 第 3 号 GK377-13

青森県女子師範学校 青森県立青森高等女学校校友会編

青森 編者 昭和 10 159 頁 菊 仮洋

K379 社会教育 成人教育

青森県青年団一覽 青森県編 GK379-2

大正 5 (1916) 1 冊 四六倍 仮洋

青森県青年団講習会 下北郡役所編 GK379-3

編者 大正 7 (1918) 91 頁 菊 仮和

青森県第二回青年団講習会講演集 GK379-4

青森県内務部

大正 9 (1920) 65 頁 菊 仮洋

青森青年 青森聯合青年団編 GK379-6

青森 編者 大正 12 ~ 昭和 2 (1923 ~ 27) 5 冊

菊・四六 仮洋

内容：第 2, 4, 5 号, 大正 14 年 12 月号, 第 13 号

註：第 13 号は青森県聯合処女団と共編

〔大浦青年団〕団報 創刊号 大浦青年団編 GK379-8

大浦 (中津軽郡) 編者 昭和 12 44 頁 菊 仮洋

暁星 奥内青年支団編 GK379-7

奥内 (東津軽郡) 編者 昭和 10 55 頁 菊 仮洋

註：奥内青年支団の機関紙

第一回夏季児童保養所事業報告 GK379-5

大正 13 年度

日本赤十字社青森支部

大正 13 (1924) 149 頁 四六 仮洋

〔八戸青年会規則〕八戸青年会 GK379-1

内容：八戸青年会規則 明治 25 年 3 月改正 養蚕伝習所

規程 八戸青年会規則 明治 26 年 2 月改正 八戸青年会

員職員録 明治 27 年 3 月 8 日現在 八戸青年会年中行事

明治 26 八戸青年会職員録 明治 28 年 5 月 1 日現在 八

戸青年会図書館規程 明治 28 年 八戸青年会教育概況

明治 30 年 八戸青年会職員録 明治 31 年 1 月現在 八戸

青年会徽章規程 明治 28

K382 風俗誌 民俗誌

津軽俗説選 1 巻 後拾遺 1 巻 後々拾遺 1 巻

工藤白竜 (常政)

GK382-1

写 3 冊 半紙 和

〔津軽俗説選拾遺〕 (端本) 〔工藤白竜〕 (常政) **GK382-2**

写 1 冊 半紙 和

註：この端本全文を陸奥史談第 24 輯に成田末五郎が載
せている

K384 社会風俗 (氏子組織)

神宮教弘前本部創立特別講社規則 GK384-9

明治 22 (1889) 1 冊 半紙 仮和

高木村若者規約帳 明治 23 年 GK384-10

明治 23 (1890) 写 1 冊 半紙

註：南津軽郡尾上村高木の若者大取締規約証

高山稲荷神社協議録 講中世話係 GK384-8

明治 23 (1890) 写 1 冊 半紙 仮和

高山稲荷神社講中規則 高山講社 GK384-1

明治 18 (1885) 写 1 冊 美濃 仮和

高山稲荷神社講中規則并世話方契約書 GK384-2

高山講社

明治 18 (1885) 写 1 冊 半紙 仮和					
高山稲荷神社講中規約書 斎藤徳右衛門 明治 21 (1888) 写 1 冊 半紙 仮和	GK384-5	御在国御年始御礼之節御貨物帳 宝暦 9 年正月 御進物方 宝暦 9 (1759) 写 1 冊 半紙 仮和	GK385-2	大祭ニ付到来物諸掛帳 (御銅像除幕式 開市三百年) 明治 42 年 9 月 写 1 冊 横長 仮和	GK385-10
高山稲荷神社講中規約書 斎藤徳右衛門 明治 21 (1881) 写 1 冊 半紙 仮和	GK384-6	御年始諸御規式 写 1 冊 半紙 仮和	GK385-15	米山楠公大祭ニ付割賦帳 明治 42 年 9 月 写 1 冊 横長 仮和 註：和徳町町内割賦帳 山車米山, 楠公	GK385-11
高山講弘前町名簿 明治 20 年旧正月改メ 明治 23 (年 1890) 写 1 冊 横長 仮和	GK384-4	御用人高杉左兵衛御年男被仰付候節之勤書 文化 15 年 文化 15 (1818) 写 (下沢繁雄) 1 冊 半紙 仮和	GK385-6	年頭御規式 文政 13 年正月 文政 13 (1830) 写 1 冊 半紙 和	GK385-14
高山神社要用留帳 明治 21 年旧 4 月 講中世話係 明治 21 (1888) 写 1 冊 半紙 仮和 註：弘前市上白銀町の高山稲荷神社	GK384-7	御用留 写 1 冊 横小 仮和 註：年頭の規式に関する次第方の御用留	GK385-9	文政四辛巳年大晦日同五壬午年頭御給仕御役付 御近習小姓 文政 4 (1821) 写 1 冊 半紙 仮和	GK385-7
高山社契約規則書 佐藤佐之等 明治 18 (1885) 写 1 冊 半紙 仮和 内容：高山稲荷神社講中世話方及ビ發起人契約規則書	GK384-3	御留守年中行事—御省略中— 写 1 冊 美濃 和	GK385-16	〔明和御規式帳〕 写 1 冊 半紙 仮和 註：明和元, 2 年 (1764, 65) 年末年始行事規式帳	GK385-3
K385 祭礼 年中行事		正月御規式 文化 4 年 文化 4 (1807) 1 冊 美濃 仮和 註：弘前城中に於ける文化 4 年正月の規式	GK385-13	K386 冠婚葬祭	
安永年始 安永 5 (1776) 写 1 冊 半紙半 和 註：安永 5 年大晦日より同 6 年御年始御役付	GK385-4	神武玉日止人祭能毒略語 附正月飾物之事 四節略語之事 月之異名之事 文化 6 (1909) 写 1 冊 半紙 和 註：年中行事の由来を簡単に記す	GK385-1	御盃配 写 1 冊 横長 仮和 註：婚姻盃事の控	GK386-8
大晦日御規式 文化 9 年 文化 9 (1812) 写 1 冊 半紙 仮和	GK385-5	煤取御規式 文政 13 (1830) 写 1 冊 半紙 仮和 (御目付方旧蔵本) 内容：雛名御祝儀御規式 御年縄飾御規式 雛名御祝儀御規式 (文政 4) 御謡初御規式 (文政 3) 御具足餅御祝儀御規式 (文政 3) 御次第方御用留 (文政 13) 年頭御参詣御社参御規式 (文政 13) 就御継目御家中御目見御規式 (寛政 4)	GK385-8	御里披御道書 写 1 枚 16×46 一枚物 註：津軽家田安家婚礼の里披きの道順 文政 9 年 (1826)	GK386-5
祈年祭及新嘗祭演義略 青森県神職会中津軽郡支部 (藤井秀任) 編 大正 4 (1915) 115 頁 菊	GK385-17			覚 写 1 冊 半紙 仮和 註：安政 3 年 (1856) 津軽為信の 250 回忌の際の諸手配方	GK386-10
御儉約中御謡初御規式 天明 7 年正月 3 日 天明 7 (1787) 写 1 冊 和	GK385-12			覚書 岩見忠兵衛	GK386-7

写 1冊 横長 仮和 註：岩見忠兵衛の娘婚姻の際使等の控		写 1冊 半紙		婚姻式 慶応元（1865）写 1冊 横小 仮和	GK386-30
御申合帳 天保9年9月 天保9（1838）写 1冊 半紙 仮和 註：婚礼の取りきめ	GK386-6	御参詣并御名代調 写 1冊 半紙 註：津軽家の祥月参詣名代の調	GK386-40	婚礼式 写 1冊 半紙 仮和	GK386-32
御申合帳 畠山益雄 写（明治）1冊 半紙 註：婚姻の取りきめ申合せ	GK386-36	御参詣并御名代之覚・上々様御順御役人中御次第覚 写 1冊 半紙 和	GK386-19	婚礼式覚 安政4年 写 1冊 横長 仮和	GK386-27
御申合帳 写 1冊 半紙 仮和	GK386-37	御葬送一件 安政2年8月12日 安政2（1855）写 1冊 横小 仮和 註：津軽承祐の葬送	GK386-21	婚礼全書 写 1冊 半紙 仮和	GK386-33
革秀寺におみて御法事之砌御家中拝礼之節御触書表 安政3年8月5日 安政3（1856）写 1冊 横長 仮和 註：津軽為信式百五十回忌	GK386-20	御代々様御法事帳 写（慶応）1冊 半紙 仮和 註：旧藩主法事帳の目録	GK386-39	婚礼の心得 写 1冊 半紙半 和	GK386-34
〔寛広院様御逝去に付被仰付之覚〕 文久2（1862）写 1冊 半紙 和 註：寛広院は津軽信順	GK386-43	御廟参御精進之考 文政8（1825）写 1冊 美濃 仮和 註：津軽藩主の廟参精進の定め等の伺	GK386-17	婚礼の巻 写 1冊 横小 仮和	GK386-31
喰初髪置元服之書 写 1冊 半紙半 註：小笠原膳太夫（長時）—（略）—三好五郎左衛門（貞成）—横山嘉右衛門（武基）	GK386-41	御法会扣 天明元～7年 天明元～7（1781～87）写 1冊 半紙 仮和 註：三五日より七回忌までの法会の扣	GK386-9	婚礼の巻 森内図書（繁富）編 文政4（1821）写 1冊 半紙 仮和	GK386-26
柱光院様二百回御法会御用留 安政元年11月 小山内又右衛門 岩淵八右衛門 安政元（1854）写 1冊 半紙 仮和 註：津軽信義二百回忌法会	GK386-13	婚姻の書 行式 草式 斎藤林次郎（定盛） 元治2（1865）写 2冊 半紙 仮和	GK386-28	算数之表 天保10（1839）写 1帖 折本 小 註：仏事のための年忌を記したもの	GK386-11
御参詣并御名代上々様御順御役人中御次第留 文政8年改	GK386-18	婚礼覚 元治2（1865）写 1冊 半紙半 仮和	GK386-29	〔祝言小笠原流秘事〕 享保13（1728）写 1帖 16.9×8.0 折本 註：勝本水右衛門より竹内亦市へ	GK386-42
		御婚礼御申合帳 元治元年9月 元治元（1864）写 1冊 半紙 仮和 註：神東太郎婚礼の申合せ帳	GK386-35	上仙院様三回御忌御法事勤書 天保6年 6月 本多東作 天保6（1835）写 1冊 半紙 和 註：上仙院は津軽寧親	GK386-38
				諸用袖扣日記	GK386-3

写 1冊 横長 小 仮和
内容：御結納御進物（亨和元（1801）江戸御使之節宿付覚 御目見以上御次第 御目見以下御次第

瑞巖院殿台岳門乗大居士第十三回忌御追資中曲理趣三昧請定 **GK386-14**

寛保2（1742）写 1枚 40×145 一枚物
註：瑞巖院殿は津軽信興

瑞祥院様式百回御忌御法事ニ付御仏参御規式行列帳

文化3年 **GK386-16**
文化3（1806）写（川越清吉）1冊 横小 仮和
註：瑞祥院は津軽為信

政徳院様三回御忌御法事帳 慶応3年2月 **GK386-24**

道秀代
慶応3（1867）写 1冊 半紙 仮和
註：政徳院は津軽順承

承祐公御葬送御行列帳 **GK386-22**

安政2年8月12日 川越真養
写 1冊 横小 仮和（川越旧蔵本）
註：津軽承祐

照姫様御婚礼御行列帳 元文5年 **GK386-2**

元文5（1740）写 1冊 横小 仮和
註：秋田藩佐竹右京太夫息女？

富姫様御婚礼御行列帳 元文4年 **GK386-1**

元文4（1739）写 1冊 横小 仮和
註：秋田藩佐竹右京太夫息女の婚礼

於報恩寺蕙心院様来正月十七日被為当御一周忌候ニ付来ル十六日ヨリ十七日迄御取越御法事帳 **GK386-12**

天保12年

天保12（1841）写 1冊 半紙 仮和
註：蕙心院は津軽寧親の室稲姫

〔報恩寺御法事帳〕 明治4年2月 社寺署 **GK386-25**

写 1冊 半紙 和
註：二月五日政徳院様七回御忌被為当侯ニ付有孝院様十七回御忌取越 瑛光院様三回御忌御取越 宗曾院様三回御忌御取越於報恩寺二月四日より五日迄御逮夜御当日御法事之覚 御家令 河野六部

報恩寺拜礼度割 間宮金太夫 **GK386-15**

文化元（1804）写 1冊 横長
註：文化元年桂光院様（津軽信義）百五十回忌御法事之節

両山御参詣之節心得並御役場中御出馬之節心得控

安政2（1855）写 1冊 美濃半 和 **GK386-44**

若殿様御葬送従三の丸報恩寺への御行列帳 **GK386-23**

安政2年8月吉日
写 1冊 横小 和
註：津軽承祐の葬送行列帳

若殿様御前髪被為執小調帳書抜松平大和守様御例

享和3年 **GK386-4**
写 1冊 半紙 和
註：松平直丸の前髪執の際の記録

K387 礼儀作法 社交

小笠原百ヶ条手鑑印冊 **GK387-8**

天保7（1836）写 1帖 折本 中
註：三上宇源治（保定）三浦茂左衛門（能房）より須藤新吉へ与えたもの

御書出被下置候図式 宝暦6年閏11月 **GK387-10**

宝暦6（1756）写 6校
註：城内座敷規式図 正徳3年（1713）文政8（1825）の各1枚共

覚 黒石多門 **GK387-6**

元禄8（1695）写 1冊 横小 和
註：黒石多門が15歳の時書き留めた礼法文例等

覚書 **GK387-2**

写（元禄頃）1冊 横小 和
註：黒石多門の覚書 礼法作法の抜書

家例儀式帳・書通文法 **GK387-12**

文化13（1816）写 1冊 半紙 和

九拜式 **GK387-9**

写 1冊 半紙 仮和
註：敬礼の仕方

卿大夫士諸礼註疏 川越 **GK387-15**

写 1冊 半紙 和
註：敬礼の仕方

御座敷図 **GK387-11**

写 1袋（4枚）
註：弘前城中座敷内御礼等の節先立方の図式

御給仕覚 **GK387-13**

嘉永2（1849）写 1冊 半紙半 仮和

御順見使記録 享保2年7月 **GK387-5**

宝暦11（1761）写（北原武左衛門）1冊 半紙 和
内容：小笠原三右衛門様御順見使様御船中御馳走覚書（笠原八郎兵衛）高城孫四郎様御召船烏丸右同断（吉村場左衛門）

K 3 9 0 軍事

佐竹修理太夫様へ御使者相勤御馳走等之義言上 GK387-3

元文元年 7 月 6 日 桜庭半兵衛
元文元 (1736) 1 冊 半紙 仮和
註：使者桜庭半兵衛の報告

佐竹修理太夫様江御使者勤方并御馳走之覚 GK387-4

元文元年 7 月 桜庭半兵衛
天保 12 (1841) 写 (伊藤助計主) 1 冊 半紙 仮和

佐竹右京太夫様御使者信太小右衛門殿於御使者宿御馳走諸式留 元禄 3 年 GK387-1

元禄 3 (1690) 写 1 冊 半紙 仮和

四季法礼 水島ト也 (之成) 増補 GK387-17

安永 3 (1774) 写 1 冊 半紙 和
註：平田九郎兵衛 (貴徳) より星野六蔵 (尚賢) へ与えたもの

〔諸礼根元〕秘法唯授一人 平等之巻 GK387-14

写 1 軸 卷子 小
註：菊池喜右衛門 (助之) 一田口平右衛門 (保友) から竹内又市へ与えたもの

津軽三十郎様御登城被来候諸事留帳 GK387-7

文化 5 年 5 月 15 日 御近習小姓
文化 5 (1808) 写 1 冊 半紙 仮和
註：黒石藩主津軽親足弘前城登城の際

万請取渡之書 GK387-16

元禄元 (1688) 写 1 冊 半紙 和
註：小笠原大膳太夫 (長時) 一 (略) 一三好五郎左衛門 (貞成) 一横山嘉右衛門 (武基) より岩淵伝助へ与えたもの

青森県出身将校会報 青森県出身将校会編 GK390-7

編者 大正 9 (1920) 31 頁 菊 仮洋
附：青森県出身現役将校同相当官及武学生名簿

青森県出身将校会報 青森県出身将校会編 GK390-8

編者 大正 9 (1920) 31 頁 菊 仮洋
附：青森県出身現役将校同相当官及武学生名簿

青森聯隊区将校団員名簿 昭和 8 年 4 月 GK390-1

刊 (昭和 8) 50 頁 四六 仮洋

金蘭の友 輻重兵第八大隊 GK390-4

弘前 明治 39 (1906) 序 1 冊 四六 和
註：弘前輻重兵第八大隊の隊員名簿

金蘭簿 明治 37,38 年役 歩兵第 31 聯隊 GK390-3

弘前 館山清三郎 明治 39 (1906) 139 頁 菊 仮洋
註：歩兵第三十一聯隊論功行賞人名録

在京青森県出身将校同相当官会合規約 GK390-6

大正 7 (1918) 10 頁 菊
附：青森県出身現役将校同相当官及武学生名簿

第八師団紀念写真帳 37,38 年日露戦役 GK390-5

斎藤篤一
弘前 斎藤写真館 明治 44 (1911) 1 冊 菊倍 仮洋

徴兵検査受検壮丁諸君へ GK390-13

青森聯隊区徴兵官編
〔昭和 5〕47 頁 菊半

帝国在郷軍人会青森支部報 GK390-9

帝国在郷軍人会青森支部編

青森 編者 大正 14,15 (1925,26) 1 冊 (合本) 菊
内容：第 79,81,82,84,86,89,90 ～ 93,95,96 号

日清戦争出征日誌 GK390-2

写 (明治) 1 冊 半紙 仮和
註：明治 27 年 (1894) 10 月入隊より 28 年 4 月までの記事

弘前偕行社処務細則 GK390-11

刊 53 頁 四六 仮洋

弘前聯隊将校団規約同演習会規定 GK390-12

附：団員名簿
刊 20 頁 菊 仮洋

満州事变派遣歩兵第五聯隊慰問文返信集 GK390-14

青森市古川尋常高等小学校少年赤十字団編
青森 編者 昭和 7 53 頁 菊

陸海軍将校志願者の栞 昭和 6 年 8 月 GK390-10

青森県将校会
昭和 6 44 頁 菊 仮洋

K391 軍備 軍事行政

徴兵令並同参考布達 青森県 GK391-1

青森 編者 明治 12 (1879) 〔83 頁〕四六

K392 軍事史 事情

浦々町奉行所并諸番所御武器明細改帳 GK392-15

弘化 4 年
写 1 冊 美濃 仮和

〔大筒台場十ヶ所〕文化 4 年 GK392-11

写 1 枚

<p>註：文化4年（1807）に仰せ付けられた犬筒台場十ヶ所の備え一覧</p>		<p>〔松前渡海心得達〕 写 1 帖 GK392-19</p>
<p>御備立御行列帳 弘化3年4月 弘化3（1846）写 1 冊 臚小 仮和 GK392-5</p>	<p>御陣屋払ニ付御人数出帆并三馬屋着岸より旅宿等之式 寛政11年 寛政11（1799）写 1 冊 半紙 仮和 GK392-10 註：箱館陣屋引払の際</p>	<p>松前非常御備之義ニ付伺済口写并御備立之節柄奉行扱方留帳 GK392-13 文政6（1823）写 1 冊 半紙 仮和</p>
<p>〔御備立内習諸事扱向〕 写（安政頃）1 冊 半紙 仮和 GK392-17</p>	<p>御陣立御行列 文化5年8月 文久2（1862）写（川越石太郎（次泰）1 冊 横小 仮和 GK392-3</p>	<p>万記帳 安政2（1855）写 1 冊 横小 仮和 GK392-6 内容：年中時候之覚 覚（百石以下御軍役御定無之候得共銘々心掛用意可致品々）公儀御次第</p>
<p>覚 写 1 冊 半紙半 仮和 GK392-9 註：明治3年兵制改革の調書</p>	<p>御用之覚 写 1 冊 半紙 仮和 GK392-20 註：官軍先導として加藤吉弥 森祐之進を差し下しに付き 玉葉買入の上預け下しの覚</p>	<p>K393 戦争 戦略 戦術（戦史 戦記）</p>
<p>海辺防戦管見 元治2年 鎌田徳四郎 元治2（1865）写 1 冊 半紙 和 GK392-18</p>	<p>対策 成田雲永 写 1 冊 半紙 仮和 GK392-14 註：弘化4年（1847）幕末頃異国船近海に出没の際対策を建議の草稿</p>	<p>黒溝台劇戦記 斎藤武男編 青森 東奥日報社 明治38（1905）82 頁 四六 仮洋 GK393-1</p>
<p>〔軍事局より楽手取締中への御賞達〕 写（明治）1 通 GK392-21 註：佐々木能四郎 宮田忠之進 町田東衛 角田権内を賞したもの</p>	<p>西蝦夷地スツツ御陣屋百人詰行列帳 安政5（1858）写 1 冊 横小 仮和 GK392-16</p>	<p>黒溝台劇戦記 斎藤武男編 青森 東奥日報社 明治38（1905）82 頁 四六 仮洋 GK393-2</p>
<p>軍役役制人数割 文化10（1813）写 1 冊 横小 和 GK392-12 註：文化10年新編集のもの</p>	<p>秘書 天保14年 成田高利 天保14～安政3（1843～56）写 1 帖 折本 中 GK392-4 註：天保14年より安政3年間の大筒及海岸備大筒の調</p>	<p>第八師団戦記 斎藤碧山（武男） 青森 東奥日報社 明治42（1909）375 頁 菊 仮洋 GK393-5</p>
<p>公義御軍役績之次第 写 1 冊 半紙半 仮和 GK392-7 註：公義御軍役績之次第 御扶持方之御定 御関所之覚 女手形出所覚 女手形案文 御家老中方支配 等</p>	<p>弘前藩軍備記 写 8 冊 半紙 仮和（楠美旧蔵本） GK392-2 内容：〔第1〕,第2（文化4年2月～5月）第3（文化4年6月～9月）第4（文化4年10月～12月）第6（文化5年3月～6月）第8（文化6年）第9（文化7年）第10（文化10年） 註：藩日記及松前帳より松前蝦夷地及海岸防備其他軍備関係抜書</p>	<p>第八師団戦記 斎藤武男 青森 東奥日報社 明治42（1909）375 頁 菊 GK393-5 イ</p>
<p>御軍役明細 享保18（1733）写 1 冊 美濃 仮和 GK392-1</p>	<p>満州事变第八師団戦功史 附：満州図大観 東奥日報社編 青森 編者 昭和9 112 頁 四六 仮洋 GK393-6</p>	<p>満州事变第八師団戦功史 附：満州図大観 東奥日報社編 青森 編者 昭和9 112 頁 四六 他洋 GK393-7</p>
<p>五十騎一備人数割 写 1 冊 半紙半 仮和 GK392-8</p>		

第八師団戦史 **GK393-3**

寺田蔡花（金蔵）小野若雨（謙一）共編
弘前 北辰社 明治 39（1906）〔234 頁〕 四六 仮洋
附：講和小史 第八師団戦死者と武勲表彰 黒溝台戦
死者と金鷄勲章 奉天戦死者と金鷄勲章

第八師団戦史 **GK393-4**

寺田蔡花（金蔵）小野若雨（謙一）共編
弘前 北辰社 明治 39（1906）〔234 頁〕 四六 仮洋
附：講和小史 第八師回戦死者と武勲表彰 黒溝台戦
死者と金鷄勲章 奉天戦死者と金鷄勲章

日露戦役間ニ於ケル騎兵第八聯隊ノ戦績 **GK393-8**

昭和 5（謄写）1 冊 半紙 和

K394 軍事医学

通俗的靴傷ノ予防及療法 第八師団軍医部 **GK394-1**

大正 4（1915）謄写 1 冊 半紙半 和

K395 軍需品

御当家軍役相驗 **GK395-1**

写 1 冊 半紙

諸手之摠驗 **GK395-2**

写 半紙半 1 冊
註：纏 馬印 差物 等諸相驗

K396 陸軍

〔青森県軍隊写真帖〕 **GK396-28**

明治 36（1903）序 40 枚 22.3×15.0

五聯隊雪中行軍遭難実記 成田富穂編 **GK396-3**

青森 又新堂書房 明治 35（1902）133 頁 菊 仮洋

五聯隊雪中行軍遭難実記 成田富穂編 **GK396-11**

青森 又新堂書房 明治 35（1902）133 頁 菊 仮洋

五聯隊雪中行軍遭難実記 成田富穂編 **GK396-10**

青森 又新堂書房 明治 35（1902）133 頁 菊 仮洋

除隊記念写真帳 大正 4 年第 1 次 **GK396-19**

弘前輜重兵第八大隊

大正 4（1915）1 冊 菊

処罰ニ関スル教育資料 第八師団法務部編 **GK396-26**

弘前 第八師団 昭和 11〔87 頁〕 菊

征露紀念 後備歩兵第三十一聯隊 **GK396-15**

明治 38（1905）103 頁 菊倍 仮洋

註：後備歩兵第三十一聯隊略歴及人名簿（明治三十七八年戦役間）

征露紀念 後備歩兵第三十一聯隊 **GK396-16**

明治 38（1905）103 頁 菊倍 仮洋

遭難実記雪中の行軍 福良竹亭編 **GK396-14**

東京 大川錠吉・鈴木与八 明治 35（1902）94 頁

四六 仮洋

註：福良竹亭は報知新聞記者で事件後に特派され取材したもの

遭難始末 歩兵第五聯隊編 **GK396-2**

青森 編者 明治 35（1902）238 頁 菊 仮洋

遭難始末 歩兵第五聯隊 **GK396-9**

青森 編者 明治 35（1902）238 証 菊 仮洋

第五聯隊遭難始末 **GK396-1**

附：第三十一聯隊雪中行軍記 北辰日報編輯部編

弘前 近松書店 明治 35（1902）増補 8 朧 116 頁
四六 仮洋

第五聯隊遭難始末 **GK396-13**

附：第三十一聯隊雪中行軍記 北辰日報編輯部編

弘前 近松書店 明治 35（1902）増補 4 版 116 頁
四六 仮洋

第五聯隊遭難始末 **GK396-12**

附：第三十一聯隊雪中行軍記 北辰日報編輯部編

弘前 近松書店 明治 35（1902）136 頁 四六 仮洋

第八師団機動演習記事 **GK396-8**

附：工兵特別演習記 北辰日報社編

弘前 近松書店 明治 35（1902）〔74 頁〕 四六 仮洋

第八師団小機動演習 **GK396-6**

明治 33 年 斎藤武男編

明治 34（1901）〔104 頁〕 菊 仮洋

第八師団小機動演習 **GK396-7**

明治 35 年 土岐祥三編

明治 35（1902）66 頁 菊 仮洋

特別大演習に就て 参謀本部編 **GK396-25**

〔昭和 3〕 30 頁 四六 仮洋

註：昭和 3 年岩手県下で行われた第 2, 第 8 師団参加の特別大演習に際して参加師団管内に配ったもの

特別大演習陪観記念 大正 4 年 **GK396-4**

仙台陸軍地方幼年学校編

大正 5（1916）85 頁 四六 仮洋

註：青森弘前付近に於て行われた大演習

渡鮮紀念写真帳 **GK396-17**

明治 45 年 歩兵第五十二聯隊
弘前 野原写真館 明治 45 (1912) 1 冊 菊倍 仮洋

日露奉天会戦第八師団戦蹟記念碑建設趣意書 **GK396-27**

日露奉天会戦第八師団戦蹟記念碑建設委員会編
奉天 編者 昭和 15 65 頁 菊

改訂歩兵第五聯隊歴史 渡辺饌十郎 **GK396-5**

青森 竹内寅太郎 明治 30 (1897) 2 版 140 頁 四六
仮洋

満州事変忠勇美談 第八師団司令部編 **GK396-29**

弘前 編者〔昭和刊〕82 頁 菊

野戦砲兵八聯隊史概要 附黒溝台会戦概要 **GK396-24**

謄写 (大正 13 (1924) 頃) 1 冊 半紙 仮綴

大正 4 年陸軍特別大演習青森県記録 **GK396-20**

青森県編
青森 編者 大正 6 (1917) 662 頁 菊 洋

大正 4 年陸軍特別大演習青森県記録 **GK396-21**

青森県編
青森 編者 大正 6 (1917) 662 頁 菊 洋

大正 4 年陸軍特別大演習弘前市記録 **GK396-22**

弘前市役所編
弘前 編者 大正 6 (1917) 217 頁 菊 洋

大正 4 年陸軍特別大演習弘前市記録 **GK396-23**

弘前市役所編
弘前 編者 大正 6 (1917) 217 頁 菊 洋

昭和十一年十月陸軍特別大演習並に御親閲拝受記念写真帖

東奥日報社編 **GK396-30**
青森 編者 昭和 11 写真 72 頁 + 31 頁 18.7×26.0

聯隊歴史稿本 教育用 歩兵第五十二聯隊 **GK396-18**

大正元 (1912) 謄写 1 冊 菊 仮綴

K399 古代兵法

足輕十六備伝書 貴田惟邦 **GK399-20**

写 1 冊 半紙 和

足輕備目録 **GK399-33**

天保 7 (1836) 写 1 軸 卷子 小
註：山本勘助 山鹿高祐 貴田英八から成田豊松へ与えたもの

足輕備目録 **GK399-34**

天保 14 (1843) 写 1 通
註：山本勘介の伝 山鹿高祐潤色のもの 貴田十郎右衛門が沢升作へ伝授

〔陰陽奇正戦法并三十騎一備変隊業〕 **GK399-12**

(於宇和野両組頭衆)
安政 5 (1858) 写 1 冊 半紙 仮和

江差警備の図 **GK399-22**

写 (文化) 1 枚

御備組 **GK399-27**

写 1 冊 美濃 仮和

御備之動向 2 **GK399-36**

写 1 冊 半紙 和

規等伝・武備事源 貴田親豊 **GK399-8**

慶応 2 (1866) 写 (川越次泰) 1 冊 半紙 (川越旧蔵本)
内容：規等伝 国土分割之解 武備事源 国土分制伝

公義衆見分備之次第并戦略 (於御固所) **GK399-21**

文化 6 (1809) 写 1 冊 半紙 和

五行座備并押陣 **GK399-31**

天保 6 (1835) 写 1 通
註：牧野左次郎から棟方弥五郎兵衛へ与えたもの

五十騎備業次第 **GK399-18**

写 1 冊 半紙 和

五拾騎備略方 **GK399-17**

寛政 11 (1799) 写 (楠美藤徳 (則徳) 1 冊 美濃

采幣振方 **GK399-32**

天保 6 (1835) 写 1 通
註：牧野左次郎 (発暉) から棟方弥五兵衛へ与えたもの

三拾騎一備機動之巻 楠美藤徳 (則徳) **GK399-9**

寛政 12 (1800) 写 1 冊 半紙
内容：箱館固三拾騎機動之巻

三十騎一備陣営之図 **GK399-16**

写 1 枚

三十騎一備戦法 **GK399-15**

写 1 冊 半紙

三十騎一手変正戦法 **GK399-14**

写 1 冊 半紙
註：山鹿八郎左衛門 貴田十郎右衛門の署名がある

三十騎陰陽奇正戦法 安政5(1858)写 1冊 半紙 (川越旧蔵本)	GK399-11
三拾騎陰陽備法変隊戦略 八木橋平八 万延元(1860)写 1冊 半紙	GK399-13
三武功覚書 (山鹿流) 写 1冊 横小 和 内容: 者頭武功覚書 長柄奉行武功覚書 旗奉行武功覚書	GK399-24
小備指掌 卷1,2,4,5 山鹿素水 (高補) 写 2冊 美濃	GK399-25
全書家伝 礒谷久英本註 貴田親豊冠書 写 1冊 半紙	GK399-6
備之要論 貴田麗中子 写 1冊 半紙	GK399-26
誠極流軍配の巻 写 1冊 半紙 仮和	GK399-29
戦略 写 1冊 横長 註: 外国賊船に対する戦略	GK399-28
武鏡雑集并足輕十六備五十騎伝書 慶応2(1866)写 (川越次泰) 1冊 (合本) 半紙半 和	GK399-19
箱館固三拾騎備之巻 行軍 戦法 戦略 写 1冊 美濃	GK399-10
武教全書 山鹿素行著 礒谷久英註 貴田親豊頭書 写 1冊 横長 仮和	GK399-3

家伝武教全書 客戦 山鹿素行著 礒谷久英註 貴田親豊頭書 天保5(1834)写 1冊 半紙 和	GK399-5
武教全書礒谷十助弁 行軍営法 文化10(1813)写 1冊 半紙 註: 但貴田親豊頭書追テ可致事とある	GK399-4
武教大源奥儀相伝 貴田先生 写 1冊 半紙 和	GK399-7
兵法地形十四変 文久3(1863)写 1冊 横長 仮和 (川越旧蔵本)	GK399-23
者頭武功之巻 下 写 1冊 半紙 和	GK399-2
山本勘介晴幸兵法大星目録 享和3(1803)写 1軸 卷子 小 註: 貴田居敬 (邦貞) から桜庭太次馬へ与えたもの	GK399-30
利制之巻 笠井伝右衛門尉 (定男) 安政6(1859)写 1冊 半紙 和	GK399-35
令申秘録 弘化4(1847)写 1冊 美濃半 (横) 和	GK399-1

K 4 0 0 自然科学

K419 和漢算法	
盈朒之法 写 1冊 美濃半 和	GK419-9
覚 (算法) 享保17(1732)写 1冊 半紙	GK419-3
〔九章〕鉤股弦図解 写 1冊 半紙 仮和	GK419-8
九章商功門解術 5 写 1冊 半紙 和	GK419-7
九章門埽除術 竹内清承等 写 1冊 美濃 和 註: 寛政7年(1795) 竹内甚左衛門 (清承) 伊藤宇右衛門 (影正) 杉沢四郎五郎 (孝戸) の共編	GK419-16
九章門埽除術 竹内清承等 文政2(1819)写 1冊 美濃 和	GK419-17
九章門埽除術 竹内清承等 写 1冊 美濃 和	GK419-18
九章門埽除術 竹内清承等 写 1冊 半紙 和	GK419-20
九章門埽除術 竹内清承等 安政6(1859)写 2冊 半紙 和	GK419-21
九章門埽除術 〔竹内清承等〕 写 1冊 半紙 和	GK419-22

九章門掃除術 上〔竹内清承等〕 写 1冊 半紙 和	GK419-23	算法初学抄 巻1 明治3 (1870) 写 1冊 半紙	GK419-13	明治十四辛巳年略本曆 明治13 (1880) 写 1冊 半紙 仮和	GK449-1
九章門掃除術 上〔竹内清承等〕 写 1冊 半紙 和	GK419-24	算法初学抄 巻1,2 (算法加減乗除) 明治17 (1882) 写 1冊 半紙 仮和	GK419-14	K454 地形学 (地形図)	
九章門掃除術 上 写 1冊 半紙半	GK419-4	算法初学抄 首巻, 巻1,2 〔佐藤常蔵〕 (正行) 写 1冊 半紙 和	GK419-27	久渡寺地図 (二万五千分一地形図) 陸地測量部編 編者 大正4 (1915) 1枚	GK454-4
九章門附録 竹内清承等編 天保8 (1837) 写 1冊 半紙 註: 竹内清承 中日武軌 伊藤影正 杉沢孝戸の共編 寛政8年 (1796) の編纂	GK419-5	算法初学抄 首巻, 巻1 写 1冊 半紙 和	GK419-28	五万分一地形図 陸地測量部編 編者 3枚 内容: 七戸 (大正6 (1917) 八戸 (昭和2) 大館 (昭和2)	GK454-5
〔九章門附録〕 写 1冊 半紙 和	GK419-6	得失問答 乳井貢 文政13 (1830) 写 1冊 半紙 仮和	GK419-2	〔大正四年特別大演習地図〕 第1,2号 (五万分一) 陸地測量部 〔大正4〕 (1915) 2枚 註: 津軽地方地形図	GK454-2
九章門附録〔竹内清承等〕編 写 1冊 美濃 和 註: 寛政8年 (1796) 竹内清承 中田武軌 伊藤影正 杉沢孝戸の共編	GK419-25	度量分数〔乳井貢〕 文久元 (1861) 写 1冊 半紙 仮和 (川越旧蔵本)	GK419-1	弘前市 (二万分一地形図) 陸地測量部 歩兵第三十一聯隊 明治43,44 (1910,11) 1枚	GK454-1
九章門附録 文化15 (1818) 写 1冊 美濃 和	GK419-26	万割法書 安政5 (1858) 写 1冊 半紙半 和 註: 地方検見算その他数量計算	GK419-10	陸軍特別大演習地域詳図 (二十万分一) 大正4年10月 田中文洋堂編 東京 編者 大正4 (1915) 1枚 註: 大正4年10月於青森県下挙行	GK454-3
〔算法〕 写 1冊 半紙半 仮綴	GK419-15	K444 太陽		K470 植物学	
算法初学抄 巻3 佐藤常蔵 写 1冊 半紙	GK419-11	日食観測 青森測候所編 青森 編者 昭和11 16頁 菊	GK444-1	大憶弁 (外題: 萩桂之由来) 岩間滴 写 1冊 美濃 仮和 註: 大鰐にある名木萩桂の考証	GK470-1
〔算法初学抄〕巻1,2 写 1冊 半紙 和	GK419-12	K449 曆学 時法		K490 医学	
		〔閏月ニ就テ〕 〔明治44〕 (1911) 写 1冊 美濃 註: 弘前毎日新聞および陸奥日報の記事 福沢諭吉の改 曆弁 (太陽曆ト太陰曆トノ弁別) が合綴	GK449-2		

〔植疱瘡之儀〕 写 1冊 半紙 和 註：月行事から木村屋富太郎 岩見屋善左衛門への申付	GK490-11	麻疹養生記 写 1冊 半紙 仮和	GK490-7	写 1冊 半紙 仮和
漢薬処方 写 1冊 半紙 和	GK490-4	K492 臨床医学 治療法		大正三年弘前市伝染病流行記 弘前市役所 弘前警察署共編 弘前 弘前市役所 大正 4 (1915) 57 頁 菊 仮洋
四聖薬秘書 写 1冊 美濃半 (横) 仮和	GK490-3	県下拾弍ヶ所鉱泉之成績表 明治 24 (1891) 写 1冊 半紙 仮和 註：明治16年内務省東京試験所にて試験したものとあり分析成績と医治効用を記す	GK492-1	大正三年弘前市伝染病流行記 弘前市役所 弘前警察署共編 弘前 弘前市役所 大正 4 (1915) 57 頁 菊 仮洋
主方 写 1冊 半紙 和 註：灸方モアリ	GK490-5	K494 外科学		伝染病予防法 同施行規則 同施行細則 同施行手続 青森県衛生課編 青森 編者〔大正 12〕(1923) 74 頁 四六 仮洋
秘伝書 寺崎仲和 享保 17 (1732) 写 1冊 半紙 和 註：諸病の薬方	GK490-2	繻帯図 文久 3 (1863) 写 1冊 美濃 仮和	GK494-1	伝染病予防法 同施行規則 同施行細則 同施行手続 青森県衛生課編 青森 編者〔大正 12〕(1923) 74 頁 四六 仮洋
疱瘡養生記要用抜書 写 1冊 半紙 仮和	GK490-8	K495 産婦人科学		保健衛生調査報告 第 2 輯 青森県警察部衛生課編 青森 編者 大正 11 (1922) 149 頁 四六 仮洋
〔北部保養院〕統計年報 大正 11 年 北部保養院編 大正 12 (1923) 50 頁 四六倍 仮洋	GK490-9	産姿の心得 青森県警察部衛生課編 青森 編者 刊 24 頁 四六	GK495-1	養生覚悟問答 松井了琢 写 1冊 半紙 和
鳴海研究所報 第 1 巻第 2 号 鳴海研究所編 弘前 編者 昭和 8 26 頁 四六倍 仮洋	GK490-1	K498 衛生学		流行性感冒の予防要項 青森県編 青森 編者 大正 11 (1922) 11 頁 四六
鳴海研究所報 第 1 巻第 2 号 鳴海研究所編 弘前 編者 昭和 8 26 頁 四六倍 仮洋	GK490-10	青森県衛生法規 石田拙郎編 青森 編者 明治 36 (1903)〔671 頁〕四六 仮洋	GK498-3	K499 薬学
麻疹養生記 写 1冊 半紙 仮和 註：多善先生の麻疹法よりの抜書	GK490-6	青森県赤痢病流行記事 明治 33 年 青森県警察部衛生課編 青森 編者 明治 35 (1902) 139 頁 四六 仮洋	GK498-2	鳥犀門四半剂調合御用記 天保 14 (1843) 写 1冊 半紙 仮和 註：天保14年佐々木宗寿 広瀬玄琢が調合仰せ付けられる
		青森県トラホーム予防撲滅委員会概況及其の答申書 青森県編 青森 編者 昭和12 32頁 四六 仮洋 (青森県トラホーム予防撲滅資料第2輯)	GK498-8	
		会社病院規則 弘前会社病院	GK498-1	

鳥屋門調合御用記 GK499-2

文久2(1862)写 1冊 半紙 仮和
 註：文久2年矢野玄策 佐々木玄端が調合仰せ付けられる

消毒門製方売捌営業願 橘楽水 GK499-3

明治7(1874)写 1冊 半紙 仮和
 註：明治7年青森県権令に差出した願書

K500 工学

K516 鉄道工学

青森海陸連絡工事概要 附青森操車場 GK516-1

鉄道省仙台鉄道局編
 仙台 編者 大正14(1925)43頁 菊 洋

K517 河川工学

〔浅瀬石川〕追子野木村領御普請図式 GK517-10
 写 1枚

〔浅瀬石川〕追子野木村領瀬浚図書 GK517-11
 写 1枚

〔浅瀬石川〕猿賀堰口瀬浚之図書 GK517-13
 写 1枚

〔浅瀬石川筋普請図〕 GK517-9
 写 1枚

〔浅瀬石川十和田湖流水事業資金に関する願〕 GK517-8
 写(明治初)1冊 半紙 仮和

〔浅瀬石川〕長崎村領田方并小阿弥せき大口水門欠崩御普請図式 GK517-12
 写 1枚

岩木川改修請願書 岩木川改修期成同盟会 GK517-5
 五所川原 明治45(1912)1冊 菊 仮和
 附：岩木川流域図 岩木川改修参考書

岩木川改修調査書 岩木川改修期成同盟会 GK517-4
 明治44(1911)1冊 菊 仮洋

附：岩木川治水建議書 十三湖沿岸治水調査書

岩木川改修調査書 岩木川改修期成同盟会 GK517-6
 (長尾角左衛門)編

五所川原 編者 大正3(1914)1冊 菊 仮洋
 附：十三湖沿岸治水調査書 農業上より見たる岩木川改修 治水と山林

大川堤の図 上古川村下古川村大巻村港村 GK517-3
 写 1枚

川原田堰并小阿弥堰腕欠崩ニ付浅瀬石川普請之図式 GK517-14
 写 1枚

十三湖水戸口設計 GK517-2

ローエンホルスト・ムルデル
 明治21(1888)写 1冊 仮和 半紙
 註：青森県下十三湖外二ヶ所ニ関スル復命書ともあり
 鯨ヶ沢港及鯨港の修築方法の復令書の内より鯨港関係の
 分を省いたもの

十三水戸口切替一件 但図式一枚添 GK517-1
 明治3年
 明治3(1870)写 1冊 半紙 仮和

中津軽郡東目屋村岩木川水面使用図(千分1) GK517-7
 写 1枚

K518 港湾工学

青森港湾調査報文 矢継篤太郎 GK518-1
 青森県 明治41(1908)41頁 菊 洋
 註：青森県技師矢継篤太郎の報文

青森築港沿革誌 青森県 GK518-2

大正 4 (1915) 5 頁 三六					
K519 衛生工学 都市計画					
青森市水道略誌 青森市役所編 大正 2 (1913) 20 頁 四六倍 洋	GK519-1	川竜院新築工事設計書 (弘前) 謄写 1 冊 半紙	GK526-5	〔来御普請配表〕 嘉永元年 10 月 川元忠吉 写 1 冊 美濃 仮和 註：「来御普請配表 神宮寺御宮廻り并荒屋八幡宮見分帳」 〔来御普請配表 藤崎村より青森蟹田迄見分帳〕	GK526-2
五所川原町水道誌 五所川原町役場編 五所川原 編者 昭和 4 144 頁 菊 洋	GK519-2	大成尋常小学校建築仕様帳 建築所 明治 23 (1890) 写 1 冊 半紙 和	GK526-4	K527 住宅	
K520 建築学		平館御陣屋 写 1 枚 25×68	GK526-14	弘前本町金木屋又三郎宅之図 写 1 枚	GK527-1
青森県下名家と庭園画帖 工藤写真館編 板柳 編者 大正元 (1912) 1 冊 四六倍 仮洋	GK520-1	〔高山稲荷社建築見積書〕 工藤東兵衛 明治 20 (1887) 写 1 冊 半紙 仮和 註：「六尺三寸間老間社流作本社壱棟建築積書」とある 弘前上白銀町高山稲荷神社本社建築見積	GK526-3	K559 兵器 軍事工学 (築城)	
K525 建築設計 建築施工法		中尊寺金色堂とひば材 青森営林局編 青森 編者 昭和 9 18 頁 四六	GK526-12	青森御台場是迄ノ前土居エ裏土居并左右袖 土居之図 写 1 枚 28×40	GK559-67
大匠手鑑 卷之一 明治 14 年 2 月 明治 14 (1881) 1 冊 半紙 仮和	GK525-1	式之御丸未申御矢倉御手入手扣 川元忠吉 嘉永 5 (1852) 写 1 冊 12.5×34.2 (横) 和	GK526-10	青森御備筒之図 写 1 枚 17×23.6	GK559-45
K526 各種の建築		〔箱館千代ヶ台御陣屋取建之図〕 箱館地形方 安政 2 (1855) 写 1 袋 (35 枚) *写真 1 枚 (蝦夷地里数割)	GK526-15	青森御備ボックにて大筒釣上ル図 写 1 枚 24.4×34	GK559-46
〔大川端御屋舗図〕 写 1 舗 畳物	GK526-6	松前箱館御陣屋地形方留帳 安政 2 年 川元忠吉 安政 2 (1855) 写 1 冊 12.5×34.5 (横) 和	GK526-9	青森台場絵図 写 1 枚 24.5×34	GK559-44
二の御丸御広敷之図 写 1 枚	GK526-1	三厩御仮屋 写 1 枚 48×58	GK526-13	安盛流火業炮術 天保 15 (1844) 写 5 冊 半紙 和 註：千葉平弥 (正清) から成田滝弥へ与えたもの	GK559-60
御本城御郭廻御普請仕様積書 相馬五左衛門 奈良新三郎 明和 4 (1767) 1 冊 半紙 和	GK526-7	向御屋敷西表御長屋御修復仕様帳 川元忠吉 嘉永 5 (1852) 写 1 冊 半紙 和	GK526-8	井上外記流奥意秘書・西洋砲術奥意秘書 写 1 冊 横小 和	GK559-32
三之郭学校之図 (私邸当時) 〔明治 4 年〕 (1871) 写 1 舗 80×115 畳物 註：御一家御備	GK526-11			井上外記流鉄砲小筒免許書 宝暦 3 (1753) 写 1 枚	GK559-58

註：田村源之丞→長谷川茂兵衛		註：桜庭善左衛門等の造った大筒の規格覚		内容：調積集 巻之上中下 星当集 塩硝之製法 註：井上外記（正継）―井上源太夫（正信）―渡辺嘉兵衛尉（盛武）―山田十郎兵衛尉（久旧）―隈部伊織（広当）―三上孫右衛門尉（盛元）	
〔井上外記流鉄砲小筒免許状〕	GK559-7	御筒の図	GK559-42		
明和6（1769）写 1通		写 1枚			
註：長谷川茂兵衛（経利）が長谷川茂太夫へ与えたもの		御手入及積帳		GK559-4	
〔井上外記流砲術免許〕	天保11年	天保11（1840）写 1通			
〔井上外記流砲術免許〕	天保11年	天保11（1840）写 1通			
註：長谷川小四郎（利次）より成田助次郎へ		写（安政～文久）1冊 横小 仮和			
註：鉄砲等の修理製作等の見積などの覚帳 二唐松左衛門の覚か		御鉄砲値段積書帳 二唐松左衛門（重直）		GK559-43	
〔井上外記流砲術免許〕	安政5年	安政5（1858）写 1枚			
註：長谷川小四郎（利長）から角田元五郎へ		文政3（1820）写 1冊 横小 仮和			
註：寛政5年（1793）から明治2年（1869）に至る		御武具藏勤中万覚書 弘化2年		GK559-2	
〔井上外記流砲術免許状〕	嘉永7年	嘉永7（1854）写 1通			
註：長谷川小四郎（利長）が与えたもの		弘化2（1845）写 1冊 横小 仮和			
〔井上左太夫書簡〕	長谷川藏之進宛	写 1冊 半紙 仮和			
註：砲術伝書 書写の件		註：函館陣屋における大筒隊稽古の覚			
御預鉄製壹貫六百目玉御筒略図	GK559-66	〔海岸備用大筒之図〕	GK559-64		
写 1枚 34×46 一枚物		〔嘉永5〕（1852）写 1枚 24×34 一枚物			
註：武州川口にて鑄造のもの		〔口伝砲術記〕小倉伴右衛門（房高）		GK559-22	
御預鉄製三貫四百目玉御筒略図	GK559-65	安永5（1776）写 1冊 半紙 和			
写 1枚 34×50 一枚もの		註：口伝〇〇記（虫喰い）とあるも原題不明 井上左太夫（正岑）より竹森又吉への伝書			
〔大筒打前之覚〕	GK559-35	限部伊織殿縄張 享保19年8月22日	GK559-49		
写（嘉永）1冊 美濃半		享保19（1734）写 2枚			
註：嘉永2,3年（1849,50）宇和野桜林に於ての大筒試射の記録		外記流鉄砲書	GK559-61		
〔大筒覚書〕	GK559-41	写 1冊 半紙 和			
写 1冊 半紙半		口上の覚 長谷川茂太夫等		GK559-11	
		写 1枚			
		註：長谷川茂太夫 竹森又吉 会田宇門が鉄砲稽古のため鳥獣殺生御免についての願			
		〔公辺ニテ大砲御打様御場所の図〕		GK559-37	
		写 1枚 43×65			
		註：箱館地蔵町升形外際裏の打場所の図			
		御用帳 文化10年		GK559-1	
		文化10～天保8（1813～37）写 1冊 半紙 仮和			
		註：鉄砲二唐万助 万左衛門の御用留			
		御用留 安政3年 導場長扱		GK559-3	
		安政3（1856）写 1冊 半紙 仮和			
		註：砲術導場長の御用留			
		差上申証文の事 宝暦6年 楠美安五郎		GK559-33	
		宝暦6（1756）写 1枚			
		註：弘前藩士鉄砲改めに付いて差出した証文			
		自矩算法		GK559-56	
		写 1冊 美濃 和			
		註：井上左太夫（正清）より長谷川藏之進へ			
		師範免許（井上外記流砲術）天明7年		GK559-10	
		天明7（1787）写 1通			
		註：長谷川茂太夫（利嵩）より長谷川三之介への免許			
		銃学須知		GK559-19	

写 1軸 卷子 小
 註：井上左太夫（正清）が長谷川蔵之進へ与えたものの写

初学抄 **GK559-21**

写 1冊 横小 仮和
 註：井上左太夫（正清）長谷川蔵之進から栗原幸之助への伝授本

〔城郭図〕岩淵 **GK559-48**

元禄5（1692）写 1枚

城郭の図 **GK559-53**

写（安政頃）29枚

城郭の図 **GK559-55**

写 2枚

城取縄張相伝目録 **GK559-51**

寛政5（1793）写 1軸 卷子 小
 註：貴田孫太夫から桜庭太次馬へ与えたもの

誓約 弘化4年 **GK559-14**

弘化4（1847）写 1通
 註：砲術相伝に際して長谷川小四郎へ差し出したもの
 長尾彦四郎 阿部又九郎 斎藤喜美弥 三上才八 工藤
 亀五郎 伊藤雄吉 棟方勝之助 花田豊司 伊藤宇太郎
 館山幸七 手塚四方之助 相馬富弥 中畑亮之進 工藤
 末吉 疋田慶司

種ヶ島打方 **GK559-63**

写 1冊 美濃 和
 註：井上外記（正雄）—（略）—田村源之丞（直満）—
 長谷川茂兵衛（利経）

玉町の巻 **GK559-15**

嘉永元（1848）写 1冊 美濃半 和
 註：井上左太夫（正清）から長谷川小四郎へ与えた秘伝書

調積集 中 **GK559-6**

元文5（1740）写 1冊 美濃
 註：井上外記（正継）—井上源太夫（正信）—渡辺嘉兵
 衛（盛武）—山田十郎兵衛（甫勝）から須藤要人へ与え
 た鉄砲秘伝書

調積集伝儀 山田久旧等 **GK559-5**

元文4（1739）写 1冊 半紙 和

町積之書（実見球玉秘伝）渡辺文四郎 **GK559-30**

文化14（1817）写 1冊 半紙半 和
 註：渡辺文四郎より松野栄蔵への百目玉より1貫目玉ま
 での地薬込秘伝書

津軽藩砲術師範家競技 安政5年 **GK559-57**

文久2（1862）写 1冊 半紙 和
 註：忽烏微子児（ホウイッスル）砲三貫目師範家打様
 書并安盛流打方書ともある

筒薬方・口薬方・夏紅葉之法 **GK559-24**

文政9（1826）写 1束（2通）
 註：井上左太夫（正岑）—山田十郎兵衛（久旧）—竹
 森郷右衛門（足利）—竹森丹下（定金）—竹森郷右衛門
 （定久）—竹森又吉（定安）より三上屯五郎へ与えたもの

筒薬方・口薬方・夏紅葉の法（井上流免許） **GK559-25**

文政13（1830）写 1通
 註：井上左太夫（正岑）—山田十郎兵衛（久旧）—竹
 森丹下（定金）—竹森郷右衛門（定利）—竹森郷右衛門
 （定久）—竹森又吉（定安）から中村隼太へ

筒薬口伝書 竹森弥右衛門（定久） **GK559-23**

文化3（1806）写 1冊 半紙 仮和
 註：竹森郷右衛門から田村善次郎へ与えたもの

〔鉄砲小筒免許〕（井上外記流）天保11年 **GK559-12**

天保11（1840）写 1通
 註：野上修理（正澄）後藤百太郎（宅慶）佐々木四郎吉
 （長久）武田藤左衛門（貞剛）より長谷川小四郎へ

鉄砲誓約 明和7年 **GK559-8**

長谷川茂左衛門 長谷川茂兵衛
 明和7（1770）写 1通
 註：鉄砲秘伝の相伝を受けるための誓約 津軽外記宛

〔鉄砲誓約〕天明7年 **GK559-9**

天明7（1787）写 1通
 註：斎藤小左衛門（喜戸）小笠原其母（泰繁）後藤理右
 衛門（奇佑）鶴川藤次郎（盛久）が長谷川茂太夫へ出し
 た誓約

鉄砲筒薬并口薬 **GK559-62**

写 1冊 半紙 和

鉄砲要集・稽古要術 **GK559-31**

弘化2（1845）写 1軸 卷子 小
 註：佐々木滝五郎へ与えたもの

南蛮流秘伝拔書 篠崎東四郎（重勝） **GK559-29**

嘉永4（1851）写 1冊 横小 和

反求流秘要之巻・事理之巻 **GK559-26**

明和7（1770）写 1軸 卷子 小
 註：上田与右衛門（重次）—朝比奈所左衛門（有忠）
 —佐々木専右衛門（等則）—佐々木武右衛門（則貞）—
 佐々木所左衛門が与えたもの

反求流秘要之巻・事理之巻	GK559-27
文化5(1808)写 1軸 卷子 小	
註：上田与右衛門(重次)一朝比奈所左衛門(有忠)一佐々木専右衛門(等則)一佐々木武右衛門(則貞)一佐々木所左衛門(孝幸)一佐々木専右衛門(則茂)から角田繁次郎へ	
平山城 山本勘助流城築	GK559-54
菊池又一	
写 1役	
武器武具覚書	GK559-47
写(慶応)1冊 横小	
〔砲術覚帳〕	GK559-34
写 1冊 轍小 和	
註：嘉永2年より安政2年(1849～55)の間大筒試射記録及び大筒矢倉薬積	
砲術穿鑿登ニ付留帳	GK559-18
文政7年9月	
長谷川蔵之進(利嵩)	
文政7(1824)写 1冊 美濃半	
註：長谷川蔵之進が砲術研究江戸登のため暇願等	
砲術免状(南蛮目良流)	GK559-28
文化14年	
文化14(1817)写 1通	
註：横山平右衛門(武薫)から長谷川茂兵衛へ	
砲隊関係書付	GK559-40
写 1束(5通)	
〔砲隊訓練稽古方についての用状〕	GK559-39
写 1軸	
棒火箭・連調砲・乱火	GK559-59
写 1冊 美濃 和	

註：津田監物―(略)―目良竹右衛門―横山嘉右衛門―横山平右衛門―長谷川茂兵衛	
牧野篤恒先生土図	GK559-50
享保21年	
享保21(1736)写 1枚	
役鉄砲隊ニテ役長柄奉行兼被仰付候ニ付諸事留	GK559-38
文久2年3月改正	
川越茂兵衛	
文久2(1862)写 1冊 半紙半	
山本勘助流城築縄張武功秘伝	GK559-52
天保7(1836)写 1通	
註：牧野左次郎(発暉)から棟方弥五兵衛へ与えたもの	
K561 採鉱	
金鉱試掘地図(青森県陸奥国中津軽郡西目屋村濁沢)	
写 1枚	GK561-1
鉱山三ヶ所	GK561-2
川越石太郎	
明治24(1891)写 1枚 25×34 一枚物	
註：青森県中津軽郡相馬村地内銀山 秋田県岩館村地内銀山 青森県中津軽群裾野村金山の許可及試掘人等の負担人川越石太郎の届書	
K569 鉱業経済 経営(鉱業史)	
生野銀山坑夫賃金	GK569-9
明治7(1874)写 1枚 一枚物	
註：明治6年11月改及び7年12月改	
入良川銀山御仕込高之内御利益調帳	GK569-8
石郷岡祐左衛門	
天保9(1838)写 1冊 半紙	
註：大間越入良川銀山	

小国鉄山仕様積大略書上	GK569-7
工藤左吉郎 工藤直吉	
慶応4(1868)写 1冊 半紙 仮和	
註：慶応4年に鉄山懸合 工藤両氏の予算見積	
小国鉄山銅屋始末留書覚	GK569-6
工藤義右衛門	
寛政4(1792)写 1冊 横小 仮和	
〔尾太鉱山銅吹日記〕	GK569-1
延宝6年	
〔延宝6〕(1678)写 1冊 横小 仮和	
註：延宝5年に極印尾太の二字をきめている	
尾太銅鉛山仕様積	GK569-4
成田又蔵 成田与三郎	
安政2(1855)写 1冊 半紙 仮和	
註：尾太銅山入用見積	
尾太銅鉛山仕様積帳(尾太山手扣)	GK569-5
油布勝太郎 成田与三郎	
万延元(1860)写 1冊 半紙半	
尾太銅鉛山	GK569-2
写 1冊 半紙 和	
註：尾太銅山道法の事 山中小屋数 由来その他 かね山見様之事 金山山色之事 銀山やま色之事 銅山の山色之事 鉛山の山色之事 諸国かね山之事 素吹銅吹方之事 韃之事 等	
覚 太田茂左衛門 笹森次左衛門	GK569-3
元禄14(1701)写 1枚 29×30 一枚物	
註：天和4年より元禄5年まで(1684～92)尾太銀山にて諸色諸払勘定相済一札	
K575 燃料 発火物	

青森営林局管内木炭瓦斯発生機に関する協議会記事 1 座談会の分 青森営林局 昭和7 54頁 菊 仮和 註：昭和7年12月9,10日於大鰐営林署	GK575-1	玄米買入之部 写 1冊 横長 仮和 註：麴屋の帳面？	GK588-1	〔第五回奥羽聯合清酒醬油品評会〕受賞名簿 大正9 (1920) 102頁 小 仮洋	GK588-13
花火掛合秘方 文化14 (1817) 写 1冊 半紙半 和	GK575-2	麴製造諸器械調 梅津文四郎 明治22 (1889) 写 1枚 美濃	GK588-7	杜氏従業者心得 青森県酒造組合弘南支部編 〔大正刊〕6頁 菊	GK588-14
K583 木工業 木製品		酒桶甕類容量調査簿 梅津文四郎 明治22 (1889) 写 1冊 美濃 和	GK588-6	富名醸造株式会社創立趣意書 福島藤助等 大正6 (1917) 21頁 美濃半	GK588-11
桶師惣代事務上之儀ニ付伺 宮本音吉 明治17 (1884) 写 1冊 半紙 仮和 附：弘前桶屋直段書	GK583-1	酒方勘定下書 辰11日より巳8月 岩見帳場 写 1冊 横長	GK588-5	引続酒造営業免許願 (弘前市袋町配造場) 梅津文四郎 明治23 (1860) 写 1冊	GK588-9
K586 繊維工業		酒麴検査簿 大沢久七 明治23,24 (1890,91) 写 1枚 美濃	GK588-10	K589 その他の雑工業	
津軽織物株式会社営業報告書 第1期 大正8年3月～9月 津軽織物株式会社編 弘前 編者 大正8 (1919) 10頁 四六 仮洋	GK586-1	〔酒造之儀触書〕午7月 写 1枚 註：元禄15年か	GK588-2	製煙草株式会社定款并目論見書 岩川三雄 明治31 (1898) 写 1冊 美濃 註：青森市安方町に設立 発起人岩川三雄	GK589-2
K587 織物工業 (染織一般)		酒類醸造方法書 弘前市袋町酒造場 写 (明治) 1枚	GK588-4	提灯直段表 明治30年旧5月 明治30 (1897) 写 1冊 半紙 仮和	GK589-1
店染直段 写 1冊 横小 仮和	GK587-2	酒類醸造方法書 (弘前市袋町酒造場) 梅津文四郎 明治23 (1890) 写 1冊 半紙	GK588-8	K590 家事 (家政学)	
木綿古物類 写 1冊 半紙 仮和 註：織物染色の名称を列記す	GK587-1	趣意書 三上森之助 大正7 (1918) 頃 9頁 菊 仮洋 註：酒造業に関する意見書	GK588-12	生活改善と家政経済 工藤直己 稲垣村 (西津軽郡) 大正12 (1923) 230頁 四六	GK590-1
K588 食品工業		人造米製造株式会社創立趣意書 大正9 (1920) 14頁 美濃半 仮和 註：発起人福井要三 福島藤助 鳴海徹周	GK588-15	K596 食物 料理	
午年造酒帳 自明治2年10月至同3年9月 印証方 明治2 (1869) 写 1冊 半紙 和 附：公義御鑑札表酒造米高井人別	GK588-3	栄養と食糧経済 (抄録) 内務省衛生局編 青森 青森県 大正刊 24頁 四六	GK596-6	御料理献立書 床飾付 平安堂 写 1冊 横長 仮和	GK596-1

註：寛政6年～文化2年（1794～1805）の間 津軽藩主御成来客の節の献立

〔献立書〕 GK596-2
写 1冊 横長

代用食並に混食品の調理法 青森県内務部編 GK596-3
青森 編者 大正9（1920）29頁 四六

経済徳用馬鈴薯調理法 附録玉子料理 外1,2
高橋一孝述 GK596-5
青森 東奥印刷所 明治40（1907）〔134頁〕四六

経済徳用馬鈴薯調理法 高橋一孝 GK596-5 イ
青森 東奥印刷所 明治40（1907）〔134頁〕四六

〔弘前司厨士倶楽部〕会誌 第2号, 新年号 GK596-4
弘前司厨士倶楽部編
弘前 編者 昭和5,8 2冊 菊 仮洋
註：第2号（昭和5）の編者は弘前司厨士同志会 発行は弘前司厨士同志会仮事務所

K599 育児 玩具

雛鶴日記 〔山中嵯峨之助〕 GK599-1
明治39～大正6（1906～17）写 1冊 半紙 仮和
註：著者の娘山中愛子の誕生の日より大正6年末までの身心の成長を記録したもの 山中嵯峨之助（1867～1924）

K600 産業

K602 産業史 事情 物産

青森県の物産 青森県編 GK602-1
青森 編者 大正8（1919）64頁 三六 仮洋

〔旧弘前県卒族産業資金関係書類控〕 GK602-4
川越石太郎
明治13～22（1880～89）写 1冊 半紙 和
註：旧弘前県旧卒事業担当人川越石太郎の控綴その他

産業調査誌 第1輯 青森県立商業学校編 GK602-3
青森 編者 昭和11 287頁 菊 仮洋

東北の物産 仙台鉄道局運輸課編 GK602-2
仙台 編者 昭和9 58頁 菊 仮洋

K603 辞書 書目 便覧

青森県農工商人名録 小野房治編 GK603-1
八戸 青森県農工商人名録発行所 明治35（1902）274頁 四六 洋

南津軽郡経済要覧 津軽実業新報社編 GK603-2
黒石 編者 昭和10 204頁 四六 仮洋

K605 逐次刊行書 雑誌

青森県勸業要報 青森県内務部編 GK605-2
青森 編者 明治25～30（1892～97）5冊 四六 仮洋
内容：第32号（明治25）明治28年2月号外（明治28）第39,45,47～49号合綴（明治27～30）第50号,第51号（明治30）
註：合綴本に青森県農会報告第6号（明治29）をも合綴

しあり

青森県勸業要報 青森県内務部編 GK605-3
青森 編者 明治25～30（1892～97）3冊 四六 仮洋
内容：第32号（明治25）第45号（明治28）第49号（明治30）

青森県産業統計表 青森県編 GK605-5
〔明治22〕（1891）103頁 菊

青森県産業要覧 青森県編 GK605-6
青森 編者 大正5～昭和2（1916～27）3冊 仮洋
内容：大正5年版 大正13年版 昭和2年版

青森県農商工統計表 明治20年 青森県編 GK605-4
青森 編者 明治21（1888）90頁 四六倍 仮洋

勸業報告 第3,4号 青森県勸業課編 GK605-1
青森 編者 明治15,16（1882,83）2冊 四六 仮洋

産業雑誌 第1号 武田友七編 GK605-8
弘前 産業雑誌社 明治21（1888）34頁 四六

実業 第6,7号 共進社編 GK605-9
青森 編者 明治38,39（1905,06）2冊 四六倍 仮洋

商工統計一斑 大正7年 弘前商業会議所編 GK605-7
弘前 弘前観桜会 大正7（1918）1枚

東奥之魁 東奥之紹介社編 GK605-10
青森 編者 大正7～昭和12（1918～37）17冊（48冊合本）四六倍
内容：第1巻第3号（大正7）第4巻第1,3,5,10号（大正10）第5巻第1,2号（大正11）第6巻第1,7号（大正12）第7巻第7,8,11号（大正13）第8巻第1,3,5号（大正

14) 第9巻第4号 (大正15) 第10巻第6,7,10,11号 (昭和2) 第11巻第2,4,7~9,11,12号 (昭和3) 第12巻第1,2,5,7,8,10,11号 (昭和4) 第13巻第1,3~7号 (昭和5) 第14巻第1,2,11号 (昭和6) 第15巻第3号 (昭和7) 第16巻第5号 (昭和8) 第17巻第10号 (昭和9) 第19巻第3号 (昭和11) 第20巻第11号 (昭和12)

東北日本 東北社編 GK605-11

東京 編者 大正9~昭和8 (1920~33) 24冊 菊 仮洋
内容：第4巻第8号 (大正9) 第5巻第1~12号 (第10号欠) (大正9,10) 第5巻第2,3号 (大正9,10) 第5巻第4~6,8号 (大正10) 第6巻第1~3号 (昭和10,11) 第8巻第4号 (大正13) 第9巻第6号 (大正14) 東北名産品陳列会号 (昭和8)

K606 学会 協会 会議 (共進会)

青森県各都市物産品評会報告 GK606-13

青森県内務部編
青森 編者 明治43 (1910) 127頁 菊 仮洋

青森県各郡物産品評会報告 明治43年 GK606-15

青森県内務部編
明治44 (1911) 132頁 菊 仮洋

青森県主催第五回陸羽区実業大会報告書 GK606-1

明治32 64頁 菊 仮洋

青森県西部聯合物産品評会視察復命書 GK606-16

福士三代市
明治44 (1911) 写 1冊 半紙 和

青森県内物産品評会報告 青森県内務部編 GK606-17

青森 編者 明治45,大正2 (1912,13) 2冊 菊

奥羽五県聯合共進会出品審査報告抄録 GK606-11

第5回 農産 第五回奥羽五県聯合共進会編
明治39 (1906) 66頁 菊

奥羽五県聯合共進会出品審査報告抄録 GK606-12

第5回 農産 第五回奥羽五県聯合共進会編
明治39 (1906) 66頁 菊

奥羽聯合共進会案内 (山形県主催) GK606-19

奥羽聯合共進会山形県協賛会編
山形 編者 大正5 (1916) 1冊 四六 豊物

奥羽聯合共進会事務報告 (山形県主催) GK606-20

山形県編
山形 編者 大正7 (1918) 703頁 菊 作

奥羽六県共進会誌 (青森県実業会) GK606-8

小島二三郎編
青森 青森永盛舎 明治32 (1899) [318頁] 四六 仮洋
附：本県名勝誌

群馬県主催一府十四県聯合共進会青森県出品案内 GK606-14

明治43 (1910) 1冊 四六 仮洋

親友社規約書 附社員人名録 親友社 GK606-7

明治29 (1896) 1冊 美濃 和

第五回陸羽区実業大会報告書 (青森県主催) GK606-10

第五回陸羽区実業大会事務所編
青森 編者 明治33 (1900) [213頁] 菊 仮和

津軽産業会沿革 成田果 GK606-3

弘前 津軽産業会 明治32 (1899) 31頁 菊

津軽産業会報 第1~4号 GK606-5

津軽産業会 (成田果) 編
弘前 編者 明治35~40 (1902~07) 4冊 菊 仮洋

津軽産業会報 第1,2号 GK606-6

津軽産業会 (成田果) 編
弘前 編者 明治35 (1902) 2冊 菊 仮洋
註：年2回の機関誌

津軽産業会規則 GK606-2

弘前 明治25 (1892) 1冊 四六 仮洋

津軽産業会定款 附役員及会員名簿 GK606-4

弘前 明治33 (1900) 1冊 菊 仮洋

東京大正博覧会青森県出品事務報告 GK606-18

青森県内務部編
青森 編者 大正4 (1915) 106頁 四六 仮洋

東北六県物産宣伝大会報 (於東京三越) GK606-22

12頁 菊 仮洋

平和記念東京博覧会東北北海道受賞人名録 GK606-21

浅野源吉編
東京 東北社 大正11 (1922) 100頁 菊 仮洋
(「東北日本」増刊)

K607 研究及び指導法

〔青森県〕勸業案内 青森県内務部勸業課編 GK607-2

青森 編者 大正15 (1926) 108頁 四六 仮洋
註：産業機関としての諸試験場諸施設等の解説

産業視察報告 第1輯 普通農事・蚕糸業 GK607-1

青森県内務部編

青森 編者 明治 41 (1908) 124 頁 菊 仮洋

産業視察報告 第 1 輯 普通農事・蚕糸業 GK607-1 ｲ
 青森県内務部編
 青森 編者 明治 41 (1908) 124 頁 菊

産業模範施設調 青森県内務部勸業課編 GK607-3
 青森編者 大正 15 (1926) 57 頁 四六

K610 農業

青森県農会経費決算・会務報告書 GK610-6
 大正 15 年昭和元年度 青森県農会編
 昭和 2 19 頁 菊

青森県農会経費収支予算書 昭和 12 年度 GK610-7
 青森県農会編
 青森 編者 昭和 12 22 頁 菊 仮洋
 附：経費分賦収入方法及事業方法

青森県農会報 青森県農会編 GK610-25
 青森 編者 明治37～昭和14 (1904～39)
 8冊 (66冊合本) 菊
 内容：第4,12,15,16,18号 (明治37～44)
 第23,28,48,55, 60,62,63,65,83,89号 (大正元～8)
 第128～137号 (大正13) 第138,140～145号
 (大正14) 第147～149号 (大正14) 第150～155,
 166,174号 (大正14～昭和2) 第182,185,193,
 196,199,222,224,230,231号 (昭和3～7) 第261,
 278, 289,292号 (昭和10～12) 第298,300,301,
 303,304,306, 314～316,318号 (昭和13,14)

青森県農会報 青森県農会編 GK610-25 ｲ
 青森 編者 大正5～昭和14 (1916～39) 2冊 (15冊
 合本) 菊

内容：第48,63,131,132,134～136号 (大正5～13) 第
 140,141,144,145,149,151,155,3H号 (大正14～昭和
 14)

青森県農会報告 第 2,3,6 号 青森県農会編 GK610-24
 青森 編者 明治 27,29 (1894,96) 1 冊 (合本) 菊

青森県農産改良増殖実行委員会録事 第 1 回 GK610-22
 〔明治41〕 (1908) 〔145頁〕 菊 仮洋
 (青森県農事要報第7号)

青森県農産改良増殖実行委員会録事 第 1 回 GK610-2
 青森県編
 明治41 (1908) 〔145頁〕 菊 仮洋
 (青森県農事要報第7号)

青森県農事講習所ニ関スル規程 GK610-31
 〔明治 35〕 (1902) 24 頁 四六

青森県地主懇談会記事 青森県内務部編 GK610-3
 〔明治41〕 (1908) 〔179頁〕 四六 仮洋
 (青森県農事要報第9号)

青森県米大豆麻繭生糸共進会報告 明治 17 年 GK610-1
 青森県勸業課編
 明治 17 (1884) 84 頁 四六 仮洋

〔青森県立農事試験場〕業務功程報告 GK610-28
 明治45・大正元年度 大正4年度
 青森県立農事試験場編
 大正 2,5 (1913,16) 2 冊 菊 仮洋

〔青森県立農事試験場〕業務報告 GK610-15
 大正 9 年度 青森県立農事試験場編
 黒石 編者 大正 10 (1921) 102 頁 菊 仮洋

青森県立農事試験場特別報告 第 2 号 GK610-14
 青森県立農事試験場編
 明治 41 (1908) 19 頁 菊 厄年
 内容：稲作改良要項 (工藤直己)

案山子物語 (津軽農書) GK610-20
 写 1 冊 半紙 和

北津軽郡農会報 第 2,4,5,8 号 GK610-8
 北津軽郡農会編
 五所川原 編者 明治 37 ～ 43 (1904 ～ 10) 4 冊
 菊 仮洋

北津軽郡農会報 第 5 号 北津軽郡農会編 GK610-8 ｲ
 五所川原 編者 明治 39 (1906) 58 頁 菊

通俗農業叢談 高橋不二夫編 GK610-33
 稲垣村 (西津軽郡) 編者 明治 36 (1903)
 〔269 頁〕 菊

中津軽郡清水村農事調査 青森県農会編 GK610-5
 青森 編者 明治 43 (1910) 73 頁 菊 仮洋

〔中津軽郡農会〕事業報告 大正 11 年度 GK610-10
 中津軽郡農会編
 大正 13 (1924) 44 頁 菊 仮洋

中津軽郡農会報 第 2,3,5 ～ 7,12 号 GK610-9
 中津軽郡農会編
 明治 44 ～大正 10 (1911 ～ 21) 6 冊 菊 仮洋

農山漁村銃後産業対策指針—補訂— GK610-19
 青森県経済部編
 青森 編者 昭和 14 27 頁 菊 (経済更生資料第 16 輯)

簡易農事講義 (訂正) 青森県農会編 **GK610-27**
青森 編者 大正元 (1912) 148 頁 菊 仮洋

簡易農事講義 青森県農会編 **GK610-26**
青森 編者 明治 44 (1911) 144 頁 菊 仮洋

農事試験場成績 第 5 号 (明治 38 年度) **GK610-11 イ**
青森県中津軽郡農事試験場編
駒越村 (中津軽郡) 編者 明治 39 (1906) 28 頁
四六 倍

農事試験成績 第 1 報, 第 2, 5 号 **GK610-11**
中津軽郡農事試験場編
明治 34 ~ 39 (1901 ~ 06) 3 冊 菊 仮洋

農事試験成績 第 17 号—水稻品種特性調査— **GK610-29**
青森県立農事試験場編
青森 編者 大正 5 (1916) 1 冊 菊 仮洋
註: 水稻耕種梗概 試験田土壌

農事試験成績報告 第 2 報, 第 4, 5 号 **GK610-13**
青森県農事試験場編
青森 編者 明治 36 ~ 38 (1903 ~ 05) 3 冊 菊 仮洋

農事試験成績要報 第 1 号 (明治 34 年夏作) **GK610-12**
青森県農事試験場編
新城 (東津軽郡) 編者 明治 35 (1902) 1 冊
四六 仮洋

農事視察報告 明治 43 年度 青森県内務部編 **GK610-4**
明治 44 (1911) 118 頁 菊 仮洋
註: 静岡埼玉群馬山形の各県視察報告

農事視察報告 明治 43 年度 **GK610-23**

青森県内務部編
明治 44 (1911) 118 頁 菊 仮洋
註: 静岡埼玉群馬山形愛知北海道福岡大阪滋賀の各道府
県視察報告

農事奨励員名簿 青森県 **GK610-18**
昭和 12 [93 頁] 菊 仮洋
附: 市町村農会技術員名簿

〔農政覚書〕〔北原高雅〕 **GK610-21**
写 1 冊 半紙半 仮綴
註: 「明治 15 年 ~ 21 年 (1882 ~ 88) 頃の農業その他の
覚書

農友 青森県農事試験場内農友会編 **GK610-32**
黒石 編者 大正 4 ~ 6 (1915 ~ 17) 1 冊 菊
註: 第 1 巻第 1, 3, 4 号第 2 巻第 4, 5, 6 号第 3 巻第 1, 2 号

百姓教訓物語 **GK610-30**
享保 16 (1731) 写 1 冊 半紙 和

北国之農民 農政社編 **GK610-16**
弘前 編者 大正 6, 7 (1917, 18) 7 冊 菊 仮洋
内容: 第 1 巻創刊号第 3 ~ 6 号, 第 2 巻第 1, 2, 5 号

北国之農民 第 2 巻第 1, 5 号 農政社編 **GK610-17**
弘前 編者 大正 7 (1918) 2 冊 菊 仮洋

K611 農業経済

東津軽郡農業経営指導指針 石村徳太郎編 **GK611-1**
青森 東津軽郡農会 昭和 11 428 頁 菊 渡洋

K611.2 土地制度 小作問題

赤石組支配出来島村田方生荒調絵図寄附帳 **GK611.2-130**
明治 4 年 4 月 浜山喜太郎
明治 4 (1871) 写 1 冊 横長 和
註: 庄屋浜山喜太郎

新町支配田畑取調帳 明治 3 年 **GK611.2-14**
明治 3 (1870) 写 1 冊 半紙 仮和
註: 庄屋今泉万右衛門の取調報書の控

〔家屋敷証文〕 正徳 6 年 **GK611.2-106**
正徳 6 (1716) 写 1 通 一枚物

家屋舗証文之事 天保 2 年 **GK611.2-120**
天保 2 (1831) 写 1 枚

田舎庄後潟組石崎村田畑人別毛切帳 **GK611.2-70**
庄屋久次郎
寛政 5 (1793) 写 1 冊 半紙 仮和

浦町組御検見中日史 天保 10 年 **GK611.2-31**
長崎忠兵衛 (盛茂)
天保 10 (1839) 写 1 冊 半紙
註: 長崎忠兵衛の検見の際の留書

〔浦町組横内組田畑調〕 **GK611.2-99**
写 1 冊 横小
註: 村別の田畑反別及び高

永代相譲申畑方の事 **GK611.2-122**
弘化 4 (1847) 写 1 枚

永代相渡申畑の事 **GK611.2-112**
開和 4 (1767) 写 1 通

永代売渡証文 岩谷村 **GK611.2-124**

万延元 (1860) 写 1 冊 半紙 仮和		註：苗代引之法 御検見算用之事 屋舗四壁之引法 法 立之表 村位之次第 御検見算之事 田方物成之事 検 見之次第 其他		金本組嘉瀬村田畑高反別帳 宝暦 8 年 8 月 GK611.2-68 宝暦 8 (1758) 写 1 冊 半紙 註：作人彦次郎田畑
永代売渡申屋舗証文の事 GK611.2-116 享和元 (1801) 1 通		尾崎組町居村勘介田方高反別帳 GK611.2-65 宝暦 8 年 8 月 宝暦 8 (1758) 写 1 冊 半紙 仮和		川々堰口并反別大都調 文政 7 年調 GK611.2-95 写 1 冊 半紙半 註：岩木川浅瀬石川平川赤石川荒川の堰日及水下反別調
〔永代田畑売渡証文〕 GK611.2-110 写 (延享～弘化) 9 通		覚 GK611.2-4 貞享 2 (1685) 写 1 枚 32×36 一枚物 註：安田九郎兵衛の田数書上		願書控 享和元年 11 月 GK611.2-94 享和元 (1801) 写 1 冊 半紙 仮和 註：南部藩田名部野辺地代官所関係
永代譲渡田方証文之事 GK611.2-121 天保 11 (1840) 写 1 枚		覚 GK611.2-84 写 1 冊 横長 仮和 註：作人の田畑反別分米の覚		官有原野予約払下願 西谷彪逸 GK611.2-138 明治 26 (1893) 写 1 冊 半紙
永代譲渡田方証文の事 GK611.2-123 嘉永 3 (1850) 2 枚		覚 GK611.2-90 谷口永太郎 写 1 冊 半紙 和 註：均田を説いた意見書		木作新田千代田村遠山里村開発田畑調帳 GK611.2-98 享和年中より天保 15 年まで 弘化 4 (1847) 写 1 冊 半紙 註：弘化 4 年に役所調帳により写したもの
〔御預地之儀に付願〕下書 明治 7 年 GK611.2-134 松本宗周等 明治 7 (1874) 写 1 冊 半紙 註：直那板林大川添の預地払下げの願書		覚 明和 9 年 GK611.2-92 明和 9 (1772) 写 1 冊 横長 註：鼻和庄植田村地内溜池下空地開墾の願書及び申付け覚		杭戸堰人馬明俵記 小島友三郎 GK611.2-135 明治 6 (1873) 写 1 冊 半紙半
大鰐組宿川原村御本帳 文政 3 年 10 月 GK611.2-71 文政 3 (1820) 写 1 冊 半紙 仮和 註：田畑収納取箇元帳		〔覚書〕 寛文 8 年 3 月 GK611.2-86 寛文 8 (1668) 写 1 枚 註：開墾心得方についての触書き		杭戸堰通用留帳 明治 7 年旧 3 月 GK611.2-136 小島友三郎 明治 7 (1874) 写 1 冊 半紙半
大鰐組森山村御蔵田方当御検見願案内野帳 GK611.2-75 安政 6 年 8 月 安政 6 (1859) 写 1 冊 横長 仮和 註：森山村庄屋長助		御役所田方勘定帳 弘化 3 年～嘉永 3 年 GK611.2-97 弘化 3～嘉永 3 (1846～50) 写 1 冊 半紙 和		赤田組胡桃館村海道橋書上ケ帳 GK611.2-91 宝暦 7 (1757) 写 1 冊 半紙 合綴：胡桃館村自分樋自分橋相改書上ケ帳 (宝暦8) 同 村給地樋
御買上并自分持抱共預田方実数取調書上帳 GK611.2-129 明治 3 年 勘次郎 明治 3 (1870) 写 1 冊 半紙 註：本町村百姓勘次郎		〔開発堰の図〕 GK611.2-101 写 1 舗 註：嘉永5年から安政3年間 (1852～56) 開発木筒村よ りの新堰図		毛見法 GK611.2-42 明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙 仮和
御国調法記 GK611.2-28 文政 8 (1825) 写 1 冊 半紙 和				

検地政 乳井貢 **GK611.2-87**

写 (棟方実勝) 1冊 半紙 和
附：税法談解 (工藤清助)

検地成方集 **GK611.2-37**

安政2 (1855) 写 1冊 半紙 和
註：検地成方集 検地心得之秘伝書 検地伝習録 斗代問答 検地秘術集 老蟻集 等の諸書の写本

検地秘伝書 **GK611.2-49**

写 1冊 半紙 和
註：「御当国検地秘伝書并附類」ともあり 秋田藩の検地秘法である

検見心得大概 **GK611.2-41**

慶応2 (1866) 写 1冊 半紙

検見算 **GK611.2-47**

写 1冊 半紙半 仮和
註：検見算之事 検見之次第之事 等

毛見算法 **GK611.2-25**

文化12 (1815) 写 1冊 半紙半 和

検見録 **GK611.2-46**

写 1冊 半紙半 仮和
註：検見初心手引

県令心鑑 **GK611.2-20**

写 1冊 半紙半 和
註：宝暦4,5年 (1754,55) 郡奉行代官等からの達しの覚書

御検見一方覚書 **GK611.2-32**

天保14 (1843) 写 1冊 美濃半 和

御検見方一件 石岡兵司 **GK611.2-35**

写 1冊 半紙 仮和
註：天保頃のもの

御検見御条目の写 文化14年 **GK611.2-26**

文化14 (1817) 写 1冊 半紙 和

御検見覚帳 **GK611.2-38**

安政6 (1859) 写 1冊 半紙半 和
註：検見の諸定諸心得

御検見仕様定法 **GK611.2-48**

写 1冊 横小 和

御検地手帳 斎藤安正 **GK611.2-45**

写 1冊 半紙半 仮和

小作慣行調査 青森県 **GK611.2-139**

大正11 (1922) 83頁 菊 仮洋

小島堰一件 明治8年4月 **GK611.2-137**

明治8 (1875) 写 1冊 半紙 仮和

五本松村萱仕立之図 **GK611.2-100**

文政12 (1829) 写 1枚

駒越組老町田村寺社田方高反別帳 **GK611.2-72**

文政5年 庄屋惣右衛門
文政5 (1822) 写 1冊 半紙 仮和

駒越組深山村壺丁田村式本木村御蔵田畑当仕付目録帳

万延2年5月 一町田村庄屋惣右衛門 **GK611.2-77**
万延2 (1861) 写 1冊 半紙 仮和

駒越組深山村彦右衛門抱田畑高反別帳 **GK611.2-64**

宝暦8年7月
宝暦8 (1758) 写 1冊 美濃 仮和
註：鼻和庄上村

駒越組深山村畑方諸品控帳 **GK611.2-73**

一町田村庄屋惣右衛門
文政8 (1825) 写 1冊 半紙 仮和
註：安永4年及び文化7年 (1775,1810) の畑田成諸品

駒越組式本木村田畑新開調帳 **GK611.2-78**

明治3年10月 庄屋惣右衛門
明治3 (1870) 写 1冊 半紙 仮和
註：元禄3年より文政8年まで (1690～1825) の調

在方御代官心得留帳 **GK611.2-39**

玄久2 (1862) 写 1冊 横小 和

雑記 **GK611.2-18**

写 1冊 横小 仮和
註：田畑小役米 天和御検地之節御竿奉行勤方 杣取之覚 在之火事之節注進之格 熊取候注進之格 漆方御用春廻ノ格 其他

雑書上綴 外 **GK611.2-83**

写 1冊 半紙 仮和
内容：第三大区四小区村市村川筋丁間〔調〕三浦定衛 (明治7年) 社地調書上帳 藤川村市居森平 (明治7年) 記 (漆仕方のこと) 駒越組藤川村市居森平三ヶ村産神 境内間数書上帳 (明治4年) 工藤長之助 鹿島神社 境内 貞享以来田畑新開調帳 (明治7年) 三浦定衛

〔三千石堰之図〕 (寛政年中迄) **GK611.2-143**

写 1枚

〔三千石堰之図〕(享和年中より) 写 1 枚 GK611.2-144	慶応3 (1867) 写 1 冊 半紙半 仮和 註：賄料 人馬賃銭 船釘直段定 釘直段定 引賃法之事 御家中家建坪御定 地方心得 耕作手順 其他	〔田方売渡証文〕寛政6 年 寛政6 (1794) 写 1 枚 註：永代ニ相渡シ申田方之事 GK611.2-115
三千石村分水定盤据方決議書 明治16 年4 月 明治16 (1883) 写 1 冊 半紙 仮和 GK611.2-50	地方集覧 一抱斎一略 嘉永6 (1853) 写 1 冊 半紙 仮和 GK611.2-36	〔田方証文年賦証文〕文政12,13 年 文政12,13 (1829,30) 写 2 枚 一枚物 GK611.2-118
算法智恵車 文政7 (1824) 写 1 冊 半紙半 和 註：検地算のこと 諸品御検地御条目など GK611.2-27	地方秘書 写 1 冊 半紙 和 (佐野旧蔵書) 内容：検地之篇 貢献篇 毛見之篇 耕田篇 御検見之中伝書 GK611.2-21	田方証文之事 (割府地元証文) 明和9 年 明和9 (1772) 写 1 帖 卷子 中 GK611.2-9
算法留帳 元治元 (1864) 写 1 冊 半紙半 仮和 註：検地検見等地方算法 GK611.2-40	地方秘書 安永2 (1773) 写 1 冊 半紙 和 (佐野旧蔵書) 内容：御系譜之略 年数考 地方口決集 GK611.2-22	田方高反別御取ケ帳 宝暦8 年8 月 宝暦8 (1758) 写 1 冊 半紙 註：猿賀村手代松田甚兵衛 GK611.2-66
地方あつめ草 文久2 (1862) 写 1 冊 半紙 仮和 註：田畑反別人役之事 御定積之事 五口小役米并高懸銀卯時銭之事 百性所得之事 畑方反別之事 其他土見様 耕作時節 堰口調 等 GK611.2-12	地方売渡証文之事 明治17 年 明治17 (1884) 写 1 枚 27×38 一枚物 GK611.2-16	田方高反別御取ケ帳 明和3 年7 月 明和3 (1766) 写 1 冊 半紙 和 註：高木村庄屋次郎右衛門 GK611.2-69
〔地方覚〕佐藤要吉編 明治8 (1875) 写 1 冊 横小 和 註：検地算のこと 畝引検見のこと 万延元年弘前藩収納調 文久3年諸蔵御蔵御収納米 その他編者の履歴書等 GK611.2-15	〔所持田畑詮儀書上〕 太郎兵衛 写 (明治初) 1 冊 半紙 仮和 註：高杉組榑木村太郎兵衛の書上 GK611.2-81	田方反別人役之事 其他 写 1 冊 半紙 註：田方反別人役之事 同広行之本 御収納之事 百性所得之事 畑方反別之事 同御収納之事 等 GK611.2-43
地方口決集 写 1 冊 半紙 仮和 註：天和貞享頃の検地検見心得書 GK611.2-17	制地考 乳井貢 慶応3 (1867) 写 (川越次泰) 1 冊 半紙 仮和 GK611.2-23	高杉組高屋村領久三郎抱并孫右衛門抱三拾三人役坪図面 写 1 舗 GK611.2-104
地方検見初心集 写 1 冊 半紙 仮和 GK611.2-19	〔先納米覚〕天保10 年4 月7 日 天保10 (1839) 写 2 冊 半紙 仮和 内容：先納式拾壹俵六升七百壹勺覚 先納式拾壹斗三升九合九勺 GK611.2-96	高杉組鼻和村吉十郎高反別帳 宝暦8 年7 月 宝暦8 (1758) 写 1 冊 美濃 仮和 GK611.2-61
〔地方心得其他〕 GK611.2-13	大光寺御代官所本町村御蔵給地田畑屋舗其外諸品書上帳 天和4 年 庄屋孫右衛門 文久元 (1861) 写 (菊池勘右衛門) 1 冊 半紙 和 GK611.2-3	高杉組鼻和村亦兵衛抱田畑高反別毛切相改帳 宝暦6 年4 月 宝暦6 (1756) 写 1 冊 美濃 仮和 GK611.2-60
		高杉組榑坪村高反別帳 万延元年 GK611.2-76

兜森音松 写 1冊 半紙 仮和 註：糠坪村五人組兜森音松		田畑御定積帳 写 1冊 半紙 仮和 註：定積 五ツ口小役米 田方成之定法 川除普請之事 百姓山作人夫勤方 樋代銭上納之事 新開見取之事 諸 品御検地条目 諸品御検地帳認方 免定定様等	GK611.2-44	得書 国都分制拾留 田畑調方草稿	
高杉組山科村佐次衛門抱高別帳 宝暦 8 年 7 月 三上佐次衛門 宝暦 8 (1758) 写 1冊 美濃 和	GK611.2-7	田畑検見及年貢米之事 文政 12 (1829) 写 1冊 半紙半 仮和	GK611.2-29	田法之介 写 1冊 半紙 仮和	GK611.2-1
〔高杉糠坪榑木村領内百姓の請願書〕 明治 6 年 明治 6 (1873) 写 1冊 半紙	GK611.2-131	田畑質地之掟 写 1冊 美濃 和 註：田畑永代売質田并小作等の江戸幕府の御触書 寛永 より元文まで	GK611.2-2	富田町抱畑銭納水帳 宝暦 8 年 4 月 (子之助抱畑) 宝暦 8 (1758) 写 1冊 半紙 仮和	GK611.2-8
高樋村田畑諸品書出帳 宝暦 5 (1755) 写 1冊 半紙 仮和 附：十二川原村田畑諸品書出帳 (宝暦 5) 註：貞享 4 年 (1687) より宝暦 4 年まで	GK611.2-58	溜池入用人足代銭渡方覚帳 明和 9 年 庄屋作郎衛門 明和 9 (1772) 写 1冊 横長	GK611.2-93	鳴沢・越水・森田・用水堰新穿図 写 1枚	GK611.2-102
田高反別貢米 正徳 2 年 正徳 2 (1712) 写 1帖 折本 小 註：知行田畑反別百姓作人分米	GK611.2-56	地利除乗記 寛政 8 (1796) 写 1冊 半紙半 仮和 註：検地検見算など	GK611.2-24	二十三区町田村藤川村田方御物入用水樋調書上帳 外 明治 5 年 町田村庄屋小山内定雄 写 1冊 (合本) 半紙 仮和 内容：二十三区町田村藤川村田方御物入用水樋調書上帳 二十三区町田村文化年中願立田方用水樋御物入調書上帳 二十三区町田村藤川村田方自分用水樋調書上帳	GK611.2-82
田高反別坪切帳 宝暦 8 年 7 月 宝暦 8 (1758) 写 1冊 半紙 仮和 註：作人高木村助三郎分の検見帳	GK611.2-6	地利乗除記 天保 15 (1844) 写 1冊 半紙半 仮和 註：検地検見算など	GK611.2-33	式拾俵水帳 五百六拾八番 弘前藩庁 明治 4 (1871) 写 1冊 美濃 和 註：広須組繁田村鼻和千代作分賦	GK611.2-80
田畑売渡証文 天明 7 年 天明 7 (1787) 写 1枚 28×43 一位物 註：渡大本町村助兵衛より同村久兵衛へ	GK611.2-10	手鑑 写 (天保頃) 1冊 横小 和 註：検地検見等の覚書	GK611.2-34	日記 嘉永 5 年 3 月 写 1冊 半紙 和 註：郡奉行薄田勇次郎の日記か 浦町横内両組関係記事	GK611.2-141
〔田畑売渡証文〕 明和～慶応 写 (明和～慶応) 13 枚 一枚物	GK611.2-113	手馴草 写 1冊 半紙半 内容：御改革一列 諸願諸伺留帳 (明治4年8月) 御定 積并御検見心得書 御検地御条目留 (明治3年写) 天 保13寅年より御検見願高并引高留帳 稲名并耕作方心	GK611.2-89	二本木村田畑図 写 1枚	GK611.2-105
〔田畑売渡証文〕 文久年間 内容：向外瀬村 3 枚 熊島村 5 枚	GK611.2-125	野木村百姓次郎左衛門抱地田畑高反別帳 享保 12 年 3 月 享保 12 (1727) 写 1枚 半紙半 仮和		畑方高反別御取ヶ帳 宝暦 8 年 8 月	GK611.2-67

山口久左衛門 宝暦8(1758)写 1冊 半紙 註：新屋町村手代山口久左衛門		広須御派江懸り堰岩木川より普請仕候堰筋見分之絵図 須藤惣右衛門 岡文左衛門 GK611.2-142 延宝4(1676)写 1枚 30×106	陸奥国津軽郡鼻輪庄坪貝村田畑生荒一抱坪切相当調帳 明治3年 GK611.2-128 明治3(1870)写 1冊 半紙 和
畑式百坪此方持内取極証文 久三郎エ預ケ地面の内 文化15(1818)1枚	GK611.2-117	〔広須組石館范再賀千歳開発之図〕 写 1冊 GK611.2-103	持抱田方諸事覚帳 棟方山次郎(実勝) GK611.2-30 写 1冊 半紙 仮和 内容：拾石三斗米之半 斗代之事 館増米手前江受取 候覚 苗代之事 御備粉并御貯粉御前初之事
鼻和庄鬼沢村〔御検地水帳〕貞享4年 文化7(1810)写 1冊 半紙	GK611.2-52	平沢三右衛門地方覚書 文化14年 写 1冊 半紙 GK611.2-88	
鼻和之庄小屋敷村田畑高反別帳 享保4年8月 写 1冊 半紙 仮和	GK611.2-51	〔藤崎村領字真那板林大川添地松下願書〕 明治6年 GK611.2-132 明治6(1873)写 1冊 半紙 註：稽古館用紙使用	屋敷地譲渡願書付 慶応4年 GK611.2-126 慶応4(1868)写 1枚 一枚物
鼻和庄高杉組小島村佐次右衛門田畑高反別帳 宝暦8年8月 平岡清之丞 GK611.2-62 宝暦8(1758)写 1冊 美濃半 仮和		藤代組石渡村鳥町村范中村用水樋相改書上帳 外 GK611.2-59 写 1冊(合本)半紙 内容：藤代組石渡村鳥町村范中村用水樋相改書上帳(宝 暦5年)(石渡村手代兵左衛門)当用水樋御切組願書上 帳(文化9年)(石渡村庄屋彦左衛門)藤代村石渡村鳥 町村范中村用水樋書上帳(天保11年)(石渡村庄屋)	屋敷売買券 天明8年 GK611.2-114 天明8(1788)写 1枚
鼻和庄藤代組藤代村田畑持高反別帳 宝暦8年 長十郎 宝暦8安永9(1758,80)写 1冊 美濃半 仮和 註：藤代組長十郎	GK611.2-63		屋敷売買願 享保6年 GK611.2-107 享保6(1721)写 1枚
秘書 文化元(1804)写 1冊 半紙半 仮和 註：地方農政に関するもの	GK611.2-11	本藩三郡組々古新田畑仕分禄 内藤蔵主 GK611.2-85 写 1冊 半紙 仮和 註：組別の田畑反別及分米	屋敷売買願 享保7年 GK611.2-108 享保7(1722)写 1枚
平賀庄本町村〔御検地水帳〕(貞享) 武田源左衛門 田口十兵衛 写 1冊 半紙 仮和	GK611.2-54	真那板林川添除地御授与被仰付度願 GK611.2-133 明治6年 古郡道一等 明治6(1873)写 1冊 半紙	〔屋舗売買願〕享保21年 GK611.2-109 享保21(1736)写 1枚 一枚物
平賀庄和徳組田畑高反別帳 対馬武右衛門 成田仁左衛門 元禄4(1691)写 1冊 半紙 仮和	GK611.2-55	水帳 四百八拾番式拾俵 弘前藩庁 GK611.2-79 明治4(1871)写 1冊 美濃 仮和 註：駒越組二本木村 斎藤寅太郎分賦	〔屋舗売買願〕寛延4年 GK611.2-111 寛延4(1751)写 1枚
			譲渡申家屋敷の事 GK611.2-119 文政13(1830)写 1枚
			万覚扣帳 GK611.2-140 寛延3(1750)写 1冊 半紙 和 註：諸証文の文例

和徳組原ヶ平村御蔵田畑高反別帳 正徳3年 GK611.2-5
正徳3(1713)写 1冊 半紙 仮和

和徳組原ヶ平村田畠高反別調帳 GK611.2-53
(貞享年中御本高) 庄屋蔵治郎
文化9(1812)写 1冊 半紙 仮和

和徳組原ヶ平村別免田方元畑返減帳 天保三辰年季明本免
荒畑田成 GK611.2-74
天保15年10月 渋谷裕作 斎藤幸之介
天保15(1844)写 1冊 半紙

K611.3 米穀 食糧問題

青森県穀物藁工品検査成績報告 GK611.3-11
大正6,7年度 青森県穀物藁工品検査所編
大正8,9(1919,20)2冊 菊 仮洋

青森県産米検査成績報告 GK611.3-10
大正5,9,11年度 青森県穀物藁工品検査所編
青森 編者 大正7,10,12(1918,21,23)3冊 菊
仮洋

青森県米穀検査事業ニ関スル調査 GK611.3-3
青森県内務部編
明治44(1911)35頁 菊 仮洋

青森県輸米検査成績報告 GK611.3-1
明治42,43,45,元年度 青森県輸米検査所編
明治43~大正2(1910~13)3冊 菊 仮洋

青森県輸米検査成績報告 GK611.3-1 イ
明治45年大正元度 青森県輸米検査所編
青森 編者 大正2(1913)40頁 菊

青森県輸米検査成績報告 GK611.3-9
明治43年度 青森県輸米検査所
明治44(1911)99頁 菊 仮洋

青森県輸米藁工品検査成績報告 GK611.3-2
大正2年度
青森県輸米検査所 青森県輸出藁工品検査所共編
大正3(1914)[142頁] 菊 洋

青森県輸米藁工品検査成績報告 GK611.3-12
大正13年度 青森県穀物藁工品検査所
大正14(1925)118頁 菊 仮洋

郡地主会代表者会々議録 青森県内務部編 GK611.3-4
青森 編者 大正4(1915)18頁 菊
註:産米検査に関する諮問

米買入口立帳 従明治20年10月 GK611.3-8
明治20(1887)写 1冊 横長

月目録覚 GK611.3-7
写 1封
註:木作御蔵立合成田勝郎書上げの控 御蔵米出入月目録

農事調査報告 青森県内務部編 GK611.3-13
青森 編者 大正4(1915)189頁 菊 仮洋
註:各府県の産米検査事業の調査

農事調査報告 青森県内務部編 GK611.3-14
青森 編者 大正4(1915)189頁 菊 仮洋

米穀管理規則並同実施要項 青森県 GK611.3-5
〔昭和16〕12頁 菊

米穀管理規則並同実施要項 青森県 GK611.3-6

〔昭和17〕12頁 菊

K611.39 飢饉 備荒 荒政 三倉制度

青森県凶作救済誌 大正2年 GK611.39-14
青森県(島川久一郎)
青森 編者 大正4(1915)809頁 菊 洋

青森県救荒志〔青森県〕(安西銓次郎)編 GK611.39-10
刊(明治36?)297頁 菊 仮洋
註:明治35年(1902)凶作の原因被害及び救済等の記録

青森県凶作惨状 斎藤芳風編 GK611.39-9
弘前 近松書店 明治36(1903)[91頁]四六 仮洋
附:天明年間凶作大惨事
註:明治35年の凶作の状況である

青森県凶作状況一斑 青森県 GK611.39-11
青森 編者 大正3(1914)93頁 菊 仮洋
註:大正2年の凶作

青森県凶作状況一斑 青森県 GK611.39-12
青森 編者 大正3(1914)93頁 菊 仮洋

青森県凶作状況一斑 青森県 GK611.39-13
青森 編者 大正3(1914)93頁 菊 仮洋

御書付之写 GK611.39-16
写 1冊 半紙 仮和
註:天明3年(1783)凶作について郡奉行(三上理左衛門)よりの書付け

〔御借米証文〕 GK611.39-19
写 1枚 一枚物

覚（買備米之儀ニ付）千年屋円次郎等 写 1 枚
GK611.39-18

覚（凶作記） 写 1 冊 半紙 仮和
GK611.39-2
註：天明3年（1783）凶作について仰渡書付及び大目付触の写（藩日記天明3年11月3日）

亀甲町支配貯米取立人別調帳 写 1 冊 横長 和
GK611.39-20
亀甲町五人組
明治5（1872）

〔義倉取建方草稿及出穀大略考量〕 写 1 冊 半紙 和
GK611.39-17
文化14（1817）
註：義倉についての方策及び出穀考量 貯糶并惣組備糶調并吹知行人数割

旧貯穀拝借返納の儀御請書 写 1 冊 半紙
GK611.39-22
明治11（1878）

註：旧貯穀拝借米返納についての第三六区六小区内の請書

金穀蓄積収支規則 写 1 冊 四六 仮和
GK611.39-23
明治18（1885）
註：明治18年南津軽郡中野村山道村胡桃館村に於いての決議書

〔郷倉記録〕 写 1 冊 半紙
GK611.39-21
明治8（1875）
註：第三大区四小匠（旧駒越組）48ヶ村

最勝院門前貯米取立人別調 写 1 冊 横長 仮和
GK611.39-8
神明門前 座当町共 門前五人組松本屋忠助

社倉規則〔明治9年〕〔青森県〕 写 1 冊 14.6×20.0 和
GK611.39-24
青森 青森県〔明治9〕（1876）

昭和九年冷害並救済施設状況 其1 写 1 冊 菊 仮洋
GK611.39-15
青森県
〔昭和10〕151頁

生養元記（儉治要術）木口基茂 写 1 冊 半紙 仮和
GK611.39-4
文化12（1815）
註：凶年の稲作の事及び平年の備 凶年の施を説く

ためし草 山形字兵衛 写 1 冊 半紙 和
GK611.39-3
註：天明3年（1783）文化10年～17年（1813～20）天保3年～7年（1832～36）天保9年（1838）の不作の年の天候その他稲作関連記事

津軽飢饉記（耳目心通記） 写 1 冊 半紙 仮和
GK611.39-1
添田儀左衛門（百度）著 木立守貞編
明治32（1899）
註：耳目心通記は元禄8年,9年（1695,96）の飢饉の有様を添田儀左衛門が書いたもの 本書は木立守貞が巻末に津軽玄蕃の覚書その他国中人数積米穀の員数 元禄8年の天気等を附記したもの

天保凶年秋田南部日記一乞食頭丁助報告綴 写 1 冊 半紙 仮和
GK611.39-7
註：孫太郎が花輪毛馬内花巻宮古盛岡三戸八戸五戸七戸野辺地田名部等各地の状況を見聞した報告を乞食頭丁助より上せたもの

天保申年凶作郡所日記 郡奉行 写 1 冊 半紙 仮和
GK611.39-6
天保7（1836）
註：天保7年の凶作の際の稲作関係検見等の郡奉行の御用留

藤代組已十一月より午八月迄御救渡勘定帳 写 1 冊 半紙 和
GK611.39-5
天保6年4月 山崎勘市郎 成田亀吉
註：天保4年11月～同5年8月（1833,34）間凶作に対する救渡の勘定帳

K611.6 農業協同組合 農業団体

三千石堰水利組合費一人別賦課額簿 写 1 冊 半紙 仮和
GK611.6-1
明治40年 板柳村字三千石委員
明治40（1907）

三千石堰水利組合費割元簿 明治29年度 写 1 冊 半紙 和
GK611.6-6
明治29（1896）

処務日誌 明治43,44年（第1,2年度） 写 2 冊 半紙 和
GK611.6-2
清水林檎生産販売購売組合
明治43,44（1910,11）

〔東津軽郡農会〕事業成績書 大正13年度 写 1 冊 菊 仮洋
GK611.6-7
東津軽郡農会
大正14（1925）149頁

〔藤崎堰守取扱仮規則〕 写 1 冊 半紙
GK611.6-4
明治15（1882）

〔藤崎堰聯合会議事規則〕 写 1 冊 半紙
GK611.6-3
明治14（1881）

〔藤崎堰聯合会規則〕 写 1 冊 半紙
GK611.6-5
明治16（1883）

K611.7 農業経営

青森県冬期間における農家副業調査 GK611.7-2
青森県農会編
青森 編者 明治 43 (1910) 225 頁 菊 仮洋

株式会社北日本農園趣意書・目論見書・仮定款
北日本農園創立事務所編 GK611.7-3
弘前 編者 大正 8 (1919) 謄写 1 冊 半紙 和

農会社規則 明治 5 年 GK611.7-1
明治 5 (1872) 写 1 冊 半紙 仮和
註：青森県庁出資の開墾養蚕牧畜樹芸などの業を起す目的の会社

K611.8 農家経営

青森県冬季間に於ける農家副業調査 GK611.8-5
青森県農会
明治 42 (1909) 224 頁 菊 仮洋

青森県冬季間に於ける農家副業調査 GK611.8-6
青森県農会編
青森 編者 明治 42,43 (1909,10) 2 冊 菊 仮洋

所得調査状況視察報告 長尾角左衛門 GK611.8-3
青森県所得調査研究会 大正 7 (1918) 42 頁 菊 仮洋

所得調査ニ関スル視察報告 斎藤義道 GK611.8-4
青森県所得調査研究会 大正 7 (1918) 31 以 菊 仮洋

二府九県視察報告書 佐藤清十郎 GK611.8-1
青森県所得調査研究会 大正 6 (1917) 99 頁 菊 仮洋
註：主として農業所得の視察報告

二府九県視察報告書 佐藤清十郎 GK611.8-2
青森県所得調査研究会 大正 6 (1917) 99 頁 菊 仮洋

K611.9 農村及び農村問題

地方改良講演要項 山崎延吉述 GK611.9-1
青森県内務部編
青森 編者 大正 6 (1917) 66 頁 菊

K612 農業史 事情

青森県篤農者列伝 青森県農会編 GK612-25
大正 5 (1916) 190 頁 菊 和

青森県篤農者列伝 青森県農会編 GK612-26
大正 5 (1916) 190 頁 菊 仮洋

鯨ヶ沢御蔵駄下大帳 文政 13 年 金木御蔵 GK612-7
文政 13 (1830) 写 1 冊 半紙

御蔵方勤方 GK612-22
写 1 冊 半紙半 仮和
註：蔵方勤務の諸心得

御蔵奉行中江相渡御条目之写外ニ御蔵方より駄下方之節貫目方記ス GK612-21
写 1 冊 半紙 仮和

覚 元禄 14 年 GK612-1
元禄 14 (1701) 写 1 枚 30×87 一枚物
註：鳥取 川 室 豆腐 鱈漁 魚売の各役札切の差上の定

金木御蔵勤中御用留課 文化 10 年 GK612-5
文化 10 (1813) 写 1 冊 半紙半 仮和

金木御蔵米附下ヶ駄賃払帳 文政 13 年 GK612-8

文政 13 (1830) 写 2 冊 横長 仮和

旧県倉廩入費給米調 元弘前県 GK612-20
写 (明治初年) 1 冊 半紙 仮和
註：倉庫の費用給禄米の調

凶作之諸国留書帳 天明 3 年 GK612-3
写 1 冊 半紙 仮和
註：天明 3 年 (1783) 諸藩の作物出来高留書

郡方御用留 郡方 GK612-9
文政 10,11 (1827,28) 写 1 冊 半紙 仮和
註：文政10年～12年の間 郡奉行山形字兵衛の留書

御内意 GK612-24
写 1 冊 横長
註：人別調及び耕作問題について悪戸村喜之の口上書

出穀調 天保 13 年 GK612-11
写 1 冊 半紙 仮和
註：領内組別の反別収穫高及御収納高諸役銀の調

出減見届帳 文化 9,10 年 板柳御蔵奉行 GK612-4
文化 9,10 (1812,13) 写 1 冊 半紙 仮和

条目の写 GK612-23
写 1 冊 半紙
註：郡奉行よりの触

存寄書 櫛引英八 GK612-15
写 1 冊 半紙 仮和
許：在方百性取締についての意見

第三大区各村貯穀検査調 一小区弘前町 GK612-17
明治 8～11 (1875～78) 写 1 冊 半紙 仮和

<p>註：弘前町重立惣代武田熊七等より県への報告控</p>		<p>広須木造兩組堰川図式（土淵堰） 写 1 枚（2 枚の内）</p> <p>GK614-1</p>
<p>貯穀之儀ニ付伺 明治 11 年 明治 11（1878）写 1 冊 半紙 仮和 註：第三六区一小区戸長神源治より青森県令への伺</p>	<p>宝暦 10（1760）写 1 冊 美濃 仮和 註：宝暦 10 年の田畑の生産高の概算</p>	<p>K615 作物栽培 病虫害</p>
<p>〔津軽郡第三大区一小区貯蔵粉高〕 写 1 冊 半紙 仮和 註：明治 10 年頃？ 第三六区一小区は弘前</p>	<p>青森県酸性土壌調査成績 GK613-1 各郡之一部及東津軽全部 青森県立農事試験場編 青森 編者 大正元（1912）77 頁 菊 仮洋</p>	<p>青森県水稲増収競技会審査概評 第 1 回 GK615-5 東奥日報社編 青森 編者 昭和 5 56 頁 四六 仮洋 昭和 4 年東奥日報社主催</p>
<p>月目録 文政 12 年 金木御蔵奉行 文政 12（1829）写 1 冊 半紙 仮和</p>	<p>青森県酸性土壌調査成績 GK613-4 各部之一部及東津軽全部 青森県立農事試験場編 青森 編者 大正元（1912）77 頁 菊 仮洋</p>	<p>青森県ニ於ケル二化螟虫 GK615-20 青森県立農事試験場編 青森 編者 明治 45（1912）76 頁 菊 仮洋</p>
<p>天保巳午留記（天保巳午凶豊録）乾坤 〔山形宇兵衛（長年）〕 天保 14（1843）写 2 冊 半紙 仮和 註：天保 4 年 5 年の当時郡奉行山形宇兵衛の留書</p>	<p>青森県酸性土壌調査成績 GK613-7 南津軽三戸上北下北郡ノ部 青森県立農事試験場編 編者 昭和 6 143 頁 菊（農事試験成績第 24 号）</p>	<p>青森県ニ於ケル二化螟虫 GK615-21 青森県立農事試験場編 青森 編者 明治 45（1912）76 頁 菊 仮洋</p>
<p>畑作物大都調 文久 2 年 郡所地方 文久 2（1862）写 1 冊 半紙 仮和 註：文久 2 年作付畑反別及生産高の概算并に収納銀納高</p>	<p>青森県土壌提要 青森県内務部編 GK613-5 昭和 6 45 頁 菊 仮洋</p>	<p>青森県農会主催馬鈴薯改善共進会審査成績 GK615-28 昭和 13 年度 昭和 14 頁 菊</p>
<p>弘前町明治八年前市中平民貯穀調 写 1 冊 半紙 仮和 註：明治 10 年（1877）の調？</p>	<p>青森県土壌提要 青森県内務部編 GK613-6 昭和 6 45 頁 菊 仮洋</p>	<p>稲作改良要項 青森県 GK615-24 大正 6（1917）18 頁 菊 仮洋</p>
<p>米金仲買取扱一式 御勝手方 安政 5～明治 2（1858～69）写 1 冊 半紙 仮和 註：安政 5 年～明治 2 年間の御勝手方の書留</p>	<p>青森県肥料概況 第 2,3 号 GK613-3 青森県内務部編 青森 編者 明治 44, 大正 2（1911, 13）2 冊 菊 仮洋</p>	<p>稲作仮調査帳 大正 2 年 10 月 成田氏 GK615-3 大正 2（1913）写 1 冊 半紙 仮和</p>
<p>米穀直段留扣帳 斎藤佐左衛門（繁誉） 天保 12～万延 2（1841～61）写 1 冊 半紙 仮和 註：年々作合歩通米大豆塩直段共留書帳ともある</p>	<p>堆肥ニ就キ 田沢周助述 GK613-2 刊 1 冊 菊 仮洋</p>	<p>稲作心得 自明治 45 年（大正元年）至大正 4 年 写（大正）1 冊 半紙 仮和 註：大正 2 年（1913）の凶作年の天候などを主として書き留めたもの</p>
<p>宝暦十辰年田畑出穀調大都 GK612-2</p>	<p>K614 農業工学 〔再賀村新田開発図〕 GK614-2 写 1 枚 45×100</p>	<p>稲作畑作拾参年報 青森県立農事試験場編 GK615-22</p>

大正 2 (1913) 138 頁 菊 仮洋		写 1 冊 半紙 仮和 附：耕作口伝書（一戸定右衛門）耕洋一件書抜（横島勝右衛門）		田畑物	GK615-18
〔稲刈高覚〕 享保 17 年～明和 8 年 写 1 冊 横小 仮和 註：享保 17 年～明和 8 年（1732～71）間の毎年の稲の刈高の覚書 耕作農家不明	GK615-17	耕作晰 中村喜時編 写 1 冊 半紙 和	GK615-10	中津軽郡（弘前市）地域別耕種改善規準 昭和 14 年度 青森県編 昭和 14 30 頁 菊	GK615-6
稲乾燥試験及水分検定成績 大正 11 年 10 月 青森県穀物藁工品検査所編 青森 編者 大正 11 (1922) 38 頁 菊 仮洋	GK615-25	耕作晰 中村喜時編 写 1 冊 半紙 和 註：安永 5 年（1776）の著	GK615-11	農事試験成績 第 13 号 害虫試験ノ部 青森県立農事試験場編 青森 編者 大正 3 (1914) 42 頁 菊 仮洋	GK615-23
稲乾燥試験及水分検定成績 大正 11 年 10 月 青森県穀物藁工品検査所編 青森 編者 大正 11 (1922) 38 頁 菊 仮洋	GK615-26	耕作晰 中村喜時編 写 1 冊 半紙 和	GK615-12	野鼠室扶斯菌及其応用 青森県立農事試験場 明治 42 (1909) 24 頁 菊 仮洋	GK615-19
稲虫除の妙薬 外 文政 12 (1829) 写 1 冊 半紙 仮和 合綴：飢食松皮製法 藁餅の製法 鉄濟方 饑濟方 人間食時五恩解	GK615-14	〔耕作晰〕 中村喜時編 写 (山形宇兵衛) 1 冊 半紙 和 附：耕作口伝書（一戸定右衛門）耕作一件 註：中村喜時編とある	GK615-32	馬鈴薯葉捲病に就て 青森県立農事試験場 大正 13 (1924) 15 頁 菊 仮洋	GK615-27
凶作防止実地指導地成績書 昭和 41 年度 青森県 昭和 12 1 冊 四六倍 仮洋（農事資料第 3 号）	GK615-2	穀物野菜男女録（穀物野菜男女図説） 大津屋要太郎（今村真種） 弘前 著者 慶応 3 (1867) 1 枚	GK615-31	北海道水田不作ニまけぬ耕作法及収穫多量ヲ得ルノ方法 藤田貞元 岩見沢町（北海道）著者 明治 42 (1909) 18 頁 四六	GK615-29
耕作一件 天保 5 (1834) 写 1 冊 半紙 和 合綴：耕作心得 1 ケ条	GK615-16	地方耕作始終集 写 1 冊 横長 仮和 註：米耕作気候等農家の心得	GK615-1	陸稲記 乳井貢 写 1 冊 半紙 仮和 註：明和 9 年（1772）の著	GK615-8
耕作口伝書 宝暦 5 (1755) 写 1 冊 半紙 和	GK615-7	爪哇薯の作り方 附病虫害駆除予防法 青森県立農事試験場編 中郷村（南津軽郡）編者 大正 3 (1914) 39 頁 菊半	GK615-30	K618 繊維作物	
耕作心得のケ条 写 1 冊 半紙 仮和	GK615-15	種芸書 樋口某 写（棟方実勝）1 冊 半紙 和 註：樋口某は弥三郎（建侯）か 安永 7 年（1778）刊本の写	GK615-13	杞柳栽培法 青森県立農事試験場 明治 42 (1909) 7 頁 菊	GK618-1
耕作晰 中村喜時編	GK615-9			K620 園芸	
				青森県の林檎 青森県林檎同業組合編	GK620-6

大正 11 (1922) 22 頁 三六		内容：第 1 巻第 2 号 第 3 巻第 5 号 第 5 巻第 2 号		大正 14 (1925) 16 頁 菊	
青森県の林檎 青森県林檎移出同業組合編 弘前 編者 昭和 13 90 頁 菊 仮洋	GK620-7	林檎のしらべ 青森県林檎移出同業組合編 編者 昭和 11 86 頁 菊 仮洋	GK620-9	K625 果樹園芸	
青森県の林檎 青森県林檎移出同業組合編 昭和 13 90 頁 菊 仮洋	GK620-8	林檎販路調査報告書 大正 11 年 12 月 青森県林檎同業組合編 大正 11 (1922) 35 頁 菊 仮洋	GK620-4	〔板柳林檎園経費書類〕 明治36～41 (1903～08) 写 6冊 半紙・半紙半 仮和 註：旧藩主津軽家の経営する林檎園 内容：人夫帳 (明治41年度 板柳果樹園) 板柳果樹園 ヨリ毎月収支計算報告書綴 (明治39年1月以降同5月 中) 明治三十八年度ヨリ経費収支 (板柳果樹園 内容は 明治41年度の経費収支) 板柳果樹園収支簿 (明治35年 以降 内容は明治36年中より同41年度まで) 林檎園資 金請取帳 (明治36年第2月より同41年5月まで) 大畑 費収支 (明治36年ヨリ 板柳果樹園 明治40年まで)	GK625-1
青森県林檎生産調査 大正元年 9 月 青森県農会編 大正元 (1912) 33 頁 四六倍 仮洋	GK620-1	林檎販路調査報告書 大正 11 年 12 月 青森県林檎同業組合編 大正 11 (1922) 35 頁 半紙 仮洋	GK620-5		
青森県林檎統計 昭和 3 年 青森県統計課編 昭和 3 [20 頁] 四六	GK620-10	K621 園芸経済 経営			
〔青森県立苹果試験場〕業務年報 昭和 9 年度 青森県立苹果試験場編 昭和 9 191 頁 菊 仮洋	GK620-3	〔青森県リング組合联合会〕通常総会議案 青森県リング組合联合会編 昭和 7 97 頁 菊	GK621-5	青森県林檎園所在見取図 (明治 44 年調査) 青森県農会編 〔青森〕〔編者〕刊 1 枚	GK625-4
東北園芸 第 1 巻第 1 ～ 4 号, 第 2 巻第 9 号 東北園芸社編 弘前 編者 昭和 13 5 冊 菊 仮洋	GK620-13	青森県林檎生産販売時報 第 1 巻第 2 号 青森県林檎生産販売時報社編 弘前 編者 昭和 5 31 頁 四六倍	GK621-4	苹果栽培全書 北神貢 東京 有隣堂 明治 35 (1902) 193 頁 菊	GK625-5
農事試験成績 第 15 号 苹果病害ニ関スル調査 青森県農事試験場編 中郷村 (南津軽郡) 編者 大正4 (1915) 141 頁 四六 仮洋	GK620-2	無限責任竹館林檎生産購買販売組合定款 竹館林檎生産購買販売組合編 刊 (明治) 39 頁 美濃半 仮和 附：総会決議抄録 事業執行細則	GK621-1	苹果モニリア病防除法 青森県内務部編 青森 編者 昭和 9 10 頁 四六	GK625-3
苹果の友 苹果の友社編 黒石 編者 昭和 6 ～ 12 7 冊 菊 仮洋 内容：第1巻第1～4号 第2巻第10号 第3巻第4,5号 第4巻第12号 第5巻第1号 第2,5号第3,4号	GK620-11	津軽林檎栽培株式会社発起賛成名簿 第 2 号 津軽林檎株式会社創立事務所 大正元 (1912) 1 冊 美濃 仮和	GK621-2	リング実腐病予防駆除に就きて 行啓記念碑保存会編 弘前 編者 大正 14 (1925) 26 頁 菊	GK625-2
苹果の友 苹果の友社編 黒石 編者 昭和 6,8,12 3 冊 菊 仮洋	GK620-12	日本苹果株式会社 設立趣意書 収支予算書 起業目論見書 定款 日本苹果株式会社創立事務所編	GK621-3	K626 蔬菜園芸	
				玉葱栽培法 青森県農会 明治 44 (1911) 6 頁 四六 仮洋	GK626-1
				有利なる玉葱栽培法 青森県農会	GK626-2

大正 4 (1915) 8 頁 四六	明治 34 (1901) 22 頁 菊	註：弘前盛蚕社の元帳
K627 花卉園芸		
青森菊名鑑 青森市日精会撰 成田孫次郎 明治 35 (1902) 1 枚	勤仕録 明治 18 年 弘前盛蚕社 写 1 冊 半紙 和 註：明治 18 年弘前盛蚕社の出勤簿	拝借金株金借入金元帳 弘前盛蚕社 明治 20 (1887) 写 1 冊 半紙 仮和 註：弘前盛蚕社の元帳
GK627-6		GK631-2
実生菊銘鑑 晩香会編 弘前 編者 大正 2 (1913) 7 頁 菊	蚕糸業施設概要 昭和 8 年度 青森県 刊 6 頁 菊 仮洋	陸奥製糸株式会社定款 陸奥製糸株式会社 清水村 (中津軽郡) 〔大正 8〕 (1919) 28 頁 美濃半 仮和
GK627-3		GK631-4
実生菊銘鑑 晩香会編 弘前 編者 大正 8 (1919) 10 頁 菊	蚕業講習録 青森県養蚕組合联合会 大正 15 (1926) 51 頁 菊 仮洋 内容：養蚕経営革新の急務と之れが合理的経営に就いて (佐藤良太郎) 夏秋蚕の飼育に就て (高須兵司) 簡易接木 法並栽桑法に就て (菊池助松) 養蚕組合経営法 (明石弘)	K632 蚕学 蚕糸理化学
GK627-4		
八戸菊銘鑑 小井川元吉編 明治 19 (1886) 1 枚	第壹号日記稿 明治 20 年 4 月 18 日ヨリ 竹内清則 写 1 冊 半紙 和 註：養蚕伝習日記	蚕業試験科目并答 笹森儀助 明治 20 (1887) 写 1 冊 半紙 註：明治 20 年 4 月に農務局西ヶ原蚕業試験所へ伝習生として入所した時のもの
GK627-5		GK632-1
弘前菊銘鑑 弘前市弘秋会編 明治 35 (1902) 1 枚	追賞 (故野本道玄 故武田熊七) 大正 10 (1921) 写 1 冊 半紙 註：大正 10 年青森県第 2 回蚕糸品評会での有功章追賞文	K633 栽桑
GK627-2		
陸奥国津軽弘前菊花集 弘前菊花陳列会委員編 刊〔明治〕1 枚	養蚕統計 昭和 3 年 青森県知事官房統計課 昭和 4 37 頁 四六 仮洋	夏秋蚕専用桑園の設置法に就て 青森県蚕業試験場 昭和 2 11 頁 菊 仮洋
GK627-1		GK633-1
K628 園芸利用	K631 蚕糸経済 経営	栽桑の栞 青森県蚕業試験場 昭和 6 21 頁 菊 仮洋
りんご加工事業と私の半生 (ミュキシャンパン由来記) 佐藤弥作 弘前 御幸商会 昭和 15 48 頁 菊 仮洋	青森県蚕糸組合規約準案 (青森県布達明治 19 年乙第 39 号) 明治 19 (1886) 31 頁 四六 仮和	GK633-2
GK628-1		
K630 蚕糸業	廉分帳 弘前盛蚕社 明治 20 (1887) 写 1 冊 半紙 仮和	桑樹栽培の手引 青森県内務部編 青森 編者 明治 44 (1911) 34 頁 菊
青森県蚕業要覧 青森県内務部 大正 3 (1914) 80 頁 四六 仮洋		GK633-3
GK630-3		
青森県の蚕業に就て 中村技師		K635 育蚕
GK630-2		
		簡便養蚕法 尾形及四郎編述 写 1 冊 半紙 仮和 註：明治 21 年出版書の写 著者尾形は三戸郡田子村
		GK635-1

<p>第九室養蚕日誌控 笹森儀助 GK635-2 明治 20 (1887) 写 1 冊 半紙 和 註：農務局西ヶ原蚕業試験場においての日誌</p>	<p>南部産馬委員会議規則 南部産馬委員会 GK641-1 写 1 冊 半紙 仮和</p>	<p>青森県産馬要覧 青森県産馬組合聯合会編 GK645-9 青森 編者 大正 3,5 (1914,16) 2 冊 菊 仮洋</p>
<p>養蚕日誌 GK635-3 明治 22 (1889) 写 1 冊 美濃 註：弘前武田蚕業所用紙使用</p>	<p>南部産馬組合規則 GK641-2 写 1 冊 半紙</p>	<p>青森県種馬育成所業務報告 GK645-10 自大正元年度至同 3 年度 青森県種馬育成所編 大正 5 (1916) 50 頁 四六 仮洋</p>
<p>養蚕要項 時敏尋常高等小学校 GK635-4 刊 19 頁 菊 仮洋</p>	<p>南部産馬組合事務細則 GK641-3 写 (明治 20 (1887) 頃) 1 冊 半紙</p>	<p>奥羽六県聯合馬匹共進会報告書 第二回 GK645-8 第二回奥羽六県聯合馬匹共進会事務所編 青森 編者 明治 42 (1909) 46 頁 菊 仮洋</p>
<p>養蚕要項 時敏尋常高等小学校編 GK635-5 弘前 編者 19 頁 菊 仮洋</p> <p>K636 蚕病</p>	<p>K643 家畜飼料 家畜栄養</p> <p>岩木山旧境内裾野ノ内秣場拝借願控 GK643-2 佐藤弓太郎等 明治 11 (1878) 写 1 冊 半紙 和 註：高屋横町賀田蒔苗 4 ヶ村</p>	<p>〔御召馬薬用品々并諸色代積〕 GK645-5 写 1 冊 半紙</p>
<p>蚕病消毒法 青木弥七 GK636-1 新城村 (東津軽郡) 青森県農事講習所 明治 38 (1905) 33 頁 菊</p> <p>K639 生糸 製糸</p>	<p>〔岩木山麓秣場明治二十五年年度予算〕 GK643-3 明治 25 (1892) 写 1 冊 半紙 註：中津軽郡岩木村大字百沢地内旧駒越村外 22 ヶ村共有秣場</p>	<p>黒石領牛馬惣括牒 享和 3 年 12 月 GK645-3 享和 3 (1803) 写 1 冊 半紙 和 註：黒石役人よりの申来りを伊東衛門八が報告したもの</p>
<p>簡易蚕糸加工要項 青森県蚕糸加工同講会 GK639-1 刊 19 頁 四六 仮洋</p> <p>K640 畜産業</p>	<p>秣場御済口 文化 5 年 GK643-1 文化 5 (1808) 写 1 冊 半紙 註：猿賀組尾上高木猿賀三村の秣場願の済口覚</p>	<p>御用留 明治 3 年正月 牛馬取扱 GK645-1 明治 3 (1870) 写 1 冊 半紙 仮和 註：赤田組山道村楮役一戸丑之助が牛馬取扱仰付けられその際の御用留</p>
<p>畜産と家禽 下遠愛太郎主幹 GK640-1 青森 畜産と家禽社 大正 14,15 (1925,26) 1 冊 菊</p> <p>K641 畜産経済 経営</p>	<p>K645 家畜</p> <p>青森県産馬共進会出陳馬名簿 第 22 回 GK645-11 刊 (大正) 8 頁 四六倍 仮洋</p>	<p>耀売式歳牝牡馬名簿 GK645-12 青森県上北郡七戸産馬畜産組合 大正 14 (1925) 〔126 頁〕 菊 仮洋 註：大正 14 年自 10 月 17 日至 10 月 27 日の 11 日間</p>
<p>産馬事業予算調 GK641-4 自明治 21 年 9 月至同 22 年 8 月 1 冊 半紙</p>	<p>青森県産馬共進会報告書 第 7 回 GK645-7 青森県産馬共進会編 明治 40 (1907) 〔53 頁〕 菊 洋 附：青森県産馬共進会三戸町協賛会規則</p>	<p>馬学講習書 菅沼只三郎述 GK645-13 青森 青森県 明治 43 (1910) 127 頁 菊</p>

馬匹飼養注意 (骨軟症予防) 明治 33 (1900) 写 1 冊 半紙 仮和 註：明治33年第八師団長の名で獣医部長の研究に係るものを注意したもの	GK645-6	第8号 (昭和5) 第10号 (昭和10) 青森県山林会報 発会号, 第 4 号, 第 5 号 GK650-4 イ 青森県山林会編 青森 編者 大正9～15 (1920～26) 1冊 (合本) 菊	～149号 (昭和2) 第150～157,159,160号 (昭和3) 第162,164～166号 (昭和4) 第167～172号 (昭和4) 第174号 (昭和5) 第199～203,205～208号 (昭和7) 第211～217号 (昭和8) 第219～222,224号 (昭和9)
無冥巻 写 1 冊 半紙 仮和 註：馬の病氣と治療 (漢文)	GK645-2	青森県林業の将来 小館保治郎等 GK650-11 昭和 3 14 頁 四六	碓ヶ関営林署管内提要 昭和 6 年 5 月調 GK650-12 碓ヶ関営林署編 刊 1 冊 四六 仮洋
K646 家禽		青森県林業要覧 青森県内務部編 GK650-2 青森 編者 大正 4,7,8 (1915,18,19) 3 冊 四六 仮洋	営林署及担当区名称位置並管轄区域表 GK650-9 青森営林局
津軽家禽協会々報 第 1 号 津軽家禽協会編 GK646-1 明治 39 (1906) 29 頁 菊 仮和	GK646-1	青森大林区署管内手引 青森大林区署編 GK650-7 大正 8 (1919) 50 頁 四六 仮洋	大正 13 (1924) 26 頁 四六 仮洋
K648 畜産製造		青森大林区署管内要覧 (大正 12 年度統計) GK650-5 イ 青森大林区署林務課統計編 青森 青森大林区署 大正 13 (1924) [158 頁] 菊	大鰐営林署管内提要 GK650-10 [昭和 2] 33 頁 四六 仮洋
革師人別戸数増減書上帳控 明治 2 年 8 月 GK648-1 岩見忠兵衛 明治 2 (1869) 写 1 冊 半紙 和 註：紺屋町名主岩見忠兵衛書上控	GK648-1	青森大林区署統計要覧 大正 6,12 年度 GK650-5 青森大林区署編 編者 大正 8,13 (1919,24) 2 冊 菊	林業提要 青森県編 GK650-8 大正 10 (1921) 48 頁 四六 仮洋
K650 林業		青森林友 青森林友会編 GK650-3 青森 編者 大正 4～昭和 9 (1915～34) 24 冊 (合本) 菊 内容：第1～5号 (大正4) 第6,7,9,10,12,13,16,17号 (大正5) 第18,20,23～28号 (大正6) 第30～33,35,36号 (大正7) 第37～41号 (大正7) 第42～47号 (大正8) 第48～53号 (大正8) 第54～57号 (大正9) 第60～65号 (大正9) 第66～70号 (大正10) 第71～77号 (大正10) 第78～83,85～88号 (大正11) 第90～96,99,100号 (大正12) 第104～113号 (大正13) 第114～121,123～125号 (大正14) 第126～128,130,135～137号 (大正15) 第138～143号 (昭和2) 第144	K651 森林経済 経営 (林制史)
青森営林局統計要覧 昭和元年度 GK650-6 青森営林局 刊 (昭和元) 1 冊	GK650-6	青森大林区署管内国有林産物売払案内図 GK651-49 (百万分之一) 大正 4 (1915) 1 枚	青森大林区国有林経営一斑 青森大林区署編 GK651-48 [明治 42] (1909) 140 頁 菊
青森県公有林野調査表 青森県編 GK650-1 大正 4 (1915) 55 頁 四六 仮洋	GK650-1	〔赤石組抱山関係抜書〕 GK651-42 明治 26 (1893) 写 1 冊 半紙 仮和	碓ヶ関御山相乗沢杉柁仕様積帳 嘉永 2 年 GK651-25 嘉永 2 (1849) 写 1 冊 半紙 仮和 註：工藤官六成田与三郎の見積書控
青森県山林会報 GK650-4 青森県山林会編 青森 編者 大正 9～昭和 10 (1920～35) 8 冊 菊 仮洋 内容：発会号 (大正9) 第1号 (大正10) 第3号 (大正13) 第4号 (大正14) 第5号 (大正15) 第6号 (昭和3)	GK650-4		

碇ヶ関御山相乗沢より杉桎杣取跡末木并桎割柄去子共杣取
仕様積帳 嘉永3年 GK651-26

嘉永3(1850)写 1冊 半紙 仮和
註：成田与三郎の見積書控

碇ヶ関山折橋杉三尺桎角丸太杣取銭払帳 GK651-22

天保13年
天保13(1842)写 1冊 半紙 仮和
註：斎藤七郎成田与三郎の報告控

碇ヶ関山豊久丸船木柄杣取仕様積帳 GK651-24

嘉永2年
嘉永2(1849)写 1冊 半紙 仮和
註：工藤官六成田与三郎の見積書控

岩木山境内小沢分帳 寛政9年頃 百沢寺 GK651-45

写 1冊 半紙 仮和
註：岩木山境内前後左右の山々沢々より根柴伐取り萱馬
草等刈取の村々を記したもの

岩木山中記録 GK651-44

写 1冊 半紙 仮和
註：岩木山百沢寺境内境について山方吟味役の伺書及び
見分詮議報告

後方組平館村領御山沢之書上帳 寛政7年 GK651-5

寛政7(1795)写 1冊 仮和
註：庄屋書上の控

宇鉄村領鐮泊沢檜角寸甫惣勘仕上勘定帳 GK651-23

天保15年
天保15(1844)写 1冊 半紙 仮和
註：葛西市蔵成田与三郎の報告 沖出角寸甫の惣勘定

大畑下湯野又御山出材木御割帳 GK651-46

寛政11年5月 与右衛門 庄助

寛政11(1799)写 1冊 半紙

註：山師田名部町与右衛門 木預り大畑問屋庄助の控帳

大畑葉色御山出材木御判帳 寛政11年 GK651-7

寛政11(1799)写 1冊 半紙 仮和
註：南部藩大畑問屋庄助田名部町山師与右衛門等の報告

大和沢山檜生木角丸太仕様積帳 安政6年 GK651-29

安政6(1859)写 1冊 半紙 仮和
註：成田与三郎の見積書控

御定材木直段覚 GK651-36

慶応3(1867)写 1冊 半紙半 仮和

覚(山証文) 安永2年 GK651-3

写 1帖 折本 小
註：浪岡組王余魚沢村領七平より鳥ノ子森迄の仕立山抱
山に下し置いた証文の写

覚 棟方実勝 GK651-11

文化4(1807)写 1冊 半紙 仮和
註：文化4年棟方実勝の用材伐木等山方取締りに関する
意見書

覚 GK651-13

写 1冊 半紙 仮和
註：山方諸役向の伺書

覚 GK651-14

写 1冊 横長 仮和
註：山方諸取締りに関する伺書

覚(杉仕立証文) 天保10年 GK651-20

明治27(1894)写 1枚 24×34 一枚物

註：諸木仕立方取扱より大和沢村作左衛門宛の証文の写

御山方覚書(外題：秘書覚) 味方実勝 GK651-9

文化元(1804)写 1冊 半紙半 仮和
内容：御境廻 御境伐木出会 山奉行御山廻 御山廻
浅瀬石山廻 平内山見分 御停止木 流木 流木流失焚
炭 塩木 御山引渡 御郡中諸山 田山館山抱山見継山
御極印譜 御手山杣入本数 御停止ヶ条 金銀銅鉛山
山火事 流木流失詰役人手配 徒刑 金銀銅鉛鉄石山赫
士 山論 山方吉凶繰出シ 桎木舞流木寸尺 寸甫定法
脇道番所 御手山方条目 御手山江口達書 分限并宿付
諸材木御定直段 諸山廻伐 秋春船廻 戸并坪数 樹芸
鉛山一件 御手山仕様積 尾太鉛銅并碇関湯沢鉛 材木
沖出シ御役金等之事 御囲山法度山之事 桎木舞御元入
御払直段損益

御山方存付之覚 貴田十郎右衛門(惟邦) GK651-8

文化3(1806)写 1冊 半紙 仮和
註：貴田十郎右衛門が文化3年に山方御用懸仰付けられ
山廻りし見聞の趣并に御山方締合に関する意見書

御山富書帳 GK651-1

宝暦10(1760)写 1冊 半紙 和
註：南部藩田名部御代官所管内の留山等諸山の概略

小泊山沖出材木寸甫杣取仕様積 天保4年 GK651-19

天保4(1833)写 1冊 半紙 仮和
註：外崎庄兵衛阪本幸太郎の見積の下書

駒越組五代村仕立山書上帳 文政5年 GK651-15

文政5(1822)写 1冊 半紙 仮和
註：庄屋吉右衛門の書上控

在勤ニ付諸事覚 棟方山二郎(実勝) GK651-10

文化3(1806)写 1冊 半紙半 仮和

註：山方御用勤務覚書		仲間儀定帳 寛政 8 年	GK651-6	目屋野沢当出流木仕様積控 文久 2 年	GK651-33
材木直段書	GK651-30	寛政 8 (1796) 写 1 冊 半紙 仮和		文久 2 (1862) 写 1 冊 半紙半 仮和	
安政 6 (1859) 写 1 冊 横小 仮和		註：南部藩田名部支配の山御礼金の上納に付いて仲間の取きめ証文		註：佐野伴蔵木村栄太郎山口五郎八の見積書控	
〔材木直段駄賃書〕	GK651-31	浪岡村抱山沿革誌 阿部文助編	GK651-43	〔山方覚書〕	GK651-17
写 1 冊 半紙半 (横) 和		明治 36 (1903) 序 200 頁 四六 仮洋		写 1 冊 半紙半 和	
材木柁木舞御定直段 文政 7 年	GK651-16	南部秋田御境山廻 文化 8 年	GK651-12	註：沖払諸材才割石盛附 材木取組義定証文之写 材木積登送り状之事 歩割之事 沖払諸材御払定直段 其他	
安政 4 (1857) 写 1 冊 半紙 和		棟方山治郎 (実勝)		山方心得書壹件	GK651-28
算用師山檜御関札杣取仕様積書上 天保 11 年	GK651-21	文化 8 (1811) 写 1 冊 半紙半 (横) 仮和		安政 6 (1859) 写 1 冊 横小 仮和 (川越旧蔵本)	
天保 11 (1840) 写 1 冊 半紙 仮和		註：棟方実勝の御境山廻り見分記事		註：御山方最初之事 山方見継御締之事 御払山之事 御手当山之事 仕立木一件 其他山方に関する記事	
註：奈良豊吉成田与三郎の見積下書		虹貝御山早瀬野島田沢名帳	GK651-2	山方手鑑	GK651-27
諸材木川合土場御定直段帳 文政 10 年	GK651-18	宝暦 13 (1763) 写 1 冊 半紙 和		写 1 冊 横小 和	
文政 10 (1827) 写 1 冊 半紙 仮和		藤島山柁木舞山中御極印打入帳 万延元年	GK651-32		
諸事覚留	GK651-4	万延元 (1860) 写 3 冊 半紙 仮和		K653 造林 (育林)	
写 (安永 8 (1779) 頃) 1 冊 半紙半 仮和		註：成田与三郎成田勇之助の報告書		ひば人工造林法 青森大林区署編	GK653-1
註：材木の値段寸甫柁取方寸曲尺諸役上納定其他		不要存置林野売払案内 青森大林区署編	GK651-47	青森 編者 大正 10 (1921) 20 頁 菊	
瀬辺地山檜末木角丸太仕様積帳 文久 3 年	GK651-34	〔明治 41〕 (1908) 112 頁 22×11.5 仮洋		K654 森林保護	
文久 3 (1863) 写 1 冊 半紙 仮和		米銭元入課 明治 5 年 真那板林扱方	GK651-41	青森大林区岩手山麓及其附近落葉松林ニ発生シタルからまつつつみのむしノ被害ニ就テ	GK654-2
註：成田与三郎古川伊兵衛の見積書控		明治 5 (1872) 写 1 冊 半紙 仮和		青森大林区署	
瀬辺地山檜末木角丸太惣勘仕上帳 元治元年	GK651-35	真那板林雑費明細帳	GK651-39	大正 8 (1919) 20 頁 菊 仮洋	
元治元 (1864) 写 1 冊 半紙 仮和		写 1 冊 半紙 仮和		害虫病菌駆除予防法大意 青森大林区署編	GK654-1
註：成田与三郎古川伊兵衛の報告控		真那板林杣入惣勘調	GK651-38	青森 編者 大正 5 (1916) 62 頁 菊半 仮洋	
杣取心得書	GK651-37	写 1 冊 半紙 仮和		K657 森林利用 (林産物 木材学)	
明治 4 (1871) 写 1 冊 半紙半 (横) 和		真那板林米銭元入調	GK651-40	青森大林区署管内製材所案内	GK657-2
註：材木御払代 杣賃 寸甫定洩 杣取心得 運賃等を記す		写 1 冊 半紙 仮和			

青森大林区署編 明治 45 (1912) 68 頁 菊 仮洋	
外瀬村流木土場の図 写 1 枚	GK657-1
青森特産ひば 青森営林局編 青森 編者 昭和 5 30 頁 菊 仮洋	GK657-5
特産羅漢柏 青森大林区署編 青森 編者 大正 4 (1915) 33 頁 四六 仮洋	GK657-3
特産羅漢柏 青森大林区署編 青森 編者 大正 4 (1915) 33 頁 四六 仮洋	GK657-4
K660 水産業	
東西蝦夷地場所運上金調帳 安政 5 (1858) 写 (倉光恒孝) 1 冊 横小 和	GK660-4
平館勤中并諸手控 安政 3 年 利之 安政 3 (1856) 1 冊 横小 仮和 註：海岸の浅深 漁船の調 松前東西場所運上等の控	GK660-1
松前東西蝦夷地場所運上金 文久 4 (1864) 写 1 冊 横小 仮和	GK660-2
森岡御領浦々御触之控 明和元,2 (1764,65) 写 1 冊 美濃 仮和 註：南部藩俵物についての覚書き	GK660-3
K669 製塩 塩業	
懸汐手引草 下巻 (上中巻欠) 吉崎織 文政 11 (1828) 写 1 冊 美濃 和	GK669-1

野内村領大浦浜塩焚出手控 慶応 2 年より同 3 年まで 慶応 2,3 (1866,67) 写 1 冊 美濃半 仮和	GK669-2
K670 商業	
青森県実業家案内 中央堂近松印刷部編 弘前 編者 明治 43 (1910) 114 頁 四六倍 仮洋	GK670-2
青森県実業家案内 弘前 近松印刷部 明治 43 (1910) 1 冊 四六倍	GK670-3
青森県商業鑑 一名：実業家案内 関根辰蔵編 黒石 編者 明治 40 (1907) [74 頁] 菊	GK670-1
青森県商工業の状態 青森県内務部編 青森 編者 大正元 (1912) 70 頁 四六 仮洋	GK670-4
青森県商工業の状態 青森県内務部編 青森 編者 大正元 (1912) 70 頁 四六 仮洋	GK670-5
青森商工案内 青森商業会議所編 青森 編者 大正4,昭和6 (1915,31) 2冊 三六・四六 仮洋	GK670-12
青森商工案内 青森商業会議所編 青森 編者 大正 4 (1915) 41 頁 三六	GK670-13
青森商工銘鑑 青森築港起工記念 東奥之紹介社編 青森 編者 昭和 8 84 頁 菊	GK670-14
黒石商工要覧 黒石商工会編	GK670-15

黒石 編者 昭和 7 43 頁 四六	
商工聯合 創刊号 商工聯合社編 弘前 編者 昭和 6 1 冊 菊 仮洋	GK670-11
弘前市商工案内 弘前商工会議所編 弘前 編者 大正元～昭和10 (1912～35) 9冊 四六 仮洋 内容：大正元年版～同4年版 大正9年版 大正12年版 大正13年版 大正15年版 昭和10年版 註：弘前商業会議所は昭和5年改組弘前商工会議所となる	GK670-7
弘前市商工案内 弘前商業会議所編 弘前 編者 大正2～15 (1913～26) 3冊 四六 仮洋 内容：大正 2 年版 大正 3 年版 大正 15 年版	GK670-8
弘前商工雑誌 弘前商工会編 弘前 編者 大正15,昭和2 (1926,27) 13冊 菊 仮洋 内容：第1巻創刊号～第9号 (大正15) 第2巻第1～4号 (昭和2)	GK670-9
弘前商工雑誌 弘前商工会編 弘前 編者 大正 15, 昭和 2 (1926,27) 7 冊 菊 仮洋 内容：第1巻創刊号～第4,6号 (大正15) 第2巻第1,2号 (昭和2)	GK670-10
弘前商工人名録 附商工要覧 弘前商業会議所編 弘前 編者 明治 44 (1911) [133 頁] 菊 仮洋	GK670-6
K671 商業政策 経営	
青森県商工協会規則 附役員名簿 青森県商工協会編 青森 編者 大正 6 (1917) 8 頁 四六 仮洋	GK671-1

商業弘前倶楽部規則 附人名簿 **GK671-2**
商業弘前倶楽部編
明治17 (1884) 〔19頁〕四六

商業弘前倶楽部規則 明治17年改 **GK671-3**
明治17 (1884) 1冊 四六 仮洋

弘前商業会議所会報 弘前商業会議所編 **GK671-5**
弘前 編者 明治43 (1910) 3冊 菊 仮洋
内容：第5～7号 (明治43)

弘前商業会議所月報 弘前商業会議所編 **GK671-5**
弘前 編者 昭和4～13年 (1929～39) 11冊 菊 仮洋
内容：第209～212号 (昭和4) 第215号 (昭和5) 第229,230号 (昭和6) 第233,235号 (昭和7) 第267号 (昭和11) 第290号 (昭和13)

弘前商業会規約 明治25年12月 **GK671-4**
弘前 明治25 (1892) 20頁 美濃半

K672 商業史 事情

居鯖一条留 **GK672-1**
元治2 (1865) 写 1冊 半紙 仮和
註：賀田村居鯖 (五十集) 屋共生肴商売の儀に付駒越町居鯖屋共より異議一件

浦塩斯徳港視察報告書 福田祐英等 **GK672-2**
青森 明治40 (1907) 43頁 菊
共著者：藤沢本次郎 篠原善次郎 藤林源右衛門

K673 商店 販売

店心得書 **GK673-6**

弘化4 (1847) 写 1冊 美濃 和
註：本店から分店へ与えたもの

店式目 **GK673-4**
明治15 (1882) 写 1冊 美濃 和

店条目 **GK673-2**
写 1冊 半紙 仮和

店条目 **GK673-3**
明治39 (1906) 写 1冊 美濃倍 仮和

店条目録 1 **GK673-1**
文化6 (1809) 写 1冊 半紙 和

店条目録 改正 **GK673-5**
明治16 (1883) 写 1冊 美濃 和

K677 倉庫

〔弘前倉庫〕**営業報告書** 第48回 弘前倉庫 **GK677-1**
大正12 (1923) 19頁 四六 仮洋
註：大正12年自1月1日至6月30日上半期

K678 貿易

ブラキストン・マール社中ヨリ津輕藩ニ対シ三万六千百九拾四両五十一錢ヲ請求スル訴状 **GK678-2**
明治6年
写 1冊 半紙

ホーウエル及ヒ津輕藩原告ノ申立 明治4年 **GK678-1**
写 1冊 半紙 仮和
註：明治4年 (1871) に横浜に於てホーウエル社と今村弥五郎今村勇吉并津輕屋兵助の間に小林友八を請人とし

て取結んだ約定から引起した事件 本書は違約の申立書

K683 海運

大坂福島屋理助船振分算 文化元年 **GK683-2**
写 1冊 半紙 仮和
註：南部藩雇船大阪廻船の際荒天にて捨物損銀の割付

大湊開港論 大湊興業株式会社創立事務所編 **GK683-9**
東京 編者〔大正刊〕22頁 菊

御城米積破船一条 **GK683-7**
慶応3年小泊湊支配脇元村ニ而破船之節
慶応3 (1867) 写 1冊 半紙 和

御城米積破船取扱書 天,地 **GK683-6**
慶応4 (1868) 写 (三上喜治) 2冊 半紙 和
註：万延元年御城米廻船遭難取扱一件の書

諸湊勤式 **GK683-4**
天保6 (1835) 写 1冊 半紙 和
註：公義御定之航法 廻船法用掟 湊御定法勤方之覚 日之丸御印立船扱并難破船扱之事其他 公儀の定から弘前藩のものに及ぶ

諸湊諸事変難取扱留 湊目付 **GK683-3**
文化5 (1808) 写 1冊 半紙 和
註：湊目付の勤向の参考のために編した安永～天明頃の遭難の取扱記録

日之丸御城米積船 (上乘名前落ニ而御訴扱一条 檣痛入津立替扱一条) 天明6年 **GK683-1**
写 1冊 半紙 仮和

日之丸御城米積船扱之一件 **GK683-5**

天保9(1838)写 1冊 半紙 仮和 註：日之丸御城米積船の取扱方		寛政9(1797)写 1冊 横小 和		小坂通道中記	GK685-30
田沢良茂手鑑 田沢良茂 写(宝暦頃)1冊 横小 仮和 註：両浜勤番心得覚書	GK683-8	御郡内所々街道駄賃御定 天保8(1837)写 1冊 横小 仮和	GK685-4	万延元(1860)写 1冊 横小 和 註：江戸より弘前まで 小坂(福島県)通り	
K684 河航 運河 渡船		御下国御道中御日記 文化8年4月 写 1冊 半紙 和 註：文化8年(1811)秋田藩主江戸発駕より秋田着城まで	GK685-37	小坂通道中記 写 1冊 横小 仮和 註：江戸より弘前まで 小坂(福島県)通り	GK685-32
〔駒越川渡御舟奉行記録〕小山内弥八郎 寛政10(1798)写 1冊 半紙 仮和 註：寛政10年小山内弥八郎が藩主高岡御社参に付駒越川渡御船奉行仰付けられた際の記録	GK684-1	小坂道中調 安政4(1857)写(一戸兵司(正秀))1冊 横小 仮和 註：江戸より弘前まで 笹谷通 秋田より西廻り 仙台より瀬見通 太田原より日光迄を附記	GK685-29	小坂通道中巨細記 安政4(1857)写 1冊 7.7×16.7(横) 和	GK685-44
K685 道路運輸		小坂通道中記 山口恒寛 写(文化頃)1冊 横小 和 註：江戸より弘前までの道中記	GK685-2	御伝馬宿継金銀御定 写 1冊 横小 仮和	GK685-9
碇ヶ関口御関所出御切手紙下書之事 嘉永7年 嘉永7(1854)写 1通	GK685-12	小坂通道中記 安政5(1858)写 1冊 横小 仮和 註：小坂通道中記及び笹谷通仙台瀬見通 日光道中記 貫目定式とも	GK685-16	御領分中所々街道駄賃定并通り村付 写 1冊 半紙半 仮和	GK685-8
江戸下り道中記 寛政10(1798)写 1冊 横小 仮和 註：小坂(福島県)迎	GK685-28	小坂通道中記 写 1冊 横小 仮和 註：巻尾に道中掟 荷物貫目定 笹谷通 仙台より瀬見通 等附記	GK685-17	上下道程記 写 1冊 半紙半 仮和 註：久保田(秋田)天徳寺より浅草までの絵道程記	GK685-38
江戸道中記 写 1冊 横小 仮和 註：弘前より江戸まで小坂通道中諸定等	GK685-18	小坂通道中記 写 1冊 半紙半 和 註：弘前より江戸まで 小坂(福島県)通り	GK685-19	諸国道中旅日記 万延元(1860)写 1冊 横小 仮和 註：諸街道道中案内	GK685-41
往来寺請状之事 弘化4年 天徳寺 弘化4(1847)写 1通	GK685-11	小坂通道中記 写 1冊 横小 和 註：弘前より江戸まで 小坂(福島県)通り	GK685-24	所々海道駄賃御定 写 1冊 横小 和	GK685-7
御郡中所々街道駄賃定 安政2(1855)写 1冊 横小 和	GK685-5			人馬荷数之御定 写(文久3(1863)頃)1冊 半紙 仮和	GK685-6
御郡内古跡并駄賃定(所々海道駄賃定)	GK685-1				

津軽より江戸迄道中記 **GK685-26**

文久元(1861)写 1冊 横小 仮和
 註：小坂(福島県)通

道中記 安藤友作 **GK685-20**

写 1冊 横小 仮和
 註：弘前より江戸まで 小坂通(福島県)

道中記 **GK685-21**

写 1冊 半紙半 和
 註：弘前より江戸まで 小坂道(福島県)

道中記 **GK685-22**

写 1冊 半紙半 和
 註：弘前より江戸まで 小坂通(福島県)

道中記 **GK685-23**

写 1冊 横小 仮和
 註：弘前より江戸まで 小坂通(福島県)

道中記 **GK685-25**

写 1冊 横小 仮和
 註：弘前より江戸まで 小坂通(福島県)

道中記 従津軽黒石秋田路小坂通り江戸迄 **GK685-27**

弘化3(1846)写 1冊 横小 仮和
 註：黒石より小坂(福島県)通り 江戸まで

道中記 **GK685-31**

写 1冊 横小 仮和
 註：江戸より弘前まで 小坂通(福島県)

道中記(奥州小坂通道中記) **GK685-33**

写(成田藤吉)1冊 横小 仮和

註：江戸より弘前まで 小坂(福島県)通り

道中記 **GK685-34**

写 1冊 半紙半 和
 註：本所式ツ目より弘前本町一丁目まで

道中記 **GK685-39**

写 1冊 横長 仮和
 註：弘前より秋田酒田新潟高田善光寺松本名古屋松坂伊勢京都奈良三田市大阪宇治亀山四日市浜松小田原江戸小山日光白河郡山福島仙台松島一ノ関盛岡寺田毛馬内碓ヶ関蔵館の順路

道中記 **GK685-40**

天明元(1781)写 1冊 横小 和
 註：米沢より福島宇都宮江戸小田原浜松名古屋伊勢奈良法隆寺高野山大阪京都比叡山松本善光寺新潟北国海道日光道案内記

道中記諸払 **GK685-13**

写(文政12(1829)頃)1冊 半紙半 仮和
 註：女中附添登りその他諸費用調

〔道中心得之覚〕 **GK685-10**

安政4(1857)写 1枚

〔道中〕日記 **GK685-35**

安政4(1857)写 1冊 半紙 和
 内題：碓ヶ関ヨリ南江廻リテ南都迄道のり

道中日算用 梅津長兵衛 **GK685-14**

天保8(1837)写 1冊 横小 仮和
 註：道中金銭払帖

難船見分方一件 **GK685-3**

天保6年

斎藤覚兵衛(賢宣)

天保6(1835)写 1冊 半紙半 仮和

註：江戸廻船難船見分のため勘定小頭南部領釜石までの道中控帖

〔弘前合同運送株式会社〕営業報告書 **GK685-43**

弘前合同運送株式会社
 昭和3～11 6冊 菊 仮洋
 内容：第2,5,7～9,18期

〔弘前より江戸迄順路〕 **GK685-15**

写 1冊 半紙 和

〔丸叶弘前運輸株式会社〕第壹期営業報告書 **GK685-42**

自大正10年7月1日至大正10年12月31日
 丸叶弘前運輸株式会社
 大正10(1921)12頁 菊

K686 鉄道運輸

青森県管内旅行汽車(船)運賃表 昭和19年 **GK686-4**

青森県内政部会計課編
 昭和19 1冊 四六倍々 洋

〔鉄道落成式演舌草稿〕 佐々木滯 **GK686-1**

明治27(1894)写 1冊 半紙
 註：明治27年12月1日青森弘前間鉄道落成演説草稿

陸奥輕便鉄道株式会社 **GK686-2**

陸奥輕便鉄道株式会社創立事務所
 刊 14頁 菊 仮洋
 内容：創立趣意書 起業目論見書 仮定款 營業上収支概算書
 註：川部五所川原間

〔陸奥鉄道株式会社〕決算報告書 第2期 GK686-3
陸奥鉄道株式会社
大正5(1916) 17頁 菊 仮洋
註：大正5年下半年(自大正5年7月1日至同年12月31日)

K689 旅館 ホテル

弘前市旅人宿ニ対スル注意事項 明治43年 GK689-1
(弘前警察署長訓示)
明治43(1910) 1冊 半紙 仮和

K696 電話

祝辞 弘前郵便局電話開通式 吉国兼三 GK696-1
明治42(1909) 写 1枚
註：青森郵便局長吉国兼三の祝辞

電話番号簿(青森県) 仙台通信局 GK696-2
昭和9〔391頁〕 菊 仮洋

K700 芸術

K706 学会 協会(展覧会)

展覧会参考品出品目録 小泊尋常小学校 GK706-1
明治36(1903) 写 1冊 半紙

K709 国宝 古器 骨董

北之御丸御土蔵御道具帳 御錠口役 GK709-2
文化9(1812) 写 1冊 美濃 和
註：文化9年調のもの 書入あり

二之御丸御宝蔵御道具帳 文化9年 GK709-1
文化9(1812) 写 1冊 美濃 和

K720 絵画

画決〔平尾魯仙〕(亮致) 編 GK720-4
写(自筆) 1冊 半紙 和

屏風書画目録 GK720-3
明治27(1894) 写 1帖 折本 中
註：斎藤蔵書とある

老竜堂書画軸目題 文久3年7月改 GK720-1
文久3(1863) 写 1冊 半紙 和
註：老竜堂は楠美太素家のこと

老竜堂書画軸目題 慶応4年5月 GK720-2
慶応4(1868) 写 1冊 半紙

K721 日本画

〔画帖〕山上仙室(魯山) 画 GK721-4

写(自筆) 1帖 折本 和

画道報国 第1巻 石沢竜峽(豊) GK721-3
昭和11 20頁 四六 和(図1〜4まで欠)

狩野元信之略伝併竹鶴之画幅来歴 棟方真一 GK721-1
明治20(1887) 写 1冊 半紙 仮和
註：竹鶴之画幅来歴は棟方氏が入手した狩野元信の画幅について書いたもの

十和田勝景画譜 鳥谷幡山(又蔵) GK721-2
東京 祥光閣画房 大正11(1922) 再版 1冊 美濃 和
註：幡山の十和田勝景画の写真及紀行

K728 書道

一町田笑堂書 一町田朝行書 GK728-39
写 1冊 半紙 和

〔一町田笑堂書〕〔一町田笑堂〕(朝行) 書 GK728-49
文久2(1862) 写 1枚 半切

上田流(手本) 佐々木〔素学〕(末吉) 書 GK728-11
写 1帖 折本

小倉山荘式紙和歌百首〔平井〕東堂(俊章) 書 GK728-35
明治5(1872) 写(原本) 2帖 折本

御手本 草坡(内海公民) 書 GK728-5
文政5(1822) 写 1冊 半紙 和
註：内海草坡 通称吉六 名公民 別号万三五 天保8年(1837) 没 77歳

御手本 星野〔素閑〕(尚賢) 書 GK728-26
写 1帖 折本

御手本 生駒甚八郎書 写 1帖 折本	GK728-46	状の文 素章（対馬重太郎） 慶応2（1866）写 1帖 折本	GK728-36	〔手本〕 素章（対馬重太郎）書 写 1帖 折本	GK728-13
小野篁歌学尽 高山文堂（静）書 明治42（1909）写 1冊 半紙倍 和	GK728-28	〔書簡文〕 〔岩田〕東溪（成蔵）書 天保15（1844）写 1帖 20.6×7.0 折本	GK728-32	〔手本〕 如旭（足立嘉一）書 写 1帖 折本	GK728-14
楷書 高山文堂（静）書 明治27（1894）写 1冊 半紙 和	GK728-29	尚書 （周公作無逸）藤正亀（三上道純）書 写（摹写）和	GK728-41	〔手本〕 文堂（高山静）書 明治16（1883）写 1冊 美濃	GK728-17
暉山先生六十前後書 〔小山内暉山〕（俊淳） 写 1冊 註：小山内暉山 通称寛蔵 明治27年（1894）没 84歳 名は俊淳 宇建善	GK728-8	書法千字文 〔小山内〕暉山（俊淳）書 慶応2（1866）写 1冊 半紙 和	GK728-34	手本 文堂如禅（高山静）書 明治28（1895）写 1冊 半紙	GK728-19
〔起請文〕 文化10（1813）写 1通 註：川越清吉（継久）が入木道并礼家相伝をうける際に星野六蔵へ差出したもの	GK728-4	〔真行草点画〕 小山内暉山（俊淳）書 明治22（1889）写 1冊 半紙 和	GK728-47	手本 工藤彦四郎書 写 1冊 半紙 和	GK728-27
五言古詩 （唐詩五言） 山崎〔蘭州〕（道冲）書 写 1冊 美濃 和	GK728-40	〔隨古堂〕文苑 7,8 星野素閑（尚賢）書 写 2冊 半紙 仮和 註：星野素閑 通称六蔵 名尚賢 文政7（1824）没 8の表紙に文化9壬申年（1812）夏6月とあり 隨古堂漫筆と高山文堂の題字あり	GK728-1	〔手本〕 筆身斎東溪（岩田成蔵）書 嘉永5（1852）写 1帖 28.7×8.3 折本 和	GK728-33
詩歌 佐々水素学（末吉）書 写 1冊 半紙	GK728-12	諏訪流之手本文章 享和3（1803）写 1冊 22.7×28.7 和	GK728-43	〔東溪書帖〕 〔岩田〕東溪（成蔵）書 弘化4（1847）写 1帖 折本	GK728-31
習字帖 〔高山〕文堂 明治21（1838）写 1冊 半紙 和	GK728-18	西山翁公教語 松田常蔵（正卿）書 写 1帖 折本 註：松田正卿 通称常蔵 号駒水	GK728-6	東溪先生書 〔岩田東溪〕（成蔵）書 写 1冊 美濃 和	GK728-48
〔習字手本〕 星野六蔵書 写 1帖 折本	GK728-3	続日本筆道秘伝抄 自11至14〔小山内〕暉山（俊淳）編 明治7（1874）写（高山文堂）1冊 半紙 和	GK728-10	東溪先生手本 〔岩田〕東溪（成蔵）書 天保元（1830）写 1帖 29.8×6.1 折本	GK728-30
習字本 高山文堂（静）書 明治23（1890）写 1冊 美濃 和	GK728-37	高山文堂書習字本 高山文堂（静） 写 1冊 美濃 仮和	GK728-20	唐詩五言三体 沢田東壁書 東山（津輕模宏）臨 写 1冊 美濃 和	GK728-38
				二十一代集長歌 （後水尾法皇御製） 星野素閑書 文化11（1814）写 1冊 半紙 仮和	GK728-2

白鶴翁文堂家集（謝尊師大恩） GK728-45
高山文堂（静）書
弘前 昭和6（石版）1冊 美濃半

〔平井東堂先生手本〕平井東堂（俊章）書 GK728-7
嘉永2（1849）写 1帖 折本
註：平井東堂 通称修理、字伯民 名俊章 明治5年（1872）没 60歳

文堂家集 高山文堂（静）書 GK728-22
大正15（1926）（石版刷）1冊 半紙半 和

文堂家集 高山文堂（静） GK728-22 イ
弘前〔大正15〕（1926）（石版）1冊 美濃半

文堂家集 高山文堂（静）書 GK728-24
昭和5（石版）1冊 半紙半 洋

文堂家集（尊師謝高恩）高山文堂（静）書 GK728-44
弘前 昭和5（石版）1冊 美濃半

文堂賀寿帖 高山文堂（静）書 GK728-23
大正15（1926）（石版）1冊 美濃半

文堂賀寿帖 高山文堂（静）書 GK728-23 イ
弘前 大正15（1926）（石版）1冊 美濃半

文堂書 文堂（高山静） GK728-21
写 1冊 半紙 和

〔法帖〕〔後藤〕仲竜書 GK728-42
写 1帖 29.1×12.0 折本

北門書道 第10,12号 北門書道会編 GK728-25

弘前 編者 昭和7,8 2冊 菊 仮洋

明治天皇御製 工藤則勝書 GK728-15
1検 35×48 一枚物
註：「岩が根を切りとほしても川水は思ふところに流れゆくらむ」一首を書いたもの 工藤氏は検事正検事長となり大正5年（1916）没 行年70歳

幼学習字須知 首一,天,地,卷13 GK728-9
〔小山内暉山〕編 高山文堂書
写 2冊 半紙 和

和文章 文堂（高山静）書 GK728-16
明治13（1880）写 1冊 美濃半 和
註：高山文堂 名は静 弘化4年生 昭和16年没 95歳

K739 篆刻 印譜

印譜 GK739-3
集印 1冊 半紙 和

三余余間 竹内子盈（升）摹 GK739-1
安永8（1779）写 1冊 半紙

三余余間 竹内子盈（升）摹 GK739-1 イ
安永8（1779）（押印）写 1冊 28.1×16.8 和

集古印象 GK739-2
集印（明治初）1帖 折本

K752 漆工芸

塗物秘伝 GK752-1
写 1冊 半紙半 仮和

K756 金工芸

覚 明珍新八郎 GK756-3
文化14（1817）写 1通
註：兜胴頬当注文製作方についての書簡

御渡甲冑請取証文之事 楠美莊司（則敏） GK756-5
高永6（1853）写 1通

御具足壺領諸色工料積書 安政4年 GK756-6
明珍松三郎
安政4（1857）写 1冊 半紙 仮和

御具足御代料積 明珍内匠 GK756-7
写 1通

御具足下地積書 明珍新八郎 GK756-2
文化12（1815）写 1冊 半紙

甲冑注文 GK756-4
嘉永5（1852）写 1冊 半紙 仮和

甲頬面注文書（素加年簿鍛） GK756-9
写 1通

〔供具足出来諸色代料〕 GK756-8
写 1袋

武器等御書付 文化5年 GK756-1
文化5（1808）写 1冊 半紙
註：文化5年2月御自筆御書付之写

K767 声楽

悲絶痛絶吹雪の敵 GK767-1

井上松雨作歌 河井醉茗（又平）作歌 田村虎蔵作曲
東京 金港堂 明治 35（1902）23 頁 菊 仮洋

K768 邦楽

いくた流そふ曲（郁田流箏曲 新郁田玉川流箏曲）
写 1 冊 半紙 和 GK768-13

生田流箏曲繁撫之譜 GK768-14
写（明治）1 冊 美濃 和

起証文 楠美荘司宛 城幾 GK768-5
文化 11（1814）写 1 通
註：平曲琵琶伝授の際の起請文 城幾は座当頭 玉環と号す 姓は清藤氏 天保8年（1837）没

琴曲抄 楠美荘司（則徳） GK768-2
写（自筆）1 冊 半紙 和

琴譜序并生田流琴譜目録 GK768-12
楠美藤徳荘司（則徳）
天明元（1781）写（自筆）1 冊 半紙 和

琴琵琶名所 GK768-1
天明 4（1784）写 1 冊 半紙 和
註：伊藤甚右衛門（幸氏）—石川半平（久忠）—加藤猪右衛門（貞懿）—平田九郎兵衛（貴徳）から星野六蔵へ

誓約状 楠美荘司宛 城千代坊 GK768-3
寛政 6（1794）写 1 通
註：平曲琵琶教授の誓約 城千代後に城郁と改める

誓約条々 楠美荘司宛 沢与左衛門（良恭） GK768-7
文政元（1818）写 1 通
註：文政 11 年（1828）没 69 歳

奏楽御用留 川越東一等 GK768-9
写 1 冊 半紙
註：川越東一 斎藤善兵衛 佐田平吉 木村才助 佐田大之丞 伴勇蔵 等の管絃奏楽御用留 天保14年～慶応3年（1843～67）

俗談箏話 谷唯一（三谷慶輔） GK768-8
安政 5（1858）写（自筆）1 冊 半紙半 和
註：三谷句仏の自筆本 巻末に当道略記 妙音構縁記が附記されている

平曲一件 楠美晩翠（和民）編 GK768-11
写（明治）1 袋
内容：勾当帽子雛形 検校燕尾帽子雛形 郢曲 前田流平家詞曲相伝議定書 異流月見 明治17単語初 其他

平曲古今譚 楠美晩翠（和民）編 GK768-10
明治 16（1883）写 1 冊 半紙 和
註：楠美晩翠の自筆本

前田流平曲の巻末の記 楠美則徳 GK768-4
文化 11（1814）写 1 冊 半紙 和
註：楠美荘司（則徳）自筆本

平曲由来記（文化十四年於岩鬼精舎有頓舎行事城幾城豊二法師語奏戒文） GK768-6
写 1 冊 半紙 和（楠美旧蔵本）

美音の松風（郁田流箏曲組歌譜） GK768-15
明治 35（1902）写 1 冊 美濃 和

K773 能 狂言

諷名寄（喜多流）川越継久 GK773-1

写 1 帖 折本

御能御囃子留帳 文化 3 年～安政 4 年 GK773-2
小寺勝太郎
文化3～安政4（1806～57）写 1 冊 15.8×24.8
横 和

K788 映画

〔弘前映画観賞会〕会報 第 3 輯 10 月号 GK778-1
弘前映画観賞会編
弘前 編者 昭和 12 1 冊 菊 仮洋

K780 運動競技

県下体育大会（秩父宮殿下同妃殿下奉迎） GK780-1
青森県編
青森 編者 昭和 10 1 冊 四六 仮洋
註：昭和10年9月15日弘前市設公認競技場に於いて行われた

K784 スキー スケート

青森県スキー年報 第 4,6 号 GK784-3
青森県スキー聯盟編
青森 編者 昭和 10,13 2 冊 菊 仮洋

岩木嵐 創刊号 GK784-1
弘前スキー倶楽部（神英造）編
弘前 編者 昭和 7 78 頁 菊 仮洋
註：岩木嵐とあるが嵐の誤り

岩木嵐 創刊号 GK784-2
弘前スキー倶楽部（神英造）編
弘前 編者 昭和 7 78 頁 菊 仮洋

K787 釣魚 遊獵

鶉狩ニ付諸書付之覚 森岡金吾 **GK787-2**
宝暦 5 (1755) 写 1 冊 半紙 和
註：宝暦 5 年の鶉狩の際の諸心得

馬鷹(鳥柴 隼鷹 馬具名所 女中古実 鷹方秘書 兵雲) 星野六蔵(尚賢) 書 **GK787-4**
文化 7 (1810) 写 1 冊 半紙 和
註：貴徳先生の口伝

御鷹野御場所見分帳 安永 3 年 8 月 **GK787-3**
安永 3 (1774) 写 1 冊 半紙(横) 仮和

清水森野辺ニ而狼狩ニ付人数繰出之覚 **GK787-1**
元文 2 年 2 月
元文 2 (1737) 写 1 冊 半紙 仮和
内容：申渡之覚 示合之覚 人数繰出之覚 四ヶ所寄場ニ而心得之覚 郡方江申合并勢子割之覚

K788 相撲 競馬

神力講社名簿 **GK788-1**
明治 20 (1887) 写 1 冊 半紙倍 和
註：力士名簿

K789 武道

青森県中津軽郡尚武会規約 **GK789-6**
刊 6 頁 四六 仮洋

天の羽衣の大事口伝 **GK789-19**
天明 4 (1784) 写 1 通
註：成田又左衛門(遵意) から松井四郎次へ与えたもの

本覚克己流

一心流 **GK789-67**
正徳元 (1711) 写 1 軸 卷子 小
註：斎薩長左衛門(兼光) 一須藤平七(勝明)

一心流半棒裏位 **GK789-68**
正徳元 (1711) 写 1 軸 卷子 小
註：斎藤長左衛門(兼光) 一須藤平七(勝明)

一心流半棒極意之巻 **GK789-69**
正徳元 (1711) 写 1 軸 卷子 小

一刀流兵法仮名字書 **GK789-35**
写 1 冊 半紙 仮和
註：伊善景久一小野忠明一同忠常一同忠於一同忠一一同忠方一中西忠太(子定)一同忠蔵(手沢)一同忠太(子啓)一同忠兵衛(子正)一須藤半兵衛(正万)一同半之丞(正安)一木村忠清

一刀流兵法十二ヶ条 **GK789-34**
文化 11 (1814) 写 1 軸 卷子 小
註：小野次郎右衛門(忠明)一同(忠常)一同(忠於)一(忠一)一(忠方)一中西忠蔵(子武)一中西忠太(子啓)一中西猪太郎(子正)一山鹿八郎左衛門(高美)一山鹿次郎作(高厚)

一刀流兵法之目録 **GK789-32**
天明 4 (1784) 写 1 軸 卷子 小
註：伊藤一刀(景久)一小野次郎右衛門(忠明)一同(忠方)一溝口半左衛門(重恒)一梶新右衛門(正直)一山田仁右衛門(広久)一小倉藤左衛門(根豊)一山田仁兵衛(広久)から桜庭桑之助へ与えたもの

陰陽之矢之事 **GK789-100**

享保 13 (1728) 写 1 帖 折本 小
註：勝本水右衛門(勝清) から竹内亦市(安貞) へ与えたもの

内竹六節陰・外竹七節陽 **GK789-110**
写 1 冊 美濃半 和
註：勝本水右衛門(皆済) から竹内伝九郎へ

内竹六節陰・外竹七節陽 **GK789-109**
写 1 冊 美濃半 和
註：勝本水右衛門から神力之助へ

鞆母一色用法(当流雪荷) 竹内安貞編 **GK789-106**
享保 15 (1730) 写(自筆) 1 冊 半紙 和

演説 一戸三之助(宗明) **GK789-62**
延享 3 (1746) 写 1 通
註：宝蔵流十文学鎌鎗を藩主へ稽古教授方についての伺

〔小野派一刀流印可〕 **GK789-33**
寛政元 (1789) 写 1 軸 卷子 小
註：伊藤一刀(景久)一小野次郎右衛門(忠明)一同(忠方)一溝口半左衛門(重恒)一梶新右衛門(正直)一山田仁右衛門(広久)一小倉藤左衛門(根豊)一山田仁兵衛(広久)から桜庭太次馬へ与えたもの

〔刀鎗師範家より廻文下書〕 文久 2 年 **GK789-4**
文久 2 (1862) 写 1 冊 半紙

矩之目録 **GK789-146**
元禄 8 (1695) 写 1 軸 卷子
註：松平忠左衛門(親新) から中畑清八へ

弓学是知抄 **GK789-140**
写 4 冊 美濃半 和

内容：天之四貞 地一春一，二 地二夏一	
弓学是知抄 地之一春 写 1冊 半紙 和	GK789-145
弓学是知抄天二亨 3 写 1冊 美濃半 和 註：勝本水右衛門から竹内伝九郎へ与えたものの写	GK789-111
弓道印可一条奥儀伝来神通鐫製作記之 竹内安貞 写 1袋 (3通)	GK789-108
弓道覚書 竹内 写 1帖 折本 小	GK789-112
弓道竹林派秘伝弁書 木村意休 (智直) 写 1冊 美濃半 仮和	GK789-88
九字之大事 天保15 (1844) 写 1軸 卷子 小 註：津軽玄蕃より11代山崎勘一郎 (顕広) から羽賀清之進へ与えたもの 本覚克己流	GK789-28
訓閱集実検之巻 文政4 (1821) 写 1通 註：首実検の作法 小笠原長時—水島ト也 (之成)—伊藤甚右衛門 (幸氏)—石川半平 (久忠)—加藤猪右衛門 (貞懿)—平田丸郎兵衛 (貴徳)—星野六蔵素閑 (尚賢) から川越清吉へ与えたもの	GK789-135
剣道教範 山形幸四郎 弘前 著者 大正10 (1921) 91頁 四六	GK789-138
高上極位之巻	GK789-53

写 1軸 卷子 小 註：林崎甚助 (重信)—田宮平兵衛 (照常)—長野無楽斎 (権露)—宮左太夫 (照信)—谷小左衛門 (季正)—常井喜兵衛 (直則)—浅利伊兵衛 (均禄)—山形半十郎 (茂高)—小山次良太夫 (英貞) から高杉伝七へ与えたもの	
極意至格之段 享保18 (1733) 写 1軸 卷子 小 註：添田儀左衛門 (貞俊)—津軽玄蕃 (政朝)—添田弥兵衛 (貞和) から兼平七十郎へ 克己流和	GK789-18
御自筆之写 文久2年 文久2 (1862) 写 1冊 半紙 註：武芸奨励の藩主親書の写及家老口上 用人演説	GK789-3
御中小性壺番組式番組武芸調帳 嘉永6年 川越茂兵衛 (直久) 嘉永6 (1853) 写 1冊 横長 仮和 (川越石太郎旧蔵)	GK789-1
采串之事 享保13 (1728) 写 1帖 折本 小 註：勝本水右衛門 (勝清) から竹内又市 (安貞) へ与えたもの	GK789-103
三種之功用朝鏡之相伝 享保14 (1729) 写 1軸 卷子 小 註：一戸三之助より竹内又市へ与えた剣の心得	GK789-61
三秘相伝 口解 勝本水右衛門 (勝清) 口解 竹内安貞編 享保14 (1729) 写 1帖 折本 小	GK789-105
敷地買入寄附帳 北辰堂 〔大正8〕 (1919) 写 1冊 半紙	GK789-5

敷皮行膝秘事 享保13 (1728) 写 1帖 折本 註：勝本水右衛門より竹内亦市へ	GK789-148
四弓ノ事 勝本水右衛門甲山 (勝清) 享保11 (1726) 写 (竹内安貞) 1冊 半紙 仮和 註：享保11年勝本水右衛門が藩主に差上げたものの控附に五井藤九郎が弓矢初のことについて答えた書面がある	GK789-95
射形奥儀之巻 第4 元禄7 (1694) 写 1軸 卷子 小 註：目置弥左衛門—安松左近丞—安松新次郎—弓削甚左衛門—弓削弥六郎—前竹林如成—石塔竹林貞次—瓦林与次右門 (成直)—酒井金弥 (重勝)—大須加新右衛門 (重成)—木村意休 (智直) から棟方十左衛門へ与えたもの 日置流竹林派	GK789-89
射術目録 口解〔勝本〕勝清口解 竹内安貞編 享保13 (1728) 写 1帖 折本 小	GK789-99
射方目録 浅利伊兵衛 正徳5 (1715) 写 1軸 卷子 小	GK789-91
修羅新書 正徳6 (1716) 写 1軸 卷子 小 註：石川幽雪 (尹重)—今村喜兵衛 (正貞)—国安形部右衛門 (久寛)—長尾奎右衛門 (貞絹)—佐藤善右衛門 (豊就)—篠塚団右衛門 (維貞) から青木兵左衛門へ与えたもの	GK789-132
馴縄流軍馬上 津軽玄蕃 (政朝) 寛延3 (1750) 写 3軸 卷子 小 内容：初目録 仕掛之巻 二之目録 馬具用法之巻	GK789-123

三之目録 馬上業之巻

註：安芸九郎（清元）—山上優夢斎（英武）—石川ト也斎（勝重）—津経玄蕃（政朝）—津軽養丁（久豊）—小倉藤左衛門（根豊）—津軽喜左衛門（節甫）—木立要左衛門（守貞）

馴細流軍馬上 自初巻至四巻 **GK789-125**

一楽軒政朝（津経玄蕃）写 1冊 半紙 仮和

馴縄流軍馬〔上〕許之巻聞書 **GK789-124**

宝暦4（1754）写 1冊 半紙 仮和

鐘馗流中極意歌目録 **GK789-60**

天保15（1844）写 1軸 卷子 小

註：徳永武兵衛—長尾俊次郎（久庸）—対馬九郎右衛門（清信）—児玉三八（隆住）から桑田内蔵へ与えたもの

乗馬大意 木立守貞 **GK789-117**

刊（安永4（1775）序）1冊 半紙 和

新影治源流 **GK789-37**

寛政5（1793）写 1軸 卷子 小

註：橋内膳正（家久）—青柳宮女之助（高久）—川村治右衛門（勝平）—斎藤孫助（請平）—斎藤平次郎（雅春）—成田吉三郎（兼満）—成田又左衛門（遭意）から山形斧市へ与えたもの

新影次源流 **GK789-36**

貞享4（1687）写 1軸 卷子 小

註：河村次右衛門（勝平）—白取左太郎（○尚）から岩淵伝助へ与えたもの 剣術

新町治源流 **GK789-76**

宝暦3（1753）写 1冊 卷子 小

註：橋内膳正（家久）—青柳宮女介（高久）—川村治

右衛門（勝平）—白取佐太郎（○尚）—添田伝九郎（貞栄）—笹森滝右衛門（建豊）—安藤七右衛門（治利）—石郷岡八太夫（建理）—盛田吉三郎（兼満）—小笠原空之丞（安久）—藤田舎人（貞如）—岩淵嘉門（直亮）—笹宇右衛門（盛清）—釜范八左衛門（景常）—西館縫殿之助（建雄）から桜庭瀬左衛門へ与えたもの 捕縄

新影治源流奥意之巻弁解 **GK789-38**

写 1冊 半紙 和

註：伊藤助計の署名あり

新願夢想流縄 乳井源太（建貞） **GK789-75**

享保11（1726）写 1軸 卷子 小

註：乳井源太（建貞）—佐藤理兵衛（幸前）から北原内近へ

神当流馬責可騎次第 **GK789-119**

明和3（1766）写 1軸 卷子 小

註：神尾織部（吉久）—渡辺勝兵衛（良）—花井庄左衛門（定次）—青沼与四右衛門（盛明）—青沼勘右衛門（盛次）—青沼与四右衛門（盛蔵）—青沼求馬（盛武）—青沼吉之進（盛紀）から八木橋富蔵へ

神当流馬責可騎次第 **GK789-121**

文政元（1818）写 1軸 卷子 小

註：神尾織部（吉久）—渡辺勝兵衛（良）—花井庄左衛門（定次）—青沼与四右衛門（盛明）—青沼勘右衛門（盛次）—有海七太夫（貞勝）—有海半之丞（勝栄）—有海七太夫（勝都）—有海栄作から桜庭平治郎へ

神当流攻騎外書 **GK789-120**

文化13（1816）写 1軸 卷子 小

註：神尾織部（吉久）—渡辺勝兵衛（良）—花井庄左衛門（定次）—青沼与四右衛門（盛明）—青沼勘右衛門（盛次）—有海七太夫（貞勝）—有海半之丞（勝明）—有海

七太夫（勝都）—有海栄作（勝清）から桜庭平次郎へ

神当流攻騎外書 **GK789-122**

安政7（1860）写 1軸 卷子 小

註：神尾織部（吉久）—渡辺勝兵衛（良）—花井庄左衛門（定次）—青沼与四右衛門（盛明）—青沼勘右衛門（盛次）—有海七太夫（貞勝）—有海半之丞（勝明）—有海七太夫（勝都）—有海栄作（勝清）—有海七太夫（勝定）より桜庭富蔵へ与えたもの

神力丸目流初巻 **GK789-74**

文化5（1808）写 1軸 卷子 小

註：丸目春斎（助久）—丸目玄蕃（助友）—宮崎庭伯（元宗）—庭遊軒可楽（添田貞俊）—梅松街可楽（添田貞和）—唐牛甚右衛門（殊英）—助川大次郎（利忠）—三上喜兵衛（久吉）—今十助（直元）から中村隼太へ

神力丸目流棒手鏡 **GK789-73**

写 1冊 半紙 低和

註：丸目春斎（助寿）—丸目玄蕃（助友）—宮崎庭伯（元宗）—庭遊軒可楽（添田貞俊）—添田弥兵衛（貞和）

須鞍流 初巻 **GK789-141**

写 1冊 半紙 和

註：早身平四郎（時則）—桑田仁右衛門—戸仁右衛門—嘉藤八十郎

須鞍流軍馬之巻 **GK789-126**

享保12（1727）写 1軸 卷子 小

註：三上遊斎—田村青石斎—山田須右衛門—三上民部—早身平四郎（時則）—桑田自栄（富健）から大道寺宇左衛門へ

須鞍流駒割 **GK789-130**

写 1冊 半紙

須鞍流初巻 **GK789-127**

寛延2 (1749) 写 1冊 半紙 和
 註：桑田自栄—津軽須鞍流二代目桑田忠左衛門から館山鍋次郎へ与えたもの

須鞍流初巻 **GK789-128**

文政4 (1821) 写 1冊 美濃半 和
 註：三上遊斎—田村青石斎—山田須右衛門—三上民部—早身平四郎—桑田自栄—桑田忠左衛門—桑田五左衛門—秋元金九郎—桑田清蔵から成田万作へ

数鞍流乗方 (聞書) 嘉藤新左衛門 **GK789-134**

写 1冊 半紙

数鞍流乗方目録 **GK789-133**

享保15 (1730) 写 1軸 卷子 小
 註：一戸仁五右衛 (清行) から嘉藤八十郎へ与えたもの

須鞍涙馬書 **GK789-129**

写 1冊 半紙 仮和

誓詞 **GK789-66**

文化15 (1818) 写 1通
 註：岩淵嘉門 (直則) が加藤清兵衛へ鎗術入門の際差出したもの

清浄霊剣・軍星霊剣 **GK789-144**

写 1冊 半紙 和
 註：印藤三甫斎 (景儀) —津軽玄蕃 (政朝) — (略) —武田正司 (永倫)

雪荷当流弓村秘伝之巻 **GK789-139**

写 (竹内安貞) 1冊 20.0×13.0 和

雪荷流村之書 **GK789-97**

享保12 (1727) 写 1冊 半紙 和
 註：竹内安貞が書写伝来

雪荷流弓歌 **GK789-96**

享保12 (1727) 写 1軸 卷子 小
 註：勝本水右衛門 (勝清) から竹内又市へ与えたもの

〔鎗術七巻〕 **GK789-64**

寛延2 (1749) 写 1軸 卷子 小
 註：宮下離弓—斎藤安兵衛 (征武) から桜庭権左衛門へ与えたもの 無辺流か

第二後勘十道 **GK789-92**

享保4 (1719) 写 1軸 卷子 小
 註：木村典膳 (匡隆) —中畑半右衛門 (金満) から桜庭桑右衛門へ与えたもの 弓道

第二後勘十道・五重十文字 **GK789-93**

享保4 (1719) 写 1軸 卷子 小
 註：中畑半右衛門 (金満) から津軽監物へ

伝行之巻 **GK789-102**

享保13 (1728) 写 1帖 折本 小
 註：勝本水右衛門から竹内又市へ与えたもの 小笠原流弓馬

藤家一流石堂竹林派 **GK789-90**

延享4 (1747) 写 1軸 卷子 小
 註：笹森勘解由左衛門 (建豊) —斎藤新五兵衛 (喜壽) から長谷川茂兵衛へ与えたもの

藤家一流石堂竹林派 **GK789-147**

正徳5 (1715) 写 1軸 卷子 小
 註：木村典膳 (匡隆) —中畑半右衛門 (金満) から桜庭

桑右衛門へ

当流四巻之書 巻2,3,4 **GK789-113**

明和7 (1770) 写 3冊 美濃 和
 註：田中無事右衛門から工藤源左衛門へ与えたもの

当流巻藁之図 **GK789-94**

享保5 (1720) 写 1冊 美濃半 和
 註：勝本水右衛門 (勝清) から竹内伝九郎へ

〔当田流剣術〕 **GK789-44**

寛延2 (1749) 写 1軸 卷子 小
 註：当田清源—当田内記—当田権右衛門—当田権太夫 (吉政) —当田半兵衛 (吉正) —浅利伊兵衛 (均禄) —成田兵右衛門 (総恒) —堀口安兵衛から八木橋八次郎へ

当田流剣術濫觴拾書 **GK789-45**

写 1冊 半紙 和

〔当田流太刀〕 **GK789-42**

正徳4 (1714) 写 1軸 卷子 小
 註：40に同じ

当田流太刀裏目録 **GK789-41**

正徳4 (1714) 写 1軸 卷子 小
 註：当田清源—当田内記—当田権右衛門—当田権太夫—当田半兵衛—浅利伊兵衛 (均禄)

当田流太刀許極意目録 **GK789-39**

正徳4 (1714) 写 1軸 卷子 小
 註：当田清源—同内記—同権右衛門—同権太夫 (吉政) —同半兵衛 (吉正) —浅利伊兵衛 (均禄)

当田流太刀許之時備壇上候供物之事 **GK789-43**

浅利伊兵衛 (均禄)

正徳4(1714)写 1軸 卷子 小

当田流太刀中極目録 **GK789-40**

正徳4(1714)写 1軸 卷子 小
 註：当田談源一同内記一同権右衛門一同権太夫(方政)一同半兵衛(方止)一浅利伊兵衛(均禄)

当田流棒裏之目録 **GK789-72**

正徳5(1715)写 1軸 卷子 小
 註：当田清源一当田内記一当田権右衛門一当田権太夫一当田半兵衛一浅利伊兵衛(均禄)

当田流棒表之目録 **GK789-71**

正徳5(1715)写 1軸 卷子 小
 註：当田清源一当田内記一当田権右衛門一当山権太夫一当出半兵衛一浅利伊兵衛(均禄)

当田流棒極意之巻 **GK789-70**

正徳5(1715)写 1軸 卷子 小
 註：当田清源一当田内記一当田権右衛門一当田権太夫一当田半兵衛一浅利伊兵衛(均禄)

繩一流之秘術 **GK789-78**

同和4(1767)写 1軸 卷子 小
 註：清野勝右衛門一添田伝九郎一岡藤左衛門一安藤七右衛門一石郷岡八太夫一岩淵嘉門一笹宇右衛門一釜范八左衛門一福田金兵衛(次倫)から楠美吉五郎へ与えたもの

繩一流之秘術 **GK789-77**

宝暦3(1753)写 1軸 卷子 小
 註：清野勝右衛門一添田伝九郎(貞栄)一岡藤左衛門(貞許)一安藤七右衛門(治利)一石郷岡八太夫(建理)一盛田吉三郎(兼満)一小笠原奎之丞(安久)一藤田舎人(貞如)一岩淵嘉門(直亮)一笹宇右衛門(盛清)一釜范八左衛門(景常)一西館縫殿之助(建雄)か

ら桜庭瀬左衛門へ与えたもの

繩極意許伝授 **GK789-79**

明治21(1888)写 1軸 卷子 小
 註：斎藤数枝(美導)から加藤国太郎へ

馬具道具の次第 **GK789-131**

元禄2(1689)写 1冊 半紙 仮和
 註：横山嘉右衛門(武基)から岩淵伝助への秘伝書

〔馬術伝書〕 **GK789-118**

延宝5(1677)写 1軸 卷子 小
 註：渡辺勝兵衛(良)一毛利刑部少輔(元知)から木立長兵衛へ与えたもの 神当流

八条流教之鞍之巻目録 **GK789-114**

安永2(1773)写(木立守貞)1軸 卷子 小
 註：八条近江守(房繁)一長尾丹後守(景家)一屋代玄蕃入道(重高)一屋代左近将監(重俊)一羽柴飛驒守(氏郷)一高備中守(真成)一上田伊勢守(守信)一今北新兵衛(忠良)一小笠原小兵衛(盛昌)一木立民部(守義)一木立長兵衛(成常)一木立長兵衛(富貴)一木立藤右衛門(道守)一木立要左衛門(守貞)

八条流格之鞍之巻目録 **GK789-115**

安永2(1773)写 1軸 卷子 小
 註：八条近江守(房繁)一長尾丹後守(景家)一屋代玄蕃(重高)一屋代左近(重俊)一羽柴氏郷一高貞成一上田守信一今北新兵衛(忠良)一小笠原小兵衛(盛昌)一木立民部(守義)一木立長兵衛(成常)一木立長兵衛(富貴)一木立藤右衛門(道守)一木立要左衛門(守貞)から木立辰之進へ与えたもの

八条流鞍秘書 小笠原盛昌 **GK789-116**

写 3冊 美濃半 和

内容：1 教之鞍之口伝書 4 仕込之鞍之巻口伝書
 5 責鞍之巻口伝書

註：小笠原小兵衛(盛昌)一木立民部(守義)一木立長兵衛(成常)一木立長兵衛(富貴)一木立藤右衛門(道守)一木立要左衛門(守貞)の系譜がある

〔林崎新夢想流居合〕外物次第 **GK789-59**

写 1軸 卷子 小
 註：林崎甚助(重信)一田宮平兵衛(照常)一一宮左太夫(照信)一谷小左衛門(季正)一常井喜兵衛(直則)一大道寺隼人(繁清)一棟方兵左衛門(清郷)一鈴木吉郎左衛門(正羽)から山野主水へ与えたもの

〔林崎新夢想流居合〕 **GK789-54**

写 1軸 卷子 小
 註：林崎甚助(重信)一田宮平兵衛(照常)一長野無楽斎(権露)一一宮左太夫(照信)一谷小左衛門(季正)一常井喜兵衛(直則)一浅利伊兵衛(均禄)一山形半十郎(茂高)一小山次郎太夫(英貞)一福田金兵衛(次倫)から大湯彦五郎へ

林崎新夢想流居合極位唯授一人目録 **GK789-56**

右身次第
 写 1軸 卷子 小
 註：54に同じ

〔林崎新夢想流居合極位秘術唯授一人目録〕 **GK789-57**

外物次第
 写 1軸 卷子 小
 註：54に同じ

〔林崎新夢想流居合極位秘術唯授一人目録〕 **GK789-55**

左身次第
 写 1軸 卷子 小
 註：54に同じ

〔林崎新夢想流居合極位及秘歌〕 GK789-58
写 2軸 卷子 小
註：54に同じ

林崎新夢想流居合極位秘術唯授一人目録 GK789-46
向次第
写 1軸 卷子 小
註：林崎甚助（重信）—田宮平兵衛（照常）—長野無楽斎（謹露）——宮左太夫（照信）—谷小左衛門（季正）—常井喜兵衛（直則）—浅利伊兵衛（均禄）—（欠）

林崎新夢想流居合極位秘術唯授一人目録 GK789-47
左身次第
写 1軸 卷子 小
註：46に同じ

林崎新夢想流居合極位秘術唯授一人目録 GK789-48
右身次第
写 1軸 卷子 小
註：46に同じ

林崎新夢想流居合極位秘術唯授一人目録 GK789-49
外物次第
写 1軸 卷子 小
註：46に同じ

林崎新夢想流居合極位秘術唯授一人目録 GK789-50
外物次第 高上極位之巻
写 1軸 卷子 小
註：46に同じ

〔林崎新夢想流居合〕 GK789-51
写 1軸 卷子 小
註：46に同じ

早道人別帳 GK789-136
写 1冊 横長 仮和

秘哥之大事 GK789-52
写 1軸 卷子 小
註：46に同じ 林崎流新夢想流居合の秘伝歌

武士平常心得聞見并愚按大秘 GK789-2
川越真養（次泰）
安政5（1858）写 1冊 半紙半

武場規則 GK789-143
津軽平八郎 西館宇膳 桜庭兵右衛門
文久2（1862）写 1冊 半紙
註：武芸所規則制定伺

〔日置流印可・秘歌〕 GK789-83
元禄12（1699）写 1軸 卷子 小
註：日置弾正—吉田上野助—吉田出雲守—佐々木左京太夫—吉田出雲守—吉田助左衛門—吉田助右衛門—嘉藤新右衛門

日置流直方 GK789-81
天和2（1682）写 1冊 半紙 仮和
註：加藤惣右衛門（定房）から蒔苗清三郎へ与えたもの

日置流弓〔条々〕 GK789-80
万治2（1659）写 1軸 卷子 小
註：笠間治部左衛門から嘉藤九右衛門へ

日置流弓条々 GK789-82
元禄3（1690）写 1軸 卷子 小
註：日置弾正—吉田上野介—吉田出雲守—佐々木左京太夫—吉田助左衛門—吉田助右衛門（豊隆）—笠間治部左

衛門（定信）—加藤新右衛門（定房）から中畑清八へ与えたもの

日置流弓条々 GK789-84
宝永2（1705）写 1軸 卷子 小
註：嘉藤弓閑（定房）から石岡八左衛門へ与えたもの

日置流弓条々 GK789-85
写 1軸 卷子 小
註：日置弾正—吉田上野介—吉田出雲守—佐々木左京太夫—吉田出雲守—吉田助左衛門—吉田助右衛門（豊隆）—笠間治部左衛門（定信）—加藤惣右衛門（定房）

日置流弓目録之抄 GK789-86
享保5（1720）写 1冊 美濃半 和
註：勝本水右衛門（勝清）から竹内伝九郎へ

〔母衣秘伝書〕（小笠原流） GK789-149
享保13（1728）写 1帖 折本 16.8×8.2 和
註：勝本水右衛門（勝清）から竹内又市（安貞）へ与えたもの

宝蔵院流名目録 GK789-63
延享5（1748）写 1軸 卷子 小
註：高田平右衛門（正重）—高田儀兵衛（正茂）—山中又右衛門（成美）—浅利伊兵衛（均禄）—高田甚六郎（正利）——戸三之介（宗明）から長谷川茂左衛門へ与えたもの

ト伝流剣術目録 GK789-31
写 1軸 卷子 小
註：（ト伝十六伝）田中武平—中村次太夫—棟方十左衛門—棟方作右衛門—小山次郎太夫—小山次郎太夫—小山平司

ト伝流剣術目録追加 GK789-30

明和 6 (1769) 写 1 軸 卷子 小
 註：棟方十左衛門—棟方作右衛門—小山次郎太夫（英貞）

ト伝流剣術目録追加 2 棟方十左衛門 GK789-29

元文 3 (1738) 写 1 軸 卷子 小
 註：棟方十左衛門—棟方作右衛門（貞良）から小山次良太夫へ与えたもの

〔本覚克己流和・和歌・釦乱之段〕 GK789-15

享保 13 (1728) 写 1 軸 卷子 小
 註：宮川夢仁斎（秀正）—添田儀左衛門（貞俊）—津軽玄蕃（政朝）—三上新左衛門—柴谷清太夫（定寄）から小山内善六へ

本覚克己流和 GK789-16

序 表取組八 知格之段 琢磨之段
 享保 18 (1733) 写 1 軸 卷子 小
 註：宮川夢仁斎（秀正）—添田儀左衛門（貞皮）—津軽玄蕃（政則）—添田弥兵衛（貞和）から与えたもの

本覚克己流和 釦乱之段 GK789-24

天保 15 (1844) 写 1 軸 卷子 小
 註：宮川夢仁斎（秀正）—添田儀左衛門（貞俊）—津軽玄蕃（政朝）—工藤弥五左衛門（行栄）—葛巻浅右衛門（行勝）—川本貞右衛門（盛応）—戸田茂兵衛（定明）—戸田与左衛門（定武）—山崎半蔵（久顕）—山崎勘一郎（顕広）より羽賀清蔵へ与えたもの

本覚克己流和 極意 至格之段 GK789-25

天保 15 (1844) 写 1 軸 卷子 小
 註：24 に同じ

本覚克己流和 GK789-26

極意 貴具足之段 無刀附目付 五大事

天保 15 (1844) 写 1 軸 卷子 小

註：24 に同じ

本覚克己流和 小具足合 荒木流取釦詰之段 GK789-27

天保 15 (1844) 写 1 軸 卷子 小
 註：24 に同じ

本覚克己流和 表取組八 知格之設 GK789-20

天保 11 (1840) 写 1 軸 卷子 小
 註：21 に同じ

本覚克己流和 琢磨之段 GK789-21

天保 11 (1840) 写 1 軸 卷子 小
 註：宮川夢仁斎（秀正）—添田儀左衛門（貞俊）—津軽玄蕃（政朝）—工藤弥五左衛門（行栄）—葛巻浅右衛門（行勝）—川本貞右衛門（盛応）—戸田茂兵衛（定明）—戸田与左衛門（定武）—山崎半蔵（久顕）—山崎勘一郎（顕広）より加藤清蔵へ与えたもの

本覚克己流和 重練之段 GK789-22

天保 11 (1840) 写 1 軸 卷子 小
 註：21 に同じ

〔本堂克己流和・極意〕 GK789-23

天保 14 (1843) 写 1 通
 註：戸田行左衛門（定最）から内藤半蔵へ

本覚克己流和初巻 GK789-10

安政 6 (1859) 1 軸 卷子 小
 註：宮川夢仁斎（秀正）—添田儀左衛門（貞俊）—津軽玄蕃（政朝）—工藤弥五左衛門（行栄）—葛巻浅右衛門（行勝）—川本貞右衛門（盛応）—戸田茂兵衛（定明）—戸田行左衛門（定武）—戸田行左衛門（定最）から佐々木勝蔵へ与えたもの

本覚克己流和初巻 GK789-11

写 1 冊 半紙 和

本覚克己流和初巻 GK789-14

序 表取組八 知裕之 段 琢磨之段
 元禄 3 (1690) 写 1 軸 卷子 小
 註：宮川夢仁斎（秀正）—添田儀左衛門（貞俊）—津軽玄蕃（政朝）—神三右衛門（吉盛）から七戸長左衛門へ

本覚克己流和初巻 GK789-137

元禄 16 (1703) 写 1 軸 卷子 小
 註：添田儀左衛門—津軽玄蕃（政朝）—添田伝九郎（貞栄）から水木伴助へ

本覚克己流和術四問答 GK789-13

写 1 冊 半紙 仮和

〔本覚克己流和歌動乱〕 GK789-17

享保 18 (1733) 写 1 軸 卷子 小
 註：宮川夢仁斎（秀正）—添田儀左衛門（貞俊）—津軽玄蕃（政朝）—添田弥兵衛（貞和）から兼子七十郎へ与えたもの

巻藁之次第 小笠原流 GK789-101

享保 13 (1728) 写 1 帖 折本 小
 註：勝本水右衛門から竹内又市へ与えたもの

幔多羅之巻 GK789-98

享保 12 (1727) 写 1 軸 卷子 小
 註：勝本水右衛門（勝清）から竹内亦市（安貞）へ与えたもの

〔無辺流鎗極意〕 GK789-65

文化 8 (1811) 写 1 軸 卷子 小
 註：斎藤安吉から桜庭太治馬へ

和骨簞篋集 GK789-7

添田儀左衛門（貞俊）津軽玄蕃（政朝）
天明7（1787）写 1冊 半紙 和

和実形証拠之巻 乾冊 GK789-8

添田儀左衛門（貞俊）津軽玄蕃（政朝）
文政4（1821）写 1冊 半紙 和
註：本覚克己流和

和実形証拠巻 乾冊 GK789-9

写 1冊 美濃半 仮和

和術 GK789-12

写 1冊 半紙半 仮和
註：本覚克己流の和物

〔和術実形証拠取組〕 乾巻 GK789-142

添田儀左衛門（貞俊）津軽玄蕃（政朝）
写 1冊 半紙 和

弓歌百拾首之抄 笹森建敬編 GK789-107

享保20（1735）写 1帖 折本 大
註：勝本勝清 竹内安貞の口解その他を集めたもの

弓志なんの書 GK789-87

貞享元（1684）写 1軸 卷子 小
註：唐牛権八 竹内源太夫 小山儀兵衛 工藤小兵衛
葛西源七 竹内仁兵衛 等の署名がある

許弓歌 口解 GK789-104

〔勝本〕勝湾口解 竹内安貞編
享保14（1729）写（自筆）1帖 折本 小

K791 茶道

古義数奇道承統 GK791-2

写 1冊 半紙 仮和
註：野本道玄茶道系図

高照神君御遺鑑 茶道御秘伝1巻 GK791-1

懷席初学1巻 渡部利容編
明治42（1909）写（宮川宗水（良致）1冊 半紙半
和（大道寺繁禎旧蔵）
註：高照宮御遺鑑の第37,38巻に当る

K793 花道

花道秘伝 GK793-1

文化11（1814）写 1冊 半紙
註：津軽弘前門明寺の極秘とある

K800 語学

K816 作文

公用文類集 青森県第五課編 GK816-5

明治14（1881）写 1冊 半紙

混々新文 下山周次郎編 GK816-4

明治11（1878）写 1冊 半紙 和

児童文集 学制頒布五十周年記念 GK816-6

西津軽郡教育会第二支部編
鯨ヶ沢 編者 大正12（1923）57頁 菊 仮洋

諸証文雛形并文例 GK816-1

享和4（1804）写 1冊 半紙 仮和

諸用文通 GK816-2

嘉永6（1853）写 1冊 横小 和（川越旧蔵本）

しろがね（児童文集）創刊号 GK816-7

弘前大学教育学部附属弘前小学校編
弘前 編者 昭和28 138頁 A5

和文集 GK816-3

安政5（1858）写 1冊 半紙

K818 方言 俗語

方言訛語 GK818-1

写 1冊 半紙半 和

K900 文学

K910 日本文学

アグド 第3輯 あぐどの会編 **GK910-9**
金木（北津軽郡）編者 昭和3 20頁 菊 仮洋
註：暁鴉改題 文芸雑誌

篝火 第1巻第1号 微光社編 **GK910-10**
弘前 編者 昭和4 72頁 菊 仮洋
註：同人文芸隔月雑誌

曠日 第2,3号 曠日社編 **GK910-5**
弘前 編者 大正14（1925）2冊 菊 仮洋
註：文芸同人雑誌 年4回

大地 第2号第4～6輯 **GK910-6**
大地詩社編（斎藤光郎）
金田（南津軽郡）編者 大正15,昭和2（1926,27）4冊
菊 仮洋
註：文芸同人月刊雑誌

大地 第3輯 大地詩社編 **GK910-7**
町居（南津軽郡）編者 大正15（1926）31頁 菊 仮洋

東北文学 東北文学社編 **GK910-12**
弘前 編者 昭和10,11 10冊 菊 仮洋
内容：第1巻第1～3号 第2巻第1～3,5,6,10,12号

東北文学 第1巻第1号,第3巻第2,5・6合併号
東北文学社編 **GK910-13**
弘前 編者 昭和10,12 3冊 菊 仮洋

ノートル 第1巻第1,2号 **GK910-2**
ノートル社（大森忠朝）編

青森 編者 大正11（1922）謄写 2冊 菊 仮洋
註：月刊文芸同人雑誌

北灯 第1巻第3号 北灯社（今男一）編 **GK910-11**
弘前 編者 昭和5 34頁 菊 仮洋
内容：創作四人集（下山俊三 佐藤祥秋 乳井詩朗 今
白窓）

菩提樹 第3巻1月号 菩提樹社編 **GK910-1**
編者 大正13（1924）謄写 35頁 四六 仮洋

鷹城随筆 鷹城随筆社編 **GK910-14**
弘前 編者 昭和13,14 4冊 菊 仮洋
内容：第1巻第1,2号 第2巻第2,5号

乱蝶 第1巻第3号 花村夢路編 **GK910-3**
弘前 乱蝶社 大正11（1922）謄写 12頁 菊 仮洋
註：月刊文芸創作雑誌

黎明 創刊号,第3巻第1号 黎明詩社編 **GK910-1**
青森 編者 大正8,10（1919,21）1冊（2冊合本） 菊
註：月刊文芸同人雑誌 黎明誌社は樹焰社白揚社素描社
の同人が合併したもの

K911 詩歌

馬歌集 三本木産馬組合編 **GK911-6**
三本木（青森県）編者 明治43（1910）48頁 12.9×
19.0（横）

埋木廼花抜書 高崎正風編 **GK911-2**
写 1冊 美濃 和
註：明治9年（1876）奥羽巡幸の際各地方祝賀歌文詩集
よりの抜書

外の浜都止 今敬一編 **GK911-1**
写（明治）1冊 半紙 和
註：和歌及漢詩集 明治18年（1885）に編纂したもの

たむけ草 **GK911-9**
〔明治24〕（1891）1冊 四六
註：水木正俊追悼詩歌集

手向草 **GK911-5**
〔明治34〕（1901）1冊 美濃半 和
註：加藤季七郎追悼詩歌集

詩歌中心陽と人と土 1 白樺の会編 **GK911-7**
青森 編者 昭和3 22頁 四六

妄像 関谷直司 **GK911-8**
刊 35頁 菊

明治風月集 初編,第貳編 見元義順編 **GK911-4**
東京・深浦（西津軽郡）内山正如・編者 明治27（1894）
2冊 四六・菊

落花 小山内健三郎等 **GK911-3**
明治28（1895）23頁 菊 仮洋
註：清水敏吉半田盛文成田栄雄の死を悼む詩歌文集

K911.1 和歌

あすなろ 第2,3号 あすなろ詩社編 **GK911.1-19**
弘前 編者 大正9（1920）2冊 菊 仮洋
註：月刊同人雑誌

あすなろ 第2号 あすなろ詩社編 **GK911.1-20**
弘前 編者 大正9（1920）23頁 菊 仮洋

いろはよろこびうた 清藤幸吉 明治8 (1875) 写 1冊 半紙 和 註：原題 伊呂波与古比字多	GK911.1-7	弘前口語歌研究会編 弘前 編者 昭和5～8 1冊 四六倍	天保4年 写 1通
岩木山神社献詠歌・高照神社献詠歌 明治37年 明治37 (1904) 写 1冊 半紙 仮和	GK911.1-33	献納和歌集 明治19 (1886) 写 1冊 半紙 仮和 註：高照神社献額の津軽名所和歌（明治10年11月25日詠歌）	〔津軽甲斐守親足和歌〕 写 3軸
岩木嶺栞 森矯 大正5 (1916) 1冊 半紙 仮和 附：登岩木山記	GK911.1-34	甲虫歌会詠草集 甲虫歌会編 弘前 甲虫歌会 昭和3 16頁 菊 仮洋 註：甲虫歌会は県立弘前中学校出身者及在学生の有志の短歌会	津軽野（歌集）平田茫（大野安太郎） 弘前 鬼灯山房 昭和5 44頁 四六 仮洋
鬱金香 鬱金香詩社（木村絃三）編 弘前 編者 大正10～12 (1921～23) 4冊 菊 仮洋 内容：第2巻第8号（大正10年9月号（謄写）第9号（大正11年11,12月合併号（謄写）第3巻第4号（大正11）第4巻第1号（大正12） 註：短歌芸術隔月雑誌	GK911.1-21	〔春季歌稿〕 写 1冊 半紙 仮和	月次兼題 明治29年〔傍島〕正郡 明治29 (1896) 写 1冊 半紙 仮和 註：下沢保躬の添削がある
うさはらし 明治27,28 (1894,95) 写 1冊 半紙半 仮和	GK911.1-11	〔新春和歌〕長利仲聰等 1枚 19×52 一枚物 註：〔大道寺〕繁禎母 津軽尚友〔大道寺〕繁充〔一町田〕朝貞〔多田〕昌雄〔大道寺〕繁禎〔長利〕仲聰等の和歌 寅の初春とある（明治11?）	桃閣集 〔津軽承昭〕著 加藤義清編 東京 大谷津友蔵 大正11 (1922) 〔307頁〕四六
歌集 明治38,39 (1905,06) 写 1冊 半紙 仮和	GK911.1-15	即席の詠 板柳歌林社 写 1冊（4冊合本） 美濃 仮和	俳諧歌草稿 写（明治20 (1887) 頃）1冊 半紙 仮和
歌集 写 1冊 半紙 仮和	GK911.1-32	千歳の友（長利仲聰八十年賀）藤井善貸編 弘前 編者 明治35 (1902) 52頁 半紙 和	八十の杖 永井恒広等 明治20 (1887) 1枚 23×57 一枚物 註：永井恒広 同怡広 長利仲聰の勅題「池水浪静」和歌及び永井抱節（恒広）の俳句 この年抱節80歳
寄松懷旧和歌集 斎藤熊蔵（規沖）編 嘉永2 (1849) 写 1冊 半紙半 和	GK911.1-5	千歳の友（長利仲聰八十年賀）藤井善貸編 弘前 編者 明治35 (1902) 52頁 半紙 和	八十の杖 永井恒広等 明治20 (1887) 1枚 23×57 一枚物 内容：勅題「池水浪静」
狂歌いろは安心 明治11 (1878) 写 1冊 半紙 仮和	GK911.1-9	〔追悼歌文〕 写 1冊 横長 仮和	花さかぬ木（歌集）前田星月（孝吉） 弘前 自由詩社 大正2 (1913) 70頁 四六 仮洋
黒百合 創刊より22号まで（合本）	GK911.1-24	〔津軽甲斐守親足日光准后歌御会詠進歌〕	はるこま 永井恒広 明治21 (1888) 1枚 20×21 一枚物 註：永井恒広（抱節）の勅題「雪埋松」和歌及俳句

はるこま 永井恒広 **GK911.1-29**
 明治 21 (1888) 1 吹 20×21 一枚物
 内容：勅題「雪埋松」

美年歌 **GK911.1-2**
 写 1 冊 半紙 仮和

風流和歌集 **GK911.1-1**
 写 (天保 7 (1836) 頃) 1 冊 横長 仮和

流転 第 1,2,3 号 (合本) 流転社編 **GK911.1-18**
 蔵館 (南津軽郡) 編者 大正 8 (1919) 38 頁 菊
 註：月刊同人短軟雑誌 選歌は佐野翠波

和歌詠草 釈妙海 (斎藤敏) **GK911.1-36**
 写 1 冊 半紙 和

和歌集 **GK911.1-16**
 明治 41 ～ 43 (1908 ～ 10) 写 1 冊 半紙 仮和

K911.3 俳諧

青森県句集 第 8 揖 松濤社編 **GK911.3-81**
 青森 編者 昭和 12 82 頁 菊 仮洋

五十於川集 天ノ巻 **GK911.3-72**
 明治 31 (1898) 写 1 冊 美濃半 仮和
 註：明治 31 年句集

菴の松風〔蒔苗〕文窓 **GK911.3-104**
 写 1 冊 半紙半 仮和

岩木山発句集 **GK911.3-47**
 慶応 2 (1866) 1 冊 半紙 和

岩木山発句集 **GK911.3-48**
 慶応 2 (1866) 1 冊 半紙 和
 註：長利仲聴の題字 鶴含有節の序がある
 題簽：岩木山句集

伊呂波引秋季美題撰 (掌中金玉) **GK911.3-37**
 写 1 冊 横小 仮和 (千葉山月旧蔵)
 註：句仏評高点句人已上

梅句合 去舟点 **GK911.3-92**
 嘉永 5 (1852) 写 1 冊 半紙 和
 註：素星 涼台 一山

乙二宗匠頭陀故人腹〔岩間乙二〕(清雄) **GK911.3-86**
 文政 3 (1820) 写 (五友) 1 冊 半紙半 仮和
 註：仙台の松窓乙二が弘前滞留中に下沢五友が乙二の句を書き写したもの

会紙写 **GK911.3-36**
 水魚庵 (三谷句仏) 梧者庵宝井 (桐淵直貞)
 慶応 2 (1866) 写 1 冊 半紙半 和
 註：梧者庵宝井は通称竹右衛門二代其角と称し明治 20 年没?

夏季小集 (草々庵大人御評) 駒水社 **GK911.3-60**
 写 1 冊 半紙 仮和
 註：玄々 素文 其田 芝旭 寛月 等の句

夏季発句・折句 真教寺ニ於即吟 駒水社 **GK911.3-32**
 写 1 冊 半紙 仮和
 註：玄々 中泉 其祥 雲帯 其由 有隣 等の句
 (古希翁乞高評)

歌仙 楽水 〔佐々木〕一空 **GK911.3-23**
 写 1 冊 半紙 和

註：楽水 一空の連句 楽水は五友の門人 安政 4 年 (1857) 没

歌仙 駒水社 **GK911.3-52**
 写 1 冊 半紙 仮和
 註：芦川 英山 御陰 其由 其祥 歌風 芝旭 有隣 等の連句 千歳庵 (鶴含有節) 管見とある

〔歌仙〕 **GK911.3-119**
 写 美濃半 和

額灯籠濫觴 (久一先祖之追善山観奉納也) **GK911.3-83**
 文化 11 (1814) 写 1 冊 半紙 和 (三谷句仏書入本)
 註：文化 11 年 4 月 17 日長勝寺境内において武田東壑 (久三郎) 追善の生花及び追福各詠花発句額灯籠 武田東壑は玉之の弟 兄玉之の催主で嘯波 (安藤七右衛門) 〔寺田〕朔季 吟岱 (工藤繁司) 子彦 (野添織三郎) 釣月 (井上隆意) 尾花 (大村謙仲) 露牛 (宮崎忠兵衛) 等約 70 人の句 雪江 (相沢屋喜六) の執筆と三谷句仏の識語がある

葛年句集〔伊香葛年〕 **GK911.3-5**
 写 1 冊 半紙半 和
 註：葛年 通称忠次郎 後に良助 俳号墨尚又葛年 文化 8 年 (1811) 没 46 歳

合浦舍利母石〔三谷句仏撰〕 **GK911.3-35**
 慶応元 (1865) 1 冊 半紙 和

合浦明玉集 春部 **GK911.3-16**
 北斗庵其友 (角田六左衛門) 編
 文政 6 (1823) 写 1 冊 半紙 仮和
 註：津軽古今の俳句を集めたもの 文政 6 年の序がある 自筆本

古今俳諧合浦明玉集 夏部冬部雑部 **GK911.3-17**
 北斗庵其友（角田六左衛門）編 東庵亭素恂（片谷惣左衛門）一葉舎友船訂考
 文政6（1823）写（自筆）3冊 半紙 仮和
 附：和漢俳諧歌仙行

合浦明玉集 秋部 **GK911.3-18**
 写 1冊 横小 仮和

古今俳諧合浦明玉集 **GK911.3-19**
 秋部之上，下抜粹 冬部之上抜粹
 写 1冊 半紙半 仮和

〔合浦〕明玉集抜書 秋之部 **GK911.3-110**
 北斗翁（角田其友）選
 写 1冊 11.0×17.2 横 和

曲直庵亀文俳論書通 **GK911.3-87**
 明治9（1876）写（文窓）1冊 半紙 和
 註：曲直庵は江戸常府藩士伴甚太郎か 天保11年（1840）没

〔句会稿〕 **GK911.3-46**
 文久2（1862）写 1冊 半紙半 仮和
 註：鶴舎有節評 有隣 英山の名が見える 英山は中畑栄太郎

〔句会帳〕 嘉永3年～文久元年 **GK911.3-91**
 写 2冊 半紙 仮和
 註：〔千葉〕菅丸〔神〕宜徳 山月 静山 孤月 文蝶 八重 乙良 句彦 一空 天山

〔句集〕 **GK911.3-12**
 慶応元（1865）写 1冊 半紙 和
 註：玉之 五友 草坡 歌涼（梅原可楽）吟俗 里川

土朗 露牛 等

句集 秋之部，冬之部 **GK911.3-82**
 安永9（1780）写 1冊 半紙 和（小野屋荘右衛門手沢本）

句集 **GK911.3-107**
 写 1冊 半紙半 仮和

〔句集〕 **GK911.3-116**
 写 1冊 美濃半 和
 註：仏川 芝旭 其祥 雲帯 有隣 等

〔句集〕 **GK911.3-118**
 享和2（1802）1冊 美濃半 和
 註：遠藤文石 石黒宗石 武田玉之 下沢五友 等
 大阪の鷺雪 秋田の五明もあり

〔句集〕 **GK911.3-118 イ**
 享和2（1802）1冊 美濃半 和

駒水七歌仙（千歳庵宗匠玉斧） **GK911.3-51**
 写 1冊 美濃半 仮和
 註：千歳庵（鶴屋有節）

駒水十歌仙 **GK911.3-99**
 写 1冊 半紙 和

駒水六歌仙（水魚庵教示）駒水社 **GK911.3-40**
 文久2（1862）写 1冊 半紙 仮和
 註：駒水社中有隣が預ったもの 有隣は駒水社の頭取

句箋 **GK911.3-13**
 刊 5枚 !6×23 一枚物
 註：〔宮崎〕露牛〔梅原〕支三（円次郎）〔福井〕桃仙

丈来（紙屋六右衛門）ゆ記
 露牛は宮崎忠兵衛 寸松の子 安永3年（1774）生 文政5年（1822）没 桃仙は大坂屋春潮の別家

句帳 **GK911.3-90**
 写（弘化頃）1冊 美濃半 和
 註：三谷句仏か

弘人発句集 夏季春季 **GK911.3-45**
 文久2（1862）写 1冊 美濃半

再考 **GK911.3-53**
 写 1冊 半紙 仮和
 註：良月 仏川 宜徳 梅月 有隣 等の発句集

歳旦 如山等 **GK911.3-14**
 〔文政5?〕（1822）1枚 43×45 一枚物
 註：如山（津軽寧親）如海（津軽信順）子高 三余 朶雲 子蘭 葉舟 鼓調 希言 蘭阜の句
 星野素閑?が書いた春興摺

歳旦 如山等 素閑書 **GK911.3-15**
 癸未〔文政6〕（1823）1枚 38×57 一枚物
 註：如山（津観寧親）如海（津軽信順）子高 三余 子蘭 葉舟 希言の句を星野素閑が書いた春興摺

四季発句（乞水魚庵翁評）其由 **GK911.3-41**
 文久2（1862）写 1冊 半紙 和

時雨会 水魚庵評 **GK911.3-26**
 安政4（1857）写 1冊 美濃倍 仮和

渋茶 第1巻春 秋 冬 **GK911.3-76**
 渋茶会（竹内竹童）編
 弘前 編者 明治41,42（1908,09）3冊 四六倍 仮洋

註：夏の号は発売禁止 竹内竹童 名は助七 雪草とも号した（＊KK911.3/シブ（4冊））

趣向双俗 水魚庵（三谷句仏）撰 GK911.3-39

写 1冊 半紙半 和

註：棟月 有節 観山 可楽 宜徳 山月 その他

棟月は宮本久三郎 号馬蘭亭 国学では繁樹

春季兼題初ノ字 GK911.3-42

（水魚庵翁乞玉斧）駒水定連

写（慶応3（1867）？）1冊 半紙 仮和

註：玄々 芝旭 雲帯 其由 西春 有隣 稲彦 熹泉 英山 等

春季兼題初ノ字 千歳庵大人（鶴屋有節） GK911.3-49

写 1冊 半紙 仮和

註：玄々 雲帯 中泉 其由 其祥 有隣 稲彦 芝旭 英山 等

春季五題 駒水社 千歳庵（鶴舎有節）点 GK911.3-50

明治3（1870）写 1冊 半紙 和

註：中泉 寛月 寿松 雲帯 芝旭 其由 等の句

春季五題（辰の初はる）駒水社 GK911.3-55

写（明治元（1868）？）1冊 半紙 和

註：芝旭 中泉 一村 雲帯 其由 文川 有隣 等の句

春季月並兼題発句 GK911.3-63

艸々庵山月（千葉胤任）

写 1冊 半紙 仮和

春興 素恂等 雅筆画 GK911.3-22

天保2（1831）1枚 18×47 一枚物

註：素恂 呉綾 花県 慶房 子言 弧俊 寿友

盤舟 友船 草坡 白愿

春興 守愚等 仙来画 GK911.3-74

明治37（1904）1枚 19×49 一枚物

註：染年 句彦 観山 千瓢 茂松 菊雄 水月 蘿生 守愚

春興 松露軒 GK911.3-101

写 1冊 半紙 仮和

註：桂花（下沢五友）文静 五湖 等

〔春興摺〕 GK911.3-11

弘前 竹谷慶介 文政3（1820）1枚 43×54 一枚物

註：松窓（岩間乙二）玉之 露牛 草坡 五友 里川 一掬 両柯 蒼湖 文雄 曾国 釣月 野光 子彦 太器 布席 青標の句がある 乙二が弘前に来訪の際と思われる

〔春興摺〕〔千葉〕山月画 GK911.3-59

刊 1枚 20×52 一枚物

註：艸々 真清 静山 一陽 清濁 一星 染年 宜徳 等 辰のとしとある

〔春興帖〕津軽弘前之部 外の浜之部 松前之部

GK911.3-2

〔安永元？〕（1772）1冊 半紙 仮和

註：原書名不詳

春雪 橋本青香 GK911.3-109

三戸町（青森県）木風舎 昭和22 73頁 B6

松岳院湖雲道詠居士百ヶ日忌紀念 GK911.3-75

佐々水軌三編

宇都宮 編者 明治44（1911）1冊 半紙 和

註：湖雲佐々木寅太郎の追悼句集及び湖雲の句集

佐々木寅太郎 弘前藩士 天保13年（1842）生 明治

44年没

しろうるり（彩色画入り） GK911.3-8

あし曳の草坡（内海公民）

弘前 竹屋慶介 文政4（1821）1冊 美濃半 和

註：内海草坡 通称吉六 各公民 別号万三吾 天保8年（1837）没 77歳

水魚庵七甲句集 水魚庵 GK911.3-33

写 1冊 半紙半 仮和

註：三谷句仏 元治元年（1864）71歳の時の句集

寸松翁三十三回懷旧 GK911.3-85

松窓乙二（岩間清雄）撰 文政2年

写 1冊 半紙 仮和

註：露牛の父宮崎寸松の三十三回忌

聖代奉祝二歌仙 駒水社 GK911.3-98

写 1冊 半紙

註：雲帯 其由 中泉 有隣 其祥 熹泉 玄々の歌仙

艸々庵山月書 艸々庵山月（千葉胤任） GK911.3-58

明治6（1873）写 1枚 28×45 一枚物

草々庵評高判句集 GK911.3-65

写（明治）1冊 半紙半 和

註：明治8,9年（1875,76）頃の句集

草坡先生句集 内海草坡著 GK911.3-9

水魚庵（三谷慶輔）編

慶応元（1865）写（自筆）1冊 半紙 和

即興三題 駒水社 GK911.3-61

写 1冊 半紙 仮和

註：真清 芝旭 雲帯 寛月 文川 等の句

則興 松露軒社中 **GK911.3-100**
写 1冊 半紙 仮和
註：乙良 夏雪 桂花 江山

素文居士小祥忌額上句集 松露軒社中 **GK911.3-102**
明治7(1874)写 1冊 半紙 和
註：卜窓 桂花 乙良 芳一 五湖 和楽 清濁 旭泉 夏雪 江山 有隣 芝旭 抱節 一星 染年 仙乙 雲章 魯仙 真清 去舟

二十八宿 **GK911.3-105**
写 1冊 半紙 和(胡蝶綴)
註：真清 一里 清濁 新山 春琳 夏雪 等の句集
千葉山月の画がある

当季五題 牡丹連社中(子遊点) **GK911.3-93**
〔嘉永5〕(1852)写 1冊 半紙 和
註：素星 可笑 雲霞 草里 春海 一好 涼台 麦川 祇山 一山

年の暮の吟 五川 **GK911.3-89**
写 1枚(短冊)
註：「里なれしつるの舞ふなり年の暮」の句 五川は〔竹内〕吾川か

十和田(俳句雑誌) **GK911.3-79**
大鰐(南津軽郡)十和田発行所 昭和7,10 6冊 菊
内容：第2巻第6号 第5巻第7,8,10～12号

十和田歌詩句集 **GK911.3-77**
かしく庵可笑(岩館精素)編
十和田休屋 川崎支店 大正4(1915)〔260頁〕菊半 仮洋
附：十和田山由来記

十和田歌詩句集 **GK911.3-78**
かしく庵可笑(岩館精素)編
十和田休屋 川崎支店 大正4(1915)〔260頁〕菊半 仮洋
附：十和田山由来記

大選(千七百余吟之内)一松社 駒水社 **GK911.3-31**
文久3(1863)写 1冊 半紙 仮和
註：水魚翁古稀賀於白雲閣開筵

田植塚(七面山感應寺句碑) **GK911.3-7**
刊 1枚 33×45 一枚物
註：文化4年(1807)遠藤文石が弘前市独狐に建てた芭蕉翁の句碑

竹縁園発句小鏡 溪月 **GK911.3-43**
安政5(1858)写 1冊 半紙半 仮和

〔**月並句集**〕安政3,4年 **GK911.3-114**
写 1冊 半紙 和
註：〔千葉〕管丸〔千葉〕山月 宣徳〔宮本〕棟月 一笑等

月次五題 駒水社 **GK911.3-62**
写 1冊 半紙 和

月並発句集 坤 **GK911.3-25**
弘化5(1848)写 1冊 半紙 仮和
註：水魚庵文台開及納また岱夢(永井抱節)塘雨 二山 五梅 宣徳 雲波等の会主句会 中に京都の梅室 五仲庵有節の両評あるものがある

露のかたみ 松窓乙二 宮崎露牛 **GK911.3-10**
文政2(1819)写(露牛)1冊 半紙 和

註：松窓乙二の句を宮崎露牛が写し その後に自分の句を記している

露の萩(露天竺花集) **GK911.3-120**
文治元(1804)1冊 半紙 和
註：浅井白醉居士七周忌追善

点取発句拔花留 田茂木町連中 **GK911.3-106**
写 1冊 半紙半 仮和

〔**兎弓追善句集**〕(題名不詳)湖山等 **GK911.3-111**
文化10(1813)1冊 半紙 和
註：兎弓七回忌追善句集

徒然草 草々庵先生標撰 **GK911.3-69**
明治24～28(1891～95)写 1冊 半紙半 仮和
註：村谷勘右衛門之真筆也と高山文堂の識語がある

俳諧旭鏡(神社仏閣上高判) **GK911.3-117**
写(明治22(1889)頃)1冊 美濃半 和
註：文窓 真清 染年 句彦 桂花 等

俳諧合浦集 乾,坤 呉江(片谷清次郎)撰 **GK911.3-3**
京都 菊舎太兵衛〔寛政3〕(1791)2冊 半紙 和
註：片谷呉江は名在宥 通称清次郎 鶯喬の弟 石亭紅洞亭 星児楼の号がある 寛政8年没 46歳

〔**俳諧合浦集**〕乾 呉言(片谷清次郎)撰 **GK911.3-112**
写 1冊 半紙 和

俳諧品定 天山(三谷句仏)評 **GK911.3-27**
安政6(1859)写(蘆涯)1冊 半紙半 仮和

俳諧独歩集 上 万化庵宜応撰 **GK.911.3-4**
写 1冊 美濃 和

註：毛内宜応は名茂肅 通称有右衛門 文化元年（1804）没 70 歳 号溝城 紅洞舎蘭蕙等

俳諧之連歌〔宮崎〕守愚 **GK911.3-73**

明治 35（1902）写 1 冊 38×52 一枚物

註：守愚は名莊七 大正 14 年（1925）没 野崎真清の後を受け俳句の宗匠

俳諧の連歌 春 松軒等 **GK911.3-113**

写 1 冊 16.1×21.4（横）和

註：松軒 桃蹊 其水の連歌 北斗庵其友墨引

俳諧百一集并合浦名所尽〔尾崎〕康工選 **GK911.3-6**

享和 2（1802）写 1 冊 半紙半 仮和

註：康工は越中の人 合浦名所尽是加藤一長（影正）古道の題

俳諧連歌（大艸園文海宗匠の評点） **GK911.3-56**

〔永井〕抱節

明治 5（1872）写（自筆）1 冊 半紙 仮和

俳諧六々集〔三谷句仏〕撰 **GK911.3-97**

慶応元（1865）1 冊 半紙（水魚庵蔵版）

俳諧六々集〔三谷句仏〕（慶輔）撰 **GK911.3-96**

慶応元（1865）1 冊 半紙（水魚庵蔵版）

俳句集 山崎子蘭 **GK911.3-20**

文政 11（1828）写 1 冊 半紙 仮和

註：山崎子蘭は蘭洲の嗣 自筆の俳句に上田槐堂が序を書いている

俳句集 **GK911.3-44**

写 1 冊 半紙半 仮和

註：溪月 一葉 芦舟 千秋 等

俳句集 **GK911.3-54**

写 1 冊 美濃半 仮和

註：国丸 八雲 三枝 卓夫 祥来 芝旭 宜徳 谷丸 有隣 真清 雲帯 仏川 有節 棟月 等

俳句集 艸々庵（千葉山月）評 **GK911.3-64**

明治 10（1877）写 1 冊 半紙半 仮和

註：明治 7 年より同 10 年までの句会

俳句帖 **GK911.3-57**

元治元（1864）写 1 冊 半紙半 仮和

註：其由 有隣 仏川 仙乙 稲丸 良月 真清 棟月 草々 等の名が見える

〔俳句帖〕 **GK911.3-108**

写 1 冊 半紙半（横）和

註：兼題は水魚庵（三谷句仏）通題は千歳庵（鶴屋有節）とある

箱館紀行 松窓（岩間乙二） **GK911.3-84**

刊 1 冊 半紙 和

浜千鳥 三谷句仏撰 **GK911.3-34**

写（慶応元（1865）頃）1 冊 半紙 仮和

半百（月花言話）遊甫点 **GK911.3-103**

明治 9（1876）写 1 冊 半紙 仮和

註：〔大石〕去舟 ト峨 五湖の連句

日嘉栄 元治 2 年 西谷金六 **GK911.3-95**

元治 2（1865）写 1 冊 横小 和

註：俳句控帳

美年発句 **GK911.3-24**

写 1 冊 半紙 和

冬六々員（余興）〔下沢〕五友 祇眺 **GK911.3-21**

写 1 冊 半紙 仮和

註：五友 通称此吉 後に小左衛門 号桂花亭 天保 3 年（1832）没

古津くえ 巴琉 里桂（竹越貞泰）共編 **GK911.3-1**

〔京都〕明和 7（1770）1 冊 半紙 和

註：深浦の大高千円（定政）追悼句集 京都の蝶夢の序がある 古今各他の句と深浦の俳人の悼句がある 竹越里桂 深浦の人 名貞泰 通称忠右衛門 見秋亭 嘯月斎 二六坊の号がある 享和元年（1801）没 65 歳 大高千円 名定政 通称東庵 医者 俳号千円又四水坊 明和 6 年没 81 歳

文久二年俳句集 **GK911.3-94**

文久 2（1862）写 1 冊 半紙 仮和

註：其梅 一路 花友 宜山 宜徳 竹雨 竹東 月湖 守拙 等

芳檣帖 **GK911.3-88**

刊 1 冊 半紙 和

註：刊本芳檣帖の余白に句仏 斯文 吾川 一止 白花 天耳 仙枝 紫江 句竜 亀洞 素文 等の句を書入れたもの 吾川（竹内半左衛門）安政 5 年（1858）没〔盛雲院〕斯文

発句水魚庵評拔萃 歳旦之部 春之部 **GK911.3-29**

水魚庵（三谷句仏）

写 1 冊 半紙半 仮和

発句水魚庵評拔萃 水魚庵（三谷句仏） **GK911.3-30**

写 1 冊 半紙半 和

芭蕉翁建碑落成二百年祭発句大会高判 GK911.3-68
 艸々庵社編
 〔弘前〕編者〔明治25〕(1892) 刊 1冊 半紙半 仮和

子規 艸々庵社編 GK911.3-66
 〔弘前〕編者 明治25 (1892) 1冊 半紙 和
 内容：芭蕉翁建碑落成二百年祭発句大会高判 花本神社
 芭蕉二百年祭之大前二奉留
 註：弘前天満宮の芭蕉翁建碑記念出版

子規 艸々庵社編 GK911.3-67
 〔弘前〕編者 明治25 (1892) 1冊 半紙 和
 註：弘前天満宮境内の芭蕉翁建碑記念

前拔五十員 水魚庵 (三谷句仏) 考 GK911.3-28
 写 (三谷句仏) 1冊 半紙 和
 註：宜徳 祥来 鬼千代 嶺山 卓夫 花月 陽来 芝
 旭 霞竹 竹東 有節 孤川 梅弘 如竹 一葉 卷子
 朝山 眉年 等

妙法連帖 初篇 GK911.3-115
 写 1冊 半紙半 和
 註：文政8年 (1825) から11年頃までの句会集 中山
 堂文雄の印あり

雪の曙 GK911.3-70
 千葉草々庵山月 (胤任) 野崎真清共編
 〔弘前〕村山染年 明治34 (1901) 1冊 半紙 和
 註：俳句 筆者は鶴舎有長 彫刻者 樋口辰平

雪の曙 GK911.3-71
 〔千葉草々庵山月 野崎真贗共編〕
 写 1冊 半紙 仮和

両節・鶏日 天山 GK911.3-38

1枚 20×26 一枚物
 註：天山 (三谷句仏) 真清 蘿火 宜徳 宜山 良月
 卷之 山月 巖山 等

山葵 第4巻新年号,2月号 GK911.3-80
 木村万之蔵編
 五所川原 山葵吟社 昭和6 2冊 菊 仮洋

K911.4 雑俳 川柳

文政十一年戊子六月廿三日愛宕宮奉納前句附高式千百余吟之内 GK911.4-29
 写 1冊 半紙 和

稲荷宮一夜額上拔萃五十員 木寸堂点 GK911.4-7
 写 1冊 半紙 仮和

伊呂波寄種句 天,地 GK911.4-17
 明治14 (1871) 写 1冊 半紙半 和

尾別観音堂額上歌楽点高八百余吟之内 GK911.4-9
 写 1冊 半紙 仮和

額奉納句 万三吾 (内海草坡) 等評 GK911.4-2
 写 1冊 (合本) 半紙半 仮和
 内容：九頭竜額上 (文政2年 (1819) 9月) 愛宕社額灯
 籠 (文政5年 (1822) 6月) 神明宮 撰句留帳 (見梅)
 (文化14年 (1817) 9月) 前句撰第三番

観童堂前句西之巻 GK911.4-23
 安政3 (1856) 写 (楽山) 1冊 半紙 仮和
 註：千松 雲嶺 其鶴 一正 如蓬 浦山 東水 二楽 等

観世音永代額前句惣懷紙 (実相舎) 乾, 坤 GK911.4-4
 柴堂先生選

安政2,3 (1855,56) 写 2冊 半紙 和

句稿 GK911.4-5
 安政3 (1856) 写 1冊 半紙 仮和

句集 GK911.4-25
 写 1冊 半紙 仮和

〔句百八十章〕 GK911.4-19
 写 1冊 半紙 仮和

五文字額上集 GK911.4-27
 写 1冊 半紙半 和

五文字兼題尻廻し 浦雄点 GK911.4-15
 慶応4 (1868) 写 1冊 半紙半 和

五文字集句 イロハ寄 GK911.4-14
 写 1冊 半紙半 仮和

五文字付 GK911.4-16
 明治元 (1868) 写 1冊 半紙 仮和

高三百式拾余喙之内 GK911.4-10
 写 1冊 半紙 和

投込秀逸扣帳 GK911.4-28
 文化7 (1810) 写 1冊 半紙 和

猿賀山永代額附合 木公舎 梅香舎両点 GK911.4-6
 写 1冊 半紙 仮和

趣向くさ GK911.4-21
 写 1冊 半紙半 仮和
 註：奉納和徳愛宕宮 (坦斎点) 奉納深沙宮 (露牛評) 及

び部類別前句趣向		
川柳帳 写 1冊 半紙半 和	刊 4冊 (合本) 半紙 仮綴 註：奉納前句付興行等の摺物	狐のくどき 正老 明治11 (1878) 写 1冊 半紙半
則興一字題附合 尾上社中 写 1冊 半紙 仮和	北斗翁附合面〔角田其友〕(六左衛門) GK911.4-26 文政13 (1830) 写 1冊 12.4×17.5 (横) 和	〔どどいつ〕(百人一首替歌) 写 1冊 半紙半 和
八幡宮永代額上附合 写 1冊 横長 仮和	北斗坊附合〔角田其友〕 GK911.4-20 文政13 (1830) 写 1冊 半紙半	仏式苦道儀武士 GK911.9-2 明治4 (1871) 写 1冊 半紙半 註：明治4年仏蘭西式練兵が行なわれたが、それを諷刺したもの
羽黒山永代額長題 写 1冊 半紙 和 註：点者は草々庵	K911.5 新詩 口笛 第1巻第3号 口笛社編 GK911.5-2 弘前 編者 昭和6 18頁 菊 仮洋 註：同人詩雑誌	都連小唄集 第3回 南天居美祿撰 GK911.9-5 刊 1冊 16.8×12.5
八幡宮永代額附合 写 1冊 半紙半 仮和	自由詩社 第2集 自由詩社編 GK911.5-3 弘前 編者 大正2 (1913) 24頁 四六	要志古野京の花 雲仙等 GK911.9-1 安政4 (1857) 写 1冊 半紙半 仮和 註：東舟 宗丸 二見 可楽 等の都々逸
八幡宮鬼神宮奉納句 写 1冊 半紙 仮和	やまばと 創刊号 安田精一編 GK911.5-4 弘前 童謡社 大正10 (1921) 10頁 菊	K913 小説
〔奉納俳句〕 GK911.4-1 刊 1冊 (合本) 半紙 仮和 内容：岩木山宮 諏訪社 感隨寺鐘樓堂 弘前大門寺 天神宮 温湯薬師堂 住吉宮 註：九三子 自立庵 蝶々子 評 自立庵は黒石の人 益田木嶋 通称文讓 木応又木翁 時雨庵 寛政2年 (1790) 没 九三子は落合仙右衛門 名親義 青森の人 天明3年 (1783) 大凶作の際青森騒動の責任者として死罪 72歳	詩集落葉する頃 パストラル詩社編 GK911.5-1 弘前 編者 大正10 (1921) 94頁 四六 仮洋 (パストラル詩社詩集第6) 註：天内浪子 一戸玲太郎 池田泰二 北岡太次 近藤 雨化 後藤健次 桜庭芳露 雨中健二 都築益世 中川 しづ子 中山省三郎 日野豊広 松山瑠璃子 安田聖一 の詩集 K 9 1 1 . 6 歌謡	愛宕邯鄲枕 前, 後編 GK913-1 明治16 (1883) 写 2冊 半紙 和 註：隈部事件を取扱ったもの 愛宕邯鄲枕 乾 GK913-2 写 1冊 半紙 和 奥州道中記 一遍四半舎二半九 GK913-7 元治2 (1865) 写 1冊 美濃半 和 註：元治2年の作
奉納遍照寺永代額 万三五 (内海草坡) 等点 GK911.4-3 1冊 半紙 仮和	万歳いろいろ留覚 GK911.6-1 天保11 (1840) 写 (下山末吉) 1冊 半紙	朧月夜 松友亭主人 GK913-9 明治24 (1891) 写 1冊 半紙 仮和 註：明治24年の作
〔奉納前句付興行摺綴〕 GK911.4-22	K911.9 俗曲 俗謡	

佳人之奇遇 卷5～12 東海散士（柴四朗） GK913-10
写（明治）2冊 半紙 仮和

滑稽噓尽戯 初編1～8 一瓢舎半升 GK913-6
大正6（1917）写 4冊 半紙 和
註：万延元年（1860）の作
外題：御国巡覧滑稽噓月毛（津軽道中譚）

滑稽噓尽戯 初編8 GK913-13
写 1冊 半紙半 和

孤木 関野霜峰（陸郎） GK913-12
仙台 宮城活版社 大正元（1912）160頁 四六

忠孝節義相馬大作 湧溢居士（亀井栄） GK913-11
東京 著者 明治25（1892）〔273頁〕 菊 仮和

貞操阿清譚 GK913-8
明治20（1887）写 1冊 半紙
註：明治17年の作

夢の松風 上,中,下 松風軒 GK913-3
写 1冊 半紙 和
註：天明6年（1786）の作

夢の松風 卷1,2 GK913-4
写 1冊 半紙 仮和

夢の松風 GK913-5
写 1冊 半紙
註：六之花駕,小栗出火,森下之露,折山之水蓮の4章のみ

K914 随筆 小品 評論

閑九友筆草稿 上 五柳庵白規 GK914-1
写 1冊 半紙

相良三甫筆跡上写 GK914-3
写 1冊 半紙 和

その足跡（高橋堅太郎遺稿） GK914-2
〔高橋堅太郎〕著 一戸祐逸 泉谷久共編
金木（青森県）編者 昭和5 150頁 菊 仮洋

K915 日記 紀行

中野之日記（紀行） GK915-1
写 1冊 半紙 仮和

K915.9 記録・報告文学

従軍記者決死隊 佐藤紅緑（洽六） GK915.9-1
東京 新声社 明治34（1901）126頁 四六

K919 日本漢詩文

安永詩稿 相阪謙 GK919-2
安永3（1774）写 1冊 半紙 和
註：相阪謙 字士亨 通称文之助 安永年間の人

暗門紀行 GK919-59
写 1冊 半紙 仮和
註：漢文紀行 辛巳とあり 明治14年（1881）か

一步鈔 GK919-77
写 1冊 美濃半 和

槐園乞斧録藁 上田〔昌〕栄 GK919-27
弘化2（1845）写 1冊 美濃半 仮和

槐堂詩鈔 上田槐堂（昌栄） GK919-26
写 1冊 美濃半 仮和

槐堂浄稿荒拔書 上田槐堂（昌栄） GK919-25
写 1冊 半紙半 仮和
註：槐堂 名昌栄 初め左門 字俟徳 号槐堂 通称与五郎

賀章（君侯慶謙恭賦） 工藤建延等 GK919-12
文化6（1809）写 1冊 美濃 仮和
註：文化6年藩主昇進の祝宴の詩集 工藤建延 八木橋則博 津軽元礼 成田惟徳 長谷川建中 相馬俊人 永井貴雄 鹿内永昭 三浦鴻漸 小田桐緝 岡本成清 今盛徳 蒔苗建国

家大人則正遺稿 楠美則正 GK919-10
写 1冊 美濃 仮和
註：楠美則正 通称仙内 文化4年（1807）経学添学頭 取扱免ぜられる 太素の実父

合浦遺珠 GK919-1
写（明治初）1冊 美濃 仮和
註：弘前藩の諸人に寄せた漢詩文を集めたもの

釜范元濤詩稿 釜范元濤 GK919-18
写 1冊 半紙 仮和
註：釜范元濤は太一と称し北溟と号す 嘉永2年（1849）没 年66歳

観巡郷邑〔棟方実勝〕 GK919-9
写 1冊 半紙 仮和
註：青森 浅虫 油川等の漢文紀行

金城室文〔長崎弼〕 GK919-20

写 1冊 (合本) 半紙 仮和

駒水避暑 **GK919-21**

写 1冊 半紙 仮和
註：駒水避暑二首ほか

君侯慶謙恭賦 文化6年 神盛徳等 **GK919-75**
文化6 (1809) 写 1冊 美濃 和 (稽古館箋使用)

君侯慶謙恭賦 嘉永4年 赤松貞敬等 **GK919-28**
写 1冊 (合本) 半紙 仮和
註：嘉永4年 (1851) 藩主祝宴際にしての詩集 又伊東正忠等の詩文集を合綴してある 赤松貞敬 通称糸之助 号善淵 明治3年 (1870) 没 年72歳

猷額詩稿 兼松成言 (誠) 編 **GK919-42**
明治10 (1877) 写 1冊 美濃 和
註：明治10年高岡神社へ猷額の詩稿 兼松誠 字成言 通称三郎 号石居 明治10年没

鴻爪吟蹤 石原梯山 (義衛) **GK919-78**
八戸 著者 明治45 (1912) [100頁] 四六倍

〔今幹斎〕詩 今春碩 (敬一) **GK919-65**
写 1冊 美濃半 仮和
註：今敬一 初め名春碩 号幹斎 猶存 明治25年 (1892) 没 年60歳

雑詩〔松井子儀〕編 **GK919-15**
写 1冊 半紙 仮和
註：轂音集 (松井子儀の詩集) 他に諸書より漢文抄

雑詩〔松井子儀〕 **GK919-16**
写 1冊 半紙 仮和
内容：丙申言志集 (天保7) 甲午詩稿 (水月居詩) (天

保5) 乙未言志集 (天保6) 太室集初編啓之一 (幡文華著) 思無邪斎詩集 小雨斎詩集
註：松井子儀は字世淑 初め慶蔵 後文三郎と称し澹所と号す

雑集 内藤昌定編 **GK919-60**
写 (明治14 (1381) 頃) 1冊 美濃 仮和
附：設中学建議 (明治14年3月18日郡役所副書ヲ得テ差出セシ下書)

詩歌草稿 明治18年 六々狂人 **GK919-62**
写 1冊 半紙半 仮和

試業詩稿 嘉永5年 成田善三等 **GK919-30**
嘉永5 (1852) 写 1冊 半紙 和
註：成田善三 今寛貞 葛西儀高 釜沼尚貞 斎藤規正 鹿内喜清 川村直良 (稽古館用紙使用)

〔試業〕詩稿 嘉永6年 成田正意等 **GK919-31**
嘉永6 (1853) 写 1冊 半紙 仮和
註：成田正意 工藤守一 佐藤行則 (稽古館用紙使用)

〔試業〕詩稿 嘉永6年 新岡久之等 **GK919-32**
嘉永6 (1853) 写 1冊 半紙 和
註：新岡久之 成田正意 斎藤規正 成田善三 工藤守一 手塚忍 川村直良 釜沼尚貞 (稽古館用紙使用)

〔試業文稿〕 **GK919-29**
嘉永3 (1850) 写 1冊 半紙 仮和
註：川口定清 斎藤規正 川村直良 釜沼尚貞 成田邦器 神致知 (稽古館用紙使用)

試業文稿 **GK919-34**
写 1冊 半紙 和
註：川村直良 斎藤規正 釜沼尚貞 川口定清 一戸影

熙 神致知 (稽古館用紙使用)

試業文稿 **GK919-33**
写 1冊 半紙
註：斎藤規正 川村直良 釜沼尚貞 宮館英範 一戸影熙 (稽古館用紙使用)

詩集 棟方実勝編 **GK919-8**
写 1冊 半紙 仮和
註：棟方実勝の詩ほか山崎道冲 松井勝善 松井勝文 工藤道生 竹内軌当 伴建尹 唐牛満春 薄田利用 土岐貞範 葛西清俊 工藤建延 等の詩を集めたもの

〔詩集〕 松井儀世淑 (子儀) **GK919-14**
写 1冊 美濃 仮和
註：自筆本 (昌平坂学問所用紙使用)

詩集 **GK919-39**
写 1冊 半紙 仮和
註：稽古館用紙使用

詩集 杏塢 **GK919-63**
写 (明治18,19 (1885,86) 頃) 1冊 半紙 仮和

詩集 長尾庸行 (介一郎) 等 **GK919-71**
写 (明治) 1冊 半紙 仮和
註：長尾庸行 (介一郎) 山田謙真 川越忠茂 百川学 一戸宗矩 一戸兵衛 岩崎勝忠 白取英一 一戸兵衛 昭和6年没 77歳 長尾介一郎 大正12年 (1923) 没 70歳

詩集 相阪慶助 **GK919-70**
写 (明治) 1冊 半紙 仮和

詩書 津軽貞昌 **GK919-4**

写 1冊 半紙 和		註：伊東生白追悼 一町田朝行 長崎弼 赤松貞敬 戸 沢利貞ほか9人		東京 著者 明治33(1900)1冊 半紙 和 註：外崎覚 昭和7年没 74歳	
詩帖 下山周次郎	GK919-58	鮮血詞草 山崎有一郎編	GK919-66	登岩木山記 桜庭平五郎	GK919-41
明治12(1879)写 1冊 半紙 仮和 合綴：詩作一篇 詩作草稿 奥不二楼集		明治20(1887)1冊 半紙半 仮和 註：斎藤三千尾の小伝及び追悼詩歌		明治8(1875)写 1冊 半紙	
諸彦詩集 〔津軽〕模宏等	GK919-6	大笑堂老人遺稿 一町田笑堂(朝行)	GK919-79	東都客中草稿 老竜堂(楠美則敏)	GK919-44
寛政2(1790)写 1冊 美濃半 仮和 註：津軽模宏 伴建尹 山崎道冲 唐牛満春 松井勝善 古郡里仁 等 津軽模宏 通称頼母 号東山		写 1冊 半紙 和		文久2,3(1862,63)写 1冊 半紙 仮和	
十三家雪 長崎弼 釜元瀧	GK919-19	探題五律三十首 (御作入) 棟方実勝編	GK919-7	東都客中草稿 慶応2年同3年	GK919-46
天保11(1840)写 1冊 半紙 仮和 註：長崎弼 通称慶助 字子直 号金城 安政6年(18 59)没 73歳		寛政2(1790)写 1冊 美濃 仮和 註：津軽信明 津軽貞正 伴建尹 橋本勝胤 吉沢幸観 津軽模宏 山崎道冲 伊東孔碩 工藤彝 竹内軌文 毛 内茂幹 等		老竜堂(楠美則敏) 写 1冊 半紙 仮和	
賞月於葉圖記	GK919-38	鳥語集拾遺	GK919-76	常盤山之詩 神盛徳等	GK919-17
慶応3(1867)写 1冊 半紙 仮和 註：慶応3年の詩文		文政5至9年 松井儀世(子儀) 写 1冊 美濃 和		天保15(1844)写 1冊 美濃半 仮和 註：神盛徳 津軽模宏 渡辺利往 一町田朝行 神盛徳 名璋 通称嘉門 後六左衛門 天保14年没	
小堂詩文集 戸沢盛養	GK919-24	長楽園詩集 〔津軽信寿〕著 泰白玉甫選	GK919-73	南行詩草 明治2年 楠美晚翠(則貽)	GK919-54
写 1冊 半紙 和 註：戸沢盛養 又利貞 通称勝之丞 字子厚 号小堂		享保2(1717)写 1冊 半紙 和		明治2(1869)写 1冊 美濃 和 註：白石按察府及び仙台秋田二藩へ赤石礼次郎と共に使 節を命じられた際の詩 楠美晚翠 通称泰太郎 後和民 明治24年没 52歳	
寿筵帖 竹内升編	GK919-74	追善詩歌 工藤主善等	GK919-61	南行詩草 楠美晚翠	GK919-55
安永7(1778)1冊 16.8×27.4 和 合綴：青松		明治15(1882)写 1冊 美濃半 仮和 註：清藤柳亭(唯儀)及び男清水恕亭滴石(唯貫)の追 悼詩歌 清水恕亭 明治13年没43歳 唯儀 明治3年没 60歳		明治2(1869)写 1冊 半紙 仮和	
辛未寄興于鄰 第1号	GK919-56	〔追善詩歌〕工藤主善等	GK919-64	風雅 〔相阪謙〕	GK919-3
不如学書斎(斎藤弘) 写 1冊 半紙 仮和 註：斎藤巖城 名弘 字士貞(稽古館原稿用紙使用)		写(明治)1冊 半紙 仮和 註：成田荘太追善詩歌 工藤主善 字温克 号他山 明 治22年(1889)没 72歳		写 1冊 半紙 仮和	
生白先生追悼集 一町田朝行等	GK919-23	踏雲遊記・三日二山遊記 附詩稿 外崎覚	GK919-72	扁舟掉歌 三上合浦(豊太郎)	GK919-67
嘉永6(1853)写 1冊 半紙 仮和				明治20(1887)写 1冊 半紙 仮和 註：三上合浦 字魯卿 慶応3年(1867)生 油川に住 す 通称豊太郎	

奉献詩歌 館山漸之進等 **GK919-57**
 明治10(1877)写 1冊 美濃 和
 註：高照神社へ津軽為信合祀の際

北山遺稿 佐藤行則 **GK919-36**
 写 1冊 半紙 仮和
 註：佐藤行則 通称叔三郎 号北山 学問所用紙使用

北山遺稿 佐藤行則 **GK919-37**
 写 1冊 半紙 仮和
 註：佐藤行則の詩文のほかに釜菴直貞の詩文が合綴されている

三上東瀛先生遺稿 三上東瀛(得三郎) **GK919-68**
 明治40(1907)34頁 半紙 和
 註：三上得三郎 垂柳または天保と号 明治37年没 64歳

三上東瀛先生遺稿 三上東瀛(得三郎) **GK919-69**
 明治40(1907)34頁 半紙 和

夜錦集 外崎好高 **GK919-13**
 写(文政頃)1冊 半紙 仮和

遊観国台記 竹内長脩等 **GK919-22**
 弘化3(1846)写 1冊 半紙 仮和(稽古館用紙使用)
 註：斎藤規正 成田邦器 斎藤実美 櫛引清国 丸瀬正行 竹内長脩の久渡寺国見台紀行文 漢文

〔幽窓漫筆〕外 **GK919-40**
 写(明治)1冊 半紙 仮和
 内容：幽窓漫筆 雑詩 消鬱詩稿(新岡伝) 霜の柴垣 案頭漫禄 発句の圃(戯童) 発句の圃後集(戯童)

楽班集 **GK919-11**

写 1冊 半紙 和
 註：伴建尹 葛西清俊 工藤懿文 後藤奇逸 楠美則正等の漢詩

榴窠遺稿 **GK919-35**
 川村仲甫(直良)著 今敬一 手塚元瑞共編
 弘前 川村善一 明治18(1885)1冊 半紙 和
 註：川村直良 通称善之進 字仲甫 号松軒 明治元年没 43歳

籠鳥集 百川章(平章) **GK919-5**
 写 1冊 半紙 仮和
 註：百川章 名平章 字は達文 号玉川 文化2年(1805)没 年31歳

〔老竜堂〕草稿 文久4年,元治2年 **GK919-45**
 〔楠美太素〕(則敏)
 写 1冊 半紙 仮和

〔老竜堂〕草稿 慶応3年 **GK919-47**
 〔楠美太素〕(則敏)
 1冊 半紙 仮和

〔老竜堂〕草稿 明治2年同3年 **GK919-48**
 〔楠美太素〕(則敏)
 1冊 半紙 仮和

〔老竜堂〕草稿 明治4年〔楠美則敏〕 **GK919-50**
 写 1枚 25×34 一枚物

〔老竜堂〕草稿 万延2年～明治4年 **GK919-51**
 老竜堂〔楠美太素〕(則敏)
 1冊(合本)半紙 仮和

〔老竜堂〕詩稿 明治3年〔楠美則敏〕 **GK919-49**

1冊 半紙 仮和

老竜堂詩稿 **GK919-43**
 天保12年～15年 楠美太素(則敏)
 写 1冊 半紙 仮和
 註：楠美太素 通称初め悠作のち荘司 号晦山 老竜堂 明治15年(1882)没 68歳

老竜堂八景 **GK919-53**
 写 1冊 半紙 仮和
 註：清藤唯儀 上田昌栄 渋谷昌 一町田朝行 長崎弼 斎藤規正 傍島太兵衛 佐藤行則の8首

老竜堂友詩 2巻 楠美晚翠(則貽)編 **GK919-52**
 写(自筆)1冊 半紙 和
 註：老竜堂主人(楠美太素)自筆の序がある 嘉永4年～文久元年(1851～61)